船舶區畫規程（昭和九年二月一日遞信省令第八號）

目次

第一章　總則
第二章　浸水率
第三章　可浸長
第四章　區畫室ノ長サ
第五章　區畫ニ關スル特別條件
第六章　區畫滿載吃水線
第七章　水密隔壁ニ於ケル開口
第八章　限界線下ノ船側ニ於ケル開口
第九章　二重底
第十章　水密隔壁等ノ構造及最初ノ試驗
第十一章　耐火隔壁、水密區畫室ヨリノ出口
第十二章　「ポンプ」排水裝置
第十三章　特殊ノ航路又ハ特殊旅客ノ運送ニ使用スル船舶ニ對スル特別規定
附則

船舶區畫規程

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ區畫滿載吃水線トハ第三章乃至第五章ノ規定ニ依リ船舶ノ區畫ヲ決定スルニ用ウル吃水線ヲ謂ヒ最高區畫滿載吃水線トハ區畫滿載吃水線中最大吃水ニ對スルモノヲ謂フ

第二條　本令ニ於テ船ノ長サトハ最高區畫滿載吃水線ノ兩端ニ於ケル垂線間ノ距離ヲ謂フ但シ首尾ニ於テ特殊ノ形狀ヲ有スル船舶ニ付テハ遞信大臣ノ適當ト認ムル所ニ依ル

船ノ長サハL'ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第三條　本令ニ於テ船ノ幅トハ最高區畫滿載吃水線以下ニ於テ肋骨ノ外面ヨリ外面迄ノ最大幅ヲ謂フ

第四條　本令ニ於テ隔壁甲板トハ橫置水密隔壁ノ達スル最上層ノ甲板ヲ謂フ

第五條　本令ニ於テ限界線トハ隔壁甲板ノ船側ニ於ケル上面ト船側外板トノ交線ニ平行ニ其ノ下方七六ミリメートルノ位置ニ引キタル線ヲ謂フ

前項ノ上面ハ船側ニ於ケル隔壁甲板ノ厚サ一樣ナラザル船舶ニ在リテハ其ノ最小ノ厚サニ依リ又特ニ申請アリタル場合ニ於テハ隔壁甲板ノ全長ニ付算定シタル平均ノ厚サニ依リ之ヲ定ム但シ平均ノ厚サノ算定ニ付テハ實際ノ厚サガ最小ノ厚サニ五〇ミリメートルヲ加ヘタルモノヨリ大ナルトキハ實際ノ厚サハ之ヲ最小ノ厚サニ五〇ミリメートルヲ加ヘタルモノト看做ス

第六條　本令ニ於テ吃水トハL'ノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ區畫滿載吃水線迄測リタル垂直距離ヲ謂フ

第七條　本令ニ於テ或場所ノ浸水率トハ該場所中水ニ依リ占メラレ得ル容積ト該場所ノ全容積トノ百分率ヲ謂フ

限界線ノ上下ニ亘ル場所ノ浸水率ハ限界線以下ノ容積ニ付之ヲ定ムルモノトス

第八條　本令ニ於テ機關室區域トハ主機關、補機關及常設石炭庫ニ專用スル場所ヲ限ル橫置水密隔壁ノ間ノ限界線下ノ部分ヲ謂フ

本令ニ於テ前艙區域トハ機關室區域ノ前方ノ限界線下ノ部分ヲ謂ヒ後艙區域トハ機關室區域ノ後方ノ限界線下ノ部分ヲ謂フ

第九條　本令ニ於テ旅客室又ハ船員室トハ手荷物室、倉庫、食料品庫及郵便物室ヲ除キ旅客又ハ船員ノ居住若ハ使用ニ充テラルル場所ヲ謂ヒ居室トハ旅客室及船員室ヲ包含スルモノヲ謂フ

第十條　或場所ノ容積ハ外板又ハ隔壁板ノ內面迄測リテ之ヲ算定ス

第二章　浸水率

第十一條　蒸汽機關ニ依リ推進スル船舶ニ在リテハ機關室區域ノ浸水率ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ算定ス

$$80+12.5\left(\frac{a-c}{v}\right)$$

船舶區畫規程

a　ハ機關室區域ニ在ル居室ノ容積

c　ハ機關室區域ニ在ル貨物、石炭又ハ倉庫品ニ供用セラルル甲板間ノ場所ノ容積

v　ハ機關室區域ノ全容積

發動機ニ依リ推進スル船舶ニ在リテハ機關室區域ノ浸水率ハ前項ノ算式ニ依リ算定シタル數ニ五ヲ加ヘタルモノトス

第十二條　管海官廳ハ特ニ申請アリタルトキハ前條ノ規定ニ拘ラズ機關室區域ノ現狀ニ應ジ適當ト認ムル方法ニ依リ該區域ノ浸水率ヲ算定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ居室ノ浸水率ハ九五、貨物艙、石炭庫又ハ倉庫ノ浸水率ハ六〇ト爲スベシ

第十三條　前艙區域又ハ後艙區域ノ浸水率ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ算定ス

$$63+35\frac{a}{v}$$

a　ハ當該區域ニ在ル居室ノ容積

v　ハ當該區域ノ全容積

第十四條　二箇ノ橫置水密隔壁ノ間ノ甲板間ノ場所ニ常設ノ鋼製隔壁ヲ以テ完全ニ圍繞セラレザル居室アルトキハ前三條ノ規定ニ依ル浸水率ノ算定ニ付テハ該場所中常設ノ鋼製隔壁ヲ以テ完全ニ區分セラレ且他ノ用途ニ供用セラルル場所ヲ除キタル殘餘ノ全部ヲ居室ト看做ス

第三章　可浸長

第十五條　Lノ或點ニ於ケル可浸長トハ該點ヲ中心トスル船舶ノ部分ノ長サニシテ該船舶ガ區畫滿載吃水線ニ對スル吃水及第二章ノ規定ニ依ル浸水率ヲ有スル場合ニ於テ之ニ浸水セシムルモ限界線ヲ超エ沈下スルコトナキ最大限度ノモノヲ謂フ

第十六條　連續セル隔壁甲板ヲ有セザル船舶ニ在リテハ浸水後ノ沈下及縱傾斜竝ニ關係水密隔壁ノ達スル箇所ヲ考慮シテ連續ノ限界線ヲ假定シ之ニ付可浸長ヲ定ムルモノトス

第十七條　可浸長ハ船舶ノ形狀其ノ他ノ特性ヲ考慮シ管海官廳ノ適當ト認ムル方法ニ依リ之ヲ定ム

第四章　區畫至ノ長サ

第十八條　船舶ニ於ケル區畫室ノ長サハ其ノ中央ニ於ケル可浸長ニ第二十條乃至第二十四條ノ規定ニ依ル區畫係數ヲ乘ジテ得タル長サ（以下可許長ト稱ス）ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ本令ニ於テ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十九條　船舶ノ用途ノ標準數（以下單ニ標準數ト稱ス）ハ第二項ノ規定ニ依ル假想容積（P_1）ト限界線下ニ在ル居室ノ容積（P）トノ割合ニ應ジ左ノ算式ニ依リ之ヲ算定ス

P_1ガPヨリ大ナルトキ

$$\frac{72-\frac{M+2P_1}{V+P_1-P}}{72-\frac{M+2P}{V}}$$

M　ハ機關室區域ノ容積ニ前船區域又ハ後船區域ニ於テ二重底內底板ノ上方ニ常設燃料油槽ヲ設ケタルトキハ其ノ容積ヲ加算シタルモノ

P　ハ限界線下ニ在ル居室ノ容積

P_1　ハ假想容積

V　ハ限界線下ノ全容積

假想容積P_1ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ算定ス但シ算定シタル容積ガ限界線下ニ在ル居室ノ容積ト限界線以上ニ在ル旅客室ノ容積トノ和ヨリ大ナルトキハ之ヲ該和及算定シタル容積ノ三分ノ二ノ中大ナルモノト爲スコトヲ得

$0.056L\times N$　立方メートル

N　ハ旅客定員

連續セル隔壁甲板ヲ有セザル船舶ニ在リテハ前二項ノ各容積ハ可浸長ノ決定ニ用ヰタル限界線迄測リテ之ヲ算定ス

第二十條　Lガ一三一メートル以上ノ船舶ノ區畫係數ハ標準數ニ應ジ左ノ各號ノ算式ニ依リ之ヲ算定ス

一　標準數ガ第一號ノ算式ニ依リ算定シタル數ヲ超エ一二三未滿ナルトキハ左ノ算式ニ依リ區畫係數ヲ算定ス

$$1-\frac{(1-B)(C_s-S)}{123-S}$$

C_s　ハ標準數

S　ハ第一號ノ算式ニ依リ算定シタル數

B　ハ第二號ノ算式ニ依リ算定シタル數

$$\frac{58.2}{L-60}+0.18$$

二　標準數ガ一二三以上ナルトキ

$$\frac{30.3}{L-42}+0.18$$

三　標準數ガ一三ヲ超エ一二三未滿ナルトキ

$$A-\frac{(A-B)(C_s-23)}{100}$$

C_s　ハ標準數

A　ハ第一號ノ算式ニ依リ算定シタル數

B　ハ第二號ノ算式ニ依リ算定シタル數

第二十一條　Lガ七九メートル以上一三一メートル未滿ノ船舶ノ區畫係數ハ標準數ニ應ジ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一　標準數ガ左ノ算式ニ依リ算定シタル數以下ナルトキハ區畫係數ハ之ヲ一トス

$$\frac{374-25L}{13}$$

二　標準數ガ一二三以上ナルトキハ前條第一項第二號ノ算式ニ依リ算定シタル數ヲ區畫係數トス

三　標準數ガ第一號ノ算式ニ依リ算定シタル數ヲ超エ一二三未滿ナルトキハ左ノ算式ニ依リ區畫係數ヲ算定ス

$$1-\frac{(1-B)(C_s-S)}{123-S}$$

C_s　ハ標準數

S　ハ第一號ノ算式ニ依リ算定シタル數

B　ハ前條第一項第二號ノ算式ニ依リ算定シタル數

第二十二條　旅客定員ガ左ノ算式ニ依リ算定シタル數及五〇ノ中小ナルモノヲ超エザル船舶ノ區畫係數ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ一トス

$$\frac{L^2}{650}$$

第二十三條　Lガ七九メートル未滿ノ船舶ノ區畫係數ハ標準數ニ拘ラズ之ヲ一トス

第二十四條　左ノ各號ノ船舶ニ付前三條ニ定ムル區畫係數ニ依リ區畫スルコト實際上不可能ナリト認ムル部分アルトキハ管海官廳ハ該部分ノ區畫係數ニ付適當ニ斟酌スルコトヲ得

一　前二條ニ揭グル船舶

二　Lガ七九メートル以上一三一メートル未滿ニシテ標準數ガ第二十一條第一號ノ算式ニ依リ算定シタル數ヨリ小ナル船舶

第五章　區畫ニ關スル特別條件

第二十五條　船首隔壁ハ船舶ノ前部垂線ヨリLノ百分ノ五ノ箇所ト同箇所ヨリ三・〇五メートル後方ノ箇所トノ間ニ之ヲ設クベシ

船首部ニ於テ長キ船樓ヲ有スル船舶ニ付テハ船首隔壁ヲ隔壁甲板ノ直上ノ甲板迄延長シ其ノ部分ヲ風雨密ノ構造ト爲スベシ

前項ノ延長部ハ船舶ノ前部垂線ヨリLノ百分ノ五以上ノ箇所ニ設クルトキハ之ヲ下方ノ隔壁ノ直上ニ設ケザルモ妨ナシ此ノ場合ニ於テハ階段ヲ形成スル隔壁甲板ノ部分ヲモ風雨密ノ構造ト爲スベシ

第二十六條　甲區畫室ト之ニ隣接セル乙區畫室トノ合長及甲區畫室ト之ニ隣接セル丙區畫室トノ合長ガ何レモ合長ノ中央ニ於ケル可浸長ヲ超ユルコトナク且可許長ノ二倍ヲ超エザルトキハ甲區畫室ノ長サハ可許長ヲ超ユルモ妨ナシ

甲區畫室ノ浸水率ト乙又ハ丙區畫室ノ浸水率トガ相等シカラザルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ各區畫室ノ浸水率ノ平均ヲ兩區畫室ヲ通ズル浸水率ト看做ス

甲區畫室ノ區畫係數ト乙又ハ丙區畫室ノ區畫係數トガ相等シカラザルトキハ第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ可許長ノ二倍ノ代リニ左ノ算式ニ依リ算定シタル長サヲ用ウルモノトス

$$l_1+(2\lambda-l_1)\frac{F_2}{F_1}$$

l_1 ハ兩區畫室ノ中ノ任意ノ一區畫室ノ長サ

F_1 ハ長サl_1ナル區畫室ニ對スル區畫係數

F_2 ハ他ノ區畫室ニ對スル區畫係數

λ ハ兩區畫室ニ對スル區畫係數ヲF_1ト看做シタル場合ノ可許長

第二十七條　L一三一メートル以上ノ船舶ニ付テハ船首隔壁ノ次ノ橫置隔壁ヨリ前部垂線ニ至ル距離ハ可許長ヲ超ユルコトヲ得ズ

第二十八條　橫置隔壁ヲ屈折セシメタル場合ニ於テハ屈折部ハ如何ナル部分ニ於テモ最高區畫滿載吃水線ノ水平面ニテ該部分ノ橫截面ニ於ケル外板ヨリ中心線ニ直角ニ測リ船ノ幅ノ五分ノ一ニ相當スル箇所ヲ通ル縱通垂直面ヨリ內方ニ在ルコトヲ要ス但シ區畫ガ第二十九條各號ノ一ニ該當スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條　橫置隔壁ハ區畫ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ非ザレバ之ヲ階段アルモノト爲スコトヲ得ズ

一　當該隔壁ニ依リ仕切ラレタル二區畫室ノ合長ガ可浸長ノ百分ノ九十ヲ超エザルトキ

二　隔壁ガ一平面ナル場合ト同一ノ安全程度ヲ保ツ樣當該箇所ニ區畫ヲ增設シタルトキ

第三十條　橫置隔壁ニ屈折又ハ階段アル場合ニ於テハ區畫室ノ長サハ同一ノ效力ヲ有スル平面隔壁迄之ヲ測ルモノトス

第三十一條　相隣レル二箇ノ橫置隔壁間ノ距離ガ三・〇五メートルニLノ百分ノ二ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルトキハ區畫室ノ長サノ決定ニ付テハ當該二隔壁中何レカ一箇ハ之ヲ無キモノト看做ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ屈折アル隔壁ニ在リテハ前條ニ依ル同一ノ效力ヲ有スル平面隔壁ヲ橫置隔壁ト看做シ、階段アル隔壁ニ在リテハ該隔壁ヨリ次ノ隔壁ニ至ル最短距離ヲ橫置隔壁間ノ距離ト看做ス

第三十二條　橫置水密區畫室ガ局部的ノ區畫ヲ有スル場合ニ於テ三・〇五メートルニLノ百分ノ二ヲ加ヘタル長サニ亘ル如何ナル損傷ヲ船側ニ受クルモ該區畫室ノ全容積ニ浸水スル虞ナキトキハ管海官廳ハ該區畫室ノ長サヲ浸水ノ虞ナキ部分ノ容積ニ應ジ局部的區畫ナキ場合ノ可許長ヨリ適當ニ增スコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ損傷ヲ受ケザル船側ニ付假定スル有效浮力ノ容積ハ損傷ヲ受ケタル船側ニ付假定スル有效浮力ノ容積ヨリ大ナルコトヲ得ズ

第三十三條　水密甲板又ハ縱通隔壁若ハ內側外板ヲ設クル場合ニ於テハ之ヲ設ケタル部分ノ浸水ニ依リテ生ズル船舶ノ傾斜其ノ他ノ原因ニ因リ船舶ノ安全ヲ害セザル樣適當ナル配置ト爲スベシ

前項ノ配置ハ管海官廳ニ於テ適當ト認ムルモノナルコトヲ要ス

第三十四條　船尾隔壁ハ船舶ノ區畫ニ依ル安全ノ程度ヲ減少セザル限リ之ヲ隔壁甲板ノ下方ニ止ムルコトヲ得

第三十五條　船尾管ハ水密ナル場所ニ設置スルコトヲ要シ船尾管衞帶ハ水密ナル軸路其ノ他ノ場所ニシテ船尾管衞帶ヨリ浸水スル場合ニ於テモ船舶ガ限界線ヲ超エ沈下スルコトナキ程度ノ容積ヲ有スルモノノ內ニ之ヲ設置スルコトヲ要ス

第六章　區畫滿載吃水線

第三十六條　區畫滿載吃水線ハ船舶滿載吃水線規程ニ定ムル圓標ノ前方ニ於ケル垂直線ノ後緣ヨリ後方ニ向フ長サ二五〇ミリメートル、幅二五ミリメートルノ水平線ノ上緣ヲ以テ之ヲ標示スベシ

區畫滿載吃水線ガ船舶滿載吃水線規程ニ依ル當該船舶ノ海水ニ於ケル最高滿載吃水線ヨリ上方ニ在ルトキハ該最高滿載吃水線ノ位置ニ在ルモノトス

第三十七條　區畫滿載吃水線ノ標示ハ主タル旅客搭載狀態ニ對應スルモノニハC_1、其ノ他ノ狀態ニ對應スルモノニハ順

C_2、C_3等ノ記號ヲ附スベシ

區畫滿載吃水線ノ標示ハ船舶滿載吃水線規程ニ定ムル方法ニ準ジ之ヲ爲スベシ

第三十八條 區畫滿載吃水線ニ對スル乾舷ハ船舶滿載吃水線規程ニ依ル乾舷甲板ヲ標示スル水平線ノ上緣ヨリ當該區畫滿載吃水線迄之ヲ測ルモノトス

前項ノ乾舷ハ船舶ガ之ニ對應スル旅客搭載狀態ニ於テ國際航海ニ從事スル場合海水ニ於テ保持スベキ最小乾舷トス

船舶ガ淡水ニ在ルトキハ當該區畫滿載吃水線ハ標示セラレタル當該滿載吃水線ノ上方ニ於テ船舶滿載吃水線規程ニ定ムル淡水ニ對スル修正高ニ等シキ箇所ニ在ルモノトス

第七章 水密隔壁ニ於ケル開口

第三十九條 水密隔壁ニ設クル開口ノ數ハ出來得ル限リ之ヲ少クシ又各開口ニハ之ヲ水密ニ閉ヅル爲適當ナル裝置ヲ備フルコトヲ要ス

水密隔壁ヲ貫通シテ管、電燈線等ヲ設ケタルトキハ該隔壁ノ水密ヲ保ツ爲適當ナル方法ヲ講ズベシ

第四十條 水密隔壁ニハ支水弁ヲ設クルコトヲ得ズ

左ニ揭グル隔壁ニハ人孔又ハ出入口ヲ設クルコトヲ得ズ

一 限界線下ノ船首隔壁

二 貨物艙ト貨物艙又ハ常設若ハ豫備ノ石炭庫トヲ仕切ル水密橫置隔壁但シ甲板間ニ於ケル貨物艙ト貨物艙トヲ仕切ル隔壁ヲ除ク

第四十一條 船首隔壁ニハ船首艙內ノ水其ノ他ノ液体ヲ處理スル爲限界線下ニ於テ一箇ヲ限リ管ヲ通スコトヲ得但シ該管ニハ隔壁甲板ノ上方ヨリ操作シ得ル螺締弁ヲ設ケ弁匣ハ船首艙內ニ於テ船首隔壁ニ之ヲ取附クルコトヲ要ス

第四十二條 機關室內ニ於テハ石炭庫及軸路ニ通ズルモノノ外機關室內ノ交通用トシテ各橫置隔壁ニ付一箇ヲ限リ出入口ヲ設クルコトヲ得但シ機關室ガ縱通水密隔壁ニ依リ區畫セラレタル場合ニ於テ管海官廳差支ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ出入口ノ下緣ハ出來得ル限リ高キ位置ニ在ルコトヲ要ス

第四十三條 隔壁ノ開口ニ設クル水密戶ハ左ニ揭グルモノヲ除クノ外之戶ナルコトヲ要ス

一 船側ニ於ケル最低點ノ下面ガ最高區畫滿載吃水線ノ上方二・一三メートル以上ノ箇所ニ在ル甲板ノ上方ニ於ケル旅客室、船員室及作業場所ニ設クル水密蝶番戶

二 甲板間ニ於ケル貨物艙ヲ仕切ル隔壁ニ於テ船側ニ載貨門ノ設置ヲ許サルル高サノ箇所ニ設クル水密蝶番戶

三 機關室內ニ於ケル隔壁ニ螺釘ヲ以テ固定スル取外シ得ル板戶

前項第二號ノ水密蝶番戶ハ其ノ設置ヲ特ニ必要トスル事由アル場合ニシテ其ノ構造及配置ニ付管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ之ヲ設ケ得ルモノトス

第四十四條 蝶番戶ニハ隔壁ノ各側ヨリ操作シ得ル掛金ヲ備フルコトヲ要ス

之戶ハ水平ニ動クモノナルモ又ハ垂直ニ動クモノナルモ妨ナシ

手動ノ開閉裝置ノミヲ備フル之戶ノ開閉裝置ハ戶ノ箇所及隔壁甲板ノ上方ノ近寄リ得ル場所ニ於テ之ヲ操作シ得ルモノナルコトヲ要ス

水密戶ガ自己又ハ他ノ重量物ノ落下作用ニ依リ閉ヅルモノナルトキハ之ニ閉鎖運動ヲ調節スル爲適當ナル裝置ヲ備フルコトヲ要ス閉鎖裝置ハ戶ノ箇所及隔壁甲板ノ上方ノ近寄リ得ル場所ニ於テ戶ヲ放動セシメ得ルモノトシ且落下作用ニ依ラザル手動開閉裝置ヲ備フルコトヲ要シ該裝置ハ戶ノ箇所及隔壁甲板ノ上方ニ於テ之ヲ操作シ得ルモノトシ戶ノ落下閉鎖ノ爲該裝置ヲ外シタル後各操作場ニ於テ迅速ニ再ビ之ヲ仕掛ケ得ルモノト爲スベシ

水密戶ガ中央操作場ヨリ動力ニヨリ操作セラルル裝置ナルトキハ戶ノ箇所ニ於テモ動力ニ依リ之ヲ操作シ得ルモノト爲スベシ

前項ノ動力開閉裝置ハ中央操作場ヨリ閉ヂラレタル後局部操作場ニ於テ開カレタル戶ガ自働的ニ閉鎖セラレ又戶ガ中央操作場ヨリ開カルルコトヲ局部操作場ニ於テ防ギ得ルモノナルコトヲ要ス

第五項ノ動力開閉裝置ニハ戶ノ箇所及隔壁甲板ノ上方ノ近寄リ得ル場所ニ於テ操作シ得ル手動開閉裝置ヲ備フルコトヲ要ス

各水密戶ニ付テハ戶ノ箇所ヲ除クノ外總テノ操作場ニ其ノ開閉ヲ示ス表示器ヲ備フベシ

第四十五條 橫置隔壁ニ設クル之戶ニシテ其ノ下緣ガ最高區畫滿載吃水線ノ下方ニ在リ且船舶ノ航行中開クコトアルモノノ開閉裝置ニ付テハ左ノ各號ニ依ルベシ但シ軸路ノ入口ニ在ル水密戶ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 戶ノ數ガ五箇ヲ超ユルトキハ開閉裝置ハ動力操作ノモノニシテ船橋上ノ操作場ヨリ同時ニ各之戶ヲ閉ヂ得ルモノナルコトヲ要シ且閉鎖ニ先チ警戒音響信號ヲ發スル裝置ト爲スベシ

二 戶ノ數ガ五箇以下ニシテ標準數ガ六〇ヲ超ユルトキハ各之戶ノ開閉裝置ハ動力操作ノモノナルコトヲ要ス

三 戶ノ數ガ五箇以下ニシテ標準數ガ三〇ヲ超エ六〇以下ナルトキハ各之戶ハ落下式ニシテ戶ノ箇所及隔壁甲板ノ上方ヨリ操作シ得ル放動裝置ヲ備ヘ且手動閉鎖裝置ヲ備フルモノナルモ妨ナシ

四　戸ノ數ガ五箇以下ニシテ標準數ガ三〇ヲ超エザルトキハ各七戸ノ開閉裝置ハ手動ノモノナルモ妨ナシ

第四十六條　船舶ノ航行中石炭繰ノ目的ヲ以テ開クコトアル水密戸ヲ隔壁甲板下ノ甲板間ニ於テ石炭庫ヲ仕切ル隔壁ニ設クルトキハ其ノ開閉裝置ハ動力操作ノモノナルコトヲ要ス

第四十七條　二箇以上ノ橫置隔壁ヲ貫キテ冷藏貨物船ニ通ズル圍壁路ヲ設クル場合ニ於テ開口ノ下緣ガ最高區畫滿載吃水線ノ上方二・一三メートル未滿ノ箇所ニ在ルトキハ該開口ニ於ケル水密戸ノ開閉裝置ハ動力操作ノモノナルコトヲ要ス

第四十八條　船員室ヨリ焚火場ヘノ通行ノ爲、管ヲ通ス爲又ハ其ノ他ノ目的ノ爲橫置隔壁ヲ貫キテ圍壁路又ハ隧道ヲ設クルトキハ該圍壁路又ハ隧道ハ水密ニシテ第六十四條ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

前項ノ圍壁路又ハ隧道ガ船舶ノ航行中通路トシテ使用セラルルモノナルトキハ少クトモ各圍壁路又ハ隧道ノ一端ニハ限界線ノ上方ニ達シ得ル樣水密ニ構造セラレタル圍壁ヲ設クルコトヲ要ス

圍壁路又ハ隧道ハ船首隔壁ノ次ノ隔壁ヲ貫キテ之ヲ設クルコトヲ得ズ

强壓通風ノ爲必要アルトキハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ橫置隔壁ヲ貫キテ圍壁路又ハ隧道ヲ設クルコトヲ得

第四十九條　石炭庫ニ於ケル水密戸ニ付テハ石炭ガ戸ノ閉鎖ヲ妨グルコトヲ防グ爲障板其ノ他ノ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第四十六條ニ規定スルモノヲ除クノ外常設及豫備ノ石炭庫間ニ設クル水密戸ニ對シテハ常ニ之ニ近寄リ得ル樣圍壁路又ハ隧道ヲ設クベシ

第八章　限界線下ノ船側ニ於ケル開口

第五十條　限界線下ノ船側ニ於ケル開口ノ閉鎖裝置ハ開口ノ用途及位置ニ適應スルモノニシテ管海官廳ノ適當ト認メタルモノナルコトヲ要ス

貨物又ハ石炭ノ搭載ニ專用スル場所ニハ舷窓ヲ設クルコトヲ得ズ

自働通風用舷窓ハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ヲ除クノ外之ヲ限界線下ノ船側ニ設クルコトヲ得ズ

第五十一條　甲板間ニ於ケル何レカノ舷窓ノ下緣ガ最高區畫滿載吃水線ノ上方ニ於テ船ノ幅ノ千分ノ二十五ノ距離ニ最低點ヲ有シ船側ニ於ケル隔壁甲板ニ平行ニ引キタル線ノ下方ニ在ルトキハ該甲板間ノ舷窓ハ總テ開キ得ザル型ノモノト爲スベシ

前項ノ舷窓ヲ除クノ外甲板間ニ於ケル何レカノ舷窓ノ下緣ガ最高區畫滿載吃水線ノ上方ニ於テ三・六六メートルニ船ノ幅ノ千分ノ二十五ヲ加ヘタル距離ニ最低點ヲ有シ船側ニ於ケル隔壁甲板ニ平行ニ引キタル線ノ下方ニ在ルトキハ該甲板間ノ舷窓ハ總テ錠前附ノモノナルコトヲ要ス

前二項ノ舷窓以外ノ舷窓ハ普通ノ開キ得ル型ノモノト爲スコトヲ得

第五十二條　左ニ揭グル舷窓ニハ有效ナル蝶番附內蓋ヲ備ヘ容易ニ之ヲ閉ヂ且水密ニ保チ得ル裝置ト爲スベシ

一　第五十一條第一項又ハ第二項ノ舷窓

二　前部垂線ヨリL／八分ノ一以內ノ場所ニ設クル舷窓

三　航行中近寄リ難キ場所ニ設クル舷窓

四　水夫、火夫又ハ下級旅客ノ居住場所ニ設クル舷窓

前項ニ揭グルモノヲ除クノ外隔壁甲板下ニ設クル舷窓ニハ有效ナル內蓋ヲ備フベシ

前項ノ內蓋ハ之ヲ附近ニ備置ク裝置ヲ有スルトキハ取外シ得ルモノト爲スコトヲ得

第五十三條　船側ニ設クル機關用ノ吸水孔及放水孔竝ニ其ノ他ノ開口ニハ船內ヘノ不慮ノ浸水ヲ防ギ得ル裝置ヲ設クベシ

船側ニ設クル排水孔、衞生排出孔其ノ他類似ノ開口ノ數ハ出來得ル限リ之ヲ少クスベシ

第五十四條　限界線下ノ船側ヲ貫キテ設クル排出管ニハ船內ヘノ浸水ヲ防グ爲左ノ各號ノ一ニ依ル裝置ヲ爲スベシ

一　隔壁甲板ノ上方ニシテ容易且迅速ニ近寄リ得ル場所ヨリ閉鎖シ得ル積極裝置ヲ有スル自働不還弁一箇ヲ各排出管ニ取附ケ且弁ノ開閉ヲ表示スル裝置ヲ操作場ニ備フルコト

二　前號ノ裝置ナキ自働不還弁二箇ヲ各排出管ニ取附ケ其ノ中上方ノモノハ船舶ノ就航狀態ニ於テ檢査ノ爲常ニ近寄リ得ル最高區畫滿載吃水線ノ上方ノ場所ニ之ヲ設置スルコト

第五十五條　限界線下ニ設クル舷門、載貨門及載炭門ハ十分ナル强力ヲ有スル構造ト爲スベシ

一部又ハ全部ガ最高區畫滿載吃水線下ニ在ル載貨門又ハ載炭門ハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ之ヲ設置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ構造ニ付テハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依ルベシ

第五十六條　灰棄筒、芥棄筒其ノ他類似ノモノノ船內ニ於ケル開口ニハ有效ナル蓋ヲ備フベシ

前項ノ開口ガ限界線下ニ在ルトキハ該開口ノ蓋ハ水密ニ閉鎖シ得ルモノト爲シ且最高區畫滿載吃水線ノ上方ニシテ容易ニ近寄リ得ル場所ニ於テ筒ニ自働不還弁ヲ取附クベシ

第九章　二重底

第五十七條　L六一メートル以上ノ船舶ニ付テハ左ノ各號ノ部分ニ二重底ヲ設クベシ

一　L七六メートル未滿ノ船舶ニ在リテハ機關室前端隔壁ヨリ船首隔壁迄

二　L七六メートル以上一〇〇メートル未滿ノ船舶ニ在リテハ機關室前端隔壁ヨリ船首隔壁迄及機關室後端隔壁ヨリ船尾隔壁迄

三　L一〇〇メートル以上ノ船舶ニ在リテハ船首隔壁ヨリ船尾隔壁迄

前項ノ船舶ニ於テ船首隔壁又ハ船尾隔壁迄二重底ヲ達セシムルコト實際上不可能ナルトキハ出來得ル限リ其ノ近ク迄之ヲ達セシムベシ

第五十八條　前條ニ依リ設クル二重底ニ在リテハ二重底緣板ト彎曲部外板トノ交線ハ何レノ部分ニ於テモL ノ中央ニ於テ船底基線上船體中心線ヨリ船ノ幅ノ二分ノ一ノ距離ニ在ル點ヲ通リ該基線ニ對シ二十五度ノ傾斜ヲ以テ引キタル横斜線ト肋骨線トノ交點ヲ通ル水平面ノ上方ニ在ルコトヲ要ス

第五十九條　排水ノ目的ノ爲二重底ニ設クル淦水溜ハ必要ナル程度ヲ超エテ其ノ深サヲ大ナラシムルコトヲ得ズ且如何ナル場合ト雖モ緣板ノ內緣又ハ外板ヨリ〇・四五七メートル未滿ノ箇所ニ在ルコトヲ得ズ但シ螺旋推進器ヲ備フル船舶ニ付テハ軸路ノ後端ニ於テ外板迄達スル一箇ノ淦水溜ヲ設クルコトヲ得

第十章　水密隔壁等ノ構造及最初ノ試驗

第六十條　水密隔壁ハ鋼船構造規程ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

隔壁ノ階段部及屈折部ハ水密ニシテ且其ノ箇所ニ在ルベキ隔壁ト同一ノ強力ヲ有スル構造ト爲スベシ

肋骨又ハ梁ガ水密甲板若ハ隔壁ヲ貫通スル部分ハ木材又ハ「セメント」ヲ用ヰズシテ水密ヲ保ツ構造ト爲スベシ

第六十一條　本令ニ揭グル水密戶、舷窓、舷門、載貨門、載炭門、弁、管、灰棄筒及芥棄筒ノ設計、材料及構造ニ付テハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依ルベシ

第六十二條　隔壁ニ設クル水密戶ハ之ヲ設クル箇所ニ於ケル限界線迄ノ水高壓力ヲ以テ之ヲ試驗スベシ

前項ノ試驗ハ船舶ノ就航前ニ於テ戶ノ取附前又ハ取附後ニ之ヲ行フベシ

第六十三條　二重底(溝形龍骨ヲ含ム)及內側外板ハ限界線迄ノ水高壓力ヲ以テ之ヲ試驗スベシ

液体ヲ容ルル槽ニシテ水密區畫ノ一部ヲ成スモノハ最高區

畫滿載吃水線迄ノ高サ、龍骨ノ上面ヨリ槽ノ箇所ニ於ケル限界線迄ノ高サノ三分ノ二及槽ノ頂板上〇・九二メートル迄ノ高サノ中最大ナルモノニ相當スル水高壓力ヲ以テ之ヲ試驗スベシ

第六十四條　甲板、圍壁、隧道、溝形龍骨又ハ通風筒ニシテ水密ナルコトヲ要スルモノハ其ノ箇所ニ在ルベキ水密隔壁ト同一ノ強力ヲ有スル構造ト爲シ圍壁及通風筒ハ少クトモ限界線迄水密ニ構造セラレタルモノナルコトヲ要ス

前項ノ甲板、圍壁、隧道等ノ水密ナルコトヲ要スル構造及之ニ設クル開口ノ閉鎖裝置ニ付テハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依ルベシ

第六十五條　水密甲板ハ漏水又ハ射水ニ依リ、水密ナル圍壁、隧道及通風筒ハ射水ニ依リ之ヲ試驗スベシ

第十一章　耐火隔壁、水密區畫室ヨリノ出口

第六十六條　船舶ニハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依リ隔壁甲板ヨリ上部ニ於テ船側ヨリ船側迄達スル耐火隔壁ヲ設クベシ

船樓內ニ於ケル耐火隔壁ノ間隔ハ四〇メートルヲ超ユルコトヲ得ズ但シ管海官廳差支ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六十七條　耐火隔壁ハ隔壁ニ於テ八一五度ノ溫度ヲ生ズル火ノ蔓延ヲ一時間阻止シ得ベキ金屬其ノ他ノ耐火材料ヲ以テ適當ニ之ヲ構造スルコトヲ要ス

鋼製隔壁ニシテ隔壁甲板直下ノ甲板間ニ於ケル水密隔壁ノ構造ト同一ノ構造ヲ有スルモノガ可燃性材料ノ內張ヲ有セザルトキハ之ヲ前項ノ規定ニ適合スル耐火隔壁ト看做ス

第六十八條　耐火隔壁ニ於ケル階段部及屈折部ハ隔壁ト同一ノ效力ヲ有スルモノナルコトヲ要シ又開口ノ閉鎖裝置ハ耐火性ニシテ且焰ノ侵入ヲ防ギ得ルモノナルコトヲ要ス

第六十九條　船舶ニハ旅客室又ハ船員室ノ在ル各水密區畫室ヨリ其ノ居住者ガ非常ノ際上甲板以上ノ開放セル場所ニ退去シ得ル爲適當ナル設備ヲ爲スベシ

各機關室、軸路其ノ他ノ作業場所ニハ非常ノ際ニ於ケル船員ノ避難ノ爲水密戶ト別箇ニ適當ナル設備ヲ備フベシ

第十二章　「ポンプ」排水裝置

第七十條　船舶ニハ主機關ニ依リ動作スル正淦水「ポンプ」又ハ之ニ代ル獨立機關ニ依リ動作スル正淦水「ポンプ」ノ外獨立ノ動力ニ依リ操作セラルル二箇ノ副淦水「ポンプ」ヲ備フベシ但シL九一・五メートル未滿ニシテ標準數三〇未滿ノ船舶ニ在リテハ船舶ノ前部及後部ニ各一箇ノ「クランク」型手動「ポンプ」ヲ備フルカ又ハ移動式動力「ポンプ」一箇ヲ備

フルトキハ副淦水「ポンプ」ハ之ヲ一箇ト爲スコトヲ得

標準數三〇ヲ超ユル船舶ニ在リテハ前項ノ規定ニ依ル副淦水「ポンプ」ノ外獨立ノ動力ニ依リ操作セラルル副淦水「ポンプ」一箇ヲ增備スベシ

衞生、脚荷又ハ雜用ノ「ポンプ」ガ淦水吸出管ニ適當ニ連結セラルルトキハ之ヲ前二項ノ副淦水「ポンプ」ト看做ス

第七十一條　前條ニ依リ二箇以上ノ副淦水「ポンプ」ヲ要スル船舶ニ在リテハ中一箇ハ潛水型ノ非常用「ポンプ」トシ隔壁甲板ノ上方ニ設置シタル動源ニ依リ非常ノ際之ヲ動作シ得ル裝置ト爲スベシ

第七十二條　動力淦水「ポンプ」ハ成ルベク同一ノ損傷ニ依リ迅速ニ浸水スル虞ナキ別々ノ水密區畫室ニ之ヲ設置スベシ若シ機關室ガ二箇以上ノ水密區畫室ヨリ成ルトキハ淦水「ポンプ」ヲ出來得ル各室ニ分布スルコトヲ要ス

第七十三條　各淦水「ポンプ」ハ船首尾艙ニノミ使用スルモノヲ除キ手動ノモノナルト動力操作ノモノナルトヲ問ハズ船舶ノ各船艙又ハ機關室ヨリ排水シ得ル樣裝置スベシ

第七十四條　各副淦水「ポンプ」ハ淦水主管ヲ通ル水ニ一分間一二立メートル以上ノ速度ヲ與ヘ得ルモノナルコトヲ要シ且之ヲ設置シタル區畫室ニ對シ淦水主管ノ徑ヨリ小ナラザル徑ノ直接吸水管ヲ備フベシ

直接吸水管ハ船內ノ各側ヨリ吸水シ得ル樣之ヲ配置スベシ

第七十五條　淦水「ポンプ」ニ連結スル淦水主管及各水密區畫室ニ對スル淦水支管ノ內徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノ以上ト爲スベシ

一　淦水主管ノ徑ノ算式

$$\sqrt{\frac{L(B+D)}{36}}+2.5 \quad センチメートル$$

二　淦水支管ノ徑ノ算式

$$\sqrt{\frac{l(B+D)}{21.6}}+2.5 \quad センチメートル$$

B　ハ船ノ幅（メートルニテ）

D　ハL ノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ隔壁甲板ノ船側ニ於ケル上面迄ノ深サ（メートルニテ）

l　ハ當該支管ニ依リ排水スベキ區畫室ノ長サ（メートルニテ）

前項ノ規定ニ拘ラズ淦水主管ノ內徑ハ六センチメートルヨリ、淦水支管ノ內徑ハ五センチメートルヨリ小ナラザルコトヲ要シ又淦水支管ノ內徑ハ一〇センチメートルヨリ大ナルコトヲ要セズ

第七十六條　蒸汽機關ニ依リ推進スル船舶ニ在リテハ主海水吸入管ノ徑ノ三分ノ二以上ノ徑ヲ有スル不還弁附直接吸水管ヲ主循環「ポンプ」ニ取附ケ之ヲ機關室內ノ淦水ノ最低吸水位置迄導クベシ又燃料トシテ石炭ヲ使用シ若ハ使用スルコトアル船舶ニ於テ汽機室ト汽罐室トノ間ニ水密隔壁ナキトキハ少クトモ一箇ノ循環「ポンプ」ヨリ復水器ヲ通過セズシテ直接船外ヘ排水スル爲別箇ノ排水管ヲ取附クルカ又ハ循環水排出管ニ連結セル支管ヲ設クベシ

第七十七條　貨物艙又ハ機關室ノ排水ニ用ウル管ハ水槽又ハ油槽ニ對スル管ト區別スベシ

石炭庫若ハ燃料油庫ノ下部、汽罐室又ハ汽機室內ニハ排水用管トシテ鉛管ヲ使用スルコトヲ得ズ沈澱油槽又ハ燃料油「ポンプ」ヲ設置シタル發動機室內ニ於ケル排水用管ニ付亦同ジ

第七十八條　淦水及脚荷水ノ管系ハ海水若ハ脚荷水ガ貨物艙若ハ機關室ニ流入シ又ハ一區畫室ニ在ル水ガ他ノ區畫室ニ流入スルノ虞ナキ裝置ト爲スベシ脚荷水及淦水ノ管系ニ連結セラルル深水槽ニ付テハ之ニ貨物ヲ積載シタル場合ニ於テ不意ニ海水流入シ又之ニ脚荷水ヲ積載シタル場合ニ於テ脚荷水ガ淦水管ニ依リ吸出サルルコトナキ樣特別ノ設備ヲ爲スベシ

第七十九條　或區畫室ノ排水ニ使用スル淦水管ガ船舶ノ衝突又ハ乘揚等ニ因リ該區畫室外ノ場所ニ於テ損傷ヲ受ケ該區畫室ニ浸水スル虞アルモノナルトキハ之ヲ防止スル爲適當ノ設備ヲ爲スベシ淦水管ノ何レカノ部分ガ船側ニ近ク設置セラルルカ又ハ溝形龍骨內ニ設置セラルルトキハ此ノ目的ノ爲管ノ開放端ノ在ル區畫室ニ於テ之ニ不還弁ヲ取附クルカ又ハ隔壁甲板ノ上方ノ場所ヨリ操作シ得ル螺締弁ヲ取附クベシ

第八十條　淦水排出裝置用ノ配流箱、「コツク」及弁ハ船舶ガ通常ノ狀態ニ在ル場合ニ於テ常ニ近寄リ得ル場所ニ之ヲ設ケ且非常用淦水「ポンプ」ヲ備フル船舶ニ在リテハ之ニ依リ何レノ區畫室ヨリモ吸水シ得ル樣配置スベシ若シ各淦水「ポンプ」ニ共通ナル一管系ノミヲ備フルトキハ該「コツク」又ハ弁ハ隔壁甲板ノ上方ヨリ之ヲ操作シ得ルモノナルコトヲ要シ又主淦水管系ノ外非常用淦水管系ヲ備フルトキハ之ヲ主管系ヨリ獨立セシメ且非常用「ポンプ」ニ依リ浸水狀態ニ在ル何レノ區畫室ヨリモ吸水シ得ル樣裝置スベシ

第十三章　特殊ノ航路又ハ特殊旅客ノ運送ニ使用スル船舶ニ對スル特別規定

第八十一條　管海官廳短國際航海ニ從事スル旅客船ニ付特ニ必要アリト認ムルトキハ第七章乃至第九章及第十二章ニ規定スル事項ニ付適當ニ斟酌スルコトヲ得

第八十二條　管海官廳ハ天候又ハ交通ノ狀況ニ因リ特ニ危險多キ航路ニ於テ專ラ旅客ノ運送ニ從事スル船舶ニ付必要アリト認ムルトキハ其ノ區畫ヲ第四章及第五章ニ規定スルモ

ノヨリ更ニ細密ナラシムルコトヲ得

第八十三條 管海官廳一定區域ノ航路ニ於テ臨時旅客又ハ甲板旅客ヲ運送スル船舶ニ付本令ノ規定ヲ適用スルコト實際上不可能ナリト認ムルトキハ當該航路及旅客ノ種類ヲ考慮シ適當ト認ムル程度迄之ヲ斟酌スルコトヲ得

附則

第八十四條 本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八十五條 昭和六年六月三十日以前ニ龍骨ヲ据附ケ旅客船トシテ製造シタル船舶又ハ同日以前旅客船ニ變更シタル船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ其ノ水密區畫其ノ他ノ設備ヲ考慮シ實行不可能ニシテ且不適當ナリト認ムル限リ本令ニ依ラシメザルコトヲ得

木船構造規程

（昭和九年二月一日遞信省令第九號）

目次

第一章 總則
第二章 材料
第三章 龍骨、船首材、船尾材、舵柱、力材、船尾縱翼材、船尾橫翼材及船尾管胴材
第四章 舵
第五章 肋骨
第六章 內龍骨、側內厚板、側內龍骨及彎曲部縱通材
第七章 船錨、梁壓材、副梁壓材、梁受板、船側縱通材及內部腰板
第八章 梁及梁ノ配置
第九章 梁曲材
第十章 梁柱
第十一章 外板、舷墻及內張板
第十二章 甲板
第十三章 船首肘材及船尾肘材
第十四章 過當比例ノ船舶
第十五章 甲板口及船側口
第十六章 固著釘及固著法
第十七章 塡絮及船底包板
第十八章 機關室
第十九章 船樓及甲板室
第二十章 檣、帆架及斜檣
第二十一章 通風間隙及淦水路
第二十二章 排水裝置及諸管
第二十三章 操舵機具及揚錨、揚貨、槳船等ノ裝置
第二十四章 油運搬船
附則

第一章 總則

第一條 本令ニ於テ上甲板トハ最上層ノ甲板ヲ謂ヒ第二甲板トハ第二層ノ甲板ヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ重甲板船トハ其ノ上甲板下ニ重量ノ貨物ヲ積載シ得ル船舶ヲ謂フ

本令ニ於テ輕甲板船トハ二層以上ノ甲板ヲ有シ其ノ第二甲板以上ニハ專ラ船員、旅客又ハ輕量ノ貨物ヲ搭載スルニ適スル構造輕裝ナル汽船ニシテ其ノ上甲板上ニハ船首樓、船尾樓又ハ全甲板面積ノ十分ノ一ヲ超ユル船橋樓若ハ甲板室ヲ設置スルニ適セザルモノヲ謂フ

第三條 本令ニ於テ船ノ長サトハ上甲板梁上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ推進器孔ヲ有スル船舶ニ在リテハ舵柱ノ後面迄、之ヲ有セザル船舶ニ在リテハ船尾材ノ後面迄ノ水平距離ヲ謂フ但シ上部突出ノ船首材ヲ有スル船舶ニ付テハ該材下部ノ前面ニ沿ヒ延長シタル直線ヲ以テ船首材ノ前面トシ、外舳ト內舳トヲ併有スル船舶ニ付チハ內舳前面ヲ以テ船首材ノ前面トシ又舵柱ヲ有セズ且舵ヲ船尾材ニ取附ケザル船舶ニ付テハ舵頭ノ中心ヲ以テ舵柱ノ後面トス

本令ニ於テ船ノ幅トハ船體最廣部ニ於テ肋骨ノ外面ヨリ外面迄ノ水平距離ヲ謂フ但シ舷端突出ノ肋骨ヲ有スル船舶ニ付テハ肋骨下部ノ外面ニ沿ヒ延長シタル直線ヲ肋骨ノ外面ト看做ス

本令ニ於テ船ノ深サトハ船ノ長サノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ上甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ垂直距離ヲ謂フ

第四條 本令ニ於テ第一數トハ重甲板船ニ在リテハ船ノ深サト幅ノ二分ノ一トヲ加ヘタル數ヲ謂ヒ輕甲板船ニ在リテハ船側ニ於ケル上甲板梁ノ上面ト第二甲板梁ノ上面トノ中央迄ノ深サト幅ノ二分ノ一トヲ加ヘタル數ヲ謂フ

本令ニ於テ第二數トハ重甲板船ニ在リテハ船ノ長サト幅ト深サトヲ相乘ジタル數ヲ謂ヒ輕甲板船ニ在リテハ長サト幅ト船側ニ於ケル上甲板梁ノ上面ト第二甲板梁ノ上面トノ中央迄ノ深サトヲ相乘ジタル數ヲ謂フ

本條ノ長サ、幅及深サハメートルヲ以テ單位トシ單位下ハ二位ニ止メ第三位ハ四捨五入トス

第五條 本令ハ特ニ定アル場合ヲ除クノ外船ノ長サガ深サノ十倍ヲ超ユルコトナク且幅ノ六倍ヲ超エザル船舶ノ構造ヲ示シ又寸法及箇數ハ最小ノ限度ヲ、距離ハ最大ノ限度ヲ示シタルモノトス

第六條 船ノ長サ三〇メートル以上ノ船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ノ外其ノ長サヲ深サノ十三倍以上ト爲スコトヲ得ズ

第七條 肋骨ノ寸法及心距ハ第一數ニ依リ、船首材、龍骨、船尾材、舵柱、船尾縱翼材、船尾橫翼材、舵心材、舵針、

蝶番、內龍骨、側內厚板、側內龍骨、彎曲部縱通材、船側縱通材、內部腰板、梁受板、副梁受板、梁壓材、副梁壓材、船錨、木甲板、內張板、外板及固著釘等ノ寸法ハ第二數ニ依リ、梁、梁曲材、船首肘材及船尾肘材等ノ寸法ハ船ノ幅ニ依リ之ヲ定ムベシ

第八條 船體各部ノ工事ハ良好且有效ナルコトヲ要ス

第九條 本令ノ規定ニ該當セザル船體ノ構造竝ニ材料及其ノ寸法ハ管海官廳ニ於テ本令ニ定ムルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ本令ニ適合スルモノト看做ス

第十條 管海官廳ハ船舶ノ用途、航路ノ狀況又ハ載貨ノ種類ニ應ジ本令ノ規定ニ拘ラズ船體ノ構造及材料寸法ヲ適當ニ斟酌スルコトヲ得

第十一條 第三級船及第四級船ノ船體ノ構造竝ニ材料及其ノ寸法ハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依ル但シ第百八條、第百十四條及第二十二章ニ規定スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二章 材料

第十二條 船體ノ構造ニ使用スル木材ハ有害ナル節瘤其ノ他ノ缺點ヲ有セズシテ十分乾燥シタルモノナルコトヲ要ス

第十三條 船體ノ構造ニ使用スル曲材ハ天然ノ屈曲材ニシテ木理ノ通リタルモノナルコトヲ要ス

蒸曲ゲ木材ハ仕上後裂疵ナキモノナルコトヲ要ス

第十四條 船體構造材料ノ等級ハ第一號表ニ依ル

本令ニ規定スル縱梁、梁柱、梁下縱通材、檣孔板竝ニ艙口ノ蓋板、縱材及艙口梁ノ寸法ハ乙材ヲ用キタルトキノ寸法トシ艙口緣板、副龍骨、副內龍骨及第百四條ニ規定スル添材內龍骨ノ寸法ハ甲材ヲ用キタルトキノ寸法トス

第十五條 別表ニ揭グル木材ハ第一號表ニ揭グル同一等級ノ他ノ木材ヲ以テ代用スルコトヲ得

別表ニ揭グル木材ノ代リニ第一號表ニ揭グル他ノ等級ノ木材又ハ「チーク」若ハ赤樫ヲ用ウルトキハ左ノ各號ノ規定ニ依ル

一 甲材ノ代リニ乙材ヲ用ウルトキハ百分ノ十、丙材ヲ用ウルトキハ百分ノ二十又丁材ヲ用ウルトキハ百分ノ三十以上其ノ截面積ヲ別表ニ揭グルモノヨリ增スコトヲ要ス

二 乙材ノ代リニ丙材ヲ用ウルトキハ百分ノ十又丁材ヲ用ウルトキハ百分ノ二十以上其ノ截面積ヲ別表ニ揭グルモノヨリ增スコトヲ要ス

三 乙材ノ代リニ甲材ヲ用ウルトキハ百分ノ十以下其ノ截面積ヲ別表ニ揭グルモノヨリ減ズルコトヲ得

四 「チーク」若ハ赤樫ヲ甲材ノ代リニ用ウルトキハ百分ノ十、乙材ノ代リニ用ウルトキハ百分ノ二十以下其ノ截面積ヲ別表ニ揭グルモノヨリ減ズルコトヲ得

第十六條 第一級船ニ在リテハ本令ニ依リ甲材又ハ乙材ヲ使用スベキ場合ニ於テ丙材又ハ丁材ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十七條 鋼材ハ同一寸法ノ鐵材ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第十八條 本令ニ規定スル堅材トハ樫「チーク」、欅、檜、山毛欅、栗、櫻、楠、椋、赤桃、椎、鹽地又ハ之ニ類似ノ木材ヲ謂ヒ柔材トハ栓、栂、松、米松、榧、赤松、桂、姫子松、槇、赤身杉、檜、杉、蝦夷松、樅又ハ之ニ類似ノ木材ヲ謂フ

第三章 龍骨、船首材、船尾材、舵柱、力材、船尾縱翼材、船尾橫翼材及船尾管胴材

第十九條 龍骨、船首材、船尾材及舵柱ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第二十條 龍骨ヲ構成スル各材ノ長サハ船ノ首尾兩端ニ用ウルモノヲ除クノ外一〇・五メートル以上ナルコトヲ要ス

前項ノ長サヨリ短キ材ヲ龍骨ニ使用スルトキハ其ノ下面ニ副龍骨ヲ附スベシ此ノ場合ニ於ケル龍骨ノ深サハ規定ノ深サノ三分ノ二以上、副龍骨ノ深サハ龍骨ノ規定ノ深サノ二分ノ一以上ト爲シ肋骨心距ヨリ大ナラザル心距ニ鍛釘ヲ用キテ相互ニ緊著セシムベシ

前二項ノ規定ハ長サ三〇メートル未滿ノ船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ適當ニ之ヲ斟酌スルコトヲ得

龍骨ニハ龍骨翼板ヲ受クルニ適當ナル溝ヲ穿チ且溝ノ上部ニハ適當ナル緣ヲ殘シ置クベシ

第二十一條 龍骨ノ接手ハ鉤形水平嵌接ト爲スコトヲ要ス但シ嵌接ノ中央ニ大ナル木栓ヲ打込ムトキハ平面水平嵌接ト爲スコトヲ得

龍骨ノ嵌接ハ其ノ長サヲ用材ノ深サノ五倍以上、其ノ端末ノ深サヲ用材ノ深サノ四分ノ一以上ト爲シ其ノ兩端ニ二箇宛、其ノ中間ニ三〇センチメートルノ心距ニ鍛釘ヲ用キテ相互ニ緊著セシムベシ

龍骨ノ嵌接ニハ適當ノ位置ニ浸水ヲ防グ爲水留栓ヲ打込ムベシ

龍骨ノ嵌接ハ副龍骨及龍骨翼板ノ嵌接ト一・五メートル以上相避距セシメ且檣根及艙口ト適當ニ避距セシムベシ

第二十二條 船首材ノ寸法ハ滿載吃水線ヨリ上部ニ至ルニ從ヒ漸次減少シテ其ノ頂上ニ於ケル截面積ハ規定ノ截面積ノ四分ノ三ト爲スコトヲ得

船首材ハ一材ヲ以テ作ルベシ但シ長サ三〇メートル以上ノ船舶ニシテ其ノ船首材ノ嵌接ノ長サヲ用材ノ深サノ三倍半以上ト爲シ且適當ノ副船首材ヲ設クル場合ニ於テハ二材ヲ以テ作ルコトヲ得

船首材ト龍骨トノ嵌接ノ長サハ用材ノ深サノ四倍以上ト爲シ且前條ニ規定スル龍骨ノ嵌接ニ等シキ構造ト爲スベシ

船首材ノ下部屈折セズシテ龍骨ニ衝接スルトキハ筍ニテ相嵌込ミ兩面ニ適當ナル金具ヲ附シ且內部ニ根曲材ヲ設ケ其ノ衝接部ヲ緊著スベシ又接合部ニハ適當ノ位置ニ浸水ヲ防グ爲水留栓ヲ打込ムベシ

第二十三條 車軸孔ヲ有セザル船尾材ハ眞直ナル一材ヲ以テ作リ其ノ上部ヲ上甲板梁ニ固著シ其ノ下部ニ於ケル龍骨トノ固著ハ前條第四項ノ規定ニ依ルベシ

前項ノ船尾材ノ寸法ハ舵頭管ノ下部ヨリ漸次減少シテ其ノ頂上ニ於ケル截面積ハ規定ノ截面積ノ四分ノ三ト爲スコトヲ得

第二十四條 車軸孔ヲ有スル船尾材ハ眞直ナル一材ヲ以テ作リ其ノ上部ヲ上甲板梁又ハ第二甲板梁ニ固著シ其ノ下部ニ於ケル龍骨トノ固著ハ第二十二條第四項ノ規定ニ依ルベシ但シ第二數八〇〇未滿ノ船舶ニ在リテハ根曲材ヲ省略シ船尾材ト龍骨トヲ直接緊著スルモ妨ナシ

前項ノ船尾材ノ車軸孔ノ各側ニ於テハ其ノ截面積ヲ船尾材ノ規定ノ截面積ノ五分ノ三以上ト爲シ其ノ厚サヲ規定ノ厚サノ二分ノ一以上ト爲スベシ

第二十五條 舵柱ハ眞直ナル一材ヲ以テ作リ上甲板迄達セシメ其ノ下部ニ於テハ筍ニテ龍骨ニ嵌込ミ且船尾材、龍骨及舵柱ニ跨ル黃銅製金具ヲ兩面ニ取附ケ三材ノ結合ヲ堅固ナラシムベシ但シ長サ三〇メートル未滿ノ船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ固著方ヲ適當ニ斟酌スルコトヲ得

龍骨ヲ船尾材ニ止ムルトキハ第三號表ニ揭グル龍骨ノ寸法ノ五分ノ一ヨリ小ナラザル厚サヲ有スル黃銅製連結材ヲ設ケ之ヲ船尾材、龍骨及舵柱ニ堅牢ニ固著スベシ

第二十六條 船尾材ト舵柱トハ其ノ上部空間ニ堅材ヲ挿入シ其ノ兩面ニ第三號表ニ揭グル船尾縱翼材ヲ設ケ之ヲ緊著セシムベシ

船尾縱翼材ハ舵柱ノ接面ヨリ上部ニ至ルニ從ヒ其ノ截面積ヲ減ジ其ノ頂上ニ於ケル截面積ハ規定ノモノノ三分ノ二ト爲スコトヲ得

舵柱ヲ有セザル船舶ニ在リテハ前二項ノ規定ニ準ジ船尾縱翼材ヲ設クルカ又ハ船尾材前面ニ船尾橫翼材ヲ設ケ之ヲ船尾材ニ緊著シ且其ノ兩端ヲ橫曲材ヲ以テ船側ニ固著スベシ

船尾橫翼材ハ成ルベク一材ヲ以テ作リ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ルベシ但シ其ノ兩端ニ於ケル截面積ハ規定ノモノノ四分ノ三ト爲スコトヲ得

第二十七條 船首材及船尾材ニハ外板ヲ受クルニ適當ナル溝ヲ穿ツベシ

第二十八條 船ノ首尾ニハ斜肋骨ヲ取附クルニ十分ナル高サ及長サヲ有シ龍骨ノ厚サヨリ小ナラザル厚サヲ有スル力材

ヲ設クベシ

第二十九條 船尾管胴材ハ堅材ヲ以テ作リ其ノ寸法ハ船尾管ノ徑ノ二倍以上ト爲スベシ

船尾管胴材ハ成ルベク上下二材ヲ以テ構成シ孔ノ兩側ニ於テ三〇センチメートルヲ超エザル心距ニ蔽釘ヲ用キテ相互ニ緊著セシムベシ

船尾管胴材上部ニハ堅曲材ヲ設ケ船尾材及管胴材ヲ緊著スベシ

船尾管ノ外面ハ少クトモ其ノ前後部ニ於テハ船尾管胴材及船尾材ノ孔面ニ密接セシムルコトヲ要ス

第四章 舵

第三十條 舵心材ノ徑ハ第三號表ニ依ル

航海速力一時間ニ付十海里以上ノ汽船及船體ノ大サニ比シ特ニ大ナル舵ヲ有スル船舶ノ舵心材ハ適當ニ其ノ徑ヲ增加スベシ

第三十一條 舵心材ハ舵頭迄一材ヲ以テ作リ之ヲ舵材ト緊著セシムベシ

舵材ノ厚サハ之ヲ舵心材ノ厚サト等シクシ其ノ後端ニ至ルニ從ヒ適當ニ其ノ厚サヲ減ズルコトヲ得

舵心材頂部ノ舵柄取附部ハ成ルベク角形ト爲シ且其ノ截面積ヲ適當ニ增加スベシ

舵心材筆先部ノ長サハ舵心材ノ徑ノ二倍半ヨリ大ナルコトヲ要ス

第三十二條 舵針及壺金ノ材料、寸法及蝶番ノ數ハ第三號表ニ依ル

最上ノ蝶番ハ成ルベク舵頭管ニ近ク之ヲ設クベシ

第三十三條 銅及ハ黃銅ノ船底包板ヲ有スル船舶ノ蝶番及舵針ハ黃銅製ナルコトヲ要ス

第五章 肋骨

第三十四條 肋骨ハ天然ノ曲材ヲ以テ構成シ其ノ寸法及心距ハ第二號表ニ依ル

肋骨ノ心距ハ肋骨ノ寸法ヲ規定ノ寸法ヨリ大ト爲ストキハ其ノ寸法ニ應ジ第二號表ニ揭グルモノヨリ大ト爲スコトヲ得

肋骨心距ガ第二號表ニ揭グル肋骨心距ノ一倍四分ノ一ヲ超ユルトキハ適當ノ斜帶板ヲ肋骨外面ニ取附クベシ

第三十五條 肋根材ヲ龍骨ノ上面ニ於テ累接シ長短肢配置ト爲ストキハ船ノ中央部ニ於テハ各肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ五分ノ二以上ト爲シ且累接ノ長サヲ船ノ幅ノ七分ノ一以上ト爲スベシ

第三十六條 肋根材及半肋根材ヲ以テ肋骨ヲ構成スルトキハ船ノ中央部ニ於テハ肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ四分ノ一以

上、半肋根材ノ總長ヲ船ノ幅ノ五分ノ三以上ト爲スベシ
半肋根材ノ衝接ハ龍骨ノ中心線ヲ交互ニ五センチメートル以上左右ニ隔離セシムルコトヲ要ス

第三十七條 長肋根材ト短肋根材トヲ以テ肋骨ヲ構成スルトキハ船ノ中央部ニ於テハ長肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ二分ノ一以上、短肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ七分ノ一以上ト爲シ龍骨ノ上面ニ於テ相累接セシムベシ

第三十八條 二材合セ肋骨ノ肋材衝接ノ避距ハ第一數七以下ノ船舶ニ於テハ船ノ幅ノ八分ノ一以上、第一數七ヲ超ユル船舶ニ於テハ船ノ幅ノ九分ノ一以上ト爲スベシ
肋材ノ衝接ハ總テ密接セシメ木栓ヲ以テ相嵌合セシムベシ
但シ第一數七以下ノ船舶ニ付テハ木栓ヲ省略スルコトヲ得
肋骨ヲ構成スル肋材ハ其ノ衝接ノ兩側ニ於テ敲釘又ハ木釘ヲ以テ他ノ肋材ニ緊著セシメ且衝接ノ中間ニ於テ心距四五センチメートル以内ニ木釘及ハ打込釘ヲ以テ固著セシムベシ

第三十九條 衝接又ハ嵌接シタル單材ヲ以テ肋骨ヲ構成スルトキハ船ノ中央部ニ於テハ肋根材ノ長サヲ船ノ幅ノ五分ノ三以上ト爲シ其ノ他ノ肋材ノ長サヲ船ノ幅ノ三分ノ一以上ト爲スベシ
單材肋骨ノ衝接又ハ嵌接ハ之ヲ其ノ隣接肋骨ノ衝接又ハ嵌接ト船ノ幅ノ七分ノ一以上相避距セシムベシ

單材肋骨ノ衝接部ニハ用材ノ截面積以上ノ截面積ヲ有シ用材ノ深サノ四倍以上ノ長サヲ有スル添材ヲ取附ケ衝接ノ兩側ニ於テ二箇以上ノ敲釘ヲ以テ之ヲ緊著セシムベシ又其ノ嵌接部ハ嵌接ノ長サヲ用材ノ深サノ三倍以上ト爲シ三箇以上ノ敲釘ヲ以テ之ヲ緊著セシムベシ但シ肋根材ヲ龍骨ノ上面ニ於テ衝接又ハ嵌接スルトキハ船ノ幅ノ五分ノ一以上ノ長サヲ有スル添材ヲ設クルコトヲ要ス

第四十條 蒸曲材ヲ以テ肋骨ヲ構成スルトキハ第二號表ニ掲グルモノヨリ其ノ寸法ヲ減ズルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ肋骨ノ心距ヲ適當ニ減ズベシ

第四十一條 船ノ幅ガ深サノ三倍以上ナル船舶ニ於テハ中央部船ノ長サノ三分ノ二間ハ底部肋骨ノ寸法ヲ增加スベシ
船底彎曲部ノ彎曲半徑小ナル船舶ニ於テハ彎曲部肋骨ヲ適當ニ補强スベシ

第四十二條 斜肋骨ノ踵部ハ力材ニ植込ミ敲釘ヲ以テ堅牢ニ緊著セシムベシ

第四十三條 船首肋材及錨鎖孔材ハ各一材ヲ以テ作リ其ノ厚サヲ肋骨ノ厚サノ二倍以上ト爲スベシ
船首材ヨリ錨鎖孔材ノ後方適當ナル距離迄船首肋材、錨鎖孔材及肋骨ノ間隙ニハ塡材ヲ挿入スベシ

第四十四條 船尾肋材ハ其ノ心距ヲ頂部ニ於テ第二號表ニ揭グル心距以下、踵部ニ於テ二分ノ一以下ト爲シ其ノ截面積ヲ踵部ニ於テ規定ノ單材肋骨ノ截面積ノ一倍三分ノ一以上、頂部ニ於テ四分ノ三以上ト爲スベシ
船尾肋材ハ船尾縱桁材又ハ船尾横桁材ニ植込ミ敲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第六章 內龍骨、側內厚板、側內龍骨及彎曲部縱通材

第四十五條 內龍骨、側內厚板及側內龍骨ノ寸法竝ニ彎曲部縱通材ノ厚サハ第三號表ニ依ル

第四十六條 內龍骨ヲ構成スル各材ノ長サハ船ノ首尾兩端ニ使用スルモノヲ除クノ外九メートル以上ナルコトヲ要ス
前項ノ長サヨリ短キ材ヲ以テ內龍骨ヲ構成スルトキハ其ノ上面ニ副內龍骨ヲ附スベシ此ノ場合ニ於ケル內龍骨ノ深サハ規定ノ深サノ三分ノ二以上、副內龍骨ノ深サノ二分ノ一以上ト爲シ肋骨心距ヨリ大ナラザル心距ニ敲釘ヲ用キテ相互ニ緊著セシムベシ
前二項ノ規定ハ長サ三〇メートル未滿ノ船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ適當ニ之ヲ斟酌スルコトヲ得

第四十七條 內龍骨ノ嵌接ハ水平嵌接ト爲シ其ノ長サハ用材ノ深サノ五倍以上、其ノ端末ノ深サハ四分ノ一以上ト爲シ其ノ兩端ニ二箇宛、其ノ中間ニ三〇センチメートルノ心距ニ敲釘ヲ用キテ相互ニ緊著セシムベシ
內龍骨ノ嵌接ハ龍骨及副內龍骨ノ嵌接ト一・五メートル以上相避距セシメ又機關ト適當ニ避距セシムベシ

第四十八條 內龍骨ト船ノ首尾ニ於ケル力材トハ二肋骨心距以上相累ネ龍骨迄貫通スル敲釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ

第四十九條 檣ハ檣座ニ嵌込ミ直接內龍骨ニ嵌込ムコトヲ得ズ

第五十條 側內厚板ハ成ルベク肋根材ト第一肋材トノ接合部ニ之ヲ設クベシ

第五十一條 側內龍骨ハ第二數四五〇以上ノ船舶ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ船ノ首尾兩端ニ於テハ適當ニ減少スルコトヲ得
側內龍骨ノ嵌接ノ長サハ用材ノ深サノ四倍以上ト爲シ四箇以上ノ敲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第五十二條 船底彎曲部ニハ船ノ首尾ニ通ズル彎曲部縱通材ヲ設ケ其ノ各側ニ於ケル總幅ハ船ノ幅ノ六分ノ一以上ト爲スベシ但シ船ノ首尾ニ於テハ總幅ヲ適當ニ減ズルコトヲ得

第五十三條 側內厚板及彎曲部縱通材ノ嵌接ノ長サハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲シ成ルベク三箇以上ノ敲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第七章 船艙、梁壓材、副梁壓材、梁受板、副梁受板、船側縱通材及內部腰板

第五十四條　船鍔ハ船ノ長サ二〇メートル以上ノ船舶ニ之ヲ設クベシ但シ第二數四五〇未滿ノ船舶ニ於テハ梁壓材ノ幅ヲ第三號表ニ揭グルモノノ一倍半以上ト爲シ之ヲ船鍔ニ兼用スルモ妨ナシ

第五十五條　船鍔ノ厚サハ第三號表ニ依リ其ノ幅ハ外板及梁壓材ニ固着スル二十分ナルモノト爲スコトヲ要ス　船鍔ヲ貫キテ舷墻柱ヲ設クルトキハ船鍔ハ二材ヲ以テ構成スルコトヲ得

第五十六條　梁壓材ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル但シ艙梁ニ設クルモノハ同表ニ揭グル二段上級ノモノト爲スコトヲ要ス　梁トノ接面ニ於ケル梁壓材ノ幅ハ第四號表ニ揭グル梁ノ幅以上ナルコトヲ要ス

第五十七條　副梁壓材ハ第二數八〇〇以上ノ船舶ノ各層甲板梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第五十八條　梁受板ハ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル但シ艙梁ニ設クルモノハ同表ニ揭グル二段上級ノモノト爲スコトヲ要ス

第五十九條　副梁受板ハ第二數三七五ヲ超ユル船舶ノ各層梁ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十條　船側縱通材ハ船ノ長サノ中央ニ於テ最下層梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ深サノ十分ノ九ト爲スコトヲ得

設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十一條　內部腰板ハ第二甲板梁又ハ艙梁ノ梁壓材上ニ之ヲ設ケ其ノ寸法ハ第三號表ニ依ル

第六十二條　船鍔、梁壓材、副梁壓材、梁受板、副梁受板、船側縱通材及內部腰板ノ嵌接ノ長サハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲シ三箇以上ノ鋲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ但シ副梁壓材、副梁受板及內部腰板ノ嵌接ニ付テハ鋲釘ノ代リニ打込釘ヲ用ウルコトヲ得

前項ニ揭グル各材ノ嵌接ハ適當ニ相互ニ避距セシムベシ

第八章　梁及梁ノ配置

第六十三條　甲板梁及艙梁ノ寸法ハ第四號表ニ依ル但シ輕甲板船ノ甲板梁ノ寸法ハ同表ニ揭グル二段下級ノモノ迄減ズルコトヲ得

船ノ首尾ニ於テ甲板ノ幅ガ中央部ニ於ケル船ノ幅ノ四分ノ三ヨリ小ナル部分ニ附スル梁ハ其ノ截面積ヲ前項ニ揭グルモノノ四分ノ三迄減ズルコトヲ得

第六十四條　甲板梁ノ心距ハ肋骨心距ノ二倍ト爲スベシ但シ一二〇センチメートルヲ超過スルコトヲ得ズ

第六十五條　梁ハ其ノ中央ヨリ兩端ニ至ルニ從ヒ漸次其ノ深サヲ減少シテ梁端ニ於テハ中央ノ深サノ十分ノ九ト爲スコトヲ得

第六十六條　上甲板梁ノ梁矢ハ梁ノ長サノ五十分ノ一、第二甲板梁ノ梁矢ハ梁ノ長サノ百分ノ一ト爲スベシ

第六十七條　各層ニ於ケル梁ハ成ルベク肋骨ノ位置ニ設ケ肋骨ニ密接セシメ且梁受板上ノ鳩尾形溝ニ嵌込ムベシ　各層ニ於ケル梁ハ上下相累ネテ之ヲ設クベシ

第六十八條　甲板口ノ端梁ノ截面積ハ甲板梁ノ規定ノ截面積ニ左ノ係數ヲ乘ジタルモノト爲スベシ但シ機關室口ノ端梁ノ寸法ハ第四號表ニ揭グル艙梁ノ寸法以上ナルコトヲ要ス

甲板口ノ長サ（米）	係數
二・五　未滿	一・一
二・五以上三・五未滿	一・二
三・五以上四・五未滿	一・四

甲板口ノ位置ニ特設梁ヲ設ケタル場合ニ於テハ甲板口ノ端ヨリ特設梁迄ノ距離ヲ甲板口ノ長サニ充テ前項ノ規定ヲ適用スベシ

艙ノ前後ノ梁ノ截面積ハ甲板梁ノ規定ノ截面積ノ一・一倍ト爲スベシ

機關室口ノ端梁ハ堅材ナルコトヲ要ス

第六十九條　甲板口ノ兩側ニ設クル半梁ノ截面積ハ甲板梁ノ四分ノ三ト爲シ其ノ心距ハ甲板梁ノ心距ニ等シク爲スベシ但シ船ノ幅ノ四分ノ一以下ノ長サヲ有スル半梁ノ寸法ハ適當ニ之ヲ減ズルコトヲ得

第七十條　甲板口及艙孔ノ兩側ニハ縱梁ヲ設クベシ　縱梁ノ截面積ハ甲板梁ノ規定ノ截面積ニ左ノ係數ヲ乘ジタルモノト爲スベシ

縱梁ノ長サ（米）	係數
二・五　未滿	〇・八
二・五以上三・五未滿	一・〇
三・五以上四・五未滿	一・二

機關室口ノ縱梁ハ堅材ナルコトヲ要ス

第七十一條　船ノ長サノ中央ニ於テ最下甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ深サガ四メートル以上五メートル未滿ナル船舶ニ於テハ船ノ長サノ中央部二分ノ一間ハ上甲板梁一本置ニ艙梁ヲ設クベシ

前項ノ深サガ五メートル以上ナル船舶ニ付テハ船ノ首尾ヲ通ジ上甲板梁一本置ニ艙梁ヲ設クベシ

第七十二條　前條第一項ノ船舶ニ在リテハ船ノ長サノ中央部二分ノ一間ニ於テ船側肋骨、船底肋骨及甲板梁ノ截面積ヲ規定ノ截面積ノ五分ノ一以上、彎曲部肋骨ノ截面積ヲ規定ノ截面積ノ三分ノ一以上增加シ且第六十條ニ規定スル船側

縦通材ノ截面積ヲ艙梁ノ規定ノ截面積以上ト爲ストキハ艙梁ヲ設ケザルモ妨ナシ

前條第二項ノ船舶ニ在リテ船ノ全長ニ亘リ前項ノ補強ヲ爲ストキハ艙梁ヲ設ケザルモ妨ナシ

前二項ノ船側縦通材ノ嵌接ノ長サハ用材ノ幅ノ四倍以上ト爲シ四箇以上ノ鋲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第七十三條 艙口、機關室等ノ部分ニ於テ本章ノ規定ニ依リ梁ヲ配置スルコト能ハザルトキハ適當ノ補強構造ヲ爲スベシ

揚錨機、斜檣等ヲ支フル梁ハ其ノ寸法ヲ適當ニ增加スベシ

第九章 梁曲材

第七十四條 各層甲板梁ニハ梁毎ニ第四號表ニ揭グル竪梁曲材ヲ取附クベシ但シ船ノ幅五メートル未滿ノ船舶ニ付テハ竪梁曲材ノ寸法ヲ同表ニ揭グル二段上級ノモノト爲ストキハ甲板梁一本置ニ之ヲ取附クルコトヲ得

甲板口端梁ニ附スル竪梁曲材ハ梁ノ寸法ニ應ジ適當ニ其ノ寸法ヲ增スコトヲ要ス

轉甲板船ノ甲板梁ニ附スル竪梁曲材ノ寸法ハ第四號表ニ揭グル二段下級ノモノニ迄減ズルコトヲ得

第七十五條 艙梁ニハ梁毎ニ第四號表ニ揭グル三段上級ノ竪梁曲材ヲ取附クベシ

第七十六條 竪梁曲材ノ代リニ鋼製肘板及山形材ヲ用ウルトキハ其ノ寸法ハ第四號表ニ依ル但シ梁腕及側腕ニ於ケル山形材ノ長サハ竪梁曲材ノ腕ノ長サト等シクスベシ

第七十七條 檣孔前後ノ梁又ハ長サ二・五メートルヲ超ユル甲板口ノ縦梁及端梁ノ兩端ニハ横梁曲材ヲ取附クベシ

機關室口及長サ三・五メートルヲ超ユル艙口ノ端梁ニハ其ノ兩面ニ前項ノ横梁曲材ヲ設クベシ

横梁曲材ノ厚サ及幅ハ第四號表ニ揭グル竪梁曲材ノ厚サ及幅ノ四分ノ三以上ト爲スベシ

第七十八條 甲板口ノ兩側ニ設クル半梁ハ竪梁曲材ヲ以テ之ヲ船側ニ固著セシムルノ外其ノ兩端ニハ横梁曲材ヲ設ケ之ヲ船側及縦梁ニ固著セシムベシ但シ船ノ幅ノ四分ノ一以下ノ長サヲ有スル半梁ニ於テハ竪梁曲材ハ之ヲ梁毎ニ附セザルモ妨ナク又長サ二・五メートル未滿ノ甲板口ニ於ケル半梁ニ付テハ管海官廳ニ於テ横梁曲材ノ取附ヲ適當ニ斟酌スルコトヲ得

第七十九條 肋骨間ニ於テ竪梁曲材ヲ固著セシムルトキハ該部ニ填材ヲ挿入スベシ

第十章 梁柱

第八十條 梁柱ハ梁毎ニ之ヲ設クベシ但シ船ノ首尾ニ於テ上甲板ノ幅ガ船ノ幅ノ二分ノ一以下ナル部分ニ設クル梁ニハ之ヲ設ケザルモ妨ナシ

上層梁ニ梁柱ヲ設クルトキハ下層ノ梁ニモ亦之ヲ設クベシ

第八十一條 甲板梁ノ規定ノ截面積以上ノ截面積ヲ有スル梁下縦通材ヲ設ケ且梁柱ノ截面積ヲ第八十三條ニ依ルモノノ一倍半ト爲ストキハ梁一本置ニ梁柱ヲ省略スルコトヲ得

前項ノ梁下縦通材ノ接手ハ嵌接ト爲スコトヲ要シ其ノ長サハ用材ノ深サノ三倍以上ト爲スベシ

第八十二條 船ノ幅五メートル未滿ノ船舶ニ於テハ梁及之ニ附スル竪梁曲材ノ寸法ヲ表ニ揭グル三段上級ノモノト爲ストキハ梁柱ヲ設ケザルモ妨ナシ

第八十三條 艙内ニ於ケル木製梁柱ノ各邊ノ寸法ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$S=15(N+2)$$

S ハ各邊ノ寸法（ミリメートルニテ）

N ハ第一數

鐵製中實梁柱ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d=6(N+1)$$

d ハ徑（ミリメートルニテ）

N ハ第一數

甲板間ノ梁柱ノ截面積ハ前二項ノ規定ニ依ルモノノ四分ノ三ト爲スコトヲ得

之ヲ設ケザルモ妨ナシ

第八十四條 梁ノ心距ガ規定ノモノヨリ大ナルトキハ梁柱ノ寸法ハ前條ノ規定ニ依ルモノヨリ適當ニ其ノ寸法ヲ增加スベシ

第八十五條 梁柱ガ木製ナルトキハ適當ナル金具ヲ以テ又鐵製ナルトキハ二個以上ノ螺釘又ハ捻込釘ヲ以テ十分ニ其ノ兩端ヲ固著セシムベシ

第八十六條 甲板室、斜檣、揚錨機及揚貨機等ヲ支フル梁其ノ他必要ノ箇所ニハ特ニ梁柱ヲ設クベシ

第十一章 外板、舷墻及内張板

第八十七條 外板、外部腰板、舷側厚板及龍骨翼板ノ寸法ハ第三號表ニ依ル但シ船ノ首尾兩端ニ於テ船ノ長サノ五分ノ一間ハ車軸覆板ノ附近ニ於ケル外板ヲ除キ漸次其ノ厚サヲ減ジ船ノ首尾ニ在リテハ同表ニ揭グル寸法ノ十分ノ八ト爲スコトヲ得

第八十八條 外板、外部腰板、舷側厚板及龍骨翼板ノ長サハ船ノ首尾兩端ニ用ウルモノヲ除クノ外五・五メートル以上ト爲シ外板及外部腰板ノ幅ハ三〇センチメートル以下ト爲スベシ

第八十九條 外板、外部腰板、舷側厚板及龍骨翼板ノ横縁ハ上下ニ隣接スルトキハ三肋骨心距以上、一條ヲ隔ツルトキハ二肋骨心距以上、二條ヲ隔ツルトキハ一肋骨心距以上相

五ニ避距セシムルコトヲ要シ又三條ヲ隔ツルニ非ザレバ同一ノ肋骨上ニ之ヲ置クコトヲ得ズ但シ船ノ首尾兩端ニ於テハ之ヲ適用セザルコトヲ得

第九十條 龍骨翼板ノ兩舷ニ於ケル橫緣ハ相互ニ三肋骨心距以上且龍骨ノ嵌接ト一●五メートル以上避距セシムベシ

龍骨翼板ノ橫緣ハ嵌接ト爲スコトヲ要シ其ノ長サハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲シ三箇以上ノ鋲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ但シ長サ三〇メートル未滿ノ船舶ニ於ケル龍骨翼板ノ嵌接ニ付テハ鋲釘ノ代リニ龍骨迄達スル長サヲ有スル打込釘ヲ用ウルコトヲ得

第九十一條 外部腰板ハ吃水線附近ニ取附ケ其ノ總幅ハ左表ニ依ル

船ノ長サノ深サニ對スル割合	外部腰板ノ總幅ト船ノ深サトノ割合
六倍以下	百分ノ二十五
六倍ヲ超エ八倍以下	百分ノ三十
八倍ヲ超エ十倍以下	百分ノ三十五
十倍ヲ超ユルトキ	百分ノ四十

第九十二條 舷側厚板ハ其ノ幅三〇センチメートルヲ超ユルトキハ二材ヲ以テ之ヲ構成スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ各材ハ肋骨ノ間ニ於テ二肋骨心距ヨリ大ナラザル心距

ニ鋲釘ヲ用キテ相互ニ緊著セシムベシ

舷側厚板ノ橫緣ハ梁壓材及梁受板ノ嵌接ト適當ニ避距セシムベシ

舷側厚板ノ橫緣ハ嵌接ト爲スコトヲ要シ其ノ長サハ用材ノ幅ノ三倍以上ト爲シ三箇以上ノ鋲釘ヲ以テ相互ニ緊著セシムベシ

第九十三條 重甲板船ノ暴露上甲板ニハ適當ナル高サヲ有スル舷墻ヲ設クベシ

前項ノ舷墻ハ之ヲ堅牢ニ構造シ若シ舷門ヲ設クル爲之ヲ切斷スルトキハ其ノ兩側ノ舷墻柱ヲ適當ニ補强スベシ

第九十四條 內張板ノ厚サハ第三號表ニ依ル但シ船ノ首尾兩端ニ於テハ同表ニ揭グル厚サノ十分ノ八ト爲スコトヲ得

第十二章 甲板

第九十五條 木甲板ノ厚サハ第三號表ニ依ル

木甲板ノ幅ハ二五センチメートルヲ超ユルコトヲ得ズ又其ノ端末ニ於ケル幅ハ塡絮ヲ施スニ十分ナルコトヲ要ス

木甲板ノ長サハ五●五メートル以上ト爲スベシ但シ船ノ首尾兩端及甲板口間ニ於ケルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第九十六條 木甲板ノ橫緣ハ相隣接スル木甲板ニ付テハ梁心距ノ二倍以上相互ニ避距セシムルコトヲ要シ又木甲板三條ヲ隔ツルニ非ザレバ同一ノ梁上ニ之ヲ置クコトヲ得ズ

第九十七條 船口、機關室口其ノ他大ナル甲板口ガ相接近スルトキハ該口間ノ木甲板ハ其ノ厚サヲ適當ニ增加シ之ヲ特ニ堅牢ニ梁ト固著セシムベシ

第九十八條 揚錨機、揚貨機、繫船機具等ノ下部ニ於ケル甲板ニハ適當ナル補强構造ヲ爲スベシ

第十三章 船首肘材及船尾肘材

第九十九條 最下層梁ノ下方ニ於テハ左表ニ定ムル數ノ船首肘材及船尾肘材ヲ設ケ層梁間ニ於テハ一箇以上ノ船首肘材ヲ設クベシ

種類		船ノ長サノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ最下層梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ垂直距離	
船首肘材ノ數	船尾肘材ノ數		
一箇	一	一●五メートル以下ノトキ	每一メートル以內ノ距離ニ一箇
二箇	一	一●五メートルヲ超エ三メートル以下ノトキ	
三箇	一	三メートルヲ超エ四メートル以下	
四箇	二	四メートルヲ超エ五メートル以下	
四箇	三	五メートルヲ超ユルトキ	

第百條 船首肘材及船尾肘材ノ寸法ハ第四號表ニ依ル

第百一條 各層梁受板ノ端末ニハ別ニ肘材ヲ設クベシ

第百二條 船首肘材及船尾肘材ハ成ルベク縱通材ノ位置ニ之ヲ設ケ下部ニ用ウルモノハ其ノ部分ニ於ケル內張板ニ四五度ノ角度ヲ以テ交叉セシムベシ

第十四章 過當比例ノ船舶

第百三條 本章ニ於テ過當比例ノ船舶トハ其ノ長サガ深サノ十倍ヲ超エルカ又ハ幅ノ六倍ヲ超ユル船舶ヲ謂フ

第百四條 過當比例ノ船舶ニハ其ノ長サト深サ又ハ長サト幅トノ割合ニ依リ左表ニ從ヒ上部ニ於テハ梁壓材及舷側厚板ノ截面積ヲ增シ下部ニ於テハ內龍骨若ハ側內龍骨ノ截面積ヲ增シ又ハ內龍骨ノ兩側ニ添材內龍骨ヲ增設スベシ

長サト深サ又ハ幅トノ比		梁壓材ノ增加スベキ截面積ト梁壓材ノ截面積トノ割合	舷側厚板ノ增加スベキ截面積ト舷側厚板ノ截面積トノ割合	內龍骨ノ截面積若ハ兩側ノ側內龍骨ノ合計截面積ノ增加スベキ截面積ト內龍骨又ハ兩側ニ增設スベキ添材內龍骨ノ合計截面積トノ割合
長サガ深サノ十倍ヲ超エ十一倍以下又ハ幅ノ六倍ヲ超エ七倍以下	百分ノ十五	百分ノ十五	百分ノ二十五	
長サガ深サノ十一倍ヲ超エ十二倍以下又ハ幅ノ七倍ヲ超エ八倍以下	百分ノ三十	百分ノ三十	百分ノ五十	
長サガ深サノ十二倍ヲ超ユルカ又ハ幅ノ八倍ヲ超ユルモノ	百分ノ五十	百分ノ五十	百分ノ八十	

第百五條　第二數八〇〇ヲ超ユル過當比例ノ船舶ニ付テハ船ノ首尾ヲ通ジ鋼製斜帶板ヲ肋骨ノ外面ニ取附クベシ

前項ノ斜帶板ノ幅ハ肋骨心距ノ六分ノ一以上ト爲シ其ノ厚サハ幅ノ八分ノ一以上ト爲スベシ

第百六條　斜帶板ハ肋骨ニ四五度ノ角度ニ取附ケ船首ニ於テハ其ノ頭部ヲ後方ニ向ハシメ船尾ニ於テハ之ヲ前方ニ向ハシムル樣配置シ船鍔ノ下部ヨリ肋根材迄達セシメ其ノ心距ハ左表ニ依ル

長サト深サ又ハ幅トノ比	心距（糎）
長サガ深サノ十倍ヲ超エ十一倍以下又ハ幅ノ六倍ヲ超エ七倍以下	二四〇
長サガ深サノ十一倍ヲ超エ十二倍以下又ハ幅ノ七倍ヲ超エ八倍以下	二一〇
長サガ深サノ十二倍ヲ超ユルカ又ハ幅ノ八倍ヲ超ユルモノ	一八〇

第百七條　斜帶板ハ船ノ中央部ニ於テハ三本以上相交叉セシメ其ノ交叉部ハ板ノ厚サノ二倍以上ノ徑ヲ有スル鋲釘一箇ヲ以テ固著セシムベシ

斜帶板ノ累接部ハ累接ノ長サヲ板ノ幅以上ト爲シ板ノ厚サノ二倍以上ノ徑ヲ有フル鋲釘二箇以上ヲ以テ固著セシムベシ

第十五章　甲板口及船側口

第百八條　暴露甲板ニ設クル艙口、機關室口、載炭口、出入口、天窓、通風器等ノ諸口及甲板口ヲ蔽圍スル甲板室ニハ緣材ヲ設ケ其ノ甲板上ノ高サハ左表ニ依ルベシ但シ第三級船ノ上甲板ニ設クル大ナル艙口ニ於テ挿板等ヲ以テ之ヲ蔽圍スル構造ト爲スモノニ付テハ其ノ水密裝置適當ナラザル限リ艙口緣材ノ甲板上ノ高サヲ四五センチメートル以上ト爲スベシ

船舶ノ種別 ／ 甲板ノ種類	第一級船又ハ長サ六〇メートルヲ超ユル第二級船	第三級船
重甲板船ノ上甲板	四五糎	三〇糎
輕甲板船ノ上甲板、低船首樓甲板及低船尾樓甲板	三〇糎	二三糎
船樓甲板（低船首樓甲板及低船尾樓甲板ヲ除ク）	二三糎	一五糎
	一五糎	一〇糎

第百九條　帆船ニ付テハ上甲板及檣ヲ楔止ト爲ス甲板ニ於ケル檣ノ前後ノ梁ノ間ニハ檣ノ兩側ニ縱梁ヲ設ケ塡材及橫梁曲材ヲ以テ固メ且其ノ上面ニ甲板ノ厚サノ一倍三分ノ一ノ厚サト檣徑ノ二倍ヨリ少カラザル幅トヲ有スル檣孔板ヲ設クベシ但シ小ナル檣孔ニ付テハ管海官廳ニ於テ適當ニ斟酌スルコトヲ得

第百十條　長サ二〇五メートル以上ノ艙口ニハ中央ニ堅牢ナル取外シ得ベキ梁ヲ設ケ縱梁ニ堅固ニ取附ケラレタル堅材ノ受臺ニ嵌込ムベシ

長サ三〇五メートル以上ノ艙口ニハ前項ノ梁ノ代リニ第四號表ニ揭グル艙梁ノ寸法以上ノ寸法ヲ有スル特設梁ヲ設ケ其ノ兩端ハ堅梁曲材一箇及橫梁曲材二箇ヲ以テ之ヲ船側ニ固著セシムベシ

長サ四〇五メートルヲ超ユル艙口又ハ船ノ幅ノ三分ノ一ヲ超ユル幅ヲ有スル艙口ニ在リテハ管海官廳ノ適當ト認ムル方法ニ依リ船體ノ强力ヲ補强スベシ

第百十一條　艙口ニハ蓋板ヲ備ヘ縱材又ハ艙口梁ヲ以テ之ヲ支フル裝置ト爲スベシ

艙口ノ縱材又ハ艙口梁ノ心距ハ一〇五メートル以內ト爲シ表ニ揭グル緣材ノ高サノ三分ノ一以上ト爲スベシ但シ緣材ノ實際ノ高サノ五分ノ一ヨリ小ナラズ且七センチメートルヨリ小ナラザルコトヲ要ス

縱材又ハ艙口梁ノ長サ（米）	縱材又ハ艙口梁ノ心距	
	一〇五メートル以下ノトキ	一メートル以下ノトキ
一〇五	一三糎角	一一糎角
二〇五	一八糎角	一六糎角
三〇五	二二糎角	二〇糎角
四〇五	二六糎角	二三糎角

其ノ兩端ハ緣材ニ堅牢ニ取附ケラレタル堅材ノ受臺ニ嵌込ムベシ

蓋板ノ厚サハ支點間ノ間隔一メートルニ付三〇五センチメートルト爲スベシ但シ三〇五センチメートルヨリ小ナルコトヲ得ズ

縱材又ハ艙口梁ノ寸法ハ其ノ長サニ應ジ左表ニ依リ之ヲ定ムベシ

第百十二條　暴露甲板ノ艙口緣材ノ外面ニハ七五センチメートル未滿ノ船舶又ハ輕甲板船ノ上甲板、低船首樓甲板及低船尾樓甲板ニ於ケル艙口ノ蓋板、縱材又ハ艙口梁ノ寸法ハ前二項ニ依ルモノノ十分ノ八ト爲スコトヲ得

トル以内ノ心距ニ及船口ノ四隅ヨリ二〇センチメートルヲ超エザル距離ニ堅牢ナル帶金受ヲ取附ケ覆布、帶金又ハ帶板及楔ヲ以テ密閉シ得ベキ裝置ト爲スベシ但シ小ナル船口ノ密閉裝置ハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依ル

近海以上ノ航行區域ヲ有スル總噸數一五〇噸以上ノ船舶ノ暴露セル各船口ニハ船口覆布試驗規程ニ依ル甲種覆布二枚ヲ備ヘ且船口ノ長サ三メートル以上ナルトキハ適當ナル壓材ヲ以テ之ヲ締附クル裝置ヲ備フベシ

第百十三條 長サ三・五メートル以上ノ機關室口ノ中央ニハ第四號表ニ揭グル艙梁ノ寸法以上ノ寸法ヲ有スル堅材ノ特設梁ヲ設ケ其ノ兩端ハ堅梁曲材一箇及橫梁曲材二箇ヲ以テ之ヲ船側ニ固著セシムベシ

長サ四・五メートルヲ超ユル機關室口又ハ船ノ幅ノ三分ノ一ヲ超ユル幅ヲ有スル機關室口ニ在リテハ管海官廳ノ適當ト認ムル方法ニ依リ船體ノ强力ヲ補强スベシ

第百十四條 機關室口ハ成ルベク小サク之ヲ作リ其ノ周圍ニハ緣材ヲ取附ケ甲板間ニ圍壁ヲ設クベシ

暴露甲板ニ設クル機關室口ハ左表ニ揭グル甲板上ノ高サヲ有スル堅牢ナル圍壁ヲ以テ之ヲ蔽圍スベシ但シ小ナル機關室口ニ付テハ管海官廳ニ於テ圍壁ノ高サヲ適當ニ斟酌スルコトヲ得

船舶ノ種別 / 甲板ノ種類	第一級船又ハ長サ六〇メートル以下ノ第二級船	長サ六〇メートルヲ超ユル第二級船	第三級船
重甲板船ノ上甲板	一五〇糎	一二〇糎	六〇糎
輕甲板船ノ上甲板、低船首樓甲板及低船尾樓甲板	一二〇糎	九〇糎	六〇糎
船樓甲板（低船首樓甲板及低船尾樓甲板ヲ除ク）	六〇糎	—	—

暴露甲板ニ設クル機關室口ノ圍壁ニハ第百八條第一項ニ規定スル緣材ノ高サ以上ノ高サニ於テ出入口ヲ設クルコトヲ得但シ之ヲ設ケタルトキハ堅牢ナル戸ヲ備フベシ

第百十五條 機關室口圍壁ノ頂部ニハ天窓ヲ設クベシ

前項ノ天窓ニハ緣材ヲ設ケ且適當ナル覆蓋ヲ備フベシ

汽罐室圍壁ノ頂部ニ開口ヲ設クルトキハ蝶番ヲ以テ固著シタル鋼製ノ蓋板ヲ備フベシ

第百十六條 暴露甲板ニ設クル載炭口其ノ他ノ諸口ニハ覆蓋、覆布及適當ノ締具ヲ備フルカ其ノ他水密トナルベキ裝置ヲ備フベシ

暴露甲板ニ設クル通風器ニハ有效ナル閉鎖裝置ヲ備フベシ

第百十七條 船側ニ載貨門又ハ載炭門其ノ他大ナル開口ヲ設クルトキハ其ノ周圍ニハ適當ノ補强構造ヲ爲シ其ノ枠ハ堅

材ヲ使用シ其ノ戸ハ堅牢ニ作リ適當ノ締具ヲ備ヘ閉鎖シタルトキ水密トナルベキ構造ト爲スベシ

第百十八條 船側口ハ舷側厚板、梁受板、副梁受板及內部腰板ヲ切缺ギテ之ヲ設クルコトヲ得ズ但シ特ニ相當ノ補强構造ヲ爲ストキハ此ノ限ニ在ラズ

第百十九條 滿載吃水線ヲ標示スル船舶ノ上甲板下ニ設クル舷窓ニシテ海水ニ於ケル最高滿載吃水線ヨリ一五センチメートル未滿ノ箇所ニ其ノ下緣ヲ有スルモノハ舷窓試驗規程ニ適合スル甲種舷窓又ハ之ト同等以上ノモノヲ又海水ニ於ケル最高滿載吃水線ヨリ一二二センチメートル未滿ノ箇所ニ下面ノ最低點ヲ有スル甲板ノ下方ニ設クル舷窓ハ同規程ニ適合スル乙種舷窓又ハ之ト同等以上ノモノナルコトヲ要ス

第十六章　固著釘及固著法

第百二十條 堅梁曲材ニ用ウル固著釘ノ徑ハ第四號表ニ依リ其ノ他重要ナル部分ニ用ウル固著釘ノ徑ハ第五號表ニ依ル但シ用材ノ寸法ガ規定ノ寸法ヨリ大ナルトキハ固著釘ノ徑ヲ適當ニ增加スベシ

打込釘ノ徑ハ第五號表ニ揭グル敲釘ノ徑ヨリ三ミリメートル減ジタルモノト爲スコトヲ得

圓釘ノ代リニ角釘ヲ用ウルトキハ其ノ邊ハ圓釘ノ徑ノ十分ノ九ト爲スベシ

敲釘ヲ打込ムベキ釘孔ノ徑ハ釘徑ヨリ一・五ミリメートル以上小ナルモノト爲スベシ

敲釘ハ總テ同金屬ノ座金ノ上ニテ敲著セシムベシ

螺釘ハ敲釘ノ代リニ之ヲ用ウルコトヲ得

第百二十一條 打込釘ノ長サハ固著スベキ材料ノ厚サニ應ジ成ルベク長キモノヲ用ウベシ

板ヲ肋骨又ハ梁等ニ固著スル打込釘ノ長サハ板ノ厚サノ二倍四分ノ一以下ト爲スベシ

第百二十二條 木釘ヲ用ウルトキハ其ノ兩端ハ固著セラルル用材ノ木理ニ直角ノ方向ニ之ヲ切開シテ楔止ト爲スベシ但シ外板及外部腰板ヲ固著スル木釘ノ外端ハ楔止ノ代リニ塡梨ヲ施スベシ

頭部ヲ三ミリメートル以上太メタル勾配木釘ヲ用ウルトキハ其ノ頭端ニ付テハ前項ノ施工ヲ爲スコトヲ要セズ

木釘ハ固著セラルル用材ノ厚サノ和ヨリ適當ニ長キモノヲ使用スベシ

木釘ヲ打込ムベキ孔ノ徑ハ釘徑ヨリ一ミリメートル以上小ナルモノト爲スベシ

第百二十三條 銅又ハ黃銅ノ船底包板ヲ施スベキ外板等ノ固著釘ニ鋼又ハ亞鉛鍍鋼ヲ使用スルトキハ其ノ頸部ニ塡梨ヲ卷附ケタル儘之ヲ打込ミ且其ノ頭部ヲ緊密ニ打込ミタル木栓等ヲ以テ保護スベシ

外板及甲板等水密ヲ要スル場所ニ使用スル鋲釘又ハ打込釘ニ付テハ前項ニ該當セザルモノト雖モ成ルベク前項ノ施工ヲ爲スベシ

第百二十四條 船ノ首尾ニ於ケル力材又ハ內龍骨ト船首材、船尾材又ハ龍骨トハ此等ヲ貫通スル鋲釘ヲ以テ四五センチメートル以內ノ心距ニ於テ固著セシムベシ但シ內龍骨ト力材トガ相累接スル箇所ニ於テハ鋲釘ハ內龍骨ヲ貫通セシムルコトヲ要ス

舵柱ハ推進器孔ノ上部ニ於テ四五センチメートル以內ノ心距ニ船尾材迄貫通スル鋲釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ

第百二十五條 舵心材ト剞材トハ四五センチメートル以內ノ心距ニ鋲釘ヲ以テ固著セシムベシ

第百二十六條 肋骨ハ打込釘ヲ以テ之ヲ龍骨ニ固著セシムベシ

第百二十七條 龍骨ト內龍骨トハ肋骨毎ニ肋骨ヲ貫通スル鋲釘ヲ以テ固著セシムベシ

第百二十八條 側內厚板ハ肋骨毎ニ鋲釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ

第百二十九條 側內龍骨ハ肋骨毎ニ鋲釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ

第百三十條 彎曲部縱通材ハ其ノ幅一五センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ鋲釘ヲ以テ、幅一五センチメートルヲ超ユルトキハ肋骨毎ニ鋲釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ但シ其ノ幅二〇センチメートルヲ超ユルトキハ肋骨毎ニ用ウベキ固著釘ノ數ヲ適當ニ增加スベシ

前項ノ鋲釘ハ外板迄貫通スルコトヲ要ス

第百三十一條 梁受板及副梁受板ハ肋骨毎ニ鋲釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ

梁受板ノ鋲釘ハ外板迄貫通スルコトヲ要ス

第百三十二條 梁壓材ノ固著ハ左ノ各號ノ規定ニ依ル

一　肋骨トノ固著　船鍔ニ兼用セザル梁壓材ハ肋骨毎ニ梁壓材、肋骨及外板ヲ貫通スル鋲釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ但シ第二甲板又ハ艙梁ニ於ケル梁壓材ノ鋲釘ハ外板ヲ貫通セザルモ妨ナシ

二　梁トノ固著　梁壓材ハ梁毎ニ打込釘ヲ以テ之ヲ梁ニ固著セシムベシ

三　梁受板トノ固著　船鍔ニ兼用スル梁壓材又ハ第二甲板若ハ艙梁ノ梁壓材ハ梁毎ニ梁及梁受板ヲ貫通スル鋲釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ但シ第二數四五〇未滿ノ船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ適當ニ之ヲ斟酌スルコトヲ得

四　舷側厚板トノ固著　船鍔ニ兼用スル梁壓材ハ肋骨ノ間ニ於テ交互ニ鋲釘ト打込釘トヲ以テ之ヲ舷側厚板ニ固著セシムベシ

五　舷墻柱トノ固著　船鍔ニ兼用スル梁壓材ヲ貫キテ舷墻柱ヲ設クルトキハ舷墻柱毎ニ鋲釘ヲ以テ之ヲ梁ニ緊著セシムベシ

第百三十三條 副梁壓材ハ梁毎ニ鋲釘及打込釘ヲ以テ之ヲ梁ニ固著セシムベシ

第二數一、七五〇ヲ超ユル船舶ニ於テハ副梁壓材ハ肋骨一本置ニ梁壓材、肋骨及外板ヲ貫通スル鋲釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ

第百三十四條 船鍔ハ肋骨ノ間ニ於テ交互ニ鋲釘ト打込釘ヲ以テ之ヲ舷側厚板ニ固著セシムベシ

船鍔ハ梁毎ニ梁壓材、梁及梁受板ヲ貫通スル鋲釘ヲ以テ之ヲ固著セシメ且梁ノ間ニ於テ打込釘ヲ以テ之ヲ梁壓材ニ固著セシムベシ

船鍔ヲ貫キテ舷墻柱ヲ設クルトキハ船鍔ハ舷墻柱毎ニ鋲釘ヲ以テ之ヲ緊著セシメ且船鍔ヲ二材合セト爲ストキハ舷墻柱ノ間ニ於テモ鋲釘ヲ以テ之ヲ相互ニ緊著セシムベシ但シ肋骨毎ニ肋材ヲ延長シテ舷墻柱ト爲ス場合ニ於テ船鍔ガ一材ヨリ成ルモノナルトキハ舷墻柱毎ニ用ウル鋲釘ハ舷墻柱一本置ニ十分ナル長サヲ有スル打込釘ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得又船鍔ガ二材合セナル場合ニ於テ舷墻柱ノ心距ガ肋骨心距以下ナルトキハ舷墻柱ノ間ニ於ケル鋲釘ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第百三十五條 船側縱通材ハ肋骨毎ニ鋲釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ但シ第七十二條第一項又ハ第二項ヲ適用シタル場合ノ船側縱通材ニ在リテハ肋骨毎ニ外板ヲ貫通スル鋲釘二箇ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ

第百三十六條 內部腰板ハ肋骨毎ニ鋲釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ

第百三十七條 竪梁曲材ニ用ウル鋲釘ノ心距ハ木製梁曲材ニ在リテハ二三センチメートルヲ、鋼製梁曲材ニ在リテハ三〇センチメートルヲ超ユルコトヲ得ズ又鋲釘ノ數ハ側腕ニ於テハ咽喉部釘ヲ含ミ三箇以上、梁腕ニ於テハ二箇以上ナルコトヲ要ス

柔材ヲ以テ肋骨ヲ構成シタル船舶ニ於ケル竪梁曲材ノ側腕ニ用ウル鋲釘ハ總テ外板迄貫通セシムルコトヲ要ス

橫梁曲材ノ各腕ニ於ケル鋲釘ノ數ハ二箇以上ナルコトヲ要ス

第百三十八條 外板、外部腰板、龍骨翼板及舷側厚板ハ其ノ幅二〇センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ二箇、幅二〇センチメートルヲ超エ二五センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ三箇、幅二五センチメートルヲ超エ三〇センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ四箇ノ固著釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ但シ肋骨單材ナルトキハ幅二五センチメートルヲ超ユル場合ト雖モ固著釘ノ數ヲ三箇ト爲スコトヲ得

三〇センチメートルヲ超ユル幅ヲ有スル龍骨翼板及舷側厚板ニ在リテハ之ヲ肋骨毎ニ固著セシムベキ固著釘ノ總數ハ幅七・五センチメートル毎ニ及其ノ端數ニ付一箇ノ割合ヲ以テ之ヲ定ムベシ但シ肋骨單材ナルトキノ固著釘ノ總數ハ之ヨリ一箇ヲ減ズルコトヲ得

第百四十條 龍骨翼板及舷側厚板ニ於テハ前二項ノ固著釘ノ中其ノ幅三五センチメートル以下ナルトキハ肋骨毎ニ一箇以上、幅三五センチメートルヲ超ユルトキハ肋骨毎ニ二箇以上ノ鍍釘ヲ用ウベシ

外板及外部腰板ニ於テハ第一項ノ固著釘ノ中肋骨一本置ニ一箇以上ノ鍍釘又ハ木釘ヲ用ウベシ但シ肋骨毎ニ鍍釘又ハ木釘一箇以上ヲ用ウルトキハ固著釘四箇ヲ要スル場合ト雖モ之ヲ三箇ト爲スコトヲ得

船底彎曲部ノ彎曲半徑小ナル船舶ノ彎曲部外板ニ於テハ肋骨毎ニ一箇以上ノ鍍釘ヲ用ウベシ

第百四十一條 外板及外部腰板ハ肋骨ノ箇所ニ於テ衝接シ横縁ノ兩側ニ於テハ鍍釘及打込釘ヲ以テ之ヲ肋骨ニ固著セシムベシ但シ該肋骨ニ隣接スル肋骨ニ鍍釘ヲ以テ固著セシメタル外板及外部腰板ニ付テハ其ノ横縁ノ兩側ニハ打込釘ノミヲ用ウルモ妨ナシ

第百四十二條 第二數一、五〇〇ヲ超ユル船舶ノ中央部船ノ長サノ五分ノ三間ニ於テハ龍骨翼板ヲ肋骨ノ間ニ於テ二肋骨心距以内ノ心距ニ鍍釘ヲ以テ之ヲ龍骨ニ固著セシムベシ

第百四十一條 木甲板ハ幅一五センチメートル以下ナルトキハ一箇以上、幅一五センチメートルヲ超ユルトキハ二箇以上ノ打込釘ヲ以テ之ヲ梁毎ニ固著セシムベシ

第百四十二條 船首肘材又ハ船尾肘材ハ其ノ咽喉部ヲ船首材又ハ船尾材ニ鍍釘ヲ以テ固著セシメ其ノ兩腕ハ四五センチメートル以内ノ心距ニ成ルベク肋骨ノ箇所ニ於テ外板迄貫通スル鍍釘ヲ以テ之ヲ固著セシムベシ

船首肘材又ハ船尾肘材ノ各腕ニ於ケル鍍釘ノ數ハ咽喉部釘ヲ除キ二箇以上ナルコトヲ要ス

第百四十三條 斜帶板ハ板ノ厚サノ二倍以上ノ徑ヲ有スル鍍釘ヲ以テ之ヲ肋骨毎ニ固著セシムベシ

第百四十四條 甲板口ノ緣材ハ四五センチメートル以内ノ心距ニ鍍釘ヲ以テ端梁又ハ縱梁ニ固著セシムベシ

第十七章 塡絮及船底包板

第百四十五條 水密ト爲スベキ接合部ニハ塡絮ヲ施スベシ

第百四十六條 塡絮ヲ施シタル部分ハ射水又ハ漲水ニ依ル水密試驗ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第百四十七條 船底ニハ滿載吃水線附近ノ所迄船底包板ヲ張詰ムベシ但シ適當ノ防腐劑ヲ塗布スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十八章 機關室

第百四十八條 機關室ノ前後ニハ少クトモ第二甲板ニ達スル隔壁ヲ設クベシ

第二數一、五〇〇ヲ超ユル船舶ニ付テハ前項ノ隔壁及石炭庫ノ圍壁ヲ鋼製ト爲スベシ

第百四十九條 機關室ノ甲板間ニ於ケル部分ノ周圍ニハ圍壁ヲ設ケ之ヲ暴露甲板迄達セシムベシ

第百五十條 機關ノ下部ニ於ケル內龍骨ハ成ルベク堅材ヲ使用シ且汽罐ノ下部ト內龍骨ノ上部トヲ三〇センチメートル以上隔離スルカ又ハ該部ニ適當ノ防熱工事ヲ施スベシ

第百五十一條 隔壁、圍壁其ノ他船體ノ部分ガ木製ニシテ發動機又ハ汽罐ニ接近シ燃燒ノ虞アルモノナルトキハ之ニ金屬板ヲ張ルカ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ燃燒ヲ豫防シ且汽罐ニ接近スル場合ニハ防熱ノ爲金屬板ノ下ニ石綿若ハ毛紙ヲ敷クカ又ハ適當ノ間隔ヲ置クベシ

電動機船ノ蓄電池室ニハ通風ノ裝置ヲ爲シ其ノ床ハ鉛板ヲ以テ之ヲ覆フベシ

第百五十二條 機關室ニ付テハ第百十三條ニ依ル機關室口ノ補強ヲ爲スノ外機關ノ種類及馬力ニ應ジ肋骨及縱通材ニ適當ノ補強ヲ爲スベシ

第百五十三條 機關臺ハ成ルベク長キ堅材ヲ以テ適當ニ構造ジ肋骨毎ニ鍍釘ヲ以テ之ヲ固著スルノ外必要ニ應ジ肋骨ノ位置ニ於テ機關臺ノ兩側ニ竪曲材ヲ取附ケ之ヲ堅牢ニ船底ニ固著セシムベシ

第百五十四條 第二數二、〇〇〇ヲ超ユル船舶ニ付テハ機關室ヨリ船尾管ニ達スル通行シ得ベキ軸路ヲ設クベシ但シ甲板ヨリ各軸受及船尾管ニ達シ得ベキ昇降路ヲ設クルトキハ軸路ハ通行シ得ザルモノナルモ妨ナシ

第十九章 船樓及甲板室

第百五十五條 輕甲板船ニ在リテハ甲板室又ハ船橋樓ノ高サハ二・一メートルヲ超ユルコトヲ得ズ又船ノ首尾ニ於テ船ノ長サノ五分ノ一間ニハ甲板室ヲ設クルコトヲ得ズ

第百五十六條 船首樓、船橋樓及船尾樓ノ各材ノ截面積ハ上甲板下ノ各材ノ截面積ノ四分ノ三以上ト爲スベシ

船首樓、船橋樓又ハ船尾樓ヲ設クルトキハ上甲板ニ於ケル肋骨間ノ空隙ハ船鍔ヲ以テ閉塞シ之ヲ水密ト爲スベシ

第百五十七條 低船首樓又ハ低船尾樓ノ各材ノ寸法ハ上甲板以下ニ要スルモノニ等シクスベシ

低船首樓又ハ低船尾樓ヲ設クルトキハ上甲板ノ梁壓材及梁受板ヲ該船樓內ニ五肋骨心距以上延長スベシ但シ第二數四五〇未滿ナルトキハ四肋骨心距以上、第二數二五〇未滿ナルトキハ三肋骨心距以上、第二數一二五未滿ナルトキハ二

肋骨心距以上之ヲ延長スルニ止ムルモ妨ナシ

低船首樓又ハ低船尾樓ヲ設クル船舶ニ付テハ上甲板ノ高サニ於テ船ノ首尾ヲ通ジ舷側厚板ヲ設クベシ

第百五十八條 甲板室ハ堅牢ニ構造シ少クトモ其ノ四隅ハ甲板室頂部ヨリ梁下面迄貫通スル螺釘ヲ以テ之ヲ緊著セシムベシ

第二十章 檣、帆架及斜檣

第百五十九條 帆船ノ檣、帆架、斜檣等ノ寸法ハ左表ニ依ル

名稱	材料	徑
「シップ」、「バーク」及「ブリッグ」ノ前檣、正檣、前上檣及正上檣竝ニ「シップ」ノ後上檣	杉	長サ一メートルニ付三センチメートル
頂檣、「シップ」及「バーク」ノ後檣、「バーク」ノ後上檣竝ニ「バーケンタイン」、「ブリガンダイン」、「トップスルスクーナー」、「スクーナー」、「ラッガー」、「カッター」、「ケッチ」及「スループ」ノ檣	杉	長サ一メートルニ付二センチメートル
「ヤード」、「ブーム」、「ガフ」、「ジブブーム」及「ノライイングジブブーム」	杉	長サ一メートルニ付二センチメートル
斜檣	杉	長サ一メートルニ付五センチメートル

前項ノ檣ノ長サハ上檣ニ在リテハ上檣索具帶金ヨリ下部固定帶金迄、下檣ニ在リテハ下檣索具帶金ヨリ內龍骨上面迄ノ長サトシ其ノ徑ハ上檣ニ在リテハ下檣上端部、下檣ニ在リテハ上甲板楔止部ニ於ケル徑ト爲スベシ

前二項ノ規定ハ一材檣ノ寸法ヲ定ムル場合ニ之ヲ準用ス但シ內龍骨ノ上面ヨリ下檣索具ヲ取附クル帶金迄ノ長サヲ下檣ノ長サトシ其ノ上部上檣索其ヲ取附クル帶金迄ノ長サヲ上檣ノ長サトス

第百六十條 下檣ノ上端ノ徑ハ上檣ノ下端ノ徑ヨリ小ナルコトヲ得ズ

第二十一章 通風間隙及淦水路

第百六十一條 各甲板梁ノ梁受板又ハ副梁受板ノ直下ニハ通風ノ爲船ノ首尾ヲ通ジ間隙ヲ設クベシ

船首艙又ハ船尾艙ニ於テハ前項ノ間隙ノ外梁受板ト內龍骨トノ間ニ通風間隙ヲ設クベシ

第百六十二條 龍骨ノ兩側ニ於ケル肋骨ノ下面ニハ船ノ首尾ヲ通ジ適當ノ淦水路ヲ設クベシ但シ外板ノ縱緣上ニ之ヲ設クルコトヲ得ズ

第二十二章 排水裝置及諸管

第百六十三條 舷墻ニハ甲板上ノ水ヲ排除スル爲適當ナル排水口ヲ設クベシ

暴露甲板上ニハ船外ニ通ズル適當ナル排水孔ヲ設クベシ

第百六十四條 第二甲板以下ノ甲板及蔽圍セラレタル船樓內ノ上甲板ニハ適當ノ排水管ヲ設ケ之ヲ淦水道ニ導クベシ

第百六十五條 手動淦水「ポンプ」及測水管ハ各艙ニ之ヲ設クベシ但シ管海官廳ノ見込ニ依リ手動淦水「ポンプ」ノ數ヲ減ジ又平水ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ限リ手動淦水「ポンプ」及測水管ヲ設ケザルコトヲ得

前項ノ手動淦水「ポンプ」ハ滿載吃水線以上ノ高サニ於テ何時ニテモ近寄リ得ベキ場所ニ之ヲ裝置スベシ

第百六十六條 手動淦水「ポンプ」ノ吸水管ノ內徑ハ四センチメートル以上ニシテ船ノ大サニ應ジ適當ノモノト爲スベシ但シ一〇センチメートルヨリ大ナルコトヲ要セズ

手動淦水「ポンプ」ノ內徑ハ吸水管ノ內徑ノ二倍以上ト爲スベシ

淦水吸水管ノ端末ニハ適當ナル弄除箱ヲ設クベシ

第百六十七條 動力ニ依ル淦水「ポンプ」ヲ備フル船舶ニ付テハ各艙ニ共ノ吸水管ヲ導キ各艙ノ淦水ヲ排除シ得ベキ裝置ト爲スベシ但シ第二數一、五〇〇以下ノ船舶ニ在リテハ管海官廳ノ見込ニ依リ淦水吸水管ヲ各艙ニ導カザルモ妨ナシ

第百六十八條 艙內又ハ石炭庫ヲ通過スル諸管ニハ貨物又ハ石炭ノ積載等ニ依リ破損セザル樣堅固ナル覆箱又ハ覆板ヲ設クベシ

汽管其ノ他高內壓力ヲ受クル諸管ハ艙內又ハ石炭庫ヲ通過セシムルコトヲ得ズ但シ適當ノ圍壁又ハ隧道ヲ設クルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百六十九條 滿載吃水線ヲ標示スル船舶ニ在リテハ滿載吃水線下ニ開口ヲ有スル各排泄管ニハ自働不還弁二箇ヲ備ヘ中一箇ハ何時ニテモ近寄リ得ル場所ニ之ヲ設クベシ但シ滿載吃水線以上ノ高サニ於ケル甲板上ノ何時ニテモ近寄リ得ベキ場所ヨリ弁ヲ閉ジ得ル裝置ト爲ストキハ自働不還弁ハ之ヲ一箇ト爲スコトヲ得

滿載吃水線下ニ於テ取附クル弁ハ鑄鐵製ナルコトヲ得ズ

第二十三章 操舵機具及揚錨、揚貨、繫船等ノ裝置

第百七十條 舵柄又ハ舵柄弧ニ對シテハ甲板上ニ堅牢ナル回轉止ヲ取附クベシ但シ舵柄又ハ舵柄弧ニ適當ノ制動裝置ヲ備フルカ又ハ操舵機ヲ直接舵柄弧ニ連結スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百七十一條 舵柄又ハ舵柄弧ノ半徑ハ成ルベク第三號表ニ揭グル舵心材ノ徑ノ四倍以上ト爲スベシ

第百七十二條 舵柄ノ寸法ハ舵頭固定部ニ於テハ帶金ノ深サ及腕ノ幅ヲ第三號表ニ揭グル舵心材ノ徑ノ三分ノ一以上、腕ノ厚サヲ其ノ幅ノ二分ノ一以上ト爲シ腕ノ端末ニ於テハ舵頭部ニ於ケル寸法ノ三分ノ二ト爲スベシ

二箇ノ腕ヲ有スル舵柄弧ニ在リテハ各腕ノ寸法ヲ前項ニ依

ルモノノ五分ノ四ト爲スベシ

第百七十三條　操舵鎖ノ徑ハ第三號表ニ揭グル舵心材ノ徑ノ百分ノ五以上ト爲シ操舵圓材ノ徑ハ操舵鎖ノ徑ノ一倍四分ノ一以上ト爲スベシ

第百七十四條　導鎖滑車ハ操舵鎖ヲ小角度ニ屈曲セシメザル樣之ヲ配置シ其ノ徑ハ操舵鎖ノ徑ノ十五倍以上ト爲シ其ノ車針ノ徑ハ操舵鎖ノ徑ノ一・七倍以上ト爲スベシ

第百七十五條　操舵、揚錨、揚貨、繫船等ノ諸機具、錨鉤、端艇鉤其ノ他ノ艤裝品ハ其ノ用途ニ應ジ之ヲ適當ニ構造スベシ但シ管海官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ適當ノ試驗ヲ執行スルコトアルベシ

第二十四章　油運搬船

第百七十六條　本章ノ規定ハ艙內ニ鋼製槽ヲ据附ケ油類ヲ積載スル船舶ニ之ヲ適用ス

第百七十七條　油槽ハ堅牢ナル臺上ニ据附ケ船體ノ動搖ニ依リ移動セザル樣支柱ヲ以テ之ヲ支持スベシ

油槽ハ現場ニ於テ其ノ周圍及上下ヲ檢査シ得ベキ十分ナル餘地ヲ保ツ樣之ヲ据附クルカ又ハ艙口ヨリ取出シ得ル寸法ノモノナルコトヲ要ス

第百七十八條　油槽ハ之ヲ堅牢ニ構造シ其ノ頂板上二・五メートルノ水高壓力ヲ以テ試驗ヲ行フモ變形又ハ漏洩セザルモノナルコトヲ要ス

第百七十九條　油槽ニハ適當ナル排氣管ヲ備ヘ之ヲ上甲板上適當ノ高サニ達セシメ其ノ開口ニハ取外シ得ベシ細目金網ヲ備フベシ

各槽ヲ連結スル油管ハ之ヲ堅牢ニ槽ニ取附ケ其ノ內徑ハ給油管ノ內徑以上ト爲スベシ

油槽ニハ其ノ大サニ應ジ適當ナル縱橫ノ區畫ヲ設ケ且適當ノ高サヲ有スル膨脹圍壁ヲ設クベシ但シ特ニ小ナル油槽ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ膨脹圍壁ハ相連結シタル油槽ニ在リテハ其ノ中一箇ノミニ付之ヲ設クルモ妨ナシ

第百八十條　油槽ヲ据附ケタル艙內、「ポンプ」室其ノ他瓦斯ノ發生スル場所ニハ有效ナル通風裝置ヲ設クベシ

油槽ヲ据附ケタル艙內ニ於ケル通風間隙及淦水路ハ之ヲ他ノ艙內ノモノト連絡ナキ構造ト爲スベシ

油槽ヲ据附ケタル船ニハ艙內ノ淦水及漏油ヲ排除スルニ十分ナル「ポンプ」ヲ備フベシ

第百八十一條　油槽ヲ据附ケタル艙內ニハ他ノ貨物ヲ搭載スルコトヲ得ズ

附　則

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前製造シ又ハ製造ニ著手シタル船舶ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

別表

第一號表　材料

件名 ＼ 等級	甲	乙	丙	丁
龍骨、副龍骨、船首材、副船首材	欅、檜	山毛欅、栗、櫻、楠、赤樫	椎、鹽地、栓、栂、樅、松、米松、赤松	桂、姫小松
船尾材、舵柱、船尾管胴材	欅、檜	山毛欅、栗、楠、櫻	赤樫、椋、椎、鹽地、松	米松、桂
舵心材	欅、檜	山毛欅、栗、櫻	楠、椋、赤樫、樅、椎、鹽地	松、米松
肋骨、船尾横翼材、船尾縦翼材	欅、檜、楠	山毛欅、栗、櫻、赤樫、椋	椎、栓、鹽地、松、栂、樅、赤松	米松、桂
力材	欅、楠、檜	山毛欅、栗、櫻、椋、赤樫	椎、鹽地、栓、栂、松、米松、赤松	桂、槇
內龍骨、側內龍骨、副內龍骨	欅、檜	山毛欅、栗、櫻、楠、椋、赤樫	椎、鹽地、栓、栂、松、米松、赤松	桂、姫小松
側內厚板、彎曲部縦通材、船側縦通材	欅、檜、山毛欅	赤樫、椎、鹽地、栂、松、米松、赤松	桂、姫小松、槇、赤身杉	杉、蝦夷松
梁壓材、副梁壓材、船鍔	欅、檜	山毛欅、栗、櫻、楠、椋、赤樫	椎、鹽地、栓、栂、松、米松、赤松	姫小松、赤身杉
梁受板、副梁受板、內部腰板	欅、檜、山毛欅	栗、櫻、楠、椋、赤樫、椎、鹽地、栂、松	米松、桂、槇、姫小松	杉、樅
船首尾肘材、梁曲材、根曲材	欅、檜、楠、栗	椋、赤樫、椎、樅、栂、松、赤松	鹽地、栓、桂、槇	米松、姫小松
外板、外部腰板	欅、楠、檜	松、栂、米松、杉	桂、姫小松、槇	樅、蝦夷松
舷側厚板、龍骨翼板	欅、檜、楠	檜、松、栂、米松、赤身杉	桂、姫小松、杉	樅、蝦夷松
梁、梁柱、縦梁	欅、檜	椋、赤樫、椎、鹽地、栂、松、米松、栓	姫小松、槇、桂、赤身杉	杉、蝦夷松
木甲板、檣孔板、艙口蓋板	欅、檜、山毛欅、栗、楠	栂、檜、松、米松、赤身杉	姫小松、桂、槇、杉	樅、蝦夷松
甲板口緣材	欅、檜、山毛欅、栗	椋、椎、赤樫、鹽地、栂、松、樅、米松、赤松	栓、桂、槇、姫小松	杉、樅
內張板	楠、椎、鹽地	檜、松、栂、米松、赤身杉	杉、桂、姫小松、槇	樅、蝦夷松
船底包板	銅	黄銅	木	亞鉛鍍鋼
舵針、舵蝶番	黄銅	鋼	—	—
敲釘、螺釘、打込釘	銅、黄銅	亞鉛鍍鋼	鋼	—
木釘	樫、欅	檜、栗	—	—
檣、帆架、斜檣	欅、檜	松、杉	—	—

第二號表　肋骨ノ裁面

材料 ＼ 第一數	肋骨ノ心距	合材二 肋根材	合材二 彎曲部材	合材二 頂材	單材 肋根材	單材 彎曲部材	單材 頂材
		樑	樑	樑	樑	樑	樑
工噸ノ下以		角 邊	角 邊	角 邊	角 邊	角 邊	角 邊
3 — 3.5	35	7.5	6.5	5	9.5	8.5	7
3.5 — 4	37	8.5	7.5	6	10.5	9.5	8
4 — 4.5	39	10	8.5	7	12.5	11	9
4.5 — 5	41	11	10	8	14	12.5	10.5
5 — 5.5	43	12.5	11	9	15.5	14	11.5
5.5 — 6	45	14	12	9.5	17.5	15.5	12.5
6 — 6.5	47	15.5	13.5	10.5	19.5	17.5	14
6.5 — 7	49	17	14.5	11	21.5	19	15
7 — 7.5	51	18.5	16	12	23.5	21	16.5
7.5 — 8	54	20	17	12.5	25.5	22.5	17.5
8 — 8.5	56	21.5	18	13	27	24	18
8.5 — 9	58	23	19	14	28.5	25.5	19.5
9 — 9.5	60	24.5	20	15	30.5	27	21
9.5 — 10	62	26	21.5	16	32.5	28.5	22.5

第三號表

法寸ノ等板張內及板外、板甲木、材通縱諸ノ他ノ其骨龍內、舵、材翼尾船、柱舵、材尾船、材首船、骨龍

材料 / 法寸 第數二	龍骨、船首材、船尾材及舵柱	船翼尾材 縱翼材	船翼尾材 橫翼材	舵 舵心材ノ徑	舵 舵針ノ徑	舵 壺金ノ深サ及厚サ	舵 蝶番ノ數	內龍骨	側內厚板	側內龍骨	彎曲部縱通材	船側縱通材、第二甲板及艙梁ノ副梁受板又ハ內部腰板	梁受板	上甲板ノ副梁受板	梁脇材	上甲板及第二甲板ノ副梁脇材	船鍔	木甲板	外板	外部腰板	舷側厚板	龍骨翼板	內張板
	檜	檜	檜	檜	黃銅又ハ鋼	黃銅又ハ鋼		檜	檜	檜	松	檜	檜	檜	檜	檜	檜	松	松	松	檜	檜	松
	角糎	角糎	角糎	糎	糎	糎×糎		角糎	糎×糎	角糎	糎	糎×糎	糎×糎	糎×糎	糎×糎	糎×糎	糎	糎	糎	糎	糎×糎	糎×糎	糎
工廻ノ 75— 下以 125	17.5	12	16.5	16.5	4.0	6×2	2	26	17.5×5.5	—	5.5	——	20×6	——	7	——	—	5	4.	4.5	23 · 5	17.5×5.5	2.5
125— 175	18.5	13	17.5	18	4.3	6.5×2.2	2	21.5	18.5×6	—	6	——	22×6.5	——	21×7.5	——	4.5	5	4.5	5	27 · 5.5	18.5×6	3
175— 250	19.5	14	18.5	19.5	3.5	5.3×1.8	3	23	19.5×6.5	—	6.5	——	24×7	——	23×8.5	——	5	5.5	5	5.5	30×6	19.5×7	3.5
250— 375	21	15	20	21.5	3.8	5.7×1.9	3	25	21×7	—	7	——	27×7.5	——	25×9.5	——	5.5	5.5	5	6.5	33×6.5	21×8	4
375— 500	22.5	16	21.5	23.5	4.0	6×2	3	27	22.5×7.5	12	7.5	24×6.5	24×8	21.5×5.5	26.5×10	——	6	6	5.5	7	36×7	22.5×8.5	4.5
500— 625	24	17	22.5	25	4.3	6.5×2.2	3	29	24×8	13.5	8	24.5×7	24.5×8.5	22×6	28×11	——	6.5	6	6	7.5	38×7.5	24×9.5	4.5
625— 750	25	18	23.5	26	4.5	6.8×2.3	3	30.5	25×8.5	14.5	8.5	25×7.5	25×9	22.5×6.5	29.5×11.5	——	7	6.5	6.5	8	40×7.5	25×10	5
750— 875	26	18.5	24.5	27.5	4.8	7.2×2.4	3	31.5	26×9	15.5	9	25.5×8	25.5×9.5	23×7	30.5×12	19×6.5	7.5	6.5	6.5	8.5	41.5×8	26×10.5	5.5
875—1,000	27	19	25.5	28.5	5.0	7.5×2.5	3	32.5	27.5×9	16.5	9	25.5×8.5	25.5×10	23×7.5	31.5×12.5	20×7	8	7	7	9	43×8.5	27×11	5.5
1,000—1,250	28.5	20	26.5	30	4.8	7.2×2.4	4	34	28.5×9.5	18	9.5	26×9	26×10.5	23.5×8	33×13.5	21.5×7	8.5	7	7	9.5	45×8.5	28.5×12	6
1,250—1,500	30	21	28	31.5	5.0	7.5×2.5	4	36	30×10	19.5	10	26.5×9.5	26.5×11	24×8.5	34.5×14	22×7.5	9	7.5	7.5	10	48×9	30×12.5	6.5
1,500—1,750	31	22	29	33	5.3	8×2.6	4	37.5	31×10.5	20.5	10.5	27×10	27×11.5	24.5×9	36×15	23.5×7.5	9.5	7.5	8	10.5	50×9.5	31×13.5	6.5
1,750—2,000	32.5	23	30	34.5	5.5	8.3×2.8	4	39	32.5×11	22	11	27.5×10.5	27.5×12	25×9.5	37×15.5	24×8	10	8	8.5	11	52×10	32.5×14	7

面裁ノ骨肋

材料 / 數一第	肋骨ノ心距	合材二 肋根材	合材二 材部曲彎	合材二 材頂	材
		檜	檜	檜	
工廻ノ 3 — 下以 3.5	35	角糎 7.5	角糎 6.5	角糎 5	角
3.5— 4	37	8.5	7.5	6	
4 — 4.5	39	10	8.5	7	
4.5— 5	41	11	10	8	
5 — 5.5	43	12.5	11	9	
5.5— 6	45	14	12	9.5	
6 — 6.5	47	15.5	13.5	10.5	
6.5— 7	49	17	14.5	11	
7 — 7.5	51	18.5	16	12	
7.5— 8	54	20	17	12.5	
8 — 8.5	56	21.5	18	13	
8.5— 9	58	23	19	14	
9 — 9.5	60	24.5	20	15	
9.5—10	62	26	21.5	16	

| 材料 / 表番 | 軸 | 軸 | 軸

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
1	主桁交叉臨ノ桁	20×6	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	
2	主桁交叉臨ノ桁	22×6.5	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	
3	主桁	24×7	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	
4	主桁	27×7.5	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	
5	主桁	24×8	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	
6	主桁	21.5×8.5	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	
7	主桁	21.5×8.5	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	
8	主桁	25.5×8.5	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	
9	主桁	26.5×8.5	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	
10	主桁	27×8.5	下甲鉄道省二甲鉄ノ標準	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
11	横桁	20×6	鋼	2	
12	横桁	22×6.5	鋼	2	
13	横桁	24×7	鋼	2	
14	横桁	27×7.5	鋼	2	
15	横桁	24×8	鋼	2	
16	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
17	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
18	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
19	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
20	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
21	縦桁	20×6	鋼	2	
22	縦桁	22×6.5	鋼	2	
23	縦桁	24×7	鋼	2	
24	縦桁	27×7.5	鋼	2	
25	縦桁	24×8	鋼	2	
26	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
27	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
28	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
29	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
30	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
31	縦桁	20×6	鋼	2	
32	縦桁	22×6.5	鋼	2	
33	縦桁	24×7	鋼	2	
34	縦桁	27×7.5	鋼	2	
35	縦桁	24×8	鋼	2	
36	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
37	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
38	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
39	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
40	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
41	横桁	20×6	鋼	2	
42	横桁	22×6.5	鋼	2	
43	横桁	24×7	鋼	2	
44	横桁	27×7.5	鋼	2	
45	横桁	24×8	鋼	2	
46	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
47	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
48	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
49	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
50	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
51	縦桁	20×6	鋼	2	
52	縦桁	22×6.5	鋼	2	
53	縦桁	24×7	鋼	2	
54	縦桁	27×7.5	鋼	2	
55	縦桁	24×8	鋼	2	
56	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
57	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
58	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
59	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
60	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
61	横桁	20×6	鋼	2	
62	横桁	22×6.5	鋼	2	
63	横桁	24×7	鋼	2	
64	横桁	27×7.5	鋼	2	
65	横桁	24×8	鋼	2	
66	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
67	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
68	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
69	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
70	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
71	縦桁	20×6	鋼	2	
72	縦桁	22×6.5	鋼	2	
73	縦桁	24×7	鋼	2	
74	縦桁	27×7.5	鋼	2	
75	縦桁	24×8	鋼	2	
76	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
77	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
78	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
79	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
80	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
81	横桁	20×6	鋼	2	
82	横桁	22×6.5	鋼	2	
83	横桁	24×7	鋼	2	
84	横桁	27×7.5	鋼	2	
85	横桁	24×8	鋼	2	
86	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
87	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
88	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
89	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
90	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
91	縦桁	20×6	鋼	2	
92	縦桁	22×6.5	鋼	2	
93	縦桁	24×7	鋼	2	
94	縦桁	27×7.5	鋼	2	
95	縦桁	24×8	鋼	2	
96	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
97	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
98	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
99	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
100	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
101	横桁	20×6	鋼	2	
102	横桁	22×6.5	鋼	2	
103	横桁	24×7	鋼	2	
104	横桁	27×7.5	鋼	2	
105	横桁	24×8	鋼	2	
106	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
107	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
108	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
109	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
110	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
111	縦桁	20×6	鋼	2	
112	縦桁	22×6.5	鋼	2	
113	縦桁	24×7	鋼	2	
114	縦桁	27×7.5	鋼	2	
115	縦桁	24×8	鋼	2	
116	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
117	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
118	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
119	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
120	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
121	横桁	20×6	鋼	2	
122	横桁	22×6.5	鋼	2	
123	横桁	24×7	鋼	2	
124	横桁	27×7.5	鋼	2	
125	横桁	24×8	鋼	2	
126	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
127	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
128	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
129	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
130	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
131	縦桁	20×6	鋼	2	
132	縦桁	22×6.5	鋼	2	
133	縦桁	24×7	鋼	2	
134	縦桁	27×7.5	鋼	2	
135	縦桁	24×8	鋼	2	
136	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
137	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
138	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
139	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
140	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
141	横桁	20×6	鋼	2	
142	横桁	22×6.5	鋼	2	
143	横桁	24×7	鋼	2	
144	横桁	27×7.5	鋼	2	
145	横桁	24×8	鋼	2	
146	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
147	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
148	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
149	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
150	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
151	縦桁	20×6	鋼	2	
152	縦桁	22×6.5	鋼	2	
153	縦桁	24×7	鋼	2	
154	縦桁	27×7.5	鋼	2	
155	縦桁	24×8	鋼	2	
156	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
157	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
158	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
159	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
160	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
161	横桁	20×6	鋼	2	
162	横桁	22×6.5	鋼	2	
163	横桁	24×7	鋼	2	
164	横桁	27×7.5	鋼	2	
165	横桁	24×8	鋼	2	
166	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
167	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
168	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
169	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
170	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
171	縦桁	20×6	鋼	2	
172	縦桁	22×6.5	鋼	2	
173	縦桁	24×7	鋼	2	
174	縦桁	27×7.5	鋼	2	
175	縦桁	24×8	鋼	2	
176	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
177	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
178	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
179	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
180	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
181	横桁	20×6	鋼	2	
182	横桁	22×6.5	鋼	2	
183	横桁	24×7	鋼	2	
184	横桁	27×7.5	鋼	2	
185	横桁	24×8	鋼	2	
186	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
187	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
188	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
189	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
190	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
191	縦桁	20×6	鋼	2	
192	縦桁	22×6.5	鋼	2	
193	縦桁	24×7	鋼	2	
194	縦桁	27×7.5	鋼	2	
195	縦桁	24×8	鋼	2	
196	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
197	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
198	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
199	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
200	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
201	横桁	20×6	鋼	2	
202	横桁	22×6.5	鋼	2	
203	横桁	24×7	鋼	2	
204	横桁	27×7.5	鋼	2	
205	横桁	24×8	鋼	2	
206	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
207	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
208	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
209	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
210	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
211	縦桁	20×6	鋼	2	
212	縦桁	22×6.5	鋼	2	
213	縦桁	24×7	鋼	2	
214	縦桁	27×7.5	鋼	2	
215	縦桁	24×8	鋼	2	
216	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
217	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
218	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
219	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
220	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
221	横桁	20×6	鋼	2	
222	横桁	22×6.5	鋼	2	
223	横桁	24×7	鋼	2	
224	横桁	27×7.5	鋼	2	
225	横桁	24×8	鋼	2	
226	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
227	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
228	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
229	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
230	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
231	縦桁	20×6	鋼	2	
232	縦桁	22×6.5	鋼	2	
233	縦桁	24×7	鋼	2	
234	縦桁	27×7.5	鋼	2	
235	縦桁	24×8	鋼	2	
236	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
237	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
238	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
239	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
240	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
241	横桁	20×6	鋼	2	
242	横桁	22×6.5	鋼	2	
243	横桁	24×7	鋼	2	
244	横桁	27×7.5	鋼	2	
245	横桁	24×8	鋼	2	
246	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
247	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
248	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
249	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
250	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
251	縦桁	20×6	鋼	2	
252	縦桁	22×6.5	鋼	2	
253	縦桁	24×7	鋼	2	
254	縦桁	27×7.5	鋼	2	
255	縦桁	24×8	鋼	2	
256	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
257	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
258	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
259	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
260	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
261	横桁	20×6	鋼	2	
262	横桁	22×6.5	鋼	2	
263	横桁	24×7	鋼	2	
264	横桁	27×7.5	鋼	2	
265	横桁	24×8	鋼	2	
266	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
267	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
268	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
269	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
270	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
271	縦桁	20×6	鋼	2	
272	縦桁	22×6.5	鋼	2	
273	縦桁	24×7	鋼	2	
274	縦桁	27×7.5	鋼	2	
275	縦桁	24×8	鋼	2	
276	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
277	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
278	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
279	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
280	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
281	横桁	20×6	鋼	2	
282	横桁	22×6.5	鋼	2	
283	横桁	24×7	鋼	2	
284	横桁	27×7.5	鋼	2	
285	横桁	24×8	鋼	2	
286	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
287	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
288	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
289	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
290	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
291	縦桁	20×6	鋼	2	
292	縦桁	22×6.5	鋼	2	
293	縦桁	24×7	鋼	2	
294	縦桁	27×7.5	鋼	2	
295	縦桁	24×8	鋼	2	
296	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
297	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
298	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
299	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
300	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
301	横桁	20×6	鋼	2	
302	横桁	22×6.5	鋼	2	
303	横桁	24×7	鋼	2	
304	横桁	27×7.5	鋼	2	
305	横桁	24×8	鋼	2	
306	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
307	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
308	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
309	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
310	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
311	縦桁	20×6	鋼	2	
312	縦桁	22×6.5	鋼	2	
313	縦桁	24×7	鋼	2	
314	縦桁	27×7.5	鋼	2	
315	縦桁	24×8	鋼	2	
316	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
317	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
318	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
319	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
320	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
321	横桁	20×6	鋼	2	
322	横桁	22×6.5	鋼	2	
323	横桁	24×7	鋼	2	
324	横桁	27×7.5	鋼	2	
325	横桁	24×8	鋼	2	
326	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
327	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
328	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
329	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
330	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
331	縦桁	20×6	鋼	2	
332	縦桁	22×6.5	鋼	2	
333	縦桁	24×7	鋼	2	
334	縦桁	27×7.5	鋼	2	
335	縦桁	24×8	鋼	2	
336	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
337	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
338	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
339	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
340	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
341	横桁	20×6	鋼	2	
342	横桁	22×6.5	鋼	2	
343	横桁	24×7	鋼	2	
344	横桁	27×7.5	鋼	2	
345	横桁	24×8	鋼	2	
346	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
347	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
348	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
349	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
350	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
351	縦桁	20×6	鋼	2	
352	縦桁	22×6.5	鋼	2	
353	縦桁	24×7	鋼	2	
354	縦桁	27×7.5	鋼	2	
355	縦桁	24×8	鋼	2	
356	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
357	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
358	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
359	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
360	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
361	横桁	20×6	鋼	2	
362	横桁	22×6.5	鋼	2	
363	横桁	24×7	鋼	2	
364	横桁	27×7.5	鋼	2	
365	横桁	24×8	鋼	2	
366	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
367	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
368	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
369	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
370	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
371	縦桁	20×6	鋼	2	
372	縦桁	22×6.5	鋼	2	
373	縦桁	24×7	鋼	2	
374	縦桁	27×7.5	鋼	2	
375	縦桁	24×8	鋼	2	
376	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
377	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
378	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
379	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
380	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
381	横桁	20×6	鋼	2	
382	横桁	22×6.5	鋼	2	
383	横桁	24×7	鋼	2	
384	横桁	27×7.5	鋼	2	
385	横桁	24×8	鋼	2	
386	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
387	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
388	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
389	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
390	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
391	縦桁	20×6	鋼	2	
392	縦桁	22×6.5	鋼	2	
393	縦桁	24×7	鋼	2	
394	縦桁	27×7.5	鋼	2	
395	縦桁	24×8	鋼	2	
396	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
397	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
398	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
399	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
400	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
401	横桁	20×6	鋼	2	
402	横桁	22×6.5	鋼	2	
403	横桁	24×7	鋼	2	
404	横桁	27×7.5	鋼	2	
405	横桁	24×8	鋼	2	
406	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
407	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
408	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
409	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
410	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
411	縦桁	20×6	鋼	2	
412	縦桁	22×6.5	鋼	2	
413	縦桁	24×7	鋼	2	
414	縦桁	27×7.5	鋼	2	
415	縦桁	24×8	鋼	2	
416	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
417	縦桁	21.5×8.5	鋼	2	
418	縦桁	25.5×8.5	鋼	2	
419	縦桁	26.5×8.5	鋼	2	
420	縦桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
421	横桁	20×6	鋼	2	
422	横桁	22×6.5	鋼	2	
423	横桁	24×7	鋼	2	
424	横桁	27×7.5	鋼	2	
425	横桁	24×8	鋼	2	
426	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
427	横桁	21.5×8.5	鋼	2	
428	横桁	25.5×8.5	鋼	2	
429	横桁	26.5×8.5	鋼	2	
430	横桁	27×8.5	鋼	2	

番號	名稱	寸法	材料	數量	備考
431	縦桁	20×6	鋼	2	
432	縦桁	22×6.5	鋼

第四號表　梁、梁曲材及船首尾肘材ノ寸法

材料／船ノ幅	梁		材曲梁竪														竪梁曲材ニ代用スル山形材及肘板		材肘尾船及材肘首船					
	甲板梁	艙梁	梁腕ノ長サ	側腕ノ長サ	製木				製鋼					固着敲釘ノ徑			山形材	肘板	腕ノ長サ	製木		製鋼		
					幅	厚サ 咽喉釘部	厚サ 梁腕端部	厚サ 側腕端部	幅	厚サ 咽喉角部	厚サ 咽喉釘部	厚サ 梁腕端部	厚サ 側腕端部	咽喉部	中間部	腕端部				咽喉釘部	腕端部	幅	厚サ 咽喉部	厚サ 腕端部
米 米 エ超ヲ下以	松		鋼ハ又木		松				鋼					鋼			鋼		木又ハ鋼	欅		鋼		
	角糎	角糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	糎	粍	粍	粍	粍	粍	粍	粍	粍×粍×粍	糎×糎×粍	糎	角糎	角糎	糎	粍	粍
3—3⅓	11	14	29	43	6.5	10	5.5	6.5	4.5	42	19	8	11	14	12	10	50×50×6	16×22×6	63	11	7.5	5.5	29	14
3⅓—3⅔	12	15.5	32	48	7	10.5	6	7	4.5	44	20	9	12	15	13	11	50×50×6	17×24×6	70	12	8.5	5.5	31	15
3⅔—4	12.5	16	35	52	7.5	11	6.5	7.5	5	46	21	10	13	16	14	12	50×50×7	19×27×7	77	12.5	9	6	33	16
4—4⅓	13.5	17.5	38	57	8	12	7	8	5	48	23	10	13	17	15	13	50×50×7	21×29×7	83	13.5	9.5	6	34	16
4⅓—4⅔	14	18	41	61	8.5	12.5	7.5	8.5	5.5	50	25	11	14	17	15	13	50×50×8	23×32×8	90	14	10	6.5	35	17
4⅔—5	15	19.5	44	66	9	13.5	8	9	5.5	52	26	11	14	18	16	14	55×50×8	24×34×8	97	15	10.5	6.5	37	17
5—5⅓	15.5	20	47	70	9.5	14	8.5	9.5	6	54	28	12	15	18	16	14	60×50×8	26×37×8	103	15.5	11	7	38	18
5⅓—5⅔	16.5	21.5	50	75	10	15	9	10	6	56	29	12	15	19	17	15	65×50×8	28×39×8	110	16.5	11.5	7	40	18
5⅔—6	17	22	53	79	10.5	15.5	9.5	10.5	6.5	58	31	13	16	19	17	15	70×60×8	30×42×8	117	17	12	7.5	41	19
6—6⅓	18	23.5	56	84	11	16.5	10	11	6.5	60	32	13	16	20	18	16	70×60×9	31×44×9	123	18	12.5	7.5	42	19
6⅓—6⅔	19	24.5	59	88	11.5	17	10.5	11.5	7	62	33	14	17	20	18	16	75×65×9	33×47×9	130	19	13	8	44	20
6⅔—7	20	26	62	93	12	18	11	12	7	64	34	15	18	21	19	17	75×70×9	35×49×9	137	20	14	8	45	21
7—7⅓	21	27	65	97	12.5	18.5	11.5	12.5	7.5	66	36	16	19	22	20	17	80×70×9	36×51×9	143	21	14.5	8.5	47	22
7⅓—7⅔	21.5	28	68	102	13	19.5	12	13	7.5	68	37	16	19	23	20	18	80×70×10	37×53×10	150	21.5	15	8.5	48	22
7⅔—8	22	28.5	71	106	13.5	20	12.5	13.5	8	70	39	17	20	23	21	18	85×75×10	39×56×10	157	22	15.5	9	50	23
8—8⅓	22.5	29	74	111	13.5	20.5	12.5	13.5	8	72	40	17	20	24	21	18	85×75×11	41×58×11	163	22.5	16	9	51	23
8⅓—8⅔	23	30	77	115	14	21	13	14	8.5	74	42	18	21	24	22	19	90×75×11	43×61×11	170	23	16.5	9.5	52	24
8⅔—9	23.5	30.5	80	120	14	21.5	13	14	8.5	76	43	18	21	25	22	19	90×80×12	44×63×12	177	23.5	17	9.5	54	24

備考　咽喉釘部ノ厚サハ咽喉部敲釘ノ箇所ニ於テ腕ノ長サニ直角ニ測リタルモノトス

注ナ ノ材肘尾首脇及材曲表

| 番号 | 径 | 重量 | 材曲 | | |

番號	重量	厚	幅	長	孔	孔心距離	孔緣距離	孔徑	孔數	備考
1	0.75—1.25	6	30	40	1			17	1	
2	1.25—1.75	6	30	50	1			17	1	
3	1.75—2.25	6	30	60	1			17	1	
4	2.25—2.75	6	30	70	1			17	1	
5	2.75—3.25	6	30	80	1			17	1	
6	3.25—3.75	6	30	90	1			17	1	
7	3.75—4.25	6	30	100	1			17	1	
8	4.25—4.75	6	30	110	1			17	1	
9	4.75—5.25	6	30	120	1			17	1	
10	5.25—5.75	6	30	130	1			17	1	
11	5.75—6.25	6	30	140	1			17	1	
12	6.25—6.75	6	30	150	1			17	1	
13	6.75—7.25	6	30	160	1			17	1	
14	7.25—7.75	6	30	170	1			17	1	
15	7.75—8.25	6	30	180	1			17	1	
16	8.25—8.75	6	30	190	1			17	1	
17	8.75—9.25	6	30	200	1			17	1	
18	9.25—9.75	6	30	210	1			17	1	
19	9.75—10.25	6	30	220	1			17	1	
20	10.25—10.75	6	30	230	1			17	1	
21	10.75—11.25	6	30	240	1			17	1	
22	11.25—11.75	6	30	250	1			17	1	
23	11.75—12.25	6	30	260	1			17	1	
24	12.25—12.75	6	30	270	1			17	1	
25	12.75—13.25	6	30	280	1			17	1	
26	13.25—13.75	6	30	290	1			17	1	
27	13.75—14.25	6	30	300	1			17	1	
28	14.25—14.75	6	30	310	1			17	1	
29	14.75—15.25	6	30	320	1			17	1	
30	15.25—15.75	6	30	330	1			17	1	
31	15.75—16.25	6	30	340	1			17	1	
32	16.25—16.75	6	30	350	1			17	1	
33	16.75—17.25	6	30	360	1			17	1	
34	17.25—17.75	6	30	370	1			17	1	
35	17.75—18.25	6	30	380	1			17	1	
36	18.25—18.75	6	30	390	1			17	1	
37	18.75—19.25	6	30	400	1			17	1	
38	19.25—19.75	6	30	410	1			17	1	
39	19.75—20.25	6	30	420	1			17	1	
40	20.25—20.75	6	30	430	1			17	1	
41	20.75—21.25	6	30	440	1			17	1	
42	21.25—21.75	6	30	450	1			17	1	
43	21.75—22.25	6	30	460	1			17	1	
44	22.25—22.75	6	30	470	1			17	1	
45	22.75—23.25	6	30	480	1			17	1	
46	23.25—23.75	6	30	490	1			17	1	
47	23.75—24.25	6	30	500	1			17	1	
48	24.25—24.75	6	30	510	1			17	1	
49	24.75—25.25	6	30	520	1			17	1	
50	25.25—25.75	6	30	530	1			17	1	
51	25.75—26.25	6	30	540	1			17	1	
52	26.25—26.75	6	30	550	1			17	1	
53	26.75—27.25	6	30	560	1			17	1	
54	27.25—27.75	6	30	570	1			17	1	
55	27.75—28.25	6	30	580	1			17	1	
56	28.25—28.75	6	30	590	1			17	1	
57	28.75—29.25	6	30	600	1			17	1	
58	29.25—29.75	6	30	610	1			17	1	
59	29.75—30.25	6	30	620	1			17	1	
60	30.25—30.75	6	30	630	1			17	1	
61	30.75—31.25	6	30	640	1			17	1	
62	31.25—31.75	6	30	650	1			17	1	
63	31.75—32.25	6	30	660	1			17	1	
64	32.25—32.75	6	30	670	1			17	1	
65	32.75—33.25	6	30	680	1			17	1	
66	33.25—33.75	6	30	690	1			17	1	
67	33.75—34.25	6	30	700	1			17	1	
68	34.25—34.75	6	30	710	1			17	1	
69	34.75—35.25	6	30	720	1			17	1	
70	35.25—35.75	6	30	730	1			17	1	
71	35.75—36.25	6	30	740	1			17	1	
72	36.25—36.75	6	30	750	1			17	1	
73	36.75—37.25	6	30	760	1			17	1	
74	37.25—37.75	6	30	770	1			17	1	
75	37.75—38.25	6	30	780	1			17	1	
76	38.25—38.75	6	30	790	1			17	1	
77	38.75—39.25	6	30	800	1			17	1	
78	39.25—39.75	6	30	810	1			17	1	
79	39.75—40.25	6	30	820	1			17	1	
80	40.25—40.75	6	30	830	1			17	1	
81	40.75—41.25	6	30	840	1			17	1	
82	41.25—41.75	6	30	850	1			17	1	
83	41.75—42.25	6	30	860	1			17	1	
84	42.25—42.75	6	30	870	1			17	1	
85	42.75—43.25	6	30	880	1			17	1	
86	43.25—43.75	6	30	890	1			17	1	
87	43.75—44.25	6	30	900	1			17	1	
88	44.25—44.75	6	30	910	1			17	1	
89	44.75—45.25	6	30	920	1			17	1	
90	45.25—45.75	6	30	930	1			17	1	
91	45.75—46.25	6	30	940	1			17	1	
92	46.25—46.75	6	30	950	1			17	1	
93	46.75—47.25	6	30	960	1			17	1	
94	47.25—47.75	6	30	970	1			17	1	
95	47.75—48.25	6	30	980	1			17	1	
96	48.25—48.75	6	30	990	1			17	1	
97	48.75—49.25	6	30	1000	1			17	1	
98	49.25—49.75	6	30	1010	1			17	1	
99	49.75—50.25	6	30	1020	1			17	1	
100	50.25—50.75	6	30	1030	1			17	1	

番號	重量	厚	幅	長	孔	孔心距離	孔緣距離	孔徑	孔數	備考
1	0.75—1.25	6	30	40	1			17	1	
2	1.25—1.75	6	30	50	1			17	1	
3	1.75—2.25	6	30	60	1			17	1	
4	2.25—2.75	6	30	70	1			17	1	
5	2.75—3.25	6	30	80	1			17	1	
6	3.25—3.75	6	30	90	1			17	1	
7	3.75—4.25	6	30	100	1			17	1	
8	4.25—4.75	6	30	110	1			17	1	
9	4.75—5.25	6	30	120	1			17	1	
10	5.25—5.75	6	30	130	1			17	1	
11	5.75—6.25	6	30	140	1			17	1	
12	6.25—6.75	6	30	150	1			17	1	
13	6.75—7.25	6	30	160	1			17	1	
14	7.25—7.75	6	30	170	1			17	1	
15	7.75—8.25	6	30	180	1			17	1	
16	8.25—8.75	6	30	190	1			17	1	
17	8.75—9.25	6	30	200	1			17	1	
18	9.25—9.75	6	30	210	1			17	1	
19	9.75—10.25	6	30	220	1			17	1	
20	10.25—10.75	6	30	230	1			17	1	
21	10.75—11.25	6	30	240	1			17	1	
22	11.25—11.75	6	30	250	1			17	1	
23	11.75—12.25	6	30	260	1			17	1	
24	12.25—12.75	6	30	270	1			17	1	
25	12.75—13.25	6	30	280	1			17	1	
26	13.25—13.75	6	30	290	1			17	1	
27	13.75—14.25	6	30	300	1			17	1	
28	14.25—14.75	6	30	310	1			17	1	
29	14.75—15.25	6	30	320	1			17	1	
30	15.25—15.75	6	30	330	1			17	1	
31	15.75—16.25	6	30	340	1			17	1	
32	16.25—16.75	6	30	350	1			17	1	
33	16.75—17.25	6	30	360	1			17	1	
34	17.25—17.75	6	30	370	1			17	1	
35	17.75—18.25	6	30	380	1			17	1	
36	18.25—18.75	6	30	390	1			17	1	
37	18.75—19.25	6	30	400	1			17	1	
38	19.25—19.75	6	30	410	1			17	1	
39	19.75—20.25	6	30	420	1			17	1	
40	20.25—20.75	6	30	430	1			17	1	
41	20.75—21.25	6	30	440	1			17	1	
42	21.25—21.75	6	30	450	1			17	1	
43	21.75—22.25	6	30	460	1			17	1	
44	22.25—22.75	6	30	470	1			17	1	
45	22.75—23.25	6	30	480	1			17	1	
46	23.25—23.75	6	30	490	1			17	1	
47	23.75—24.25	6	30	500	1			17	1	
48	24.25—24.75	6	30	510	1			17	1	
49	24.75—25.25	6	30	520	1			17	1	
50	25.25—25.75	6	30	530	1			17	1	
51	25.75—26.25	6	30	540	1			17	1	
52	26.25—26.75	6	30	550	1			17	1	
53	26.75—27.25	6	30	560	1			17	1	
54	27.25—27.75	6	30	570	1			17	1	
55	27.75—28.25	6	30	580	1			17	1	
56	28.25—28.75	6	30	590	1			17	1	
57	28.75—29.25	6	30	600	1			17	1	
58	29.25—29.75	6	30	610	1			17	1	
59	29.75—30.25	6	30	620	1			17	1	
60	30.25—30.75	6	30	630	1			17	1	
61	30.75—31.25	6	30	640	1			17	1	
62	31.25—31.75	6	30	650	1			17	1	
63	31.75—32.25	6	30	660	1			17	1	
64	32.25—32.75	6	30	670	1			17	1	
65	32.75—33.25	6	30	680	1			17	1	
66	33.25—33.75	6	30	690	1			17	1	
67	33.75—34.25	6	30	700	1			17	1	
68	34.25—34.75	6	30	710	1			17	1	
69	34.75—35.25	6	30	720	1			17	1	
70	35.25—35.75	6	30	730	1			17	1	
71	35.75—36.25	6	30	740	1			17	1	
72	36.25—36.75	6	30	750	1			17	1	
73	36.75—37.25	6	30	760	1			17	1	
74	37.25—37.75	6	30	770	1			17	1	
75	37.75—38.25	6	30	780	1			17	1	
76	38.25—38.75	6	30	790	1			17	1	
77	38.75—39.25	6	30	800	1			17	1	
78	39.25—39.75	6	30	810	1			17	1	
79	39.75—40.25	6	30	820	1			17	1	
80	40.25—40.75	6	30	830	1			17	1	
81	40.75—41.25	6	30	840	1			17	1	
82	41.25—41.75	6	30	850	1			17	1	
83	41.75—42.25	6	30	860	1			17	1	
84	42.25—42.75	6	30	870	1			17	1	
85	42.75—43.25	6	30	880	1			17	1	
86	43.25—43.75	6	30	890	1			17	1	
87	43.75—44.25	6	30	900	1			17	1	
88	44.25—44.75	6	30	910	1			17	1	
89	44.75—45.25	6	30	920	1			17	1	
90	45.25—45.75	6	30	930	1			17	1	
91	45.75—46.25	6	30	940	1			17	1	
92	46.25—46.75	6	30	950	1			17	1	
93	46.75—47.25	6	30	960	1			17	1	
94	47.25—47.75	6	30	970	1			17	1	
95	47.75—48.25	6	30	980	1			17	1	
96	48.25—48.75	6	30	990	1			17	1	
97	48.75—49.25	6	30	1000	1			17	1	
98	49.25—49.75	6	30	1010	1			17	1	
99	49.75—50.25	6	30	1020	1			17	1	
100	50.25—50.75	6	30	1030	1			17	1	

番號	重量	厚	幅	長	孔	孔心距離	孔緣距離	孔徑	孔數	備考
1	0.75—1.25	6	30	40	1			17	1	
2	1.25—1.75	6	30	50	1			17	1	
3	1.75—2.25	6	30	60	1			17	1	
4	2.25—2.75	6	30	70	1			17	1	
5	2.75—3.25	6	30	80	1			17	1	
6	3.25—3.75	6	30	90	1			17	1	
7	3.75—4.25	6	30	100	1			17	1	
8	4.25—4.75	6	30	110	1			17	1	
9	4.75—5.25	6	30	120	1			17	1	
10	5.25—5.75	6	30	130	1			17	1	
11	5.75—6.25	6	30	140	1			17	1	
12	6.25—6.75	6	30	150	1			17	1	
13	6.75—7.25	6	30	160	1			17	1	
14	7.25—7.75	6	30	170	1			17	1	
15	7.75—8.25	6	30	180	1			17	1	
16	8.25—8.75	6	30	190	1			17	1	
17	8.75—9.25	6	30	200	1			17	1	
18	9.25—9.75	6	30	210	1			17	1	
19	9.75—10.25	6	30	220	1			17	1	
20	10.25—10.75	6	30	230	1			17	1	
21	10.75—11.25	6	30	240	1			17	1	
22	11.25—11.75	6	30	250	1			17	1	
23	11.75—12.25	6	30	260	1			17	1	
24	12.25—12.75	6	30	270	1			17	1	
25	12.75—13.25	6	30	280	1			17	1	
26	13.25—13.75	6	30	290	1			17	1	
27	13.75—14.25	6	30	300	1			17	1	
28	14.25—14.75	6	30	310	1			17	1	
29	14.75—15.25	6	30	320	1			17	1	
30	15.25—15.75	6	30	330	1			17	1	
31	15.75—16.25	6	30	340	1			17	1	
32	16.25—16.75	6	30	350	1			17	1	
33	16.75—17.25	6	30	360	1			17	1	
34	17.25—17.75	6	30	370	1			17	1	
35	17.75—18.25	6	30	380	1			17	1	
36	18.25—18.75	6	30	390	1			17	1	
37	18.75—19.25	6	30	400	1			17	1	
38	19.25—19.75	6	30	410	1			17	1	
39	19.75—20.25	6	30	420	1			17	1	
40	20.25—20.75	6	30	430	1			17	1	
41	20.75—21.25	6	30	440	1			17	1	
42	21.25—21.75	6	30	450	1			17	1	
43	21.75—22.25	6	30	460	1			17	1	
44	22.25—22.75	6	30	470	1			17	1	
45	22.75—23.25	6	30	480	1			17	1	
46	23.25—23.75	6	30	490	1			17	1	
47	23.75—24.25	6	30	500	1			17	1	
48	24.25—24.75	6	30	510	1			17	1	
49	24.75—25.25	6	30	520	1			17	1	
50	25.25—25.75	6	30	530	1			17	1	
51	25.75—26.25	6	30	540	1			17	1	
52	26.25—26.75	6	30	550	1			17	1	
53	26.75—27.25	6	30	560	1			17	1	
54	27.25—27.75	6	30	570	1			17	1	
55	27.75—28.25	6	30	580	1			17	1	
56	28.25—28.75	6	30	590	1			17	1	
57	28.75—29.25	6	30	600	1			17	1	
58	29.25—29.75	6	30	610	1			17	1	
59	29.75—30.25	6	30	620	1			17	1	
60	30.25—30.75	6	30	630	1			17	1	
61	30.75—31.25	6	30	640	1			17	1	
62	31.25—31.75	6	30	650	1			17	1	
63	31.75—32.25	6	30	660	1			17	1	
64	32.25—32.75	6	30	670	1			17	1	
65	32.75—33.25	6	30	680	1			17	1	
66	33.25—33.75	6	30	690	1			17	1	
67	33.75—34.25	6	30	700	1			17	1	
68	34.25—34.75	6	30	710	1			17	1	
69	34.75—35.25	6	30	720	1			17	1	
70	35.25—35.75	6	30	730	1			17	1	
71	35.75—36.25	6	30	740	1			17	1	
72	36.25—36.75	6	30	750	1			17	1	
73	36.75—37.25	6	30	760	1			17	1	
74	37.25—37.75	6	30	770	1			17	1	
75	37.75—38.25	6	30	780	1			17	1	
76	38.25—38.75	6	30	790	1			17	1	
77	38.75—39.25	6	30	800	1			17	1	
78	39.25—39.75	6	30	810	1			17	1	
79	39.75—40.25	6	30	820	1			17	1	
80	40.25—40.75	6	30	830	1			17	1	
81	40.75—41.25	6	30	840	1			17	1	
82	41.25—41.75	6	30	850	1			17	1	
83	41.75—42.25	6	30	860	1			17	1	
84	42.25—42.75	6	30	870	1			17	1	
85	42.75—43.25	6	30	880	1			17	1	
86	43.25—43.75	6	30	890	1			17	1	
87	43.75—44.25	6	30	900	1			17	1	
88	44.25—44.75	6	30	910	1			17	1	
89	44.75—45.25	6	30	920	1			17	1	
90	45.25—45.75	6	30	930	1			17	1	
91	45.75—46.25	6	30	940	1			17	1	
92	46.25—46.75	6	30	950	1			17	1	
93	46.75—47.25	6	30	960	1			17	1	
94	47.25—47.75	6	30	970	1			17	1	
95	47.75—48.25	6	30	980	1			17	1	
96	48.25—48.75	6	30	990	1			17	1	
97	48.75—49.25	6	30	1000	1			17	1	
98	49.25—49.75	6	30	1010	1			17	1	
99	49.75—50.25	6	30	1020	1			17	1	
100	50.25—50.75	6	30	1030	1			17	1	

番號	重量	厚	幅	長	孔	孔心距離	孔緣距離	孔徑	孔數	備考
1	0.75—1.25	6	30	40	1			17	1	
2	1.25—1.75	6	30	50	1			17	1	
3	1.75—2.25	6	30	60	1			17	1	
4	2.25—2.75	6	30	70	1			17	1	
5	2.75—3.25	6	30	80	1			17	1	
6	3.25—3.75	6	30	90	1			17	1	
7	3.75—4.25	6	30	100	1			17	1	
8	4.25—4.75	6	30	110	1			17	1	
9	4.75—5.25	6	30	120	1			17	1	
10	5.25—5.75	6	30	130	1			17	1	
11	5.75—6.25	6	30	140	1			17	1	
12	6.25—6.75	6	30	150	1			17	1	
13	6.75—7.25	6	30	160	1			17	1	
14	7.25—7.75	6	30	170	1			17	1	
15	7.75—8.25	6	30	180	1			17	1	
16	8.25—8.75	6	30	190	1			17	1	
17	8.75—9.25	6	30	200	1			17	1	
18	9.25—9.75	6	30	210	1			17	1	
19	9.75—10.25	6	30	220	1			17	1	
20	10.25—10.75	6	30	230	1			17	1	
21	10.75—11.25	6	30	240	1			17	1	
22	11.25—11.75	6	30	250	1			17	1	
23	11.75—12.25	6	30	260	1			17	1	
24	12.25—12.75	6	30	270	1			17	1	
25	12.75—13.25	6	30	280	1			17	1	
26	13.25—13.75	6	30	290	1			17	1	
27	13.75—14.25	6	30	300	1			17	1	
28	14.25—14.75	6	30	310	1			17	1	
29	14.75—15.25	6	30	320	1			17	1	
30	15.25—15.75	6	30	330	1			17	1	
31	15.75—16.25	6	30	340	1			17	1	
32	16.25—16.75	6	30	350	1			17	1	
33	16.75—17.25	6	30	360	1			17	1	
34	17.25—17.75	6	30	370	1			17	1	
35	17.75—18.25	6	30	380	1			17	1	
36	18.25—18.75	6	30	390	1			17	1	
37	18.75—19.25	6	30	400	1			17	1	
38	19.25—19.75	6	30	410	1			17	1	
39	19.75—20.25	6	30	420	1			17	1	
40	20.25—20.75	6	30	430	1			17	1	
41	20.75—21.25	6	30	440	1			17	1	
42	21.25—21.75	6	30	450	1			17	1	
43	21.75—22.25	6	30	460	1			17	1	
44	22.25—22.75	6	30	470	1			17	1	
45	22.75—23.25	6	30	480	1			17	1	
46	23.25—23.75	6	30	490	1			17	1	
47	23.75—24.25	6	30	500	1			17	1	
48	24.25—24.75	6	30	510	1			17	1	
49	24.75—25.25	6	30	520	1			17	1	
50	25.25—25.75	6	30	530	1			17	1	
51	25.75—26.25	6	30	540	1			17	1	
52	26.25—26.75	6	30	550	1			17	1	
53	26.75—27.25	6	30	560	1			17	1	
54	27.25—27.75	6	30	570	1			17	1	
55	27.75—28.25	6	30	580	1			17	1	
56	28.25—28.75	6	30	590	1			17	1	
57	28.75—29.25	6	30	600	1			17	1	
58	29.25—29.75	6	30	610	1			17	1	
59	29.75—30.25	6	30	620	1			17	1	
60	30.25—30.75	6	30	630	1			17	1	
61	30.75—31.25	6	30	640	1			17

第五號表　固著釘ノ徑

件名 / 第二數	船首尾ノ力材又ハ根曲材ノ固著蔽釘 船尾材ト舵柱トノ固著蔽釘 舵心材ト矧材トノ固著蔽釘	龍骨ト內龍骨トノ固著蔽釘 船首尾肘材ノ咽喉部ノ固著蔽釘 管胴材ノ固著蔽釘 船尾縱翼材若ハ船尾橫翼材ト船尾材トノ固著蔽釘	龍骨又ハ內龍骨ノ嵌接用蔽釘 船首尾肘材ノ腕部ノ固著蔽釘 側內龍骨ノ固著蔽釘及嵌接用蔽釘 艙梁ノ梁壓材ノ固著蔽釘及嵌接用蔽釘	甲板梁ノ梁壓材（船鍔ヨリ梁受板迄貫通スル蔽釘ヲ含ム）ノ固著蔽釘及嵌接用蔽釘 梁受板ノ固著蔽釘及嵌接用蔽釘 第二甲板若ハ艙梁ノ副梁受板ノ固著蔽釘及嵌接用蔽釘	上甲板ノ副梁受板ノ固著蔽釘及嵌接用蔽釘 甲板口緣材ノ固著蔽釘 斜肋骨ト力材トノ固著蔽釘	側內厚板 彎曲部縱通材 船側縱通材 內部腰板 副梁壓材 ノ固著蔽釘及嵌接用蔽釘 船鍔ノ固著蔽釘（船鍔ヨリ梁受板迄貫通スル蔽釘ヲ除ク）及嵌接用蔽釘 單材肋骨ノ接手又ハ二材合セ肋骨ノ肋材衝接部ニ用ウル固著蔽釘	舷側厚板又ハ龍骨翼板ノ固著蔽釘及同嵌接用蔽釘	外部腰板ノ固著釘		外板ノ固著釘		木甲板ノ固著釘	內張板ノ固著釘
								蔽釘	木釘	蔽釘	木釘		
以下 ヲ超エ 75—125	19 粍	16 粍	15 粍	14 粍	13 粍	11 粍	11 粍	10 粍	19 粍	10 粍	19 粍	8 粍	6 粍
125—175	20	17	16	15	14	12	12	11	22	11	19	9	7
175—250	21	18	17	16	15	13	13	12	25	12	22	10	8
250—375	22	19	18	17	16	14	14	13	25	13	22	10	8
375—500	23	20	18	17	16	15	15	14	25	14	25	11	8
500—625	24	21	19	18	17	15	15	15	28	14	25	11	9
625—750	25	22	19	18	17	16	16	16	28	15	25	12	9
750—875	25	22	20	19	18	16	16	16	28	15	25	12	9
875—1,000	26	23	20	19	18	17	17	17	31	16	28	13	10
1,000—1,250	27	24	21	20	19	18	18	17	31	16	28	13	10
1,250—1,500	28	25	22	21	20	19	19	18	31	17	28	14	11
1,500—1,750	29	26	23	22	21	20	20	19	31	17	28	14	11
1,750—2,000	30	27	24	23	22	21	21	20	34	18	31	15	12

船舶機關規程（昭和九年二月一日遞信省令第十號）

目次

第一章 總則
第二章 材料及材料試驗
第一節 試驗片
第二節 壓延鋼材
第三節 鍛鋼材
第四節 鑄鋼材
第五節 管
第六節 雜則
第三章 蒸汽機關ヲ備フル船舶ノ機關
第一節 汽機
第二節 筒形汽罐及直立汽罐
第三節 水管汽罐及過熱器
第四節 汽罐附屬品
第五節 汽罐ニ關スル雜則
第一節 發動機
第二節 油槽、油管、潤滑油裝置等
第三節 廢氣裝置及空氣壓縮機
第四節 氣槽
第五節 排水、吸水及冷却水ニ關スル裝置
第六節 水壓試驗
第七節 補汽罐
第五章 艤裝品及備品
附則

船舶機關規程

第一章 總則

第一條 本令ニ於テ汽機又ハ發動機トハ特ニ規定スル場合ヲ除クノ外推進軸系ニ連接スル汽機又ハ發動機ヲ謂フ

本令ニ於テ汽罐トハ補汽罐ヲモ包含ス

本令ニ於テ第一種螺旋軸トハ一体被金ヲ有スルカ又ハ之ト同等ノ耐蝕性ヲ有スル螺旋軸ヲ謂ヒ第二種螺旋軸トハ其ノ

11	10	10	10	10	11	11	10	10	10	10	6
13	11	12	11	11	12	12	11	11	11	11	7
13	13	13	12	12	13	13	12	12	12	12	8
13	13	12	25	12	13	22	12	22	10	10	8
14	14	13	25	13	13	22	12	22	10	10	8
15	15	14	25	14	14	25	13	25	11	11	8
15	15	15	28	14	14	25	13	25	11	11	9
16	16	16	28	15	15	25	14	25	12	12	9
16	16	16	28	15	15	25	14	25	12	12	9
17	17	17	31	16	16	28	15	28	13	13	10
18	18	17	31	16	16	28	15	28	13	13	10
19	19	18	31	17	17	28	16	28	14	14	11
20	20	19	31	17	17	28	16	28	14	14	11
21	21	20	34	18	18	31	17	31	16	15	12

船舶機關規程

（昭和九年二月一日　遞信省令第十號）

目次

第一章　總則
第二章　材料及材料試驗
　第一節　試驗片
　第二節　壓延鋼材
　第三節　鍛鋼材
　第四節　鑄鋼材
　第五節　管
　第六節　雜則
第三章　蒸汽機關ヲ備フル船舶ノ機關
　第一節　汽機
　第二節　筒形汽罐及直立汽罐
　第三節　水管汽罐及過熱器
　第四節　汽罐附屬品
　第五節　汽罐ニ關スル雜則
　第六節　給水裝置
　第七節　排水、吸水、循環水及潤滑油ニ關スル裝置
　第八節　管
　第九節　給水、排水其ノ他ノ裝置ノ水壓試驗
　第十節　燃油裝置
第四章　發動機ヲ備フル船舶ノ機關
　第一節　發動機
　第二節　油槽、油管、潤滑油裝置等
　第三節　廢氣裝置及空氣壓縮機
　第四節　氣槽
　第五節　排水、吸水及冷却水ニ關スル裝置
　第六節　水壓試驗
　第七節　補汽罐
第五章　艤裝品及備品
附則

船舶機關規程

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ汽機又ハ發動機トハ特ニ規定スル場合ヲ除クノ外推進軸系ニ連接スル汽機又ハ發動機ヲ謂フ

本令ニ於テ汽罐トハ補汽罐ヲモ包含ス

本令ニ於テ第一種螺旋軸トハ一体被金ヲ有スルカ又ハ之ト同等ノ耐蝕性ヲ有スル螺旋軸ヲ謂ヒ第二種螺旋軸トハ其ノ他ノ螺旋軸ヲ謂フ

適當ナル船尾管内潤滑油裝置ヲ備フル螺旋軸ハ前項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ第一種螺旋軸ト看做ス

第二條　船舶ノ推進機關ヲ分チテ甲種、乙種及丙種ノ三種トス

乙種機關ハ第一級船又ハ第二級汽船ノ推進機關トシテ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

丙種機關ハ第一級船又ハ第二級船ノ推進機關トシテ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第三條 汽罐ニ付テハ第三章第二節又ハ第三節ノ規定ニ依リ算定シタル汽罐各部ノ強力ニ對スル制限汽壓中最小ノモノヲ以テ其ノ制限汽壓トス但シ該汽罐ニ連絡スル汽機、汽管又ハ給水管ノ強力ニ對スル制限汽壓ヨリ大ナルコトヲ得ズ

第四條 本令ニ依ル試驗ハ管海官廳ノ監督ヲ受ケ之ヲ執行スベシ

試驗機ハ船用品試驗機試驗規程ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

本令ニ依ル試驗ハ管海官廳ノ適當ト認ムル證明書アルモノニ付テハ之ヲ省略スルコトヲ得

第五條 機關ノ構造若ハ寸法又ハ機關ニ關スル設備ニシテ本令ノ規定ニ該當セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノ又ハ機關ノ用途ニ依リ差支ナシト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモト看做ス

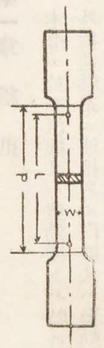
第六條 機關ノ構造若ハ寸法又ハ機關ニ關スル設備ニシテ本令ニ規定ナキモノニ付テハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第二章 材料及材料試驗

第一節 試驗片

第七條 抗張試驗ニ用ウル標準試驗片ハ左ノ形狀及寸法ト爲スベシ但シ其ノ兩端ハ試驗機ニ應ジ之ニ適合スル形狀ニ仕上グルモノトス

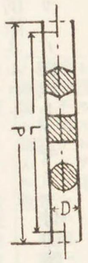
一 第一號試驗片 主トシテ鋼板、平鋼及形鋼ニ對シテ用ウルモノ



標點距離 L 二〇〇粍
平行部ノ長サ P 約二二〇粍
幅 W 左表ニ依ル

試驗片ノ厚サ(粍)	試驗片ノ幅W(粍)
二三ヲ超ユルモノ	四〇以下
九以上二三以下	五〇以下
九未滿	六〇以下

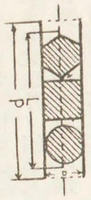
二 第二號試驗片 主トシテ徑(又ハ對邊距離)二五粍以下ノ棒鋼ニ對シテ用ウルモノ



標點距離 L ハ徑(又ハ對邊距離)D ノ八倍、兩端ヲ太クスルモノニ在リテハ平行部ノ長サ P ハ D ノ約九倍

平行部ハ壓延セル儘トシ又ハ機械仕上ニ依リ之ヲ作成スルコトヲ得

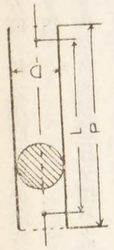
三 第三號試驗片 徑(又ハ對邊距離)二五粍ヲ超ユル棒鋼ニ對シテ用ウルモノ



標點距離 L ハ徑(又ハ對邊距離)D ノ四倍、兩端ヲ太クスルモノニ在リテハ平行部ノ長サ P ハ D ノ約四・五倍

平行部ハ壓延セル儘トシ又ハ機械仕上ニ依リ之ヲ作成スルコトヲ得

四 第四號試驗片 主トシテ鍛鋼材、鑄鋼材竝ニ非鐵金屬(又ハ其ノ合金)棒ニ對シテ用ウルモノ



標點距離 L 五〇粍
平行部ノ長サ P 約六〇粍
徑 D 一四粍

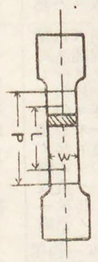
材料ノ都合ニ依リ右ノ寸法ト爲シ得ザルトキハ左ノ算式ニ依リ標點距離ヲ定ムルコトヲ得

$$L = 4\sqrt{A}$$

L ハ標點距離(粍ニテ)

A ハ橫截面積(平方粍ニテ)

五 第五號試驗片 主トシテ管類竝ニ非鐵金屬(又ハ其ノ合金)板ニ對シテ用ウルモノ



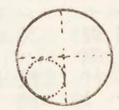
標點距離 L 五〇粍
平行部ノ長サ P 約七〇粍
幅 W 二五粍
厚サ 原厚サノ儘トス

第八條 壓延鋼材ノ抗張試驗片ニハ成ルベク壓延肌ヲ殘スベシ

前項ノ規定ニ拘ラズ徑又ハ對邊距離七五粍以下ノ棒鋼ノ試驗片ニ付テハ適宜機械仕上ヲ爲シ又七五粍ヲ超ユル棒鋼ニ

在リテハ左圖ニ於テ小圓ヲ以テ示ス位置ヨリ試驗片ヲ採取スルコトヲ得

前項ニ依リ作成スル試驗片ノ徑ハ之ヲ一四粍以下ト爲スコトヲ得ズ



第九條 壓延鋼材ノ屈曲試驗片ノ幅、徑又ハ對邊距離ハ三五粍以上ナルコトヲ要ス但シ「フランヂ」ノ幅五〇粍未滿ノ形鋼ヨリ採取セル試驗片ノ幅ハ三五粍未滿ナルモ妨ナク又徑又ハ對邊距離三五粍未滿ノ棒鋼ニ對シテ用ウル試驗片ハ壓延セル儘ノ材料ヲ使用スベシ

「フランヂ」ノ幅五〇粍未滿ノ形鋼ニ在リテハ之ニ壓力ヲ加ヘ若ハ鎚打シテ扁平ト爲シタルモノヨリ試驗片ヲ採取スルコトヲ得

壓延鋼材ノ屈曲試驗片ニハ左ノ加工以外ノ加工ヲ爲スコトヲ得ズ

一 剪斷ノ爲生ジタル稜角又ハ緣ノ不整ヲ鑪又ハ研磨機ニ依リ削除スルコト

二 厚サ二五粍以上ノモノニ付剪斷面ヲ機械仕上ト爲スコト

厚サ一二粍未滿ノ燒入屈曲試驗片ニハ前項各號ノ加工ト雖モ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第十條 鍛鋼材又ハ鑄鋼材ノ屈曲試驗片ハ幅二五粍厚サ一九粍ノ截面ヲ有シ角隅ニハ半徑一・五粍ノ丸味ヲ附シタルモノトス

第十一條 抗張試驗片及屈曲試驗片ノ數ハ特ニ規定スル場合ヲ除クノ外左表ニ依ル

種類	抗張試驗片ノ數	屈曲試驗片ノ數
加工ノ爲加熱スル鋼板又ハ使用中火焰ニ接觸スル鋼板	壓延シタル儘ノ鋼板一箇毎ニ一箇但シ其ノ重量二・五瓲ヲ超ユルトキハ其ノ兩端ヨリ各一箇	壓延シタル儘ノ鋼板一箇毎ニ燒入屈曲試驗片一箇但シ其ノ重量二・五瓲ヲ超ユルトキハ兩端ヨリ各一箇
其ノ他ノ鋼板	同右	壓延シタル儘ノ鋼板一箇毎ニ常溫屈曲試驗片一箇但シ其ノ重量二・五瓲ヲ超ユルトキハ其ノ兩端ヨリ各一箇 抗張力毎平方粍五三瓩以上ニシテ汽罐若ハ氣槽ノ胴ニ用ウルモノナルトキハ更ニ燒入屈曲試驗片一箇
形鋼、棒鋼又ハ鋲材	同一鎔鋼ニ屬シ壓延シタル儘ノ同種同一截面寸法ノ鋼材一五箇又ハ其ノ端數毎ニ一箇 徑又ハ對邊距離四五粍未滿ノ棒鋼若ハ鋲材ニ在リテハ右ノ一五箇ヲ五〇箇	同一鎔鋼ニ屬シ壓延シタル儘ノ同種同一截面寸法ノ鋼材一五箇又ハ其ノ端數毎ニ常溫及燒入屈曲試驗片各一箇 鎔鋼不明ナルトキハ同
鋲	同一徑ノモノノ重量四分ノ一瓲又ハ其ノ端數毎ニ一箇	同上
鍛鋼材	鍛鋼材一箇毎ニ一箇但シ一箇ノ重量五〇〇瓲未滿ニシテ同一鋼塊ヨリ鍛造シタル多數ノ鍛鋼材ニ付テハ管海官廳ノ適當ト認ムル數	同上
鑄鋼材	二鎔鋼以上ヲ使用シ一箇ノ鑄鋼材ヲ鑄造スル場合ニ於テハ該鑄鋼材一箇毎ニ四箇 一鎔鋼ヲ使用シ鑄造スル場合ニ於テハ鑄鋼材一箇毎ニ一箇但シ一鎔鋼ヲ使用シ鑄造スル多數ノ同形鑄鋼材ニ付テハ管海官廳ノ適當ト認ムル數	同上

第十二條 壓延鋼材ノ試驗片ハ鋼板ニ在リテハ横又ハ縱ノ方向ヨリ形鋼又ハ棒鋼ニ在リテハ長サノ方向ヨリ之ヲ採取シ矯正ノ必要アルトキハ常溫ノ儘矯正スベシ

壓延鋼材ノ試驗片ハ鋼材ト共ニスル場合ノ外之ニ燒鈍其ノ他ノ熱處理ヲ爲スコトヲ得ズ

第十三條 鍛鋼材ノ試驗片ハ鍛鋼材ニ適當ナル熱處理ヲ爲シタル後其ノ主体ヨリ小ナラザル截面ヲ有スル部分ヨリ縱ニ切取ルモノトス但シ鍛鋼品ノ形狀又ハ用途ニ依リ横ニ切取ルモ妨ナシ

第十四條 鑄鋼材ノ試驗片ハ之ヲ鑄鋼材ニ附着又ハ連結シテ鑄造シ鑄鋼材ト共ニ熱處理ヲ爲シタル後切取ルベシ

第二節 壓延鋼材

第十五條 機關ノ重要部分ニ用ウル壓延鋼材ハ酸性又ハ鹽基性ノ平爐ニ依リ製造セラレ裂疵其ノ他ノ缺點ナキモノナルコトヲ要ス

第十六條 前條ノ壓延鋼材ハ其ノ試驗片ガ左ノ各號ノ試驗ニ合格シタルモノナルコトヲ要ス但シ同一ノ汽罐又ハ氣槽ニ於テ同一ノ用途ニ供スル鋼板又ハ縱支柱用棒鋼ノ抗張力ノ差ノ範圍ハ毎平方粍七瓩ヲ超ユルコトヲ得ズ

一 抗張試驗 抗張力及標點間伸長百分率ハ左表ニ依ルコト

種類	抗張力（毎平方粍瓩）	標準抗張試驗片	標點間伸長百分率
加工ノ爲加熱スル鋼板又ハ作用中火焰ニ接觸スル鋼板	四一以上四八以下	第一號	厚サ九粍以上 二三以上 厚サ九粍未滿 二〇以上
其ノ他ノ鋼板	四四以上五五以下	第一號	厚サ九粍以上 二〇以上 厚サ九粍未滿 一七以上
形鋼	四四以上五〇以下	第一號	厚サ九粍以上 二〇以上 厚サ九粍未滿 一七以上

鋲材	四一以上四八以下	第二號	二五以上
		第三號	三〇以上
汽罐ノ燃燒室又ハ火爐ノ支柱用棒鋼	四一以上四八以下	第二號	二三以上
		第三號	二八以上
其ノ他ノ棒鋼	四四以上五五以下	第二號	二〇以上
		第三號	二四以上

二　屈曲試驗　燒入屈曲試驗ニ於テハ試驗片ヲ濃紅色（日光ノ直射セザル室内ニ於テ判定スルモノニシテ約六五〇度）ニ熱シテ約二八度ノ水中ニ急冷シタル後常温屈曲試驗ニ於テハ常温ノ儘試驗片ニ壓力ヲ加ヘ又ハ鎚打ニ依リ左表ノ内側半徑ニテ一八〇度屈曲スルモ裂疵ヲ生ゼザルコト

種類	内側半徑
鋼板	試驗片ノ厚サノ一・五倍以内
形鋼	試驗片ノ厚サノ一・五倍以内
棒鋼	試驗片ノ徑又ハ對邊距離ノ一・五倍以内
鋲材	密著

第十七條　前條ノ抗張試驗ニ於テ試驗片ガ標點間ノ中心ヨリ標點距離ノ四分ノ一以外ニ於テ切斷シタルトキハ其ノ試驗ヲ無效トシ更ニ最初ニ試驗片ヲ採取シタル鋼材ニ付再試驗ヲ行フコトヲ得

抗張試驗又ハ屈曲試驗ガ不合格ト爲リタルトキハ其ノ試驗片一箇ニ付更ニ二箇ノ試驗片ヲ採取シ再試驗ヲ行フコトヲ得

前項ノ再試驗ヲ行ヒタル場合ニ於テ試驗片中一箇ト雖モ合格セザルモノアルトキハ之ニ依リ試驗ヲ行ヒタル鋼材ハ總テ不合格トス

第十八條　機關ノ重要部分ニ用ウル鋲ハ左ノ各號ノ試驗ニ合格シタルモノナルコトヲ要ス但シ第十六條各號ノ試驗ニ合格シタル鋲材ヨリ製作シタル鋲ニ付テハ抗張試驗ヲ省略スルモ妨ナシ

一　抗張試驗　抗張力ハ毎平方粍四一瓩以上四八瓩以下ナルコト

二　屈曲試驗　常温ノ儘脚部ヲ一八〇度屈曲シテ密著セシムルモ屈曲部ノ外側ニ裂疵ヲ生ゼザルコト

三　打展試驗　頭部ヲ赤熱シテ脚部ノ徑ノ二・五倍迄扁平ニ打展スルモ其ノ緣ニ裂疵ヲ生ゼザルコト

前項第三號ノ試驗ニ用ウル鋲ノ數ハ同一徑ノモノノ重量四分ノ一ヲ超ヌハ其ノ端數毎ニ一箇トス

前條ノ規定ハ鋲ノ再試驗ニ付之ヲ準用ス

第十九條　厚サ六粍未滿ノ壓延鋼材及抗張力ヲ重要トセザル部分ニ使用スル壓延鋼材ニハ抗張試驗及燒入屈曲試驗ヲ省略スルコトヲ得

第三節　鍛鋼材

第二十條　機關ノ重要部分ニ用ウル鍛鋼材ハ平爐、坩堝爐又ハ電氣爐ニ依リ製造シタル鋼塊ヨリ鍛造シ品質均一ニシテ裂疵其ノ他ノ缺點ナキモノナルコトヲ要ス

前項ノ鍛鋼材ニハ適當ナル熱處理ヲ爲スベシ

第二十一條　主機ノ軸、「ピストン」桿、十字頭、連接桿、推進軸系ノ軸類其ノ他强力ヲ重要トスル部分ニ用ウル鍛鋼材ノ主体ハ其ノ截面積ヲ原鋼塊ノ平均截面積ノ四分ノ一以内ニ、主体以外ノ部分ハ其ノ截面積ヲ原鋼塊ノ平均截面積ノ三分ノ二以内ニ鍛錬スベシ但シ一体型又ハ半組成型ノ「クランク」軸ノ「クランク」部ニ用ウル鍛鋼材ニ付テハ其ノ截面積ノ割合ハ二分ノ一以内トス

前項ノ規定ハ船舶ノ推進ニ關係ヲ有スル補機ノ「クランク」軸ニ用ウル鍛鋼材ニ之ヲ準用ス

第二十二條　前條第一項ニ揭グル部分ニ用ウル鍛鋼材ニシテ大サ又ハ形狀ニ依リ其ノ截面積ノ割合ガ前條第一項ノ規定ニ依リ難キモノニ付テハ其ノ割合ハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第二十三條　第二十一條ニ揭グル部分ニ用ウル鍛鋼材ハ其ノ試驗片ガ左ノ各號ノ試驗ニ合格シタルモノナルコトヲ要ス

一　抗張試驗　抗張力ガ毎平方粍四四瓩以上五五瓩以下ニシテ其ノ數値ト標點間伸長百分率ノ一・五八倍トノ和ガ九〇以上ナルコト

二　屈曲試驗　常温ノ儘六粍以下ノ内側半徑ヲ以テ一八〇度屈曲スルモ裂疵ヲ生ゼザルコト但シ抗張力毎平方粍五〇瓩以上ノモノニ付テハ屈曲ノ内側半徑ヲ一〇粍迄增スコトヲ得

軸ノ計畫仕上徑二五〇粍以上ノ一体型「クランク」軸又ハ半組成型「クランク」軸ノ「クランク」部ハ該鍛造物ノ成ルベク中心部ニ於テ五ニ直角ナル三方向ニ採取シタル試驗片ニ付抗張試驗及屈曲試驗ヲ執行シ左表ノ規格ニ適合スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ前項ノ試驗ヲ省略スルコトヲ得

試驗片採取方向	抗張力（毎平方粍瓩）	標點間伸長百分率	裂紐ヲ生ゼザルコトヲ要スル屈曲角度
軸ノ中心線ニ平行ナル方向	四二・五以上五三	二七以上	一八〇
「クランク」腕ノ中心線ニ平行ナル方向	四二・五以上五三	二七以上	一五〇
前二方向ニ直角ナル方向	四一・〇以上五三	一九以上	一二五

備考

屈曲試驗ニ於ケル屈曲ノ内側半徑ハ軸ノ中心線ニ平行ナル方向ノ抗張力ガ毎平方粍四九瓩未滿ナルトキハ六粍以下、四九瓩以上ナルトキハ一〇粍以下ト爲スベシ

鍛造ノ割合ニ關シ前條ノ規定ニ依リタル鍛鋼材ハ第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル試驗ノ外管海官廳ノ適當ト認ムル試驗ニ合格シタルモノナルコトヲ要ス

第二項ノ「クランク」軸ノ「クランク」部ニシテ鍛造ノ方法其ノ他ノ事由ニ因リ同項ノ規定ニ依リ難キモノハ第一項ノ試驗ノ外管海官廳ノ適當ト認ムル試驗ニ合格シタルモノナルコトヲ要ス

第二十四條 前條ノ抗張試驗ニ於テ試驗片ガ標點間ノ中心ヨリ標點距離ノ四分ノ一以外ニ於テ切斷シタルトキハ再試驗ヲ行フコトヲ得

前條ノ材料試驗ニ合格セザルトキハ管海官廳ニ於テ試驗片ノ成績ガ材質ヲ適當ニ表明セザルモノト認メタル場合ニ限リ當該試驗ニ對シ更ニ二箇ノ試驗片ヲ採取シテ再試驗ヲ行フコトヲ得

前項ノ再試驗ヲ行ヒタル場合ニ於テ試驗片中一箇ト雖モ合格セザルモノアルトキハ之ニ依リ試驗ヲ行ヒタル鍛鋼材ハ不合格トス

第二十五條 第二十三條ノ材料試驗ガ不合格トナリタルトキハ更ニ鍛鋼材ニ熱處理ヲ爲スコトヲ得

前項ノ熱處理ヲ爲シタル場合ニ於テハ新ニ抗張試驗及屈曲試驗ノ全部ヲ行フモノトス

第四節 鑄鋼材

第二十六條 機關ノ重要部分ニ用ウル鑄鋼材ハ平爐、轉爐、電氣爐又ハ坩堝爐ニ依リ鑄造シ其ノ品質均一ニシテ有害ナル疵、鑄巢其ノ他ノ缺點ナキモノナルコトヲ要ス

前項ノ鑄鋼材ニハ適當ナル熱處理ヲ爲スベシ

鑄鋼材ノ疵等ニシテ强力ニ對スル影響輕微ナリト認ムルモノニ付テハ管海官廳ハ鑄掛、電氣鎔接又ハ他ノ適當ナル方法ニ依リ之ヲ補修セシムルコトヲ得

前項ノ補修ヲ爲シタル場合ニ於テ管海官廳必要アリト認ムルトキハ補修後更ニ該鑄鋼材ニ適當ナル熱處理ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條 機關ノ重要部分ニ用ウル鑄鋼材ハ其ノ試驗片ガ左ノ第一號及第二號ノ試驗ニ合格シ且該鑄鋼材ガ左ノ第三號及第四號ノ試驗ニ合格スルコトヲ要ス但シ强力ヲ重要トセザル部分ニ用ウル鑄鋼材ニ付テハ第一號及第二號ノ試驗ヲ省略スルコトヲ得

一 抗張試驗 抗張力ハ毎平方粍四一瓩以上五五瓩以下ニシテ標點間伸長百分率ハ二〇以上ナルコト

二 屈曲試驗 常溫ノ儘二五粍以下ノ內側半徑ヲ以テ一二〇度以上屈曲スルモ裂疵ヲ生ゼザルコト

三 落下試驗 鑄鋼材ヲ約三米ノ高サヨリ硬質ノ地面ニ落下シ裂疵其ノ他ノ缺點ヲ生ゼザルコト

四 鎚打試驗 前號ノ試驗執行後鑄鋼材ヲ吊シ其ノ重量ニ應ジ三瓩乃至七瓩ノ鎚ヲ以テ其ノ表面ヲ打ツモ有害ナル裂疵、鑄巢、偏肉其ノ他ノ缺點ヲ認メザルコト

形狀特ニ複雜又ハ長大ニシテ落下試驗ヲ執行スルトキハ變形ノ處アリト認ムルモノニ付テハ該鑄鋼材ノ成ルベク隔リタル兩端ヨリ採取シタル各二箇ノ試驗片ガ前項第一號及第二號ノ試驗ニ合格スルトキハ落下試驗ヲ省略スルコトヲ得

此ノ場合ト雖モ鎚打試驗ハ之ヲ省略スルコトヲ得ズ

第二十八條 前條ノ抗張試驗ニ於テ試驗片ガ標點間ノ中心ヨリ標點距離ノ四分一以外ニ於テ切斷シタルトキハ再試驗ヲ行フコトヲ得

抗張試驗又ハ屈曲試驗ニ合格セザルトキハ管海官廳ニ於テ試驗片ノ成績ガ材質ヲ適當ニ表明セザルモノト認メタル場合ニ限リ更ニ之ト同數ノ試驗片ヲ採取シ再試驗ヲ行フコトヲ得

前項ノ再試驗ヲ行ヒタル場合ニ於テ試驗片中一箇ト雖モ合格セザルモノアルトキハ其ノ試驗片ニ依リ代表セラルル鑄鋼材ハ之ヲ不合格トス

鑄鋼材ニハ再試驗用試驗片採取前更ニ熱處理ヲ爲スコトヲ得

前項ノ熱處理ヲ爲シタル場合ニ於テハ旣ニ合格シタル試驗ニ付テモ更ニ試驗ヲ行フコトヲ要ス

第五節 管

第二十九條 機關ノ重要部分ニ用ウル鋼管ハ良質ノ平爐鋼又ハ電爐鋼ヲ用ヰ常溫引拔法又ハ高溫仕上法ニ依リ無接合ニ製造シ裂疵其ノ他ノ缺點ナキモノナルコトヲ要ス但シ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ鍛接合管又ハ鋲接合管ナルモ妨ナシ

水管汽罐ノ水管ニ用ウル鋼管ニシテ外徑四〇粍未滿ノモノ又ハ汽罐ノ給水管ニ用ウル鋼管ハ前項ノ規定ニ拘ラズ常溫引拔法ニ依リ製造シタルモノナルコトヲ要ス

常溫引拔無接合鋼管及鍛接合鋼管ハ製造後之ニ適當ナル熱處理ヲ爲スベシ

第三十條 機關ノ重要部分ニ用ウル銅管ハ常溫引拔法ニ依リ無接合ニ製造シ裂疵其ノ他ノ缺點ナキモノナルコトヲ要ス但シ毎平方糎五瓩以上ノ壓力ヲ受ケザルモノハ鑞附管ナルモ妨ナシ

毎平方糎一二・五瓩以上ノ壓力ヲ受クル外徑一三五粍以上ノ汽管ニハ銅管ヲ用ウルコトヲ得ズ

第六節 雜則

第三十一條 管、特殊鋼材、黃銅材、可鍛鑄鐵材又ハ鑄鐵材ニ付テハ管海官廳ニ於テ特ニ必要アリト認ムル場合ニ限リ其ノ指示スル所ニ依リ材料試驗ヲ行フ

第三十二條 乙種機關又ハ丙種機關ニ用ウル材料ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ材料試驗ヲ省略スルコトヲ得但シ軸ノ

一部ニ用ウル鑄鋼材ノ材料試驗及汽罐又ハ毎平方糎一〇瓩以上ノ壓力ヲ受クル氣槽ニ用ウル鋼板ノ屈曲試驗ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條 管海官廳ハ材料規格ニ適合セザル材料ト雖モ其ノ使用ノ方法若ハ箇所ヲ限リ又ハ其ノ他ノ條件ヲ附シテ之ヲ使用セシムルコトヲ得

第三章 蒸汽機關ヲ備フル船舶ノ機關

第一節 汽機

第三十四條 汽機ハ容易ニ反轉セシメ且船舶ニ充分ナル後退力ヲ有セシメ得ルモノナルコトヲ要ス

第三十五條 軸ノ寸法ハ汽機及軸ノ種類ニ應ジ左ノ各號ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

一 往復動汽機ニ用ウル鍛鋼製ノ「クランク」軸、中間軸又ハ推力軸ノ徑

$$d=K\sqrt[3]{PD^2S}$$

dハ軸ノ徑(粍ニテ)

D^2ハ一推進軸系ニ於ケル低壓汽筒ノ數又ハ單式汽機ノ汽筒ノ數一箇ナルトキハ其ノ徑(糎ニテ)ノ二乘、二箇ナルトキハ各汽筒ノ徑(糎ニテ)ノ二乘ノ和

Pハ復水器ヲ備ヘザルトキハ汽罐ノ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)、復水器ヲ備フルトキハ汽罐ノ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)ニ一ヲ加ヘタルモノ

Sハ行長(糎ニテ)

Kハ定數ニシテ左表ニ依ル

機ノ種類		「クランク」ノ數	「クランク」軸又ハ推力軸	中間軸
往復動汽機	「クランク」ノ數		甲種機關又ハ乙種機關	丙種機關
單式汽機	「クランク」角九〇度ノモノ	一	一・四九	一・四二
		二	一・三八	一・三二
	「クランク」角一八〇度ノモノ	二	一・五五	一・四七
		三(「クランク」角九〇度ノモノ)	一・〇七	一・〇二
二聯成汽機	クランク角一八〇度ノモノ	二	一・一〇	一・〇四
		三又ハ四	一・〇三	一・〇一
三聯成汽機		三又ハ四	〇・八八	〇・八四
四聯成汽機		四	〇・八六	〇・八三

機ノ種類		「クランク」ノ數	「クランク」軸又ハ推力軸	中間軸
往復動汽機	「クランク」ノ數		甲種機關又ハ乙種機關	丙種機關
單式汽機	「クランク」角九〇度ノモノ	一	一・四二	一・三五
		二	一・三二	一・二五
	「クランク」角一八〇度ノモノ	二	一・四七	一・四〇
		三(「クランク」角九〇度ノモノ)	一・〇二	〇・九六
二聯成汽機	クランク角一八〇度ノモノ	二	一・〇四	一・〇八
		三又ハ四	〇・九八	〇・九三
三聯成汽機		三又ハ四	〇・八四	〇・七九
四聯成汽機		四	〇・八三	〇・七八

二 鋼製「クランク」腕ノ厚サ及幅

組成型「クランク」軸又ハ半組成型「クランク」軸 $\begin{cases} t=0.6251 \\ w=0.4381 \end{cases}$

一体型「クランク」軸ナルトキ $bt^2=0.417d^3$

tハ軸ノ方向ノ腕ノ厚サ(粍ニテ)

wハ組成型「クランク」軸又ハ半組成型「クランク」軸ニ於ケル腕ノ孔ノ周圍ノ半徑方向ノ厚サ(粍ニテ)

bハ一体型「クランク」軸ノ腕ノ幅(粍ニテ)

dハ前號ノ規定ニ依リ算定シタル「クランク」軸ノ徑(粍ニテ)

三 「タービン」汽機ノ鍛鋼製ノ中間軸又ハ推力軸ノ徑

$$d=K\sqrt[3]{\frac{T}{R}}$$

dハ軸ノ徑(粍ニテ)

Tハ計畫軸馬力

Rハ軸ノ計畫毎分回轉數

Kハ定數ニシテ左表ニ依ル

軸ノ種類	中間軸		推力軸	
	甲種機關又ハ乙種機關	丙種機關	甲種機關又ハ乙種機關	丙種機關
K	一〇〇	九五	一〇五	一〇〇

四 三聯成汽機ト「タービン」汽機トヲ同一推進軸系ニ聯動スル汽機ノ鍛鋼製ノ中間軸又ハ推力軸ノ徑

$$d=K\sqrt[3]{\left(63{,}000\times\frac{T}{R}\right)+0.032PD^2S\times\left(1+\frac{14{,}500D^2S}{WG^2R^2}\right)}$$

dハ軸ノ徑(粍ニテ)

Pハ汽罐ノ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

Dハ低壓汽筒ノ徑(糎ニテ)

Sハ行長(糎ニテ)

Tハ「タービン」汽機ノ計畫軸馬力

Rハ當該推進軸系ノ計畫毎分回轉數

Wハ聯動裝置ノ親齒車ノ重量(瓩ニテ)

Gハ聯動裝置ノ親齒車ノ心圈ノ徑(糎ニテ)

Kハ定數ニシテ左表ニ依ル

軸ノ種類	中間軸		推力軸	
	甲種機關又ハ乙種機關	丙種機關	甲種機關又ハ乙種機關	丙種機關
K	二・四三	二・三一	二・五五	二・四二

五 鍛鋼製螺旋軸ノ徑

$$d_s=d+\frac{P}{C}$$

dsハ螺旋軸ノ徑(粍ニテ)

dハ汽機ノ種類ニ應ジ第一號、第三號、前號又ハ第二項ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸ノ徑(粍ニテ)

Pハ螺旋推進器ノ徑(粍ニテ)

Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

第一種螺旋軸ナルトキ	一四四
第二種螺旋軸ナルトキ	一〇〇

前項第四號ノ汽機ノ中間軸又ハ推力軸ノ徑ハ前項ノ規定ニ拘ラズ夫々同項第一號ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸又ハ推力軸ノ徑ヨリ小ナルコトヲ得ズ

螺旋軸ハ前部軸鍔ノ附近ニ於テハ其ノ徑ガ汽機ノ種類ニ應ジ第一項第一號、第三號、第四號又ハ前項ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸ノ徑ノ一・〇五倍トナル迄漸次之ヲ減ズルコトヲ得

推力軸ハ推力受臺ノ前部又ハ後部ニ於テハ其ノ徑ガ汽機ノ種類ニ應ジ第一項第一號、第三號、第四號又ハ第二項ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸ノ徑トナル迄漸次之ヲ減ズルコトヲ得

第三十六條 軸鍔ヲ連結スル螺釘ノ軸鍔連結面ニ於ケル徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d=0.75\sqrt{\frac{D^3}{Nd_1}}$$

dハ螺釘ノ徑(粍ニテ)

Nハ螺釘ノ數

d_1ハ螺釘心圓ノ徑(粍ニテ)

Dハ前條ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸ノ徑(粍ニテ)

第三十七條 船尾管後端ノ軸受部ノ長サハ第三十五條第一項第五號ノ算式ニ依リ算定シタル軸ノ徑ノ四倍未滿ト爲スコトヲ得ズ

船尾管後端ノ軸受上部ノ內面ト螺旋軸トノ間隙C(粍ニテ)ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ大ナルコトヲ得ズ

$$C=0.015d+2.5$$

dハ螺旋軸ノ該部分ニ於ケル被金上ノ徑(粍ニテ)

第三十八條 甲種機關又ハ乙種機關ニ在リテハ往復動汽機ニハ各汽筒ノ兩端及汽筒間ノ蒸汽通路ニ、「タービン」汽機ニハ適當ノ箇所ニ有效ナル逃出弁ヲ備ヘ該部ニ於ケル最大汽壓ノ一・四倍以下ノ壓力ニ於テ逃汽スル樣之ヲ調整スベシ

第三十九條 汽筒ニハ適當ナル排水裝置ヲ備フベシ

第四十條 汽機ノ動作部ニ對シテハ適當ナル圍壁又ハ柵欄ヲ設クベシ

第四十一條 汽筒又ハ之ニ附屬スル弁匣等ハ之ヲ製造シ削仕上ヲ爲シタルトキ夫々左ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ但シ內外全面ヲ削仕上ゲタル內筒ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ之ヲ省略スルコトヲ得

一 單式汽機ノ汽筒 汽罐ノ制限汽壓ガ每平方糎六瓩以上ナルトキハ汽罐ノ制限汽壓ニ每平方糎六瓩ヲ加ヘタル壓力

汽罐ノ制限汽壓ガ每平方糎六瓩未滿ナルトキハ汽罐ノ制限汽壓ノ二倍ノ壓力

二 二聯成汽機

高壓汽筒 單式汽機ノ汽筒ニ同ジ

低壓汽筒 汽罐ノ制限汽壓ニ〇・五〇ヲ乘ジタル壓力

三 三聯成汽機

高壓汽筒 汽罐ノ制限汽壓ニ每平方糎六瓩ヲ加ヘタル壓力

中壓汽筒 汽罐ノ制限汽壓ニ〇・七五ヲ乘ジタル壓力

低壓汽筒 汽罐ノ制限汽壓ニ〇・三〇ヲ乘ジタル壓力

四 四聯成汽機

高壓汽筒 汽罐ノ制限汽壓ニ每平方糎六瓩ヲ加ヘタル壓力

第一中壓汽筒 汽罐ノ制限汽壓

第二中壓汽筒 汽罐ノ制限汽壓ニ〇・五〇ヲ乘ジタル壓力

低壓汽筒 汽罐ノ制限汽壓ニ〇・二五ヲ乘ジタル壓力

五 「タービン」汽機ノ汽筒

各膨脹階段ノ初壓力ノ一・五〇倍及每平方糎二瓩ノ中大ナル壓力

六 高壓「タービン」汽機ノ配汽室

汽罐ノ制限汽壓ノ一・五〇倍ノ壓力但シ適當ナル逃出弁ヲ備フルモノハ配汽室內蒸汽壓力ノ一・五〇倍ノ壓力

七 中壓又ハ低壓「タービン」汽機ノ配汽室

該室內蒸汽壓力ノ一・五〇倍ノ壓力

八 收汽室、收汽管、汽包室、汽筒蓋、弁匣及弁匣蓋

其ノ附屬スル汽筒ニ對スル壓力ト同一ノ壓力

第四十二條 復水器管ノ管板間ノ長サガ管ノ外徑ノ一二〇倍以上ナルトキハ一二〇倍每ニ一筒ノ割合ヲ以テ支板ヲ設クベシ

第四十三條 復水器ノ器胴、通水室又ハ蓋ハ之ヲ製造シタルトキ每平方糎一・五瓩ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

復水器管ヲ取附ケタルトキハ二米以上ノ水高壓力ヲ以テ漏否試驗ヲ執行スベシ

第二節 筒形汽罐及直立汽罐

第四十四條 主トシテ張力ヲ受クル部分ハ鍛合又ハ鎔接スルコトヲ得ズ但シ鍛合部又ハ鎔接部ニ覆板ヲ附シ適當ナル鋲接合ト爲ストキハ此ノ限ニ在ラズ

小ナル汽兜ノ胴板又ハ直立汽罐ノ叉管ノ縱接合ハ前項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ鍛合又ハ鎔接スルコトヲ得

第四十五條 工事ノ爲加熱シタル鋼板又ハ鋼製支柱ニハ適當ナル熱處理ヲ爲スベシ

二枚以上ノ鋼板ヲ鋲接合スル場合ニ於テハ之ヲ鋲締スル以前ニ於テモ此等ノ鋼板ガ充分密著スル狀態ト爲シ且鋲孔ハ成ルベク該鋼板ヲ假接合シタル後鑽孔スベシ

鋼板ノ鋲孔ハ鑽孔シタルモノト爲スベシ

第四十六條 胴板ニ設クル隋圓形ノ孔ハ短徑ヲ鞏ノ長サニ平行セシムベシ

胴板ニ設クル人孔又ハ他ノ孔ノ徑ガ胴板ノ厚サノ二・五倍

ニ七〇粍ヲ加ヘタルモノヨリ大ナルトキハ適當ナル補强環ヲ附シ該部分ノ强率ヲ胴板ノ縱接合ニ於ケル强率ヨリ小ナラザルモノト爲スベシ

長徑一五〇粍ヲ超ユル人孔其ノ他ノ孔ヲ鏡板ニ設クルトキハ相當ノ强力ヲ有スル緣環又ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナラザル深サヲ有スル曲緣ニ依リテ鏡板ヲ補强スベシ

$$h=\sqrt{t\times W}$$

hハ孔ノ短徑部ニ於テ板ノ外面ヨリ測リタル曲緣ノ深サ（粍ニテ）

tハ板ノ厚サ（粍ニテ）

Wハ孔ノ短徑（粍ニテ）

第四十七條 人孔其ノ他ノ孔ニ用ウル押壓製ノ蓋ハ適當ナル熱處理ヲ爲シタルモノナルコトヲ要ス

孔蓋ト孔トノ間隙ハ孔ノ周ノ各點ニ於テ一・五粍ヲ超ユルコトヲ得ズ

第四十八條 胴板ノ縱接合ニ用ウル覆板ハ胴板ト同質ノ板ヲ用キ其ノ厚サハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

一 各列ノ鋲數ガ同一ナル場合

千鳥形鋲接合ナルトキ　$V=0.33p+0.67d$

竝列鋲接合ナルトキ　$V=2d$

二 外列ノ鋲數ガ其ノ他ノ列ノ鋲數ノ半數ナル場合

千鳥形鋲接合ナルトキ　$\begin{cases}V=0.2p+1.15d\\V_1=0.165p+0.67d\end{cases}$ナルモノ

竝列鋲接合ナルトキ　$\begin{cases}V=0.33p+0.67d\\V=2d\\V_1=2d\end{cases}$ナルモノ中其ノ大

V_1ハ鋲數同一ナル各鋲列ノ距離（粍ニテ）

Vハ外列ト其ノ次ノ列トノ距離（粍ニテ）

pハ外列ニ於ケル鋲ノ心距（粍ニテ）

dハ鋲孔ノ徑（粍ニテ）

第四十九條 端列ニ於ケル鋲孔ノ中心ヨリ板端迄ノ距離ハ其ノ孔徑ノ一・五倍以上ナルコトヲ要ス

二列以上ノ鋲接合ニ於ケル鋲列間ノ距離ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

一 各列ノ鋲數ガ同一ナル場合

千鳥形鋲接合ナルトキ　$V_1=0.33p+0.67d$

竝列鋲接合ナルトキ　$V=2d$

二 外列ノ鋲數ガ其ノ他ノ列ノ鋲數ノ半數ナル場合

千鳥形鋲接合ナルトキ　$\begin{cases}V=0.2p+1.15d\\V_1=0.165p+0.67d\end{cases}$

內覆板　$t=\frac{5}{8}\times T+3$

二 外列ノ鋲數ガ其ノ他ノ列ノ鋲數ノ半數ナル場合

外覆板　$t_0=\frac{5}{8}\times\frac{T(p-d)}{(p-2d)}$

內覆板　$t=\frac{5}{8}\times\frac{T(p-d)}{(p-2d)}+3$

Tハ接合スベキ胴板ノ厚サ（粍ニテ）

t_0ハ外覆板ノ厚サ（粍ニテ）

tハ內覆板ノ厚サ（粍ニテ）

pハ外列ニ於ケル鋲ノ心距（粍ニテ）

dハ鋲孔ノ徑（粍ニテ）

第五十條 胴板ノ縱接合ニ於ケル鋲ノ心距ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ大ナルコトヲ得ズ

$$p=C\times T+40$$

pハ鋲ノ心距（粍ニテ）

Tハ板ノ厚サ（粍ニテ）

Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

Pナル心距ニ於ケル鋲數	累接合ナルトキ	兩覆板衝接合ナルトキ
一	一・三一	一・七五
二	二・六二	三・五〇
三	三・四七	四・六三
四	四・一四	五・五二
五	一	六・〇〇

第五十一條 胴板ト鏡板トノ接合ハ接合强率ヲ〇・四二以上ト爲シ胴板ノ厚サ一六粍ヲ超ユルトキハ接合鋲列數ハ二以上ト爲スベシ

筒形汽罐ノ胴板相互ノ周圍接合ハ片面型汽罐ニ在リテハ接合强率ヲ〇・六〇以上ト爲シ接合鋲列數ヲ胴板ノ厚サ一六粍ヲ超ユルトキハ二以上、三五粍ヲ超ユルトキハ三以上ト爲シ兩面型汽罐ニ在リテハ接合强率ヲ〇・六二以上ト爲シ接合鋲列數ヲ胴板ノ厚サ一三粍ヲ超ユルトキハ二以上、三〇粍ヲ超ユルトキハ三以上ト爲スベシ

直立汽罐ノ胴板相互ノ周圍接合ハ接合强率ヲ〇・四二以上ト爲シ其ノ接合ガ全周ニ亘ラザルトキ又ハ胴板ノ厚サ一六粍ヲ超ユルトキハ接合鋲列數ヲ二以上ト爲スベシ

第五十二條 胴板ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{(T-a)\times S\times C\times J}{D}$$

Pハ制限汽壓（毎平方糎瓩ニテ）

Tハ胴板ノ厚サ（粍ニテ）

Sハ胴板ノ最小坑張力（毎平方粍瓩ニテ）

Dハ胴ノ最大內徑（粍ニテ）

Jハ縱接合ノ强率ニシテ第二項ニ依リ定メタルモノ

aハ胴板ノ厚サ四五粍未滿ナルトキハ一・五、四五粍以上ナルトキハ零

Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

縱接合ガ兩覆板ヲ有シ胴板ノ厚サ四五耗未滿ナルトキ	五二・一
縱接合ガ兩覆板ヲ有シ胴板ノ厚サ四五耗以上ナルトキ	五〇・〇
縱接合ガ單接三列鋲ナルトキ	五〇・五
縱接合ガ單接二列鋲ナルトキ	四九・三
縱接合ガ單接一列鋲ナルトキ	四三・三

縱接合ノ強率ハ左ノ各號ノ強率中最小ノモノトス

一　接合ニ於ケル胴板ノ強率

$$J_1=\frac{p-d}{p}$$

二　接合ニ於ケル鋲ノ強率

$$J_2=\frac{n\times d^2\times k}{p\times T}$$

三　外列ノ鋲ノ心距ガ其ノ他ノ列ノ鋲ノ心距ノ二倍ナルトキノ鋲及胴板ノ聯合強率

$$J_3=\frac{p-2l}{p}+\frac{J_2}{n}$$

Tハ胴板ノ厚サ（粍ニテ）

pハ外列ニ於ケル鋲ノ心距（粍ニテ）

dハ鋲孔ノ徑（粍ニテ）

nハpナル心距ニ於ケル鋲數

kハ兩覆板ヲ有スル場合ニ於テハ一・二一、其ノ他ノ場合ニ於テハ〇・六四

第四十四條第二項ニ依リ鍛合又ハ鎔接シタル胴板ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ管海官廳ノ定ムル所ニ依ル

三箇以上ノ螺旋支柱ノ取附孔ガ胴ノ中心線ニ平行又ハ略平行ニ配置セラルルトキハ孔ノ間隔ハ該支柱間ニ於ケル胴板ノ强率ガ縱接合ノ强率ヨリ小ナラザル樣之ヲ定ムベシ

第五十三條　平板ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ各號ノ算式ニ依リ算定シタルモノノ中最小ノモノトス

一　螺旋支柱又ハ其ノ他ノ支柱ヲ以テ支ヘラレタル部分

$$P=C_1\times\frac{(T-1)^2+KW^2}{a^2+b^2}$$

Pハ制限汽壓（毎平方糎延ニテ）

Tハ板ノ厚サ（粍ニテ）

aハ支柱各列中心線ノ距離（粍ニテ）

bハ各列ニ於ケル支柱心距（粍ニテ）

Wハ座金、條板又ハ二重張板ノ厚サ（粍ニテ）

Kハ定數ニシテ左表ニ依ル但シ座金、條板又ハ二重張板ヲ取除ケザルトキ又ハ板ニ固着セザル座金ヲ備フル場合ニ於テ其ノ厚サ又ハ徑ガ表ニ揭グル寸法ニ適合セザルトキハ零

厚サハ板ノ厚サノ一・〇〇乃至〇・六六倍徑ハ支柱ノ心距ノ〇・六六倍以上ノ座金ヲ鋲ニテ板ニ固著シタルトキ	〇・三五
厚サハ板ノ厚サノ一・〇〇乃至〇・六六倍幅ハ支柱ノ心距ノ〇・六六倍以上ノ條板ヲ鋲ニテ板ニ固著シタルトキ	〇・五五
厚サハ板ノ厚サノ一・〇〇乃至〇・六六倍ナル二重張板ヲ鋲ニテ板ニ固著シタルトキ	〇・八五

C_1ハ定數ニシテ左表ニ依ル

支點ノ種類		
支柱ヲ板ニ捩ハミ其ノ端ヲ鉸締シタルトキ	板ガ火焰ノ接觸ヲ受ケザルモノナルトキ	四二〇〇
	板ガ火焰ノ接觸ヲ受クルモノナルトキ	三七一〇
支柱ヲ板ニ捩込ミ外面ヨリ母螺締ト爲シタルトキ		六三一〇
		五五二〇
支柱ヲ板ニ插込ミ內外ヨリ母螺締ト爲シタルトキ		七〇〇〇
		六一五〇
支柱ヲ板ニ插込ミ外面ニハ座金、條板又ハ二重張板ヲ當テ內外ヨリ母螺締ト爲シタルトキ		七三六〇
		六四五〇
管支柱ヲ管板ニ捩込ミ其ノ端ヲ擴張シ緊著シタルトキ		三八二〇
管支柱ヲ管板ニ栓込ミ其ノ端ヲ擴張シ且外面ヨリ母螺締ト爲シタルトキ		五二八〇

二　管支柱ヲ以テ支ヘラレタル管板ノ焰管巢相互間又ハ焰管巢ト胴板トノ間ノ部分

$$P=C_2\times\frac{(T-1)^2+k\cdot w^2}{a^2+b^2}$$

Pハ前號ニ同ジ

aハ管支柱ノ水平心距（粍ニテ）

bハ管支柱ノ縱心距（粍ニテ）

wハ二重張板ヲ取附ケタルトキハ其ノ厚サ（粍ニテ）

kハ二重張板ヲ取附ケタルトキハ〇・五五、之ヲ取附ケザルトキハ零

C_2ハ定數ニシテ左表ニ依ル

端列ノ管支柱ノ外端ヲ母螺締ト爲サザルトキ	三八二〇
端列ノ管支柱ノ外端ヲ一箇置ニ母螺締ト爲シタルトキ	四六三〇
端列ノ管支柱ノ外端ヲ總テ母螺締ト爲シタルトキ	五二八〇

三　管支柱ヲ以テ支ヘラレタル管板ノ焰管巢ニ於ケル部分

$$P=C_3\times\frac{(T-1)^2}{p^2}$$

Pハ第一號ニ同ジ

pハ當該部分ニ於ケル四箇ノ管支柱ノ中心點ノ構成スル四邊形ノ四邊ノ平均ノ長サ（粍ニテ）

C_3ハ定數ニシテ左表ニ依ル

管支柱ヲ管板ニ挿込ミ其ノ端ヲ擴張シ緊著シタルトキ	二八〇〇
管支柱ヲ管板ニ挿込ミ其ノ端ヲ擴張シ且外面ヨリ毋螺締ト爲シタルトキ	三六〇〇

前項ノ算式ヲ適用スルニ當リ當該部分ニ於ケル支點ノ種類ガ同一ナラザルトキハ定數C_1、C_2、C_3及Kハ各種類ノ支點ノ數ニ之ニ對スル定數ヲ乘ジタルモノノ和ヲ支點ノ總數ニテ除シタルモノトス

前二項ノ規定ヲ支點ノ配置不規則ナル部分又ハ曲緣シタル板ノ曲緣ニ近キ部分ニ適用スルニ當リテハ左ノ規定ニ依ル

一　曲緣ノ彎曲起點ハ之ヲ支點ト看做シ其ノ彎曲內半徑ガ板ノ厚サノ二・五倍ヨリ大ナルトキハ曲緣ノ外面ヨリ板ノ厚サノ三・五倍ノ距離ノ點ヲ彎曲起點ト看做ス

二　少クトモ三支點ヲ通リ內部ニ支點ヲ有セザル最大圓ノ徑ヲdトシテ第一項ノ算式中a^2+b^2ノ代リニd^2ヲ用ウ

三　曲緣ノ彎曲起點ガ支點ナル場合ノ定數C_1ハ板ガ火焰ノ接觸ヲ受ケザルモノナルトキハ八〇六〇、板ガ火焰ノ接觸ヲ受クルモノナルトキハ七〇四〇トス

第五十四條　支柱ヲ板ニ挿込ミ其ノ端ヲ鉸締スル場合ニ於ケル板ノ厚サハ支柱ノ螺糸底ニ於ケル徑ノ二分ノ一ヨリ小ナルコトヲ得ズ

燃燒室ノ頂板及側板ニ於テ後管板又ハ背板ニ最モ近キ支柱列ト後管板又ハ背板ノ曲緣ノ彎曲部起點トノ距離ハ第三條本文ノ規定ニ依リ定メタル汽罐ノ制限汽壓ヲ前條第一項第一號ノ算式ニ用キ算定シタルnヨリ大ナルコトヲ得ズ

燃燒室ノ頂板ヲ側板ト接合スル爲ノ彎曲部ノ彎曲外半徑ガ第三條本文ノ規定ニ依リ定メタル汽罐ノ制限汽壓ヲ第五十七條ノ算式ニ用キ算定シタル支梁ノ心距Dノ二分ノ一ヨリ小ナルトキハ側板ノ內面トノ最モ近キ支梁ノ中心トノ距離ハDヨリ大ナルコトヲ得ズ又右ノ彎曲外半徑ガDノ二分ノ一ヨリ大ナルトキハ支梁ノ中心ヨリ彎曲起點迄測リタル平坦部ノ幅ハDノ二分ノ一ヨリ大ナルコトヲ得ズ

第五十五條　焰管巢ヲ形成スル焰管ガ水平ナル直立汽罐ノ管板ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ第五十三條ノ規定ニ拘ラズ同條ノ算式及左ノ算式ニ依リ算定シタルモノノ中最小ノモノトス

$$P=\frac{49.9\times(T-1.5)\times S\times(p-d)}{D\times p}$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

Tハ管板ノ厚サ(粍ニテ)

Sハ管板ノ抗張力(毎平方粍瓩ニテ)

Dハ胴ノ中心ヨリ縱端列ニ於ケル管孔ノ中心迄ノ距離ノ二倍(粍ニテ)

pハ管ノ縱心距(粍ニテ)

dハ管板ニ於ケル管孔ノ徑(粍ニテ)

前項ノ管板ノ縱端列ニ於ケル管ハ少クトモ一箇置ニ管支柱ト爲スベシ

第五十六條　筒形汽罐ノ後管板ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ第五十三條ノ規定ニ拘ラズ同條ノ算式及左ノ算式ニ依リ算定シタルモノノ中最小ノモノトス

$$P=\frac{2400(D-d)T}{W\times D}$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

Tハ管板ノ厚サ(粍ニテ)

Dハ焰管ノ水平心距(粍ニテ)

dハ普通焰管ニ對スル管孔ノ徑(粍ニテ)

Wハ燃燒室上部ノ奥行(粍ニテ)

第五十七條　燃燒室ノ頂板ヲ支フル鋼製支梁ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{C\times d^2\times T\times S}{(L-p)\times D\times L}$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

dハ支梁中央部ノ深サ(粍ニテ)

Tハ支梁ノ厚サ但シ二板合セ支梁ナルトキハ各板ノ厚サノ和(粍ニテ)

Lハ燃燒室上部ノ內側ニ於テ測リタル奥行(粍ニテ)

pハ支梁ノ支フル支柱ノ心距(粍ニテ)

Dハ支梁ノ心距(粍ニテ)

Sハ支梁ニ用ウル鋼材ノ最小抗張力(毎平方粍瓩ニテ)

Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

各支梁ノ支フル支柱ノ數nガ奇數ナルトキ	$\frac{n}{n+1}\times 25.3$
各支梁ノ支フル支柱ノ數nガ偶數ナルトキ	$\frac{n}{n+2}\times 25.3$

第五十八條　燃燒室ノ筒形底部ニシテ支柱其ノ他ニ依リ補强セラレザル部分ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノノ中小ナルモノトス

$$P=\frac{C\times(T-1)^2}{(L+610)\times D}$$

$$P=\frac{C_1\times[325(T-1)-L]}{D}$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

Tハ燃燒室底部ノ鋼板ノ厚サ(粍ニテ)

Dハ燃燒室底部ノ外徑(粍ニテ)

Lハ燃燒室底部ノ奥行ニシテ該部ヲ形成スル鋼板ヲ他ノ鋼板ト鋲接合スル鋲ノ中心線ヨリ測リタルモノ(粍ニテ)

C及C_1ハ定數ニシテ左表ニ依ル

縱接合ノ種類	C	C_1
鍛接合	一〇七、〇〇〇	三・五二
鋲接合	九六、〇〇〇	三・一六

第五十九條 筒形火爐ノ強力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノノ中小ナルモノトス

$$P=\frac{C\times(T-1)^2}{(L+610)\times D}$$

$$P=\frac{C_1\times(325(T-1)-L)}{D}$$

P、C及C_1ハ前條ニ同ジ

Tハ火爐鋼板ノ厚サ(粍ニテ)

Dハ火爐ノ外徑(粍ニテ)

Lハ火爐ノ長サニシテ火爐鋼板ヲ曲緣ト爲シ板、補强環等ト接合スル場合ニ於テハ曲緣ノ彎曲起點ヨリ又火爐鋼板ヲ他ノ鋼板ノ曲緣ト鋲接合スル場合ニ於テハ鋲ノ中心線ヨリ測リタルモノ(粍ニテ)

第六十條 皺形火爐ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{C(T-1)}{D}$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

Tハ火爐ノ皺形部ニ於ケル鋼板ノ最小厚サ(粍ニテ)

Dハ火爐ノ皺形部ニ於ケル最小外徑(粍ニテ)

Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

火爐ノ種類	C
「モリソン」式「デイトン」式又ハ之ニ類スルモノ	一〇九〇
「リーズ、フォージ、バルブ」式又ハ之ニ類スルモノ	一一六〇

第六十一條 支柱又ハ其ノ他ニ依リ補强セラレザル半球狀火爐ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{627(T-1)}{R}$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

Tハ火爐鋼板ノ厚サ(粍ニテ)

Rハ火爐ノ球面外半徑(粍ニテ)

第六十二條 截頭圓錐形直立火爐ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ記號ヲ用キ第五十九條ノ算式ニ依リ算定シタルモノノ中小ナルモノトス

Dハ火爐板ト頂板トノ接合鋲ノ中心線ニ於テ測リタル外徑ト火爐底部ノ補强部ニ接合スル箇所ニ於テ測リタル外

徑トノ平均(粍ニテ)

Lハ火爐板ト頂板トノ接合鋲ノ中心線ヨリ火爐底部ノ補强部ニ接合スル箇所迄ノ距離(粍ニテ)

火爐底部ト胴板トヲ螺旋支柱列ニ依リ連絡シタル場合ニ於テ螺旋支柱ノ心距ガ其ノ端ヲ鉸締シタルモノニ在リテハ火爐板ノ厚サノ一四倍ヲ、母螺締ト爲シタルモノニ在リテハ一六倍ヲ超ユルコトナク且螺旋支柱ノ螺糸上ノ徑ガ火爐板ノ厚サノ二・二五倍以上ナルトキハ前項ノLハ螺旋支柱列ノ中心迄測ルコトヲ得

第六十三條 直立汽罐ノ火爐底部ト胴板トヲ接合スル「オジー」環ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{10,300(T-1)^2}{D\times(D-d)}$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

Tハ「オジー」環ノ厚サ(粍ニテ)

Dハ胴ノ內徑(粍ニテ)

dハ火爐底部ノ外徑ニシテ「オジー」環トノ接合部ニ於テ測リタルモノ(粍ニテ)

第六十四條 火爐板ノ厚サハ二一粍以上ナルコトヲ得ズ

第六十五條 胴ノ內徑ヨリ大ナラザル內半徑ヲ有シ外方ニ突出スル球面狀鏡板ニシテ支柱其ノ他ニ依リ補强セラレザルモノノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{21.6\times S\times(T-1)}{R}$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

Tハ鏡板ノ厚サ(粍ニテ)但シ鏡板一人孔ヲ設ケタル場合ニ於テハ其ノ厚サヨリ三粍ヲ減ジタルモノ

Rハ鏡板ノ球面內半徑(粍ニテ)

Sハ鏡板ノ抗張力(毎平方粍瓩ニテ)

前項ノ鏡板ニ在リテハ其ノ周圍ノ曲緣部ニ於ケル曲緣ノ彎曲內半徑ハ鏡板ノ厚サノ四倍未滿ナルコトヲ得ズ

第六十六條 二枚以上ノ板ヨリ成リ外方ニ突出スル半球狀鏡板ニシテ支柱其ノ他ニ依リ補强セラレザルモノノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{C\times(T-1.5)\times S\times J}{R}$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)

Tハ鏡板ノ厚サ(粍ニテ)

Sハ鏡板ノ最小抗張力(毎平方粍瓩ニテ)

Jハ鏡板相互ノ最小接合强率

Rハ鏡板ノ球面內半徑(粍ニテ)

Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

鏡板相互ノ接合ガ一列鋲ナルトキ	○・四三
鏡板相互ノ接合ガ二列鋲ナルトキ	○・四九
鏡板相互ノ接合ガ三列鋲ナルトキ	○・五○

第六十七條　螺旋支柱又ハ縱支柱ノ螺糸底又ハ其ノ他ノ部分ニ於ケル最小ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d=C\sqrt{PA}+3$$

dハ螺旋支柱又ハ縱支柱ノ最小ノ徑（粍ニテ）
Pハ制限汽壓（毎平方粍瓩ニテ）
Aハ平板中該支柱ノ支持スベキ部分ノ實面積（平方粍ニテ）
Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

螺旋支柱ナルトキ	○・四四
縱支柱ナルトキ	○・四○

前項ノ算式ヲ斜向支柱ニ適用スル場合ニ於テハ算式中ノCノ代リニ左ノC′ヲ用ウベシ

$$C'=C\times\sqrt{\frac{L}{H}}$$

Cハ前項ニ同ジ
Lハ斜向支柱ノ長サ（粍ニテ）
Hハ斜向支柱ノ一端ニ於ケル平板ヨリ他端迄ノ距離（粍ニテ）

燃燒室ノ內側ニ於ケル螺旋支柱ノ母螺ノ高サハ該螺旋支柱ノ螺糸部ノ徑ノ二分ノ一ヨリ小ナルコトヲ得ズ

第六十八條　管板ヲ支持スベキ管支柱ノ強力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{527.2a}{A}$$

Pハ制限汽壓（毎平方粍瓩ニテ）
aハ管支柱ノ最小橫截實面積（平方粍ニテ）
Aハ管板中該管支柱ノ支持スベキ部分ノ實面積（平方粍ニテ）

管支柱ノ厚サハ管支柱ガ焰管巢ノ外周列ニ在ルモノナルトキハ六・○粍以上、其ノ他ノモノナルトキハ四・五粍以上ナルコトヲ要ス

管支柱ハ兩管板ニ捩込ミタル上之ヲ適當ニ擴張シ緊著スベシ

管支柱ノ燃燒室端ニハ母螺ヲ附スベカラズ

第六十九條　前二條ノ支柱ノ螺糸ハ成ルベク左表ニ依ルベシ

支柱ノ種類		螺距（粍）
螺旋支柱		二・○以上　三・○以下
縱支柱		四・○以上　六・五以下
管支柱		二・五以上　三・五以下

第七十條　焰管ノ厚サハ成ルベク左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナラザルモノト爲スベシ

$$T=\frac{PD}{100}+2$$

Tハ焰管ノ厚サ（粍ニテ）
Dハ焰管ノ外徑（粍ニテ）
Pハ制限汽壓（毎平方粍瓩ニテ）

第三節　水管汽罐及過熱器

第七十一條　水管汽罐ノ構造ハ本節ニ特ニ規定シタルモノノ外前節ノ規定ニ依ルベシ

第七十二條　水管汽罐ノ汽胴又ハ水胴ノ縱接合ハ胴ノ縱接合部ニ於ケル內徑ガ該接合部ニ於ケル胴板ノ厚サノ一○○倍未滿ナルトキハ巢接ト爲スコトナク該部ノ橫截內面ヲ圓形ナラシムベシ

第七十三條　水管汽罐ノ汽胴又ハ水胴ノ一部ヲ成ス管板ノ強力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{472\times S\times(T-3)}{D}\times\frac{p-d}{p}$$

Pハ制限汽壓（毎平方粍瓩ニテ）
Dハ胴ノ內徑（粍ニテ）
Tハ管板ノ厚サ（粍ニテ）
Sハ管板ノ抗張力（毎平方粍瓩ニテ）
pハ胴ノ中心線ニ平行ニ測リタル管孔ノ心距（粍ニテ）
dハ管孔ノ徑（粍ニテ）

管板ノ厚サハ胴板又ハ鏡板ト接合スル部分ニ於テハ第五十二條ノ規定ニ依ル胴板ノ強力ニ相當スル厚サ迄之ヲ減ズルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ厚サノ急激ナル變化ヲ避ケ且其ノ部分ヲ機械仕上ト爲スベシ

第七十四條　水管汽罐ノ胴、管寄等ニ設クル管孔ハ管ヲ緊密ニ取附ケ得ルモノト爲スベシ

管孔ヲ其ノ中心線ガ管板ニ垂直ナル樣穿ツトキハ孔ノ管座ノ深サヲ一○粍以上ト爲シ斜ニ穿ツトキハ孔ノ管座ノ直圓筒部ノ深サヲ一三粍以上ト爲スベシ

第七十五條　水管汽罐ノ水管ノ強力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{1,400(T-a)}{D}-23$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)
Tハ水管ノ厚サ(粍ニテ)
Dハ水管ノ外徑(粍ニテ)
aハ定數ニシテ左表ニ依ル

火焔若ハ高熱瓦斯ノ通路ニ直面スル管巢端列又ハ其ノ次ノ列ノ管ナルトキ	二・〇
其ノ他ノ管ナルトキ	一・五

水管ノ厚サハ八粍ヲ超ユルコトヲ得ズ
水管ハ總テ擴張其ノ他ノ適當ナル方法ニ依リ之ヲ管板ニ緊密ニ取附ケ管端ハ管座ヨリ六粍以上突出セシムベシ
水管ハ脫出セザル樣其ノ兩端ヲ固定スベシ單ニ其ノ端部ヲ喇叭形ニ擴張シテ固定シタル場合ニ於テハ端部ノ外徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノ以上ト爲スベシ

$$D=1.03\,d+1.5$$

Dハ水管端部ノ外徑(粍ニテ)
dハ水管ノ外徑(粍ニテ)

第七十六條 管寄其ノ他之ニ類似ノモノノ管ヲ取附ケザル平面部ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=C\times\left(\frac{T-2.5}{B}\right)^2$$

Pハ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)
Tハ平面部ノ厚サ(粍ニテ)
Bハ內側支點間ニ於テ測リタル平面部ノ幅(粍ニテ)
Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

鍛鋼ナルトキ	五八三〇
鑄鋼ナルトキ	四六〇〇

管寄ノ管ヲ取附クル平面部ノ厚サハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$T=0.47\sqrt{n}+6.5$$

Tハ平面部ノ厚サ(粍ニテ)
dハ管孔ノ徑(粍ニテ)
過熱器ノ管寄其ノ他火焔ノ放射熱ニ暴露シ又ハ高熱瓦斯ノ衝擊ヲ受ケ且使用中內部ニ蒸汽ノミヲ有スル管寄ノ厚サハ前二項ニ依リ算定シタルモノノ一・一二五倍ヨリ小ナルコトヲ得ズ
管寄ノ覗孔部ハ蓋ヲ有效ニ取附ケ得ル樣機械仕上ト爲スベシ此ノ場合該部分ノ厚サハ第一項ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ二・五粍ヲ減ズルコトヲ得但シ八粍未滿ト爲スコトヲ得ズ
覗孔ノ蓋ハ堅牢ナル構造ト爲シ取外又取附作業ヲ繰返スモノトス

安全ヲ害スル虞ナキコトヲ要シ蓋ヲ螺釘ニ依リ取附クル構造ト爲ストキハ該取附螺釘ノ折損シタル場合ニ於テモ危險ナキモノト爲スベシ

第四節 汽罐附屬品

第七十七條 汽罐ニ接續スル管ニハ罐板ト接合スル部分ニ於テ接近シ易キ箇所ニ弁又ハ「コック」ヲ備フベシ

第七十八條 汽罐ニハ徑四〇粍以上ノ發條式安全弁二箇以上ヲ備ヘ汽罐ノ制限汽壓毎平方糎二〇瓩以下ナルトキハ其ノ合計面積ヲ左ノ算式ニ依リ算定シタル面積ヨリ小ナラザルモノト爲スベシ但シ安全弁ハ左ノ算式ニ依リ算定シタル面積ガ一九・五平方糎未滿ナルトキハ徑五〇粍以上ノモノ一箇、一二・五平方糎未滿ナルトキハ徑四〇粍以上ノモノ一箇ト爲スコトヲ得又先驅弁ヲ有スルモノノ徑ハ適當ニ之ヲ減ズルコトヲ得

$$A=K\times\frac{H}{P+1}$$

Aハ安全弁ノ合計面積(平方糎ニテ)
Hハ汽罐ノ受熱面積(平方米ニテ)ニシテ一面ガ火焔又ハ燃燒瓦斯ニ暴露シ反對ノ面ガ水ニ接觸スル部分ノ火焔又ハ燃燒瓦斯ニ暴露スル面ノ面積トス但シ筒形汽罐又ハ直立汽罐ニ在リテハ前管板ハ之ヲ除外シ且焔管ハ外徑ヲ基トシテ算定シ、水管汽罐ニ在リテハ汽胴及水胴ハ之ヲ除外スルモノトス
Pハ汽罐ノ制限汽壓(毎平方糎瓩ニテ)
Kハ定數ニシテ左表ニ依ル

筒形汽罐又ハ直立汽罐	機關室密閉式强壓通風ヲ作用セズシテ石炭ノミヲ手焚スルモノ	六・一
	其ノ他ノモノ	七・三
水管汽罐	自然通風ニ依リ石炭ノミヲ手焚スルモノ	五・三
	其ノ他ノモノ	六・一

第七十九條 安全弁ノ弁匣ハ汽罐ニ直接取附ケ他ノ弁ニ共用スルコトヲ得ズ
安全弁ノ弁匣ノ蒸汽進入路ノ横截面積ハ安全弁ノ合計面積ノ二分ノ一以上ト爲シ廢汽路及廢汽管ノ横截面積ハ安全弁ノ合計面積ノ一・一倍以上ト爲スベシ
廢汽路ニハ適當ナル排水裝置ヲ設クベシ
安全弁ニハ弁ヲ同時ニ弁徑ノ四分ノ一以上開キ得ル揚弁裝置ヲ設ケ其ノ把手ハ之ヲ適當ノ位置ニ導クベシ
安全弁發條ハ汽罐ノ制限汽壓ニ相當スル壓力ヲ加ヘタルトキ其ノ長サガ弁徑ノ四分ノ一以上短縮シ更ニ之ヲ弁徑ノ四

分ノ一壓縮スルモ原形ニ復スルモノナルコトヲ要ス

第八十條 安全弁ハ汽罐ノ制限汽壓ノ一・〇三倍以下ノ壓力ニ於テ自然ニ噴汽スル樣調整スベシ

安全弁ハ寒汽弁ヲ閉ヂ充分ニ焚火シ水管汽罐ニ在リテハ數分間、其ノ他ノ汽罐ニ在リテハ一五分間以上噴汽セシムルモ汽壓ノ昇騰尙汽罐ノ制限汽壓ノ十分ノ一ヲ超エザルモノナルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ汽罐ニ適當ナル水準ヲ維持セシムルニ必要ナル程度ヲ超エ給水ヲ爲スコトヲ得ズ

第八十一條 蒸汽過熱器ト汽罐トノ連絡ヲ遮斷シ得ル裝置アルトキハ蒸汽過熱器ニ適當ナル逃出弁ヲ備ヘ之ヲ容易ニ操縱シ得ル揚弁裝置ヲ設クベシ

第八十二條 汽罐ニハ左表ニ依リ罐內ノ水準面ヲ容易ニ知リ得ベキ裝置ヲ互ニ近接セザル位置ニ備ヘ且筒形汽罐及直立汽罐ニハ燃燒室頂部ノ高サヲ適當ニ標示スベシ

汽罐ノ種類	裝置ノ種類及數	摘要
直立汽罐	硝子示面計一箇及驗面「コック」一組	
筒形片面汽罐	硝子示面計二箇	徑五粍未滿ノ汽罐ニ在リテハ中一箇ヲ驗面「コック」一組ヲ以テ代用スルコトヲ得
筒形兩面汽罐	硝子示面計二箇及驗面「コック」二組	硝子示面計及驗面「コック」ハ夫々汽罐ノ各面ニ於テ他面ニ於ケルト反對ノ位置ニ取附クベシ

水管汽罐	硝子示面計二箇	長サ四粍ヲ超ユル胴ヲ船體ニ對シ橫ニ配置シタル場合ニ於テハ胴ノ兩端ニ近ク取附クベシ

前項ノ驗面「コック」ハ三箇ヲ以テ一組ト爲スベシ但シ徑二・五粍未滿ノ筒形汽罐又ハ高サ二・五粍未滿ノ直立汽罐ニ在リテハ二箇ヲ以テ一組ト爲スコトヲ得

硝子示面計及驗面「コック」ハ成ルベク之ヲ汽罐ニ直接取附ケ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ適當ナル內徑及强力ヲ有スル筒ニ取付クベシ

前項ノ筒ハ成ルベク汽罐ニ近接シテ固定スルコトヲ要シ筒ヲ導管ニ依リ汽罐ニ連絡セシムル場合ニ於テハ筒ノ位置ガ不慮ニ變動セザル樣取附ケ汽側ノ導管ハ凝結水ノ滯溜セザルモノト爲スベシ

第八十三條 汽罐ニハ焚口面ノ見易キ位置ニ壓力計一箇ヲ備フベシ焚口ガ汽罐ノ兩面ニ在ル場合ニ於テハ各焚口面ニ之ヲ備フベシ

第八十四條 汽罐ニハ正副二組ノ給水制限弁ヲ備フベシ

第八十五條 汽罐ニハ適當ノ位置ニ檢鹽弁又ハ檢鹽「コック」ヲ備フベシ但シ湖沼ノミヲ航行スル船舶ノ汽罐ニ在リテハ之ヲ備ヘザルコトヲ得

第八十六條 汽罐ノ放水弁又ハ放水「コック」ヨリ船外ニ通ズル放水管ハ內徑二〇粍以上ナルコトヲ要ス

二箇以上ノ汽罐ヲ備フル船舶ニ在リテ各汽罐ノ放水管ヲ一箇ノ共通管ニ接續セシムル場合ニ於テハ捩締不還弁ニ依リ各汽罐ノ連絡ヲ遮斷シ得ル裝置ト爲スベシ

第五節 汽罐ニ關スル雜則

第八十七條 汽罐ハ移動セザル樣之ヲ船體ニ据附クベシ

第八十八條 汽罐一取附ケタル弁又ハ「コック」ノ周圍ニハ相當ノ空積ヲ存スベシ

第八十九條 汽罐ハ之ヲ製造シタルトキ左ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

一 汽罐ノ制限汽壓ガ每平方糎七瓩以下ナルトキハ汽罐ノ制限汽壓ノ二倍ノ壓力

二 汽罐ノ制限汽壓ガ每平方糎七瓩ヲ超ユルトキハ其ノ一・五倍ニ每平方糎三・五瓩ヲ加ヘタル壓力

第九十條 蒸汽過熱器ハ之ヲ製造シタルトキ汽罐ノ制限汽壓ノ二倍ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

第九十一條 汽罐ニ取附クル弁「コック」、第八十二條末項ノ導管又ハ筒ハ之ヲ製造シタルトキ汽罐ノ制限汽壓ノ二倍ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

第六節 給水裝置

第九十二條 主汽罐ノ給水裝置ハ正給水裝置及副給水裝置ヨリ成リ各裝置ハ汽機ヲ全力ニ於テ運轉スル場合ニ必要ナル給水能力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第九十三條 正給水裝置ノ「ポンプ」ガ主機ニ依リ動作セラルルモノナルトキハ該「ポンプ」ハ發條逃出弁ヲ備ヘタルモノニシテ其ノ數ハ二箇トシ各「ポンプ」ハ必要ナル全給水ヲ爲シ得ルモノニシテ其ノ一箇ヲ使用中ト雖モ他ヲ解放シ得ルモノト爲スベシ但シ長サ五〇米未滿ノ船舶ノ機關ニ在リテハ正給水裝置ノ「ポンプ」ノ一箇ト爲スコトヲ得

二箇ノ主機ヲ備フル船舶ニ於テ前項ノ給水「ポンプ」ヲ各主機ニ一箇宛配置シタルトキハ各「ポンプ」ガ双方ノ溫水溜ヨリ吸水シ得ル樣裝置スベシ

正給水裝置ノ「ポンプ」ガ獨立ノ動力ニ依リ動作セラルルモノナルトキハ之ニ自働調整裝置ヲ備フベシ

長サ三〇米以上ノ船舶ニシテ前項ノ「ポンプ」一箇ノミヲ備フルモノニ在リテハ第九十四條ノ副給水裝置ノ「ポンプ」ニ自働調整裝置ヲ備フベシ

第九十四條 副給水裝置ノ「ポンプ」ハ獨立ノ動力ニ依リ動作セラルルモノニシテ溫水溜及清水槽ヨリ吸水シ得ルモノナルコトヲ要ス但シ受熱面積二〇平方米未滿ノ汽罐ノ副給水裝置ハ之ヲ給水注射器ト爲スコトヲ得

給水「ポンプ」ノ吸水管中釀汽ノ際汽罐內ノ水ヲ循環セシムル爲汽罐ノ底部ヨリ吸水スル管ハ之ヲ他ノ吸水管ト別箇ノモノト爲スベシ

第九十五條 補汽罐ニハ適當ナル正副二重ノ給水裝置ヲ備フ

ベシ但シ受熱面積二〇平方米未滿ノ補汽罐ノ副給水裝置ハ之ヲ給水注射器ト爲スコトヲ得

第七節　排水、吸水、循環水及潤滑油ニ關スル裝置

第九十六條　正淦水「ポンプ」ガ主機ニ依リ動作セラルルモノナルトキハ其ノ數ハ二箇トシ一箇ヲ使用中ト雖モ他ヲ解放シ得ル裝置ト爲スベシ但シ長サ五〇米未滿ノ船舶ノ機關ニ在リテハ一箇ト爲スコトヲ得

二箇ノ主機ヲ備フル船舶ニ在リテハ前項ノ淦水「ポンプ」ノ數ヲ各主機ニ付一箇ト爲スコトヲ得

正淦水「ポンプ」ガ獨立ノ動力ニ依リ動作セラルルモノナルトキハ其ノ數ヲ一箇ト爲スコトヲ得

第九十七條　長サ四〇米以上ノ船舶又ハ長サ三〇米以上ノ旅客船ニ在リテハ前條ノ正淦水「ポンプ」ノ外獨立ノ動力ニ依リ動作セラルル副淦水「ポンプ」ヲ備ヘ之ヲ淦水管系ニ接續セシムベシ但シ副給水「ポンプ」ヲ以テ副淦水「ポンプ」ニ充ツルコトヲ得之ニ充ツル場合ニ於テハ第九十四條第一項ノ吸水管ト淦水吸引管トハ別箇ノモノト爲スベシ

第九十八條　淦水排水裝置ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　各淦水「ポンプ」ハ手動「ポンプ」ノミニテ差支ナキ箇所ヲ除クノ外各船、機關室及軸路ヨリ吸水シ得ル配置トナスコト

二　各獨立動力「ポンプ」ハ通常ノ操作狀態ニ於テ淦水管ノ最大徑ノ箇所ノ流速ガ毎分一二二米以上トナル吸水能力ヲ有スルコト

三　獨立動力「ポンプ」中少クトモ一箇ハ他ノ淦水「ポンプ」ガ船體ノ他ノ箇所ヨリ吸水中ト雖モ直接機關室ヨリ排水シ得ル裝置ト爲スコト

四　機關室ニ於ケル淦水吸引管ハ之ヲ泥箱箱ニ接續シ泥箱箱ハ淦水溜ニ通ズル成ルベク眞直ナル尾管及急速ニ開閉シ得ル構造ノ蓋ヲ有シ且成ルベク機關室床上ノ近寄リ易キ場所ニ之ヲ設置スルコト但シ管海官廳ニ於テ船體ノ構造、吸引管ノ配置其ノ他ニ依リ差支ナシト認ムル箇所ニ限リ吸引管端ニ附シタル弁除箱ヲ以テ泥箱箱ニ代用シ得ルコト

五　各艙及軸路ニ於ケル吸水管端ニハ吸水管ノ接合部ヲ取外サザルモ容易ニ掃除シ得ル構造ノ弁除箱ヲ備フルコト弁除箱ノ各孔ノ徑ハ一〇粍以下ニシテ孔ノ總面積ハ吸水管ノ橫截面積ノ二倍以上ナルコト

第九十九條　循環水「ポンプ」ハ不還弁ヲ經テ機關室ノ成ルベク最低部ヨリ直接淦水ヲ吸引シ得ル裝置ト爲シ其ノ吸水管ノ內徑ハ該「ポンプ」ノ海水吸引管ノ內徑ノ三分ノ二以上ト爲スベシ

前項ノ不還弁ニハ其ノ錆著キタル場合ニ備フル爲成ルベク適當ナル揚弁裝置ヲ備フベシ

第百條　長サ四〇米以上ノ船舶又ハ長サ三〇米以上ノ旅客船ニ在リテハ海水ヲ吸引シテ甲板上ニ送水シ且同時ニ船體ノ前後部ニ配水シ得ル獨立動力「ポンプ」ヲ備フベシ但シ副給水「ポンプ」又ハ「副淦水ポンプ」ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第百一條　海水又ハ水槽ノ水ガ艙內又ハ機關室ニ流入シ若ハ一區畫ヨリ他區畫ニ流入スルコトヲ防止スル爲海水ヲ吸引シ得ル「ポンプ」ト淦水管系トノ連絡ハ不還弁又ハ淦水管系ト海水若ハ水槽トニ同時ニ開口シ得ザル「コック」ニ依リ之ヲ爲スベシ

淦水配流箱ニ於ケル弁ハ總テ不還弁ト爲スベシ

淦水吸引管ヲ連絡スル弁又ハ「コック」ハ機關室床板以上ノ近寄リ易キ場所ニ之ヲ取附クベシ

淦水管ハ總テ水槽ノ充水又ハ排水ニ使用スル管ト區別スベシ

第百二條　二重底又ハ水槽ヲ有スル船舶ハ獨立動力「ポンプ」ニ依リ二重底又ハ水槽ノ排水ニ適スル裝置ヲ備フベシ

第百三條　長サ四〇米以上ノ船舶又ハ長サ三〇米以上ノ旅客船ニ在リテハ循環水「ポンプ」ニ依ラズシテ海水ヲ復水器ニ送リ得ル裝置ヲモ備フベシ但シ獨立ノ動力ニ依リ動作セラルル循環水「ポンプ」二箇以上ヲ備ヘ其ノ吐出口ニ於テ互ニ連絡スル裝置アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百四條　相當ノ壓力ヲ以テ潤滑油ヲ循環セシムルコトヲ要スル汽機ヲ備フル船舶ニ在リテハ常用動力潤滑油「ポンプ」ノ外該「ポンプ」中最大能力ノモノト同等ノ能力ヲ有シ且遲滯ナク使用シ得ル配置ト爲シタル豫備動力潤滑油「ポンプ」ヲ備ヘ且油冷却器ヲ備フルトキハ二様ノ冷却水送水裝置ヲ備フベシ

前項ノ豫備潤滑油「ポンプ」ハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ手動「ポンプ」ト爲スモ妨ナシ

第百五條　船外ヨリ吸水スル管ハ海水弁又ハ海水「コック」ニ連結シ海水弁又ハ海水「コック」ハ機關室床板以上ニ於テ之ヲ外板ニ取附クルカ又ハ未板上ニ達セシムル高サヲ有スル堅牢ナル脚筒ニ之ヲ取附クベシ

第百六條　鋼船ノ最大吃水線ノ下部及其ノ附近ニ於テ弁又ハ「コック」ヲ外板ニ取附クル螺釘ハ之ヲ外板ニ捩込ムカ又ハ埋頭ト爲スベシ

第百七條　第八十六條ノ放水管ハ外板ニ取附ケタル弁又ハ「コック」ニ連結スベシ

前項ノ弁又ハ「コック」ハ其ノ開閉狀態ヲ見易キモノト爲シ且「コック」ナルトキハ之ヲ閉鎖スルニ非ザレバ其ノ開閉把手ヲ取放チ得ザル裝置ト爲シ成ルベク之ヲ二重ニ備フベシ鋼船ニ在リテハ前項ノ弁又ハ「コック」ハ外板ヲ貫通スル突

出口ヲ備ヘ外面ニハ黃銅製又ハ靑銅製ノ環ヲ取附クベシ

第百八條 排水管ハ成ルベク近寄リ易キ場所ニ於テ外板ニ取附ケタル排水弁又ハ排水「コツク」ニ連結スベシ但シ長サ三〇米未滿ノ船舶ニ在リテハ最大吃水線以上ニ於テ船外ニ通ズル排水管ニ限リ管海官廳ノ見込ニ依リ弁又ハ「コツク」ヲ備ヘザルコトヲ得

第八節 管

第百九條 汽管又ハ給水管ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス但シ小徑ノ過熱汽管ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

$$P=\frac{(T-a)}{D}\times K$$

Pハ制限汽壓(每平方糎瓩ニテ)
Dハ管ノ內徑(粍ニテ)
Tハ管ノ厚サ(粍ニテ)
a及Kハ定數ニシテ左表ニ依ル

管ノ種類		a	K
汽管	引拔銅管	一・〇	四四〇
	鑞附銅管	一・〇	三三〇
	常溫引拔鋼管	二・五	八四四
	高溫仕上無接合鋼管	三・〇	八四四

	鍛合鋼管	三・〇	六三三
給水管	引拔銅管	一・〇	三五五
	鑞附銅管	一・〇	二六六
	常溫引拔鋼管	二・〇	七〇三

第八十二條末項ノ導管中汽側ノモノノ强力ニ對スル制限汽壓ハ前項汽管ノ例ニ依リ水側ノモノ及第八十六條ノ放水管ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ前項給水管ノ例ニ依ル

第百十條 銅管ハ之ヲ彎曲スル場合ニ於テハ前條ニ依リ算定シタル厚サヨリ大ナル厚サノモノヲ用キ且管ノ中心線ニ於テ測リタル彎曲半徑ヲ管ノ外徑ノ二倍以上ト爲スベシ

第百十一條 汽管、給水管、第八十二條末項ノ導管又ハ第八十六條ノ放水管ニ用ウル銅管ハ之ヲ取附クル前適當ニ熱處理ヲ爲スベシ

鋼管ニシテ工事ノ爲加熱シタルモノハ之ヲ取附クル前適當ニ熱處理ヲ爲スベシ

第百十二條 汽管ハ伸縮ノ影響ヲ緩和スル樣適當ニ裝置スベシ

汽管ニハ適當ナル排水裝置ヲ備フベシ

減壓弁ヲ備フル場合ニ於テハ減壓蒸汽ノ側ニ適當ナル逃出弁ヲ備フベシ

第百十三條 汽罐二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ少クトモ二箇ノ汽罐ヨリ汽笛、操舵汽機及發電汽機ニ送汽シ得ル裝置ト爲スベシ

第百十四條 二二〇度以上ノ蒸汽ヲ通ズル弁匣、膨脹接手等ハ鑄鋼其ノ他ノ適當ナル材料ヲ以テ製造スルコトヲ要ス

第百十五條 管ハ振動ヲ防止スル爲帶金其ノ他ノ方法ニ依リ適當ニ之ヲ取附クベシ

第九節 給水、排水其ノ他ノ裝置ノ水壓試驗

第百十六條 給水「ポンプ」ノ水筒ハ之ヲ製造シ倒仕上ヲ爲シタルトキ汽罐ノ制限汽壓ノ二倍ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

給水「ポンプ」ノ送水側ニ於ケル弁、「コツク」、給水加熱器、給水漉器等ニシテ給水ノ壓力ヲ受クル部分ハ之ヲ製造シ仕上ゲタルトキ汽罐ノ制限汽壓ノ二倍ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

給水「ポンプ」ノ送水側ニ於ケル管ハ鍔ヲ附シ仕上ヲ爲シタルトキ左ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

鋼管ナルトキ　汽罐ノ制限汽壓ノ二・五倍ノ壓力

鋼管ナルトキ　汽罐ノ制限汽壓ノ四・〇倍ノ壓力

第百十七條 主汽管ハ鍔ヲ附シ仕上ヲ爲シタルトキ左ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

鋼管ナルトキ　汽罐ノ制限汽壓ノ二倍ノ壓力

鋼管ナルトキ　汽罐ノ制限汽壓ノ三倍ノ壓力

第百十八條 循環水「ポンプ」ノ水筒又ハ扇車匣ハ之ヲ製造シ倒仕上ヲ爲シタルトキ每平方糎四瓩ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

第百十九條 抽氣「ポンプ」ノ氣筒又ハ扇車匣ハ之ヲ製造シ倒仕上ヲ爲シタルトキ每平方糎二瓩ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

第百二十條 潤滑油「ポンプ」ノ油筒又ハ扇車匣ハ之ヲ製造シ倒仕上ヲ爲シタルトキ常用最大壓力ノ二倍ノ壓力ヲ以テ試驗スベシ

第百二十一條 淦水「ポンプ」ノ水筒又ハ扇車匣ハ之ヲ製造シ倒仕上ヲ爲シタルトキ每平方糎二瓩ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

第百二十二條 最大吃水線以下ノ外板ニ取附クル弁匣、「コツク」又ハ第百五條ノ脚筒ハ之ヲ製造シタルトキ每平方糎二瓩ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

第十節 燃油裝置

第百二十三條 本節ノ規定ハ「エーベル」式密閉試驗ニ依ル引火點六五度以上ノ燃料油ヲ汽罐ニ於テ燃燒スル裝置ヲ有スル船舶ニ之ヲ適用ス

第百二十四條 汽罐ニハ適當ナル防熱裝置ヲ施シ且之ト油槽ノ側壁又ハ二重底頂板トハ適當ノ間隔ヲ保タシムベシ

第百二十五條 油ノミヲ燃燒スル汽罐ニ在リテハ煙突又ハ煙

路内ニ堰板ヲ設クルコトヲ得ズ
隨時ニ石炭又ハ油ヲ燃燒シ得ル裝置ヲ備フル汽罐ニ在リテ煙突又ハ煙路内ニ堰板ヲ有スルトキハ該堰板ヲ全開シ得ル構造ト爲シ且全開シタルトキ不慮ニ開度ヲ變更スル虞ナキモノト爲スベシ

第百二十六條 噴油「ポンプ」、油漉器及燃料油加熱器ハ充分ナル能力ヲ有シ且隨時使用シ得ルモノ二組以上ヲ備フベシ但シ補汽罐ニ在リテハ之ヲ一組ニ止ムルコトヲ得
噴油「ポンプ」ハ吸油側及送油側ニ弁又ハ「コック」ヲ附シ且送油側ニ有效ナル逃出弁ヲ備ヘ之ヨリ逃出シタル油ヲ該「ポンプ」ノ吸油側ニ導入スル裝置ト爲スベシ
燃油裝置ヲ有スル汽罐二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ噴油「ポンプ」ノ送油管ヲ配油弁匣ニ接續スルカ又ハ各汽罐ニ對スル送油管ニ弁又ハ「コック」ヲ備フベシ
噴油器、噴油「ポンプ」、加熱器及油漉器等ヨリノ漏油ニ對シテハ適當ナル油受ヲ設クベシ

第百二十七條 噴油「ポンプ」及之ニ接續スル管系ハ給水「ポンプ」、溢水「ポンプ」又ハ脚荷水「ポンプ」及此等ニ接續スル管系ト兼用スルコトヲ得ズ
油管ハ總テ清水管ト兼用スルコトヲ得ズ

第百二十八條 噴油「ポンプ」ノ送油側ニ於ケル油管ハ無接合鋼管トシ其ノ管鍔ハ之ヲ機械仕上ト爲シ且成ルベク直接接

合ト爲シ接合材ヲ用ウル場合ニ於テハ高溫ノ油ノ滲透セザル薄キモノヲ用ウベシ
前項以外ノ油管ハ鋼管又ハ鐵管ト爲スベシ
油管ハ機關室ニ於テハ檢査及修繕ニ便宜ナル位置ニ之ヲ取附クベシ

第百二十九條 噴油「ポンプ」ノ動力裝置ハ其ノ所在區畫室ニ於テ又該區畫室ノ失火ノ際ニハ接近シ得ベキ他ノ場所ニ於テ之ヲ操縱シ得ルモノナルコトヲ要ス

第百三十條 油槽ニハ硝子製示面計ヲ取附クルコトヲ得ズ但シ厚硝子板ヲ備フルモノ又ハ自働閉塞式ノ弁若ハ「コック」及適當ノ硝子保護裝置ヲ備フルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十一條 燃料油槽ト脚荷水槽トニ兼用スル區畫室二箇以上ヲ有スル船舶ニ在リテハ移油「ポンプ」ニテ該區畫室中ノ一室ヨリ吸油中脚荷水「ポンプ」ニテ他室ノ排水ヲ爲シ得ル裝置ト爲スベシ但シ容積大ニシテ屢補充スルヲ要セザル澄油槽又ハ常用油槽ヲ備フルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ
深水槽ヲ貨物艙、脚荷水槽又ハ燃料油槽ニ兼用スル船舶ニ在リテハ該槽ニ貨物ヲ積載スル場合脚荷水及燃料油ノ注入管竝ニ吸出管ニ、該槽ヲ燃料油槽又ハ脚荷水槽トシテ使用スル場合溢水吸出管ニ盲蓋ヲ取附ケ得ル裝置ト爲スベシ

第百三十二條 移油管ニハ機關室又ハ「ポンプ」室隔壁ノ内側ニ弁又ハ「コック」ヲ備ヘ移油「ポンプ」ニハ之ヲ解放スル場合移油管ト遮斷シ得ル樣其ノ吸油側ニ弁又ハ「コック」ヲ備フベシ

第百三十三條 二重底ヲ除クノ外燃料油槽ヨリ吸油スル管ニハ槽壁ニ於テ弁又ハ「コック」ヲ備ヘ其ノ所在區畫ノ失火ノ際接近シ易キ他ノ場所ヨリ開閉シ得ル裝置ト爲スベシ
燃料油ヲ積載スル船首艙又ハ船尾艙ヨリ吸油スル管ニ在リテハ前項ノ弁又ハ「コック」ハ之ヲ該艙ノ内壁ニ附スベシ

第百三十四條 二重底ヲ有スル船舶ニ在リテハ成ルベク澄油槽及常用油槽ノ底部附近ヨリ燃料油ヲ二重底ニ導ク管ヲ設ケ槽ニ接續スル箇所ニ於テ之ニ前條ノ弁又ハ「コック」ヲ備フベシ

第百三十五條 機關室内ノ油槽ノ底面又ハ側壁ニ附スル充油管ニハ底面又ハ側壁ニ於テ第百三十三條ノ弁若ハ「コック」ヲ備フルカ又ハ不還弁ヲ備フベシ但シ充油管ヲ側壁ノ頂部ニ附スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十六條 機關室内ノ油管ニ附スル弁又ハ「コック」ハ機關室床板以上ニ於テ開閉シ得ルモノト爲スベシ

第百三十七條 機關室内ノ油槽ニ附スル沈澱水ノ排出管ニハ自働閉塞式又ハ封鎖裝置附ノ弁若ハ「コック」ヲ備フベシ

第百三十八條 蒸汽ニ依リ燃料油ヲ加熱スル場合ニ於テハ加熱用蒸汽管ノ末端ハ凝汽中ニ於ケル油ノ有無ヲ檢査シ得ル樣之ヲ驗水槽ニ導クベシ
燃料油ト接觸スル加熱用蒸汽管ハ之ヲ鋼管又ハ鐵管ト爲スベシ

第百三十九條 機關室ニ於ケル溢水吸入管ニハ鉛管ヲ使用スルコトヲ得ズ

第百四十條 燃油裝置ノ各部分ハ左ノ壓力ヲ以テ之ヲ試驗スベシ
一 噴油「ポンプ」ノ油筒又ハ之ニ附屬スル弁ハ常用最大壓力ノ二倍ノ壓力
二 噴油「ポンプ」ノ送油弁ヨリ噴油器ニ至ル管、燃料油加熱器及其ノ附屬具ハ常用最大壓力ノ二倍ト毎平方糎二八瓩トノ中大ナル壓力
三 前號以外ノ油管ニシテ機關室ニ在ルモノハ毎平方糎二瓩
四 燃料油ト接觸スル加熱用蒸汽管ハ常用最大汽壓ノ二倍ノ壓力

前項第一號ニ揭グルモノノ試驗ハ製造シ倒仕上ヲ爲シタルトキ、第二號乃至第四號ニ揭グルモノノ試驗ハ船内取附後之ヲ執行スベシ

第四章 發動機ヲ備フル船舶ノ機關

第一節　發動機

第百四十一條　發動機ハ容易ニ推進器ヲ反轉セシメ且船舶ニ充分ナル後退力ヲ有セシメ得ルモノナルコトヲ要ス

軸馬力三〇〇ヲ超ユル發動機ハ成ルベク自己反轉式ノモノト爲スベシ

軸馬力六〇ヲ超ユル發動機ニシテ「クラツチ」ヲ用ヰ推進器ヲ反轉スルモノニハ適當ナル急速裝置ヲ備フベシ

第百四十二條　徑二五〇粍以上ノ氣筒ニシテ最大壓力毎平方粍三五瓩以上ノモノニハ取扱者ニ危害ヲ及ボス虞ナキ位置ニ適當ナル安全弁又ハ逃出弁ヲ備ヘ最大壓力ノ一・四倍以下ノ壓力ニ於テ逃氣スル樣調整スベシ

第百四十三條　輕油、燈油、揮發油又ハ瓦斯ヲ燃料トスル單働發動機ニシテ氣筒內ノ最大壓力毎平方粍一八瓩以下ノモノノ鍛鋼製ノ軸ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d=C\sqrt[3]{D^5}$$

d ハ軸ノ徑（粍ニテ）

D ハ氣筒ノ徑（粍ニテ）

S ハ行長（粍ニテ）

C ハ定數ニシテ左表ニ依ル

發動機ノ種類	氣筒數	中間軸		第一種螺旋軸		第二種螺旋軸	
		「クランク」軸ノ甲種機關又ハ乙種機關	「クランク」軸ノ丙種機關	推力軸ノ甲種機關又ハ乙種機關	推力軸ノ丙種機關	甲種機關又ハ乙種機關	丙種機關
二衝程發動機	一	〇・三七三	〇・三五四	〇・三二〇	〇・三〇〇	〇・三三一	〇・三一〇
	二	〇・三七三	〇・三五四	〇・三二〇	〇・三〇〇	〇・三三一	〇・三一〇
	三	〇・三八一	〇・三六二	〇・三二六	〇・三〇五	〇・三三八	〇・三一六
	四	〇・三八八	〇・三六九	〇・三二七	〇・三〇五	〇・三四四	〇・三二二
四衝程發動機	一	〇・三三一	〇・三一五	〇・二八〇	〇・二六六	〇・二九五	〇・二八〇
	二	〇・三五三	〇・三三五	〇・二九七	〇・二八八	〇・三〇五	〇・二九〇
	三	〇・三六八	〇・三五〇	〇・三〇五	〇・二九〇	〇・三一六	〇・三〇一
	四	〇・三八一	〇・三六二	〇・三一三	〇・二九八	〇・三二七	〇・三一一
	五	〇・三九〇	〇・三七二	〇・三二〇	〇・三〇五	〇・三三八	〇・三二二
	六	〇・四〇一	〇・三八二	〇・三二九	〇・三一三	〇・三四八	〇・三三二
	七	〇・四〇九	〇・三九〇	〇・三三七	〇・三二一	〇・三五七	〇・三四一
	八	〇・四一三	〇・三九四	〇・三四四	〇・三二八	〇・三六五	〇・三四八

第百四十四條　前條ノ發動機ニシテ氣筒內ノ最大壓力毎平方粍一八瓩ヲ超ユルモノノ鍛鋼製ノ軸ノ徑ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタルモノニ左ノ係數Kヲ乘ジタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$K=\sqrt[3]{\frac{P}{18}}$$

P ハ氣筒內ノ最大壓力（毎平方粍瓩ニテ）

第百四十五條　重油ヲ燃料トスル燒球式二衝程單働發動機ニ

發動機ノ種類	氣筒數	中間軸		第一種螺旋軸		第二種螺旋軸	
		「クランク」軸ノ甲種機關又ハ乙種機關	「クランク」軸ノ丙種機關	推力軸ノ甲種機關又ハ乙種機關	推力軸ノ丙種機關	甲種機關又ハ乙種機關	丙種機關
四衝程發動機	一	〇・三三一	〇・三一五	〇・二八〇	〇・二六六	〇・二九五	〇・二八〇
	二	〇・三五三	〇・三三五	〇・二九七	〇・二八八	〇・三〇五	〇・二九〇
	三	〇・三六八	〇・三五〇	〇・三〇五	〇・二九〇	〇・三一六	〇・三〇一
	四	〇・三八一	〇・三六二	〇・三一三	〇・二九八	〇・三二七	〇・三一一
	五	〇・三九〇	〇・三七二	〇・三二〇	〇・三〇五	〇・三三八	〇・三二二
	六	〇・四〇一	〇・三八二	〇・三二九	〇・三一三	〇・三四八	〇・三三二
	七	〇・四〇九	〇・三九〇	〇・三三七	〇・三二一	〇・三五七	〇・三四一
	八	〇・四一三	〇・三九四	〇・三四四	〇・三二八	〇・三六五	〇・三四八
單働發動機	一	〇・三三一	〇・三一五	〇・二八〇	〇・二六六	〇・二九五	〇・二八〇
	二	〇・三五三	〇・三三五	〇・二九七	〇・二八八	〇・三〇五	〇・二九〇
	三	〇・三六八	〇・三五〇	〇・三〇五	〇・二九〇	〇・三一六	〇・三〇一
	四	〇・三八一	〇・三六二	〇・三一三	〇・二九八	〇・三二七	〇・三一一
	五	〇・三九〇	〇・三七二	〇・三二〇	〇・三〇五	〇・三三八	〇・三二二
	六	〇・四〇一	〇・三八二	〇・三二九	〇・三一三	〇・三四八	〇・三三二
	七	〇・四〇九	〇・三九〇	〇・三三七	〇・三二一	〇・三五七	〇・三四一
	八	〇・四一三	〇・三九四	〇・三四四	〇・三二八	〇・三六五	〇・三四八

シテ氣筒内ノ最大壓力毎平方糎二五瓩以下ノモノノ鍛鋼製ノ軸ノ寸法ハ左ノ各號ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

一 「クランク」軸ノ徑

$$d_c=\sqrt[3]{\frac{D^2\times(AS+BL)}{100}}$$

d_cハ「クランク」軸ノ徑(粍ニテ)

Dハ氣筒ノ徑(粍ニテ)

Sハ行長(粍ニテ)

Lハ「クランク」ノ兩側ニ於ケル軸受金内側間ノ距離(粍ニテ)

A及Bハ定數ニシテ左表ニ依ル

氣筒數	「クランク」ノ配置	甲種機關又ハ乙種機關 A	甲種機關又ハ乙種機關 B	丙種機關 A	丙種機關 B
一		二七五	二・六九	二・三六	二・三一
二		二七五	二・六九	二・三六	二・三一
		三・四三	二・六〇	二・九四	二・二三
三		三・〇三	二・六八	二・六〇	二・三〇
四		三四六	二・六二	二・九七	二・二五
		六・八八	二・一〇	五・九〇	一・八〇
五		三・八八	二・五〇	三・三三	二・一四
六		四・二九	二・四三	三・六八	二・〇八
		五・〇八	二・三一	四・三六	一・九八
		六・八三	二・一一	五・八六	一・八一

二 一体型「クランク」軸ノ腕ノ幅又ハ厚サ

$bt^2=0.417d_c^3$

d_cハ前號ノ規定ニ依リ算定シタル「クランク」軸ノ徑(粍ニテ)

bハ腕ノ幅(粍ニテ)

tハ腕ノ厚サ(粍ニテ)

三 推力軸、中間軸又ハ螺旋軸ノ徑

$d=C\sqrt[3]{D^2S}$

dハ軸ノ徑(粍ニテ)

Dハ氣筒ノ徑(粍ニテ)

Sハ行長(粍ニテ)

Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

氣筒數	「クランク」ノ配置	推力軸 甲種機關又ハ乙種機關	推力軸 丙種機關	中間軸 甲種機關又ハ乙種機關	中間軸 丙種機關	第一種螺旋軸 甲種機關又ハ乙種機關	第一種螺旋軸 丙種機關	第二種螺旋軸 甲種機關又ハ乙種機關	第二種螺旋軸 丙種機關
一		〇・二四二	〇・二三〇	〇・二三〇	〇・二一八	〇・二五四	〇・二四一	〇・二六九	〇・二五五
二		〇・二六六	〇・二五三	〇・二五三	〇・二四〇	〇・二八〇	〇・二六五	〇・二九六	〇・二八一
		〇・二七三	〇・二五九	〇・二五	〇・二四六	〇・二八六	〇・二七二	〇・三〇三	〇・二八八
三		〇・二八六	〇・二七二	〇・二七二	〇・二五八	〇・三〇〇	〇・二八五	〇・三一八	〇・三〇二
四		〇・三〇四	〇・二八九	〇・二八九	〇・二七四	〇・三一九	〇・三〇三	〇・三三八	〇・三二一
		〇・三四一	〇・三二四	〇・三二四	〇・三〇八	〇・三五八	〇・三四〇	〇・三七九	〇・三六〇
五		〇・三一九	〇・三〇三	〇・三〇三	〇・二八八	〇・三三五	〇・三一八	〇・三五四	〇・三三六
六		〇・三三二	〇・三一五	〇・三一五	〇・二九九	〇・三四八	〇・三三〇	〇・三六九	〇・三五〇
		〇・三四八	〇・三三〇	〇・三三〇	〇・三一三	〇・三六五	〇・三四六	〇・三八六	〇・三六七
		〇・三五五	〇・三三七	〇・三三七	〇・三二〇	〇・三七二	〇・三五三	〇・三九四	〇・三七四

C

第百四十六條　前條ノ發動機ニシテ氣筒內ノ最大壓力毎平方糎二五瓩ヲ超ユルモノノ鍛鋼製ノ軸ノ徑ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタルモノニ左ノ係數Kヲ乘ジタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$K=\sqrt[3]{1+(0.02P-0.5)}$$

Pハ氣筒內ノ最大壓力(毎平方糎瓩ニテ)

前項ノ發動機ノ鍛鋼製ノ一体型「クランク」軸ノ腕ノ幅又ハ厚サハ前項ノ規定ニ依リ算定シタル「クランク」軸ノ徑(粍ニテ)ヲ d_c ニ充テ前條第二號ノ算式ヲ用ヰ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

第百四十七條　「ディーゼル」式發動機ノ鍛鋼製ノ「クランク」軸ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d_c=\sqrt[3]{\frac{D^2\times(ASp+BLP)}{1,000}}$$

d_c ハ「クランク」軸ノ徑(粍ニテ)

Dハ氣筒ノ徑(粍ニテ)

Sハ行長(粍ニテ)

Lハ「クランク」ノ兩側ニ於ケル軸受金內側間ノ距離(粍ニテ)

Pハ氣筒內ノ最大壓力(毎平方糎瓩ニテ)

Pハ氣筒內平均有效圖示壓力(毎平方糎瓩ニテ)

A及Bハ定數ニシテ左表ニ依ル

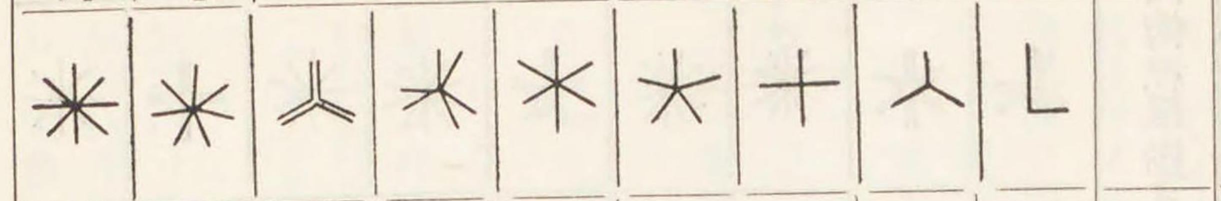
一　二衝程單働式ナルトキ

氣筒數	「クランク」ノ配置	甲種機關又ハ乙種機關 A	甲種機關又ハ乙種機關 B	丙種機關 A	丙種機關 B
一		一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
二	一	一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
三	人	一二・六〇	一・五二	一〇・八〇	一・三〇
四	十	一三・八三	一・四八	一一・八六	一・二七
四	二	二三・三〇	一・二二	一九・九六	一・〇五
五	大	一四・五一	一・四五	一二・四五	一・二四
六	米	一五・一二	一・四三	一二・九七	一・二三
六	米	二〇・〇〇	一・三一	一七・一五	一・一二
七	人	二四・一〇	一・二一	二〇・六七	一・〇四
七	米	一五・八〇	一・四一	一三・五五	一・二一

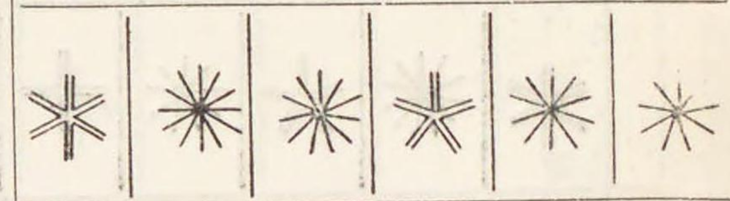
二　四衝程單働式ナルトキ

氣筒數	「クランク」ノ配置	甲種機關又ハ乙種機關 A	甲種機關又ハ乙種機關 B	丙種機關 A	丙種機關 B
一		一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
二	一	一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
三	人	一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
四	二	一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
五	大	一二・六〇	一・五二	一〇・八〇	一・三〇
六	人	一二・六〇	一・五二	一〇・八〇	一・三〇
七	米	一三・八三	一・四八	一一・八六	一・二七
八	十	一三・八三	一・四八	一一・八六	一・二七
九	米	一四・五一	一・四五	一二・四五	一・二四
一〇	米	一四・五一	一・四五	一二・四五	一・二四
一一	米	一五・一二	一・四三	一二・九七	一・二三
一二	米	一五・一二	一・四三	一二・九七	一・二三
一二	一	一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
一二	人	一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
一二	二	一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
一二	大	一二・六〇	一・五二	一〇・八〇	一・三〇
一二	人	一二・六〇	一・五二	一〇・八〇	一・三〇
一二	米	一三・八三	一・四八	一一・八六	一・二七
一二	十	一三・八三	一・四八	一一・八六	一・二七
一二	米	一四・五一	一・四五	一二・四五	一・二四
一二	米	一四・五一	一・四五	一二・四五	一・二四
一二	米	一五・一二	一・四三	一二・九七	一・二三
一二	米	一五・一二	一・四三	一二・九七	一・二三
一二	米	一六・六三	一・四〇	一四・二六	一・二〇
一二	十	二七・四〇	一・二一	二三・五〇	一・〇四
一二	米	一七・六〇	一・三八	一五・一〇	一・一八
一二	米	一九・四二	一・三六	一六・六六	一・一七
一二	米	二八・四二	一・二〇	二四・三八	一・〇三
一二	米	二〇・〇八	一・三三	一七・二三	一・一四
一二	米	二一・一四	一・三三	一八・一四	一・一四
一二	米	二九・三七	一・一九	二五・二〇	一・〇二
一二	米	三六・四八	一・〇九	三一・三〇	〇・九四

三　二衝程複働式ナルトキ

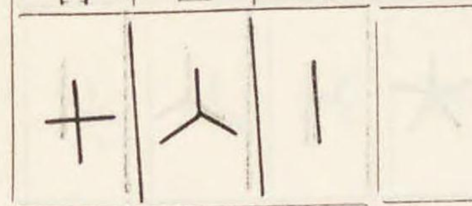


氣筒數	「クランク」ノ配置	甲種機關又ハ乙種機關 A	甲種機關又ハ乙種機關 B	丙種機關 A	丙種機關 B
一		一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
二		一二・八一	一・四三	一〇・九九	一・二三
三		一四・三三	一・三二	一二・三〇	一・一三
四		二二・二〇	一・一四	一九・〇四	〇・九八
五		一八・四五	一・二〇	一五・八二	一・〇三
六		二一・二〇	一・一二	一八・一八	〇・九六
		二〇・六六	一・一五	一七・七二	〇・九九
		二三・五〇	一・一二	二〇・一六	〇・九六
七		二二・三四	一・一一	一九・一七	〇・九五
八		二六・八三	一・〇七	二三・〇一	〇・九二

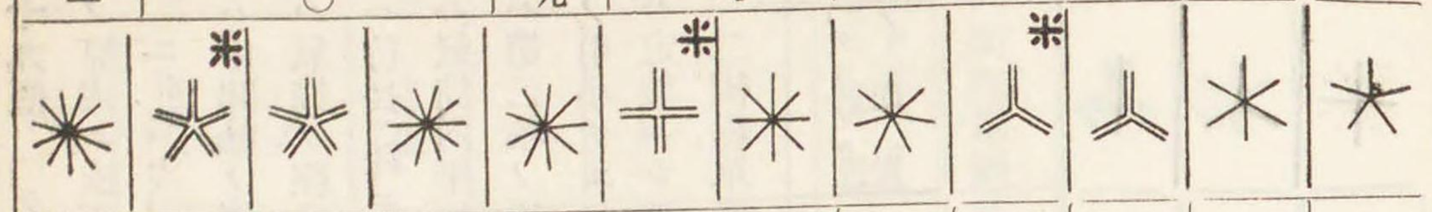


氣筒數	「クランク」ノ配置	甲種機關又ハ乙種機關 A	甲種機關又ハ乙種機關 B	丙種機關 A	丙種機關 B
九		二七・九三	一・〇三	二三・九七	〇・八八
一〇		三一・四三	一・〇二	二六・九七	〇・八八
		三六・八三	一・〇一	三一・六〇	〇・八七
一一		三四・六八	一・〇〇	二九・七六	〇・八六
一二		三八・五四	〇・九九	三三・〇七	〇・八五
		四八・二〇	〇・九七	四一・三六	〇・八三

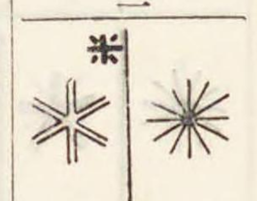
四　四衝程複働式ナルトキ



氣筒數	「クランク」ノ配置	甲種機關又ハ乙種機關 A	甲種機關又ハ乙種機關 B	丙種機關 A	丙種機關 B
一		一〇・八六	一・六〇	九・三二	一・三七
二		一二・八一	一・四三	一〇・九九	一・二三
三		一四・四八	一・三〇	一二・四一	一・一二
四		一三・四一	一・三九	一一・五〇	一・一九



氣筒數	「クランク」ノ配置	甲種機關又ハ乙種機關 A	甲種機關又ハ乙種機關 B	丙種機關 A	丙種機關 B
五		一五・六八	一・二六	一三・四五	一・〇八
六		一四・五〇	一・三〇	一二・四四	一・一二
		一四・五〇	一・三〇	一二・四四	一・一二
	※	一九・七〇	一・一九	一六・九〇	一・〇二
七		一八・三九	一・二二	一五・七七	一・〇五
八		一八・七〇	一・二一	一六・〇四	一・〇四
	※	二一・三一	一・一六	一八・二八	一・〇〇
九		二一・六〇	一・一五	一八・五三	〇・九九
一〇		二〇・〇四	一・一八	一七・二〇	一・〇一
		二〇・〇四	一・一八	一七・二〇	一・〇一
	※	二八・四二	一・〇八	二四・三八	〇・九三
一一		二一・七二	一・一六	一八・六三	一・〇〇



氣筒數	「クランク」ノ配置	甲種機關又ハ乙種機關 A	甲種機關又ハ乙種機關 B	丙種機關 A	丙種機關 B
一二		二二・一〇	一・一五	一八・九六	〇・九九
	※	二六・五〇	一・〇九	二二・七三	〇・九四

備考
※印ヲ附シタルモノハ二箇ノ氣筒ガ同時ニ點火スルモノナルコトヲ示ス

第百四十八條　「デイーゼル」式發動機ノ「クランク」軸ノ鋼製ノ腕ノ幅又ハ厚サハ左ノ算式ニ依リ定メタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

組成型「クランク」軸又ハ半組成型「クランク」軸ナルトキ　$w=0.438d_c$，$t=0.625d_c$

一体型「クランク」軸ナルトキ　$bt^2=0.417\,d_c^3$

d_cハ前條ノ規定ニ依リ算定シタル「クランク」軸ノ徑（粍ニテ）

wハ組成型「クランク」軸又ハ半組成型「クランク」軸ニ於ケル腕ノ孔ノ周圍ノ半徑方向ノ厚サ（粍ニテ）

tハ軸ノ方向ノ腕ノ厚サ（粍ニテ）

bハ一体型「クランク」軸ノ腕ノ幅（粍ニテ）

前項ノ規定ハ高速機關ニ付テハ之ヲ適當ニ斟酌スルコトヲ得

第百四十九條 「デイーゼル」式發動機ノ鍛鋼製ノ中間軸ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d=C\sqrt[3]{(1+M)\frac{D^2}{p}}$$

dハ中間軸ノ徑(粍ニテ)

Dハ氣筒ノ徑(粍ニテ)

Sハ行長(粍ニテ)

pハ氣筒內平均有效圖示壓力(每平方糎瓩ニテ)

Mハ第二項ノ規定ニ依リ算定シタル數ト左表ニ揭ルZトノ中小ナルモノ

Cハ定數ニシテ左表ニ依ル

一 二衝程單働式ナルトキ

氣筒數	「クランク」ノ配置	K	Z	C 甲種機關又ハ乙種機關	C 丙種機關
一		二六・二	〇・五二七	〇・一一六	〇・一一〇
二	一	一六・八	〇・三二六	〇・一四六	〇・一三九
三	人	八・四	〇・二〇〇	〇・一六八	〇・一六〇
四	十	四・五	〇・一〇六	〇・一八四	〇・一七五

氣筒數	「クランク」ノ配置	K	Z	C 甲種機關又ハ乙種機關	C 丙種機關
一		三一・八	〇・六八〇	〇・〇九七	〇・〇九二
二	一	四一・〇	〇・五二七	〇・一一八	〇・一一二
三	人	二四・一	〇・四一〇	〇・一三五	〇・一二八
四	‖	一六・八	〇・三二六	〇・一四九	〇・一四二
五	米	一三・八	〇・二五三	〇・一六一	〇・一五三
六	人	八・四	〇・二〇〇	〇・一七一	〇・一六二
七	米	六・三	〇・一四〇	〇・一八〇	〇・一七一

氣筒數	「クランク」ノ配置	K	Z	C 甲種機關又ハ乙種機關	C 丙種機關
一二	米	三・五	〇・〇四〇		
一二	米	二五・二	〇・一三二	〇・二六六	〇・二五三
一二	米	〇・二	〇・〇〇四		

二 四衝程單働式ナルトキ

氣筒數	「クランク」ノ配置	K	Z	C 甲種機關又ハ乙種機關	C 丙種機關
一		三一・八	〇・六八〇	〇・〇九七	〇・〇九二
二	一	四一・〇	〇・五二七	〇・一一八	〇・一一二
三	人	二四・一	〇・四一〇	〇・一三五	〇・一二八
四	‖	一六・八	〇・三二六	〇・一四九	〇・一四二
五	米	一三・八	〇・二五三	〇・一六一	〇・一五三
六	人	八・四	〇・二〇〇	〇・一七一	〇・一六二
七	米	六・三	〇・一四〇	〇・一八〇	〇・一七一

氣筒數	「クランク」ノ配置	K	Z	C 甲種機關又ハ乙種機關	C 丙種機關
一二	米	二・〇	〇・〇〇四		
一二	米	二五・二	〇・一三二	〇・二六六	〇・二五三
一二	米	三・五	〇・〇四〇		

三 二衝程復働式ナルトキ

氣筒數	「クランク」ノ配置	K	Z	C 甲種機關又ハ乙種機關	C 丙種機關
一		一六・八	〇・三三〇	〇・一四〇	〇・一三三
二	L	四・五	〇・一〇六	〇・一七六	〇・一六七
三	人	二・〇	〇・〇四一	〇・二〇一	〇・一九一
四	十	九・二	〇・一〇六	〇・二二二	〇・二一一
五	米	〇・四	〇・〇〇八	〇・二三九	〇・二二七

氣筒數	「クランク」ノ配置	K	Z	C 甲種機關又ハ乙種機關	C 丙種機關
八	十	四・五	〇・一〇六	〇・一八八	〇・一七九
九	米	四・一	〇・〇八四	〇・一九六	〇・一八六
一〇	米	三・四	〇・〇六二	〇・二〇三	〇・一九三
一一	米	二・八	〇・〇四九	〇・二〇九	〇・一九九
一二	米	二・〇	〇・〇四〇	〇・二一五	〇・二〇四

氣筒數	「クランク」ノ配置	K	Z	C 甲種機關又ハ乙種機關	C 丙種機關
一		三六・二	〇・三二六		
二	‖	二・九	〇・〇五九	〇・一九八	〇・一八八
三	米	二・〇	〇・〇四一		
四	人	一八・二	〇・一九一		
五	米	一一・八	〇・一三二	〇・二一一	〇・二〇〇
六	米	二・〇	〇・〇四一		
七	米	一・五	〇・〇二七	〇・二一二	〇・二一一
八	米	〇・九	〇・〇一九	〇・二三二	〇・二二〇
八	十	九・二	〇・一〇六		
九	米	〇・七	〇・〇一二	〇・二四一	〇・二二九
一〇	米	〇・四	〇・〇〇八	〇・二五〇	〇・二三八
一〇	米	五・七	〇・〇六二		
一二	米	〇・三	〇・〇〇五	〇・二五九	〇・二四六

氣筒數	「クランク」ノ配置	K	Z	C 甲種機關又ハ乙種機關	C 丙種機關
一		二六・二	〇・五二七	〇・一一三	〇・一〇七
二		一六・八	〇・三二六	〇・一四二	〇・一三五
三		三一・三	〇・三〇〇	〇・一六三	〇・一五五
四		四・五	〇・一〇六	〇・一七九	〇・一七〇
五		一六・二	〇・一八四	〇・一九三	〇・一八三
六		二・〇	〇・〇四一	〇・二〇五	〇・一九五
		二・〇	〇・〇四一		
		六三・二	〇・二九八		
七		八・五	〇・〇九九	〇・二一六	〇・二〇五
八		〇・九	〇・〇一九	〇・二二六	〇・二一五
		九・二	〇・一〇六		

四	四衝程複動式ナルトキ	二	一一	一〇	九	八	七	六	
		三・五	〇・二	一・〇	〇・二	一・七	〇・二	三・五	六
		〇・〇四一	〇・二	一・〇	〇・二	〇・〇一九	〇・二	〇・二	六
		〇・〇〇四	〇・〇〇二	〇・〇〇八	〇・〇〇三	〇・〇一九	〇・〇〇四	〇・〇〇四	六
		〇・二五四	〇・三一一	〇・三〇二	〇・二九一	〇・二八〇	〇・二六七	〇・二五四	七
		〇・二四一	〇・二九五	〇・二八七	〇・二七六	〇・二六六	〇・二五四	〇・二四一	七
		〇・四	〇・二	一・〇	〇・二	一・七	〇・二	六・八	八
		〇・〇〇四	〇・〇〇二	〇・〇〇八	〇・〇〇三	〇・〇一九	〇・〇〇四	〇・〇四〇	八
		〇・三二〇	〇・三一一	〇・三〇二	〇・二九一	〇・二八〇	〇・二六七	九・二	八
		〇・三〇四	〇・二九五	〇・二八七	〇・二七六	〇・二六六	〇・二五四	〇・一〇六	八

M ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ算定スベシ

$$M = K\frac{10{,}000D^2S}{(6.24wb^2 + WF^2)R^2}$$

D ハ氣筒ノ徑(粍ニテ)

S ハ行程(粍ニテ)

w ハ「クランク」腕ニ附シタル釣合錘ノ重量(瓩ニテ)

備考	二	三	四	五	六	七	八	九
	三・五	一・八	三三・五	〇・二	〇・二	〇・四	〇・四	四・五
	〇・〇四〇	〇・〇三二	〇・一八〇	〇・〇〇四	〇・〇〇四	〇・〇〇八	〇・〇〇八	〇・〇五三
※印ヲ附シタルモノハ二筒ノ氣筒ガ同時ニ點火スルモノナルコトヲ示ス	〇・二五九	〇・二五一	〇・二四三					〇・二三五
	〇・二四六	〇・二三八	〇・二三一					〇・二二三

b ハ「クランク」腕ニ附シタル釣合錘ノ重心點ヨリ「クランク」軸ノ中心線ニ至ル距離(粍ニテ)

W ハ勢車ノ重量(瓩ニテ)

F ハ勢車ノ外徑(粍ニテ)

R ハ軸ノ毎分回轉數

K ハ定數ニシテ前項ノ表ニ依ル

第百五十條 「デイーゼル」式發動機ノ鍛鋼製ノ推力軸ノ徑ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸ノ徑ノ一・〇五倍ヨリ小ナルコトヲ得ズ

第百五十一條 「デイーゼル」式發動機ノ螺旋軸ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d_p = d + \frac{P}{C}$$

d_p ハ螺旋軸ノ徑(粍ニテ)

d ハ第百四十九條ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸ノ徑(粍ニテ)

P ハ螺旋推進器ノ徑(粍ニテ)

C ハ定數ニシテ左表ニ依ル

第一種螺旋軸ナルトキ	一四四
第二種螺旋軸ナルトキ	一〇〇

第百五十二條　船舶ノ推進ニ關係ヲ有スル發電機又ハ空氣壓縮機ヲ動作スル發動機ノ「クランク」軸ノ寸法ハ發動機ノ種類ニ應ジ第百四十三條乃至第百四十八條ノ規定ニ依リ內種機關トシテ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

第百五十三條　鍛鋼製中空軸ノ外徑ハ發動機及軸ノ種類ニ應ジ第百四十三條乃至第百四十七條、第百四十九條乃至第百五十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタルモノニ左ノ係數Kヲ乘ジタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ但シ內徑ガ外徑ノ三分ノ一未滿ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

$$K=\sqrt[3]{\frac{1}{1-n^4}}$$

nハ中空軸ノ內徑ヲ外徑ニテ除シタル商

第百五十四條　鍛鋼製推力軸ハ推力受臺ノ前部及後部ニ於テハ其ノ徑ハ發動機ノ種類ニ應ジ第百四十三條乃至第百四十六條、第百四十九條又ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸ノ徑トナル迄漸次之ヲ減ズルコトヲ得

鍛鋼製螺旋軸ハ前部軸鍔ノ附近ニ於テハ其ノ徑ガ發動機ノ種類ニ應ジ第百四十三條乃至第百四十六條、第百四十九條又ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸ノ徑ノ一・〇五倍トナル迄漸次之ヲ減ズルコトヲ得

第百五十五條　抗張力ガ不明ナル壓延黃銅製螺旋軸ノ徑ハ發動機ノ種類ニ應ジ第百四十三條乃至第百四十六條又ハ第百五十一條ノ規定ニ依リ算定シタル鍛鋼製第一種螺旋軸ノ徑ノ一・〇五倍以上ト爲スベシ

第百五十六條　軸鍔ヲ連結スル螺釘ノ軸鍔連結面ニ於ケル徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d=0.75\sqrt{\frac{D^3}{NL}}$$

dハ螺釘ノ徑（粍ニテ）

Nハ螺釘ノ數

d_1ハ螺釘心圈ノ徑（粍ニテ）

Dハ發動機ノ種類ニ應ジ第百四十三條乃至第百四十六條又ハ第百四十九條ノ規定ニ依リ算定シタル中間軸ノ徑（粍ニテ）

第百五十七條　船尾管後端ノ軸受部ノ長サハ第百四十三條乃至第百四十六條、第百五十一條又ハ第百五十五條ノ規定ニ依リ算定シタル螺旋軸ノ徑ノ四倍未滿ト爲スコトヲ得ズ

船尾管後端ノ軸受上部ノ內面ト螺旋軸トノ間隙C（粍ニテ）ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ大ナルコトヲ得ズ

$$C=0.01.5d+2.5$$

dハ螺旋軸ノ該部分ニ於ケル被金上ノ徑（粍ニテ）

第百五十八條　發動機ノ電氣點火裝置ノ導線ハ完全ニ絕緣シタルモノニシテ損傷ヲ受クル虞ナク且油管、油槽又ハ油ト接觸セザル樣之ヲ敷設スベシ

整流子ハ之ヲ蔽圍スベシ

點火裝置ノ「コイル」ハ爆發性瓦斯ニ暴露スル虞アル場所ニ之ヲ備フルコトヲ得ズ

燃料油ノ點火又ハ氣化ノ爲燈ヲ使用スルトキハ之ヲ適當ナル臺ニ取附ケ且其ノ火焰ヲ蔽圍スベシ

第百五十九條　發動機ノ氣化器ハ發動機ノ停止シタル場合自働的ニ燃料ノ供給ヲ遮斷スル裝置ト爲スベシ

氣化器ガ油ノ溢出スル虞アルモノナルトキハ金網蓋ヲ有スル油受ヲ設ケ之ニ排油裝置ヲ備フベシ

氣筒ト氣化器トノ間又ハ氣化器ノ空氣吸入口ニハ成ルベク金網ノ隔膜ヲ備フベシ

第百六十條　第百四十二條及前二條ノ規定ハ補機動作用ノ發動機ニ之ヲ準用ス

第二節　油槽、油管、潤滑油裝置等

第百六十一條　油槽、油管及此等ニ附屬スル弁竝ニ「コツク」ニ付テハ本節ニ於テ特ニ規定シタルモノノ外第三章第十節ノ規定ヲ準用ス

第百六十二條　發動機ニハ其ノ停止中ニ於テモ手動「ポンプ」其ノ他ノ適當ナル方法ニ依リ氣筒ノ噴油弁ニ燃料油ヲ供給シ得ル裝置ヲ設クベシ

長サ三〇米以上ノ船舶ノ發動機ノ燃料油管ニハ燃料油漉器二組ヲ備ヘ發動機ノ運轉中ト雖モ其ノ一組ヲ解放掃除シ得ル裝置トナスベシ

第百六十三條　重油管ニ非ザル油管ニハ適當ニ熱處理ヲ爲シタル引拔銅管ヲ用ヰ其ノ配置ハ伸縮ノ自由ヲ妨ゲザルモノト爲シ其ノ連結ハ金屬製ノ圓錐形又ハ球面形接合ト爲スベシ

第百六十四條　重油管ニハ成ルベク引拔鋼管ヲ用ヰ其ノ配置ハ伸縮ノ自由ヲ妨ゲザルモノト爲スベシ

噴油「ポンプ」ト氣筒トヲ連絡スル重油管ノ連結ハ成ルベク金屬製ノ圓錐形又ハ球面形接合ト爲スベシ

第百六十五條　燃料油管ハ容易ニ檢査スルコトヲ得且外部ヨリ損傷ヲ受クル虞ナキ樣敷設スベシ

第百六十六條　燃料油槽ハ之ヲ汽罐、汽管、廢氣管、消音器其ノ他ノ高熱物ヨリ適當ニ隔離シ其ノ弁又ハ「コツク」等ハ外部ヨリ損傷ヲ受クル虞ナキ安全ナル場所ニ取附クベシ

第百六十七條　油槽ノ開口ニハ容易ニ取外シ得ル堅牢ナル金網膜ヲ裝置スベシ

揮發油槽ニハ逃出弁ヲ備ヘ之ニ排氣管ヲ設ケ排氣管ハ甲板上ノ安全ナル場所ニ導キ其ノ端ヲ下方ニ屈曲シ內徑二五粍ヲ超ユルモノニ在リテハ其ノ端ニ金屬膜ヲ附スベシ

第百六十八條　燃料油槽ノ充油管ハ專用ノモノトシ成ルベク甲板上ニ達セシメ開口部ハ堅牢ナル蓋ヲ以テ密閉シ得ルモノト爲スベシ

燃料油槽ニハ空氣管ヲ設ケ其ノ端ヲ暴露甲板上排氣ニ因ル危險ナキ場所ニ導キ且排氣ノ流通ヲ阻害シ又ハ波浪ノ浸入スル虞ナキモノト爲スベシ

第百六十九條 船體ノ一部ヲ成サザル燃料油槽ニハ排油裝置ヲ設ケ且內部ヲ檢査シ得ル樣檢査孔ヲ設クベシ

前項ノ油槽ニハ金屬製油受ヲ備ヘ之ニ排油裝置ヲ設クベシ

第百七十條 前三條ノ規定ハ小形油槽ニ付テハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ之ヲ適當ニ斟酌スルコトヲ得

第百七十一條 強壓ヲ受クル燃料油槽ノ強力ハ氣槽ノ強力ニ準ジ之ヲ算定スベシ

第百六十七條第二項ノ規定ハ前項ノ油槽ニ之ヲ準用ス

第百七十二條 相當ノ壓力ヲ以テ潤滑油ヲ循環セシムルコトヲ要スル發動機ヲ備フル船舶ニ在リテハ常用動力潤滑油「ポンプ」ノ外該「ポンプ」中最大能力ノモノト同等ノ能力ヲ有シ且遲滯ナク使用シ得ル配置ト爲シタル豫備動力潤滑油「ポンプ」ヲ備ヘ且油冷却器ヲ備フルトキハ二樣ノ冷却水送水裝置ヲ備フベシ

前項ノ豫備潤滑油「ポンプ」ハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ手動「ポンプ」ト爲スモ妨ナシ

「クランク」室ヲ潤滑油溜トシテ使用スル「クランク」室密閉式發動機ニハ「クランク」室內ノ油ヲ隨時排出シ得ル裝置ヲ

備ヘ木船ニ在リテハ此ノ排油ガ木製部分ヲ浸潤セザル樣裝置スベシ

前項ノ發動機ヲ備フル船舶ニ在リテハ潤滑油ノ清淨機又ハ漉器ヲ備フベシ

潤滑油管系ニハ適當ノ位置ニ潤滑油ノ流動狀況ヲ見易キ樣適當ノ裝置ヲ備フルカ又ハ壓力計ヲ備フベシ

第百七十三條 機關室及燃料油槽ヲ設置シタル區畫室ハ通風良好ナルモノト爲スベシ

第三節 廢氣裝置及空氣壓縮機

第百七十四條 廢氣管及消音器ハ循環水ニ依リ之ヲ冷却スルカ又ハ之ニ適當ナル防熱裝置ヲ施スベシ

消音器ハ容易ニ掃除シ得ルモノト爲スベシ

二箇以上ノ發動機ノ廢氣ヲ一箇ノ消音器ニ導クトキハ停止セル發動機ノ氣筒內ニ廢氣ノ侵入セザル樣裝置スベシ

廢氣管ノ端ヲ船外ノ水線附近ニ開放スルトキハ氣筒ニ水ノ浸入セザル樣裝置スベシ

前四項ノ規定ハ補機動作用發動機ニ之ヲ準用ス

第百七十五條 長サ三〇米以上ノ船舶ニシテ單働掃除空氣「ポンプ」、獨立掃除送風機又ハ獨立複働掃除空氣「ポンプ」一箇ノミヲ備フルモノニ在リテハ其ノ二分ノ一以上ノ能力ヲ有シ且隨時使用シ得ル副掃除裝置ヲ備フベシ但シ獨立掃除送風機又ハ獨立複働掃除空氣「ポンプ」ヲ備フル場合ニ於テ該送風機又ハ「ポンプ」ガ其ノ動源ノ二分ノ一以上ノ能力ヲ有シ且隨時使用シ得ル他ノ動源ニ依リ容易ニ動作セラルルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百七十六條 空氣噴油式發動機ヲ備フル船舶ニ在リテハ其ノ全力運轉ニ必要ナル壓縮空氣ヲ供給シ得ル噴油用空氣壓縮機ノ外該壓縮機中最大能力ノモノノ二分ノ一以上ノ能力ヲ有シ且隨時使用シ得ル噴油用副空氣壓縮機ヲ備フベシ

壓縮空氣ニ依リ始動スル發動機ヲ備フル船舶ニ在リテハ壓縮空氣ニ依ラズシテ始動シ且動力ニ依リ動作セラルル應急用空氣壓縮機ヲ備フベシ但シ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ之ヲ手動空氣壓縮機ト爲シ又ハ之ヲ備ヘザルコトヲ得

第百七十七條 空氣壓縮機ノ壓縮筒ニハ安全弁又ハ逃出弁ヲ備ヘ各壓縮筒內ノ最大壓力ノ一・一倍以下ノ壓力ニ於テ逃氣スル樣之ヲ調整スベシ

壓縮空氣ノ冷却器ハ容易ニ解放シテ檢査及掃除ヲ爲シ得ル構造ト爲スベシ

第四節 氣槽

第百七十八條 發動機ノ始動用氣槽ノ容量ハ計畫壓力ニ充氣シタル場合補充セズシテ引續キ十二回以上始動セシメ得ルモノナルコトヲ要ス但シ壓縮空氣ニ依ラズシテ推進器ヲ反轉セシメ得ル發動機ニ付テハ之ヲ半減スルコトヲ得

第百七十九條 空氣噴油式發動機ヲ備フル船舶ニ在リテハ噴油用氣槽ハ二箇以上トシ其ノ一箇ヲ使用セザルモ發動機ノ運轉ニ支障ナキ裝置ト爲スベシ但シ始動用氣槽ノ強力ガ噴油用空氣壓力ニ對シ充分ナルモノナルトキハ始動用氣槽ヲ以テ噴油用氣槽ノ全部又ハ一部ト爲スコトヲ得

第百八十條 氣槽ノ構造ニ關シテハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外第三章第二節ノ規定ヲ準用ス

第百八十一條 氣槽ノ制限壓力ハ前條ノ規定並ニ第百八十五條乃至第百八十八條ノ規定ニ依リ算定シタル氣槽各部ノ強ガニ對スル制限壓力中最小ノモノトス

第百八十二條 無接合筒形氣槽ノ胴板ノ第一號試驗片ニ依ル抗張試驗ニ於ケル標點間伸長百分率ハ第十六條第一號ノ表中其ノ他ノ鋼板ニ對スルモノヨリ二ヲ減ジタルモノト爲スコトヲ得

第百八十三條 氣槽ハ內部ノ檢査及掃除ヲ爲スニ適當ナル構造ト爲スベシ

氣槽ニハ制限壓力及水壓試驗壓力ヲ適當ニ表示スベシ

氣槽ノ制限壓力ガ之ニ連絡スル空氣壓縮機ノ最大壓力ヨリ小ナルトキハ氣槽ニ適當ナル安全弁又ハ逃出弁ヲ備ヘ制限壓力ノ一・一倍以下ノ壓力ニ於テ逃氣スル樣之ヲ調整スベシ

氣槽ニハ取扱者ノ見易キ位置ニ壓力計ヲ備フベシ

氣槽ニハ適當ナル排水裝置ヲ備ヘ成ルベク二重ニ排水弁又ハ排水「コツク」ヲ設クベシ

氣槽ニ接續スル管ニハ槽ニ接續スル部分ニ於テ弁又ハ「コツク」ヲ備フベシ

第百八十四條 氣槽ハ其ノ各部ヲ瓦斯鎔接又ハ電氣鎔接ニ依リ接合スルコトヲ得ズ但シ制限壓力毎平方糎一〇瓩以下ニシテ鋼板ノ厚サ六粍以上ノモノニ付管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依リ鎔接スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ氣槽ノ縱接合ヲ鎔接シタルトキハ鏡板取附前檢查ヲ受クベシ

無接合氣槽又ハ鍛合若ハ瓦斯鎔接シタル氣槽ハ附屬具取附ノ爲ノ機械工事ヲ行フ前之ニ適當ナル熱處理ヲ爲スコトヲ要ス電氣鎔接シタル氣槽ニ付管海官廳ニ於テ必要ト認メタル場合亦同ジ

第百八十五條 無接合筒形氣槽又ハ鍛合若ハ鎔接シタル筒形氣槽ノ胴ノ強力ニ對スル制限壓力ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{C\times S\times(T-1.5)}{D}$$

Pハ制限壓力(毎平方糎瓩ニテ)

Sハ胴板ノ抗張力(毎平方粍瓩ニテ)

Dハ胴ノ內徑(粍ニテ)

Tハ胴板ノ厚サ(粍ニテ)

Cハ無接合氣槽ニ在リテハ五二、鍛合又ハ鎔接シタル氣槽ニ在リテハ三六

第百八十六條 筒形氣槽ノ支柱ヲ有セザル扁平鏡板ノ強力ニ對スル制限壓力ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{257(T-1.5)^2}{D^2}$$

Pハ制限壓力(毎平方糎瓩ニテ)

Dハ鋲又ハ螺釘心圈ノ徑(粍ニテ)、平板ヲ胴ニ鎔接シタル場合ニハ胴ノ內徑(粍ニテ)

Tハ鏡板ノ厚サ(粍ニテ)但シ鏡板ニ人孔ヲ設ケタルトキハ其ノ厚サヨリ三粍ヲ減ジタルモノ

Sハ鏡板ノ抗張力(毎平方粍瓩ニテ)

第百八十七條 筒形氣槽ノ支柱ヲ有セザル皿形鏡板ノ強力ニ對スル制限壓力ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{233S(T-1.5)^2}{d^2}$$

Pハ制限壓力(毎平方糎瓩ニテ)

Sハ鏡板ノ抗張力(毎平方粍瓩ニテ)

Tハ鏡板ノ厚サ(粍ニテ)但シ鏡板ニ人孔ヲ設ケタルトキハ其ノ厚サヨリ三粍ヲ減ジタルモノ

dハ鏡板ノ曲緣ノ彎曲起點ヲ連ヌル圓ノ徑但シ曲緣ノ彎曲ノ內半徑ガ鏡板ノ曲緣部ノ厚サノ二・五倍ヨリ大ナルトキハ胴ノ內徑ヨリ鏡板ノ曲緣部ノ厚サノ七倍ヲ控除シタルモノ(粍ニテ)

第百八十八條 筒形氣槽ノ內徑ヨリ大ナラザル半徑ヲ有スル球面狀ノ鏡板ニシテ支柱ヲ備ヘザルモノノ強力ニ對スル制限壓力ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{C\times S\times(T-1.5)}{R}$$

Pハ制限壓力(毎平方糎瓩ニテ)

Sハ鏡板ノ抗張力(毎平方粍瓩ニテ)

Tハ鏡板ノ厚サ(粍ニテ)但シ鏡板ニ人孔ヲ設ケタルトキハ其ノ厚サヨリ三粍ヲ減ジタルモノ

Rハ鏡板球面ノ內半徑(粍ニテ)

Cハ鏡板ガ氣槽ノ外方ニ突出スルモノナルトキハ二五・七、內方ニ突入スルモノナルトキハ二〇・五

前項ノ鏡板ト胴トヲ接合スル爲曲緣シタル部分ノ彎曲內半徑ハ鏡板ノ厚サノ四倍未滿ナルコトヲ得ズ

第五節 排水、吸水及冷却水ニ關スル裝置

第百八十九條 排水、吸水及冷却水ニ關スル裝置ニ付テハ第九十九條、第百三條及第百四條ノ規定竝ニ本節ニ於テ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外第三章第七節ノ規定ヲ準用ス

第百九十條 發動機ノ冷却水ヲ船外ヨリ吸引スル管ニハ適當ナル弁除ヲ備ヘ且之ヲ解放又ハ掃除ヲ爲ス場合ニ於テモ當該發動機ヲ停止スルコトヲ要セザル裝置ト爲スベシ

冷却水又ハ冷却油ノ排出管ニハ溫度計ヲ備ヘ且成ルベク管內ノ流動狀況ヲ見得ル裝置ヲ設クベシ

冷却「ポンプ」ニ故障ヲ生ジタル場合ニ於テモ雜用「ポンプ」、淦水「ポンプ」等ヲ利用シ遲滯ナク充分冷却水又ハ冷却油ヲ供給セシメ得ル樣裝置スベシ

氣筒二箇以上ヲ備フル發動機ニ在リテハ各氣筒ニ供給スル冷却水又ハ冷却油ノ量ヲ加減シ得ル裝置ヲ設クベシ

氣筒ノ水包室及冷却水管ノ最低部ニハ排水裝置ヲ備フベシ

前五項ノ規定ハ小形船ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ適當ニ之ヲ斟酌スルコトヲ得

冷却水又ハ冷却油ハ冷却スベキ部分ノ成ルベク高キ箇所ヨリ之ヲ排出セシムベシ

第百九十一條 脚荷水「ポンプ」ハ機關室ノ淦水ヲ直接吸引シ得ル樣裝置スベシ

第六節 水壓試驗

第百九十二條 「デイーゼル」式發動機ノ氣筒、內筒、氣筒蓋、鑄造「ピストン」、氣筒高壓部ニ附屬スル諸弁匣又ハ噴油「ポンプ」ハ之ヲ製造シ削仕上ヲ爲シタルトキ左表ニ依リ水壓

試驗ヲ執行スベシ但シ內外全面ヲ劍仕上ゲタル內筒ハ管海官廳ノ見込ニ依リ之ヲ省略スルコトヲ得

水壓試驗執行部分	試驗壓力	
氣筒ノ高壓部ニシテ行長ノ三分ノ一ニ相當スル間	氣筒內ノ最大壓力ノ一・五倍ノ壓力	
氣筒蓋ノ高溫高壓ノ氣体ニ接觸スル部分	同右	
「ピストン」ノ高溫高壓ノ氣体ニ接觸スル部分	同右	
氣筒高壓部附屬諸弁匣	同右	
「ピストン」ノ冷却部	每平方糎四瓩	
氣筒水包室、氣筒蓋ノ冷却部	每平方糎二瓩	
噴油「ポンプ」	最大壓力ノ一・五倍ノ壓力	

前項ノ規定ハ船舶ノ推進ニ關係ヲ有スル發電機又ハ空氣壓縮機ヲ動作スル「デイーゼル」式發動機ニ之ヲ準用ス

第百九十三條 「デイーゼル」式發動機ノ噴油用又ハ始動用ノ空氣壓縮機ノ壓縮筒、壓縮筒蓋若ハ壓縮空氣弁匣ハ之ヲ製造シ劍仕上ヲ爲シタルトキ空氣部ハ最大壓力ノ一・五倍、水部ハ每平方糎二瓩ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

第百九十四條 潤滑油「ポンプ」、燃料油「ポンプ」又ハ冷却「ポンプ」ノ油筒、水筒又ハ扇車匣ハ之ヲ製造シ劍仕上ヲ爲シタルトキ常用最大壓力ノ二倍ノ壓力ヲ以テ試驗スベシ

油冷却器又ハ淸水冷却器ハ之ヲ製造シタルトキ附屬具ヲ取附ケタル儘常用最大壓力ノ二倍ノ壓力ヲ以テ試驗スベシ

第百九十五條 氣槽ハ左ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

一　鐵接合又ハ無接合ノモノナルトキ

制限壓力ノ一・五倍ノ壓力

二　鍛合又ハ鎔接合ノモノナルトキ

制限壓力ノ二・〇倍ノ壓力

氣槽ニ附屬スル弁若ハ「コック」、氣槽ニ連絡スル空氣管又ハ之ニ附屬スル弁若ハ「コック」ハ之ヲ製造シ仕上ゲタルトキ制限壓力ノ一・五倍ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

第百九十六條 燃料油槽ハ之ヲ製造シタルトキ附屬具ヲ取附ケタル儘頂板上二・五米ヨリ少カラザル高サニ相當スル水高壓力ヲ以テ試驗スベシ但シ强壓油槽ノ試驗壓力ハ油槽ノ常用壓力ノ二倍トス

第百九十七條 機關室內ニ在ル燃料油管系ハ噴油管系ヲ除ク

ノ外船內取附後每平方糎二瓩ノ壓力ヲ以テ試驗スベシ

第百九十八條 燃料油加熱用蒸汽管ハ船內取附後常用最大汽壓ノ二倍ノ壓力ヲ以テ水壓試驗ヲ執行スベシ

第百九十九條 第百二十一條及第百二十二條ノ規定ハ發動機ヲ備フル船舶ニ付之ヲ適用ス

第七節　補汽罐

第二百條 補汽罐ノ構造、附屬品、給水裝置其ノ他ニ付テハ蒸汽機關ヲ備フル船舶ノ補汽罐ニ關スル規定ヲ適用ス但シ發動機ノ廢氣ニ依リ加熱スル補汽罐ノ安全弁ノ面積ノ算定ニ當リテハ第七十八條第一項ノ算式中定數Kハ三・三ト爲スベシ

第五章　艤裝品及備品

第二百一條 艤裝品ハ其ノ用途ニ應ジ適當ニ之ヲ構造スルコトヲ要ス

管海官廳必要アリト認ムルトキハ艤裝品ニ付適當ノ試驗ヲ執行スルコトアルベシ

第二百二條 備品ハ左表ニ依リ之ヲ機關室又ハ船內適當ノ場所ニ備フベシ

蒸汽機關ヲ備フル船舶ノ機關備品表

名稱 ＼ 航行區域	遠洋區域	近海區域	沿海區域	平水區域	摘要
「ピストン」環	各一組	同上	同上	同上	
ピストン」發條	各一組	同上	同上	—	
「ピストン」抑環螺釘及母螺	六箇	同上	同上	—	同形ニシテ相轉用シ得ルモノハ一組ニ止ムルコトヲ得

滑弁桿	各形一箇	—	—	—	—	—
偏心器桿	各形一箇	—	—	—	—	—
連接桿上下ノ栓受金	一桿分	同上	—	—	—	—
連接桿上下ノ螺釘及母螺	一桿分	同上	同上	—	—	—
「クランク」軸受螺釘及母螺	各種一組	同上	—	—	—	—
「ローラー」軸受金	各形一組	同上	—	—	—	—
「ローター」軸受螺釘及母螺	各種一組	同上	—	—	—	—
減速裝置軸受金	各形一組	同上	—	—	—	—
減速裝置ノ軸受螺釘及母螺	各種一組	同上	—	—	—	—
「ローター」推力受	各「タービン」ニ付一組	同上	—	—	—	—
「ローター」軸ノ汽密環及發條	各填座毎ニ半組	同上	—	—	—	—
接軸鍔螺釘及母螺	各種一組	同上	—	—	—	—

廢汽「タービン」用ナルトキハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

單環式推力軸推力受	片面分	同上	—	—	—	—
復水器管	總數ノ四十分ノ一但シ最少十本	同上	—	—	—	—
復水器管墳筒	總數ノ三十分ノ一但シ最少三十箇	同上	—	—	—	—
抽氣「ポンプ」桿	一箇	同上	—	—	—	—
抽氣「ポンプ」弁	一組	同上	同上	—	—	—
循環水「ポンプ」桿	一箇	同上	—	—	—	—
循環水一「ポンプ」弁	一組	同上	—	—	—	—
給水「ポンプ」弁	一組	同上	同上	同上	同上	—
盜水「ポンプ」弁	一組	同上	同上	同上	同上	—
潤滑油「ポンプ」弁及發條	一組	同上	同上	同上	同上	—
逃出弁發條	各種一箇	同上	—	—	—	—
給水制限弁	一組	同上	同上	—	—	—

扇車「ポンプ」ナルトキハ桿ノ代リニ扇車軸ヲ備フベシ

扇車「ポンプ」ナルトキハ桿ノ代リニ扇車軸ヲ備フベシ

汽締四箇以上ナルトキハ更ニ一組增備スベシ

安全弁發條	各罐付一箇	同上	一箇	—
火床棧	總數ノ五分ノ一	同上	總數ノ十分ノ一但シ最少四箇	同形ニシテ相轉用シ得ルモノナルトキハ三箇ニ止ムルコトヲ得
燃油裝置用噴油器	各罐ニ付一箇	同上	同上	汽罐四箇分ニ止ムルコトヲ得
微粉炭燃燒裝置用噴炭器	各罐ニ付一箇	同上	同上	—
微粉炭燃燒裝置用碎炭具	一組	同上	—	—
示面計硝子管	罐ニ付四箇	同上	六箇	三箇
管擴器	一箇	同上	同上	—
管塞器	各罐ニ付四箇	各罐ニ付二箇	四箇	二箇
滑車及綱	二組	一組	—	—
螺旋切道具	一組	同上	—	—
鑽孔器	一組	同上	—	—

中半數ハ汽罐前面ニ於テ直ニ使用シ得ルモノナルコトヲ要シ水管汽罐ニハ管栓ヲ上記ノ倍數備フベシ汽罐四箇分ニ止ムルコトヲ得

鞴	一箇	同上	—	—
金敷	一箇	同上	—	—
据附萬力	一箇	同上	—	—
鋼板	各種若干	同上	—	—
鋼棒	各種若干	同上	—	—
螺釘及母螺	各種若干	同上	同上	同上
機關室小道具	一揃	同上	同上	同上
驗鹽器	二箇	同上	一箇	同上
溫度計	二箇	同上	一箇	同上

湖沼ノミヲ航行スル船舶ニハ之ヲ備フルヲ要セズ

備考

汽機又ハ「ポンプ」ニシテ同形ノモノ二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ「ピストン」環乃至逃出弁發條ハ之ヲ汽機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

發動機ヲ備フル船舶ノ機關備品表

名稱 ＼ 航行區域	遠洋區域	近海區域	沿海區域	平水區域	摘要
氣筒蓋「ピストン」環等ノ冷却「ポンプ」ノ弁及發條	各形一組	同上	同上	同上	長サ五〇米以上ノ船舶ニ備フル「ディーゼル」式發動機ニ限ル
「ピストン」完備セルモノ	一組	同上	同上	同右	
「ピストン」環	二組	一組	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎ニ一組		中半數ハ弁、弁座及發條ノミニ止ムルコトヲ得 複働式ナルトキハ上記ノ倍數トス
噴油弁	弁座、弁匣、發條其ノ他附屬品ノ完備セルモノ	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一組	同上	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎ニ一組	
吸氣弁	弁座、弁匣、發條其ノ他附屬品ノ完備セルモノ	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎ニ一組	同上	一組	同右
廢氣弁	弁座、弁匣、發條其ノ他附屬品ノ完備セルモノ	氣筒一箇毎ニ一組	同上	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一組	同右
噴油管及接合金具	一揃	同上	同上	同上	無空氣噴油「デイーゼル」式發動機ニ限ル
「ピストン」冷却用伸縮嵌合管又ハ搖動管	一組	同上	同上	同上	
主軸受螺釘及母螺	一組	同上	同上	同上	
連接桿上下ノ栓受金	一桿分	同上	同上	同上	

連接桿上下ノ螺釘及母螺	一桿分	同上	同上	同上	
接軸鍔螺釘及母螺	各種一組	同上	同上	同上	
正副空氣壓縮機ノ壓縮筒ノ「ピストン」環	各形一組	同上	同上	同上	
正副空氣壓縮機ノ吸入弁及排出弁竝ニ發條	各形半組	同上	同上	同上	
掃除空氣「ポンプ」弁及發條	一組	同上	同上	同上	
噴油「ポンプ」ノ動作部	氣筒一箇毎ニ一氣筒分	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一氣筒分	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎ニ一氣筒分	一氣筒分	氣筒五箇以上ナルトキハ氣筒四箇分ニ止ムルコトヲ得
氣筒、氣筒蓋、「ピストン」等ノ冷却「ポンプ」ノ扇車軸	一箇	同上	同上	同上	
氣筒、氣筒蓋、「ピストン」等ノ冷却「ポンプ」ノ弁及發條	各形二組	同上	一組	同上	
潤滑油「ポンプ」ノ弁及發條	一組	同上	同上	同上	
移油「ポンプ」ノ弁及發條	一組	同上	—	—	
淡水「ポンプ」弁	一組	同上	同上	同上	
燒球	氣筒一箇毎ニ一箇	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一箇	同上	同上	

點火栓	氣筒一箇毎ニ一箇	同上	同上	同上
電池	常用ト同數	同上	常用ノ半數	同上
電線	若干	同上	—	—
始動用燈	常用ノ外二箇	同上	常用ノ外一箇	—
滑車及綱	二組	一組	—	—
螺旋切道具	一組	同上	—	—
鑽孔器	一組	同上	—	—
鞴	一箇	同上	—	—
金敷	一箇	同上	—	—
据附萬力	一箇	同上	—	—
鋼板	各種若干	同上	—	—
鋼棒	各種若干	同上	—	—
螺釘及母螺	各種若干	同上	同上	同上
機關室小道具	一揃	同上	同上	同上
溫度計	二箇	同上	一箇	同上

備考　發動機又ハ「ポンプ」ニシテ同形ノモノ二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

附則

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前製造シ又ハ製造ニ著手シタル機關ノ構造若ハ寸法又ハ機關ニ關スル設備ニシテ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

漁船特殊規程（昭和九年二月五日遞信、農林兩省令）

目次

第一章　總則
第二章　船體
第一節　通則
第二節　木製漁船
第三節　鋼製漁船
第三章　設備
第四章　機關
附則

漁船特殊規程

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ動力漁船トハ推進機關ヲ有スル漁船ヲ謂ヒ第一種漁船、第二種漁船又ハ第三種漁船トハ各從業制限第一種、第二種又ハ第三種ヲ從業制限トスル漁船ヲ謂ヒ運搬漁船トハ漁船特殊規則第五條第三號ニ掲グル業務ニ從事スル漁船ヲ謂フ

第二條　本令ニ該當セザル漁船ノ構造、材料及其ノ寸法竝ニ設備ト雖モ管海官廳ニ於テ本令ニ定ムルモノト同一效力ヲ有スト認ムル場合ニ於テハ之ヲ合格ト爲スベシ

第三條　漁船ノ構造、材料及其ノ寸法竝ニ設備ニ付テハ管海

官廳當該漁船ノ種類、大小、從業ノ期間等ヲ考慮シ適當ニ斟酌シテ之ヲ合格ト爲スコトヲ得

第四條 發動機ニ依リ推進スル長サ二一メートル以上ノ漁船ニシテ鰹若ハ鮪ノ竿釣漁業又ハ鮪、旗魚、鮫若ハ大鮮ノ延繩漁業ニ從事スルモノニハ左ノ算式ニ依リ算定シタル分量ノ主機關用燃油ヲ容ルルニ足ル燃油庫ヲ設備スベシ

D^2NC リットル

D ハ發動機ノ氣筒ノ徑（糎ニテ）

N ハ發動機ノ氣筒ノ數

C ハ常數ニシテ左表ニ依ル

船舶ノ長サ（米）	「ディーゼル」式單働發動機ナルトキ		「ディーゼル」式以外ノ單働二衝程式發動機ナルトキ
	二衝程式	四衝程式	
二一以上二三未滿	七・五二	五・二六	四・九九
二三〃二五〃	九・四〇	六・五八	六・二四
二五〃三〇〃	一〇・八一	七・五七	七・一八
三〇〃三三〃	一一・七五	八・二三	七・八〇
三三〃三六〃	一二・六九	八・八八	八・四二
三六〃四〇〃	一四・二〇	九・八七	九・三六
四〇〃四五〃	一六・四五	一一・五二	一〇・九二
四五〃五〇〃	一八・八〇	一三・一六	一二・四八
五〇〃五五〃	二一・一五	一四・八一	一四・〇四
五五〃	二三・五〇	一六・四五	一五・六〇

第二章 船體

第一節 通則

第五條 主機關用燃油槽ヲ上甲板以上ノ場所ニ設クルトキハ其ノ容量ハ全燃油庫ノ容量ノ百分ノ十五ヲ超ユルコトヲ得ズ

第六條 甲板上ニ設クル燃油槽又ハ活魚槽ハ甲板ニ特ニ堅固ニ取附クベシ

第七條 運搬漁船及特殊漁船ヲ除クノ外漁船ノ舷側ニハ載貨門ヲ設クルコトヲ得ズ

第八條 動力漁船ニ非ザル漁船ニハ起倒シ得ベキ檣ヲ用ウルコトヲ得ズ

第九條 舷墻ノ高サハ一一〇センチメートルヲ超ユルコトヲ得ズ但シ各舷墻柱又ハ防撓材ノ間ニ於テ舷墻上部ニ十分ナル面積ノ無蓋開口ヲ設クルトキハ適當ニ舷墻ノ高サヲ增加スルコトヲ得

第十條 漁船ノ舷側ニ設クル釣臺又ハ張出甲板ハ十分ニ排水シ得ル構造ト爲スベシ

第十一條 石油發動機ヲ備フル漁船ノ機關室ニ於ケル隔壁其ノ他船體ノ部分木製ナルトキハ之ニ金屬板ヲ張リ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ燃燒ノ豫防ヲ爲スベシ

第十二條 暴露セル上甲板又ハ船樓甲板ニ設クル艙口、機關室口、載炭口、出入口、天窓、通風器等ノ諸口及甲板口ヲ蔽圍スル甲板室ニ付テハ緣材ノ甲板上ノ高サヲ左表ニ揭グルモノ以上ト爲スベシ但シ直接波浪ヲ受ケザル場所ニ於ケルモノ又ハ特殊ノ水密裝置ヲ備フルモノハ緣材ノ高サヲ減ジ又ハ甲板上面ト平直ト爲スコトヲ得

漁船ノ種別	緣材ノ甲板上ノ高サ（糎）
第一種漁船又ハ捕鯨船	一五
第二種漁船又ハ第三種漁船（捕鯨船ヲ除ク）	長サ二五米未滿ノモノ 二三
	長サ二五米以上ノモノ 三〇

第十三條 艙口ニハ堅牢ナル蓋板又ハ覆蓋ヲ備ヘ且之ヲ堅固ニ密閉シ得ベキ樣緊布及適當ノ締具ヲ備フベシ但シ管海官廳ニ於テ覆布ト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノヲ備フルトキハ覆布ハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

第十四條 暴露セル上甲板又ハ船樓甲板ニ設クル機關室口ニ付テハ圍壁ノ甲板上面ヨリノ高サヲ左表ニ揭グルモノ以上ト爲スベシ

漁船ノ種別	圍壁ノ甲板上ノ高サ（糎）
第一種漁船又ハ捕鯨船	四五
第二種漁船又ハ第三種漁船（捕鯨船ヲ除ク）	長サ二五米未滿ノモノ 六〇
	長サ二五米以上ノモノ 九〇

第十五條 暴露甲板ノ機關室口圍壁ノ天窓、載炭口、出入口其ノ他ノ諸口ニハ覆蓋又ハ蓋板及覆布竝ニ適當ノ締具ヲ備フルカ其ノ他水密トナルベキ裝置ヲ爲スベシ但シ管海官廳ニ於テ水密ト爲スベキ必要ナシト認ムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條 前四條ノ規定ハ特殊漁船及總噸數百五十噸以上ノ運搬漁船ニハ之ヲ適用セズ

前項ニ揭グル漁船ノ甲板口及甲板口ヲ蔽圍スル甲板室ノ緣材ノ高サ竝ニ機關室口圍壁ノ高サニ付テハ當該船舶ヲ第二級船ト看做シ木船構造規程又ハ造船規程及船舶滿載吃水線規程ノ規定ヲ適用ス

第二節 木製漁船

第十七條 第一種漁船又ハ長サ二五メートル未滿ノ漁船ニ在リテハ內龍骨ノ寸法ハ龍骨ノ規定ノ寸法ト等シク爲スコトヲ得

第十八條 龍骨ノ截面積ガ船ノ首尾兩端ニ於ケルモノヲ除クノ外龍骨及內龍骨ノ規定ノ截面積ノ合計以上ナルトキハ內龍骨ヲ省略スルコトヲ得

第十九條 船首材ト龍骨トノ嵌接ノ長サハ用材ノ深サノ三倍迄減ズルコトヲ得

第二十條 舵心材頂部ノ舵柄取附部ヲ角形ト爲ス場合ニ於テモ其ノ截面積ハ特ニ之ヲ增加セザルモ妨ナシ

第二十一條　二材合セ肋骨ノ肋材衝接ノ避距ハ船ノ幅ノ九分ノ一迄減ズルコトヲ得

第二十二條　船ノ中央部ニ於ケル單材肋骨ノ肋根材ノ長サハ船ノ幅ノ二分ノ一迄、其ノ他ノ肋材ノ長サハ船ノ幅ノ四分ノ一迄減ズルコトヲ得但シ衝接又ハ嵌接ノ數ハ五箇以上トス爲コトヲ得ズ

相隣接スル單材肋骨ノ衝接又ハ嵌接ノ避距ハ船ノ幅ノ九分ノ一迄減ズルコトヲ得

第二十三條　船底ノ形狀銳尖ナル漁船ニ在リテ肋根材ヲ中心線ノ兩側ニ止ムル場合ニ於テハ適當ナル副龍骨ヲ龍骨ノ上面ニ取附ケ其ノ上面ニ鐵製又ハ木製ノ根曲材ヲ附シ兩舷ノ肋根材ヲ連結スベシ此ノ場合ニ於テハ內龍骨及側內厚板ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二十四條　活魚艙ニ縱通隔壁ヲ設ケ該隔壁ノ下部ニ縱通材ヲ取附ケ之ヲ活魚艙ノ前後ニ二肋骨間延長シ活魚艙兩端ノ肋骨ノ寸法ヲ增シ且該部外板ノ厚サヲ增ストキハ其ノ部分ニ於テ肋骨ノ心距及外板ノ幅ヲ增加シ梁ノ寸法ヲ輕減シ且內龍骨、側內厚板及內張板ヲ省略スルコトヲ得

第二十五條　彎曲部縱通材ノ船ノ各側ニ於ケル總幅ハ船ノ幅ノ九分ノ一迄減ズルコトヲ得

第二十六條　彎曲部角形ナル漁船ニ在リテハ其ノ部ニ外部彎曲部縱通材ヲ設ケ其ノ截面積ヲ六五平方センチメートル以上ト爲スベシ

第二十七條　梁壓材ノ截面積ハ木船構造規程ニ定ムルモノノ五分ノ四迄減ズルコトヲ得

第二十八條　甲板梁ノ心距ガ規定ノ心距ヨリ小ナルトキハ其ノ割合ニ應ジ梁ノ寸法ヲ減ズルコトヲ得

梁柱ノ數ヲ增ストキハ適當ニ梁ノ寸法ヲ減ズルコトヲ得

縱通隔壁アル場合ニ於テハ梁柱ハ其ノ取附ヲ適當ニ省略スルコトヲ得

第二十九條　幅五メートル未滿ノ漁船ニ於テハ甲板口ノ兩側ニ設クル半梁ハ木船構造規程第七十八條ノ規定ニ拘ラズ半梁一本置ニ梁曲材ノ取附ヲ省略シ其ノ他ノ半梁ハ竪梁曲材ヲ以テ船側ニ固著シ其ノ他端ハ橫梁曲材ヲ以テ縱梁ニ固著セシムルコトヲ得

第三十條　幅五メートル未滿ノ漁船ニ於テ梁下縱通材ヲ設クルトキハ梁柱ハ甲板梁二本置ニ設クルニ止ムルコトヲ得但シ甲板室、斜檣、揚錨機、揚貨機其ノ他ノ重量物ヲ支フル梁ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十一條　第二數七〇〇未滿ノ漁船ニ於テハ外部腰板ヲ設クルコトヲ要セズ

第三十二條　第二數二五〇未滿ノ漁船ニ於テハ外板ノ厚サヲ增シ且彎曲部縱通材ノ幅ヲ增ストキハ內張板ヲ設クルコトヲ要セズ

第三十三條　木船構造規程第百十三條第一項ノ規定ハ長サ四メートル未滿ノ機關室口ニハ之ヲ適用セズ

第三十四條　第二數三〇〇未滿ノ漁船ノ側內厚板ハ木船構造規程第百二十八條ノ規定ニ拘ラズ肋骨一本置ニ鍍釘及打込釘ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘二箇ヲ以テ固著セシムルコトヲ得

第三十五條　彎曲部縱通材ノ各材ノ幅一三センチメートル未滿ナルトキハ木船構造規程第百三十條ノ規定ニ拘ラズ肋骨一本置ニ鍍釘ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘ヲ以テ固著セシムルコトヲ得

第三十六條　梁曲材ノ兩腕ニ於ケル固著釘ノ總數ハ之ヲ五箇迄減ズルコトヲ得

第三十七條　第二數三五〇未滿ノ漁船ニ於テハ柔材ヲ以テ肋骨ヲ構成スル場合ト雖モ梁曲材ノ側腕ニ用ウル鍍釘ハ之ヲ外板迄貫通セシムルコトヲ要セズ

第三十八條　外板ノ固著釘ノ數ハ外板ノ幅二二センチメートル未滿ナルトキハ肋骨每ニ二箇迄ニ、幅二七センチメートル未滿ナルトキハ肋骨每ニ三箇迄ニ減ズルコトヲ得

第三十九條　外部彎曲部縱通材ハ肋骨每ニ一箇以上ノ鍍釘ヲ以テ固著セシムベシ

第四十條　動力漁船ニ在リテハ「ジブブーム」、「フライイングジブジーム」及「ブーム」ノ徑ハ長サ一メートルニ付一八ミリメートル迄ニ、「スクーナー」ノ「ガフ」ノ徑ハ長サ一メートルニ付一六ミリメートル迄ニ減ズルコトヲ得

第三節　鋼製漁船

第四十一條　鋼製漁船ノ構造及材料ノ寸法ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外造船規程中重構船ノ規定ニ依ル

第四十二條　第一種漁船及長サ二五メートル未滿ノ漁船ニ在リテハ管海官廳ニ於テ特ニ必要ト認ムルモノヲ除クノ外材料試驗ヲ省略スルコトヲ得

第四十三條　第一種漁船、捕鯨船又ハ長サ二五メートル未滿ノ漁船ノ構造及材料ノ寸法ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ左ノ各號ノ限度迄之ヲ輕減スルコトヲ得

一　正肋材ノ橫邊、副肋材ノ兩邊及肋骨ノ深サヲ規定ノ寸法ヨリ一三ミリメートル減少スルコト

二　船底ノ傾斜急ナル漁船ニ在リテハ肋板ノ高サヲ增加スルトキハ造船規程別表ニ揭グル翼內龍骨用山形材二箇ヲ以テ中心線內龍骨ヲ構成シ且副肋材ヲ彎曲部ニ達セシムルニ止ムルコト又船側縱通材ニ斷切板ヲ附スルカ又ハ船側縱通材ヲ二重山形材ト爲ストキハ翼內龍骨ニ斷切板ヲ附セザルコト

三　梁ヲ肋骨每ニ取附クルトキハ其ノ寸法ハ正肋材ノ寸法ト等シクシ梁ヲ肋骨一本置ニ取附クルトキハ其ノ寸法ハ右ニ準ジ相當ニ輕減スルコト又梁ノ肘板ノ幅及深サハ梁

ノ深サノ三倍トシ厚サハ梁ノ厚サニ等シクスルコト

四　梁上側板、梁上帯板及龍骨用山形材ノ断面積ヲ各四分ノ一減少スルコト

五　外板ノ厚サヲ造船規程別表ニ掲グルモノヨリ〇・五ミリメートル減少スルコト

第四十四條　第二種漁船又ハ第三種漁船ノ活魚艙ハ其ノ周壁ヲ鋼製ト爲スコトヲ要シ其ノ構造及材料ノ寸法ニ付テハ造船規程第一編第百四十二條乃至第百四十四條、第百四十八條、第百四十九條及第百六十一條ヲ準用ス

第四十五條　第一種漁船ヲ除クノ外長サ二五メートル以上ノ漁船ノ活魚艙、冷蔵艙及氷艙ノ頂部ノ甲板ハ水密構造ノ鋼甲板ト爲スベシ

第四十六條　第一種漁船、捕鯨船及運搬漁船ヲ除クノ外長サ二五メートル以上ノ漁船ニ付テハ造船規程第一編第百二十九條但書ノ規定ヲ適用セズ

第三章　設備

第四十七條　特殊漁船ニハ最大搭載人員ヲ收容スルニ要スル端艇及之ニ對スル端艇鈎ヲ備フベシ但シ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ於テハ他ノ揚卸裝置ヲ以テ端艇鈎ニ代フルコトヲ得

第四十八條　前條ノ漁船ヲ除クノ外長サ二〇メートル以上ノ漁船ニハ容積二立方メートル以上ノ端艇ヲ、長サ二五メートル以上ノ漁船ニハ容積二・八三立方メートル以上ノ端艇ヲ備フベシ但シ端艇ノ容積ハ船舶ノ最大搭載人員ヲ收容スルニ必要ナル程度ニ止ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ備フベキ容積二・八三立方メートル以上ノ端艇ニ付テハ適當ノ揚卸裝置ヲ備フルコトヲ要ス

長サ二五メートル未滿ノ漁船ニ在リテハ救命筏、救命浮器又ハ救命浮環ヲ以テ端艇ニ代用スルコトヲ得

長サ二五メートル以上三〇メートル未滿ノ漁船ニ在リテハ端艇ノ容積ノ一部ヲ救命筏、救命浮器又ハ救命浮環ヲ以テ代用スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ救命筏又ハ救命浮器ハ其ノ定員一人ヲ以テ、救命浮環ハ一箇ヲ以テ端艇ノ容積〇・二八三立方メートルニ相當スルモノトス

第四十九條　第二種漁船又ハ第三種漁船ニハ最大搭載人員ト同數ノ救命胴衣ヲ備フベシ但シ管海官廳ノ見込ニ依リ鰹竿釣又ハ鮪竿釣漁船ニ在リテハ最大搭載人員ノ四分ノ一迄、第五十五條第三項ニ掲グル漁船ニ在リテハ最大搭載人員ノ二分ノ一迄救命胴衣ノ數ヲ減ズルコトヲ得

第五十條　漁船ニハ左表ニ依リ救命浮環及救命焔ヲ備フベシ

漁船ノ種類	救命浮環	救命焔
第一種漁船	二	—
第二種及第三種漁船	四	二

第五十一條　第一種漁船ヲ除クノ外長サ二五メートル以上ノ漁船ノ普通艇ノ附屬具ニ付テハ船舶設備規程第三十三條ノ規定ヲ準用ス

前項以外ノ漁船ノ普通艇ニハ船舶設備規程第三十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第五十二條　「アムモニア」式冷却機ノ設備アル漁船ニハ「アムモニア」防毒「マスク」二箇以上ヲ備フベシ

第五十三條　漁船ノ居室ニハ船舶設備規程第八十條乃至第八十五條及第八十七條第二項ハ之ヲ準用セズ

第五十四條　居室ノ高サ一・六メートル以上アル場合ヲ除クノ外居席ヲ二層ト爲スコトヲ得ズ

第五十五條　漁船ノ最大搭載人員ハ各居室ノ定員ノ和トス

各居室ノ定員ハ左ノ各號ノ計算法ニ依リ算出シタル員數ノ中小ナルモノトス

一　居室ノ容積ヲ左表ニ掲グル單位容積ニテ除シタル員數

二　寢臺ヲ備フル室ニ付テハ寢臺ノ數ト寢臺外ノ場所ノ面積ヲ左表ニ掲グル單位面積ニテ除シタル員數

漁船ノ種類		單位面積（平方米）	單位容積（立方米）
第一種漁船		〇・四五	—
第二種漁船	鰹竿釣又ハ鮪竿釣漁船	〇・三〇	〇・六〇
	前欄ニ掲グルモノ以外ノ漁船	〇・六〇	一・〇〇
第三種漁船		〇・八五	一・五五

第五十六條　特殊漁船ニハ上甲板以上ノ場所又ハ上甲板直下

ノ甲板間ノ場所ニ於テ成ルベク船員室ヨリ隔離シタル箇所ニ適當ナル病室ヲ設クベシ

第五十七條 特殊漁船ニハ第一號表ニ定ムル醫藥其ノ他ノ衞生用品ヲ備フベシ

第五十八條 特殊漁船ニハ其ノ搭載セル人員ニ對シ出漁期間ニ應ジ第二號表ニ定ムル食料及飲用水ヲ備フベシ但シ仲積船ニ依リ操業ノ場所ニ於テ食料又ハ飲用水ノ補給ヲ受クルコトヲ得ル船舶ニ在リテハ管海官廳ノ見込ニ依リ其ノ備フベキ食料又ハ飲用水ノ量ヲ適當ニ斟酌スルコトヲ得

第五十九條 艤裝數ノ算定ニ付テハ鋼製動力漁船ハ之ヲ鋼製汽船ト看做ス

第六十條 漁船ニハ其ノ艤裝數ニ應ジ動力漁船ハ船舶設備規程第四號表ニ、動力漁船ニ非ザル漁船ハ同規程第五號表ニ定ムル錨、錨鎖及索ヲ備フベシ

第六十一條 第一種漁船ニ付テハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ大錨三箇ヲ備フベキ場合ト雖モ其ノ數ヲ二箇ト爲スコトヲ得但シ中一箇ノ大錨ノ錨量ハ表ニ揭グル單量量以上、他ノ一箇ハ該單量ノ百分ノ八十五以上ト爲スベシ

第六十二條 長サ二五メートル未滿ノ漁船ハ大錨ノ總錨量ガ規定ニ依ル量ヲ下ラザルトキハ其ノ錨數ヲ增シ單量ヲ減ズルコトヲ得但シ一箇ノ錨量ハ表ニ揭グル大錨ノ單量ノ二分ノ一ヲ下ルベカラズ

第六十三條 第一種漁船ヲ除クノ外長サ二五メートル以上ノ漁船ニ備フル錨（錨錌ヲ含ミタル重量七六●二キログラム以下ノモノヲ除ク）、錨鎖及鋼索ハ船舶設備規程第百二十八條ニ依ル試驗規程ニ適合シタルモノナルコトヲ要ス

第六十四條 長サ二五メートル未滿ノ漁船ニハ日本形錨ヲ代用スルモ妨ナシ

前項ノ規定ニ依リ代用シタル日本形錨ニ對シテハ相當ノ錨索ヲ以テ錨鎖ニ代用スルモ妨ナシ

日本形錨ノミヲ備フル漁船ニ在リテハ錨量ハ船舶設備規程第六號表ニ定ムルモノノ十分ノ九以上ト爲シ錨索ハ同表ニ定ムルモノヲ備フベシ

大錨ヲ除キ其ノ他ノ日本形錨ニ對スル錨索ノ長サハ船舶設備規程第六號表ニ定ムル大錨索ノ長サニ等シクシ其ノ徑ハ錨量ニ應ジ船舶設備規程第七號表ニ定ムル所ニ依ルベシ

第六十五條 長サ六〇メートルヲ超ユル動力漁船ニハ動力ニ依ル操舵裝置ヲ備フベシ

第六十六條 漁船ニ備フベキ航海用具其ノ他ノ屬具ハ第三號表ニ定ムル所ニ依ル

電氣船燈ヲ常用スル漁船ニ在リテハ第三號表ニ定ムル所ニ依リ豫備燈ヲ要セザル場合ト雖モ各電氣船燈ニ對シテ豫備ノ油船燈ヲ備フベシ

第六十七條 油船燈ヲ備フル漁船ニ於テハ船燈一種ニ付第一種漁船又ハ長サ二一メートル未滿ノ漁船ニ在リテハ三箇以上、其ノ他ノ漁船ニ在リテハ五箇以上ノ豫備燈筒ヲ備フベシ

第一種漁船ヲ除クノ外長サ二一メートル以上ノ漁船ニ在リテハ綠及紅ノ挿入硝子ヲ使用スル舷燈ヲ備フルトキハ綠、紅各二箇ノ豫備挿入硝子ヲ備フベシ

第六十八條 第二種漁船又ハ第三種漁船ニハ其ノ從業場所ノ海圖ヲ備フベシ

海圖ハ水路部ノ最近刊行ニ係ルモノ又ハ管海官廳ニ於テ適當ト認メタルモノヲ使用スベシ

第六十九條 帆檣ヲ有スル漁船ニハ檣ニ相當スル帆一揃及左ノ豫備帆ヲ備フベシ

豫備帆ノ種類	數	備考
「フオール、ステースル」	一	「カッター」、「ケッチ」又ハ「スループ」ノ帆裝ヲ有スルモノハ「フオール、ステースル」一枚ノミ又「ラッガー」ノ帆裝ヲ有スルモノハ「フオースル」一枚ノミト爲スコトヲ得
「フオースル」	一	

第四章 機關

第七十條 船舶機關規程ニ定ムル乙種機關ハ左ノ各號ニ揭グル漁船ノ推進機關トシテ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

一 「トロール」汽船

二 捕鯨船

三 母船ニシテ動力ニ依ル漁獲物ノ保藏又ハ製造設備ヲ有スルモノ

四 長サ三〇メートル以上ノ母船ニシテ動力ニ依ル漁獲物ノ保藏又ハ製造設備ヲ有セザルモノ

五 長サ三〇メートル以上ノ第二種漁船

六 長サ三〇メートル以上ノ運搬漁船

七 漁船特殊規則第五條第四號ニ揭グル業務ニ從事スル漁船ニシテ長サ三〇メートル以上ノモノ

第七十一條 船舶機關規程ニ定ムル丙種機關ハ長サ三〇メートル未滿ノ第一種漁船ノ外漁船ノ推進機關トシテ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第七十二條 發動機ヲ備フル木製漁船ノ推力軸、中間軸又ハ螺旋軸ノ徑ハ船舶機關規程ノ規定ニ依リ算定シタルモノニ同規程第百四十三條乃至第百四十六條ノ發動機ニ付テハ一●〇七ヲ、「デイーゼル」式發動機ニ付テハ一●〇五ヲ乘ジタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

第七十三條 備品ハ機關ノ種類ニ應ジ第四號表又ハ第五號表ニ定ムル所ニ依リ之ヲ機關室又ハ船內適當ノ場所ニ備フベシ

附則

第七十四條　本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七十五條　本令施行前製造シ又ハ製造ニ著手シタル船舶ノ船體又ハ機關ニ付テハ本令ニ適合セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ漁船ノ大小、業務ノ種類等ヲ考慮シ差支ナシト認ムルトキハ特ニ之ヲ合格ト爲スコトヲ得但シ本令施行ノ日ヨリ三年以後ニ於テ漁船ニ新ニ備附クル機關ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七十六條　本令施行前製造シ又ハ製造ニ著手シタル船舶ニ付テハ第四條、第五條、第七條、第九條、第十二條、第十四條、第四十四條乃至第四十六條及第五十六條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第七十七條　本令施行前製造シタル漁船ニシテ引續キ從前ノ業務ニ從事スルモノニ付管海官廳本令ニ依リ救命設備、航海用具其ノ他ノ屬具又ハ機關備品ヲ備フルコト困難ナリト認メタルトキハ本令施行後二年以內ニ於テ行フ最後ノ中間檢査又ハ定期檢査ノ時期迄其ノ設備ニ付仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第七十八條　本令施行ノ際現ニ存スル居室ニ付テハ第五十四條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第七十九條　本令施行ノ際現ニ漁船ニ備フル錨、錨鎖又ハ鋼索ニ付テハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ第六十三條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第一號表　特殊漁船ニ對スル醫藥及衛生用品表

(一)　內用藥

藥名	數量
アスピリン錠	五〇〇箇
鹽酸キニーネ丸	五〇〇〃
重曹	五〇〇グラム
複方健胃錠（B）	五〇〇箇
ヂアスターゼ錠	三〇〇〃
バルビタール錠	一〇〇〃
ミグレニン錠	二〇〇〃
ラキサトール錠	一五〇〃
ヒマシ油	五〇〇グラム
タンナルビン錠	二〇〇箇
阿片吐根錠（ドーフル散）	二〇〇〃
カルモチン錠（ブロムワレツル素錠）	三〇〇〃
硫酸マグネシヤ	二五〇グラム
サンタル油	一〇〇〃
サンタル球	五〇〇〃
オリザニン錠	一、五〇〇箇
サントニン錠	二五〇〃
燐酸コデイン錠	五〇〃

(二)　外用藥

藥名	數量
硼酸	一〇〇箇
昇汞錠	二〇〇グラム
稀ヨードホルム散	一〇〇〃
稀ヨードチンキ	一〇〇〃
アンモニア水	一〇立方糎入
ロート眼藥	五〇箇
クレオソード丸	五〇〇〃
過酸化水素水	五〇〇グラム
オレフ油	一〇〇〃
グリセリン	一〇〇〃
アルコール	一、〇〇〇〃
流動石炭酸	五〇〇〃
晒粉	五〇〇〃
硼酸軟膏	五〇〇グラム
水銀軟膏	一〇〇〃
石炭酸軟膏	一〇〇〃
タールバスタ	五〇〇〃
ピツク軟膏	一本
亞鉛華絆創膏	一〃
亞鉛華オレフ油	一〇〇グラム
サルチル酸	二〇〇〃
エリナコール	五〇〃

(三)　醫療器械類

品名	數量
小外科器械	一函
消毒盤	一箇
スポイト	一〃
檢溫器	三〃
洗腸器	一〃
洗眼コップ	一〇〃

挿込便器		一箇
挿込尿器		一〃
氷嚢		一〇〃
氷枕		五〃
懐爐		一〇〃
指サック		三六〃
ガーゼ	九米	五〃
昇汞ガーゼ		二〃
脱脂綿	四〇〇グラム	三〃
巻軸帯	四裂	一〇本
三角巾		二〇枚
吸入器	大型	一箇
リント		一本
亜麻仁油紙		一〇〇枚
片眼帯		一〇〇箇
副木		一二本
カプセル	〇・三グラム入	一〇〇箇
薬袋	内用 外用	三〇〇枚 三〇〇〃
薬包紙		一、〇〇〇〃
薬匙	眞鍮製 水牛角製 各	一組
漏斗	小	二箇
液量器	二〇〇立方糎 二〇〃	一〃 一〃
點眼瓶		五〇〃
膏薬篦	金属製 水牛角製 各	一〃
薬用筆		一〃

備考

一 管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ本表ニ掲グル錠剤ハ同一枚力ノ粉末剤又ハ液体剤ヲ以テ之ニ代用セシムルコトヲ得

二 最大搭載人員四百人未滿又ハ出漁期間百五十日未滿ノ場合ニ於テハ本表ニ掲グル薬品ノ量ハ管海官廳ノ見込ニ依リ適當ニ之ヲ輕減セシムルコトヲ得

第二號表 特殊漁船ニ對スル食料及飲用水表

品名	量額
七分搗米	八〇〇グラム
骨附獸肉	一六〇〃
骨附魚肉	一六〇〃
生野菜	五〇〇グラム
漬物梅干類	一一二〃
調味料 味噌	一二〇〃
調味料 砂糖	二五〃
調味料 油脂類	五〃
調味料 醤油、鹽、酢ノ類	適宜
飲用水	三・六リツトル

備考

一 本表ノ量額ハ一人一日ニ對シ支給スベキ最小額トス

二 七分搗米ハ半搗米又ハ白米ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得但シ白米ヲ用ウルトキハ必ズ適量ノ大麥ヲ混用スベシ

三 骨附獸肉ノ可食分ハ六六%、骨附魚肉ノ可食分ハ五四%トス

獸肉ニ代フルニ魚肉ノミヲ以テスルトキハ其ノ用量ヲ倍額トスベシ

四 肉類ハ同量ノ鹽乾肉又ハ燻肉ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

五 生野菜ハ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ限リ本表ノ量額ノ半量ヲ超エザル範圍内ニ於テ乾野菜ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ乾野菜二五グラムハ生野菜一〇〇グラムニ相當スルモノトス

六 北洋方面以外ニ出漁スル母船ニ付テハ管海官廳ニ於テ調味料ノ量額ヲ適當ニ斟酌スルコトヲ得

第三號表 屬具表

屬具名稱＼漁船ノ種類	第三種漁船 長サ五十メートル以上	第三種漁船 長サ五十メートル未滿	第二種漁船 長サ三十一メートル以上	第二種漁船 長サ三十一メートル未滿	第一種漁船 動力漁船	第一種漁船 動力ヲ有セザル漁船	摘要
時計	二	一	一	一	一	一	
號鐘	一	一	一	一	一	―	

隻眼鏡	晴雨計	海水用寒暖計	手用測程具	砂漏計	測程機械	手用測鉛	深海測鉛	時辰儀	六分儀	航海暦	羅針儀
一	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

動力ヲ有セザル漁船及總噸數百噸未滿ノ運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

測鉛ノ重量ハ手用測鉛ニ在リテハ三・二瓩以上、深海測鉛ニ在リテハ一二・七瓩以上ナルコトヲ要ス

測鉛ニ附スル線ノ長サハ手用測鉛ニ在リテハ四六メートル以上、深海測鉛ニ在リテハ二三〇メートル以上ナルコトヲ要ス

總噸數三十噸未滿ノ動力ヲ有セザル漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

總噸數千噸未滿ノ母船及運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

總噸數二百噸未滿ノ母船及運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

總噸數二百噸未滿ノ母船及運搬漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

二箇ヲ有スルモノニ在リテハ一箇ハ天象儀角ヲ測リ得ベキ器具ヲ備フルコトヲ要ス

總噸數二百噸未滿ノモノハ一箇ト爲スモ妨ナシ

檣燈 常用	檣燈 豫備	舷燈 常用	舷燈 豫備	船尾燈	碇泊燈	漁業燈	黒球	霧中號角	火箭又ハ榴彈	國旗
二	二	一對	一	一	二	一揃	二	一	六	二
一	一	一對	一	一	一	一揃	二	一	三	一
一	一	一對	一	一	一	一揃	二	一	三	一
一	一	一對	一	一	一	一揃	二	一	二	一
一	一	一對	一	一	一	一揃	二	一	二	一
一	一	一對	一	一	一	一揃	二	一	二	一

總噸數四十噸以上ノ動力漁船ニハ甲種檣燈ヲ備ヘ總噸數四十噸未滿ノ動力漁船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フベシ

長サ豎七メートル以上ナルトキハ常用燈二箇ヲ備フベシ

曳船ニ從事スル動力漁船ハ常用燈トシテ甲種檣燈二箇以上ヲ增備スベシ

豫備燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス

動力ヲ有セザル漁船及總噸數四十噸以上ノ動力漁船ニハ甲種舷燈ヲ備フベシ

總噸數四十噸未滿ノ動力漁船ニハ甲種又ハ乙種舷燈ヲ備フベシ但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得

豫備舷燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス

總噸數四十噸未滿ノ漁船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以ヲ代用スルコトヲ得

碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス

長サ四五・七メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ

本表備考表ニ依ルベシ

總噸數四噸未滿ノ動力漁船ニハ黒球ヲ備フルコトヲ要セズ

黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布其ノ他ノ保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヰタルモノナルコトヲ要ス

榴彈ヲ備フルトキハ打上臺一箇ヲ備ヘ適當ノ場所ニ据附クベシ

口徑八九ミリメートル以上ノ信號砲又ハ口徑一四〇ミリメートル以上ノ白砲、附屬具及十二發以上ノ發射藥備ヲ備フル漁船ニハ火箭又ハ榴彈ヲ備ヘザルモ妨ナシ

總噸數千噸未滿ノ運搬漁船ニハ二箇ト爲スモ妨ナシ

國際信號旗	一組	一組	一組NC二旗	NC二旗	NC二旗	
國際通信書	一	一	一	一	一	總噸數百噸未滿ノ漁船ニハNC二旗ノミヲ備フルモ妨ナシ但シNC旗ノミヲ備フル漁船ト雖モ信號符字ノ點符アルモノハ其ノ符字ニ對スル信號旗ヲ備フベシ
船名錄	一	一	一	一	一	總噸數百噸未滿ノ漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナク又無線電信裝置ノナキ漁船ニハ國際通信書中電信篇ヲ備ヘザルモ妨ナシ
海錨	一	一	一	一	一	總噸數百噸未滿ノ漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
信號燈	一	一	一	一	一	總噸數二百噸以上ノ漁船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
						總噸數百五十噸以上ニシテ國際航海ヲ爲ス漁船ニ限リ之ヲ備フベシ

備考

漁業燈ヲ備フベキ漁船ノ種別及備フベキ漁業燈ノ種類竝ニ數ハ左ノ各號ニ依ル但シ各號ノ白燈ハ之ト同種以上ノ白燈ヲ碇泊燈トシテ備フルトキハ碇泊燈ヲ以テ兼用スルコトヲ得

(一) 甲板ヲ張詰メザル漁船ニシテ夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出セル漁具ノ端ト本船トノ水平距離ガ四五・七メートル以内ナルモノ

甲種、乙種、丙種又ハ丁種白燈一箇

(二) 甲板ヲ張詰メザル漁船ニシテ夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出セル漁具ノ端ト本船トノ水平距離ガ四五・七メートル以内ナルモノ

甲種、乙種、丙種又ハ丁種白燈二箇

(三) 甲板ヲ張詰メタル漁船ニシテ夜間流網又ハ延繩ヲ用ヒテ漁業ニ從事スルモノ

甲種白燈二箇

(四) 夜間打瀨網、桁網其ノ他海底ニ曳ク漁具ヲ用ヒテ漁業ニ從事スルモノ

甲種又ハ乙種白燈一箇

(五) 前號ノ漁船中夜間機關ヲ以テ推進シ漁具ヲ海底ニ曳クモノ

前號ノ漁船中夜間機關ヲ以テ推進シ漁具ヲ海底ニ曳クモノノ外三色燈一箇

第四號表

蒸汽機關ヲ備フル漁船ノ機關備品表

漁船ノ種別 / 名稱	摘要
「ピストン」環	各一組
「ピストン」發條	各一組
「ピストン」抑環螺釘及母螺	六箇
連接桿上下ノ栓受金	一桿分
連接桿上下ノ螺釘及母螺	一桿分同上
「クランク」軸受螺釘及母螺	各種一組
「ローター」軸受金	各形一組
「ローター」軸受螺釘及母螺	各種一組
減速裝置軸受金	各形一組
減速裝置ノ軸受螺釘及母螺	各種一組
「ローター」推力受	各「タービン」ニ付一組
「ローター」軸ノ汽密環及發條	各壙座毎ニ半組
接軸鍔螺釘及母螺	各種一組

其ノ他ノ漁船	摘要
—	
—	同形ニシテ相轉用シ得ルモノハ之ヲ一組ニ止ムルコトヲ得
三箇	
—	
—	
—	廢汽「タービン」用ナルトキハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
—	
—	
—	
—	
—	
—	

單環式推力軸推力受	片面分	―	
復水器管	總數ノ四十分ノ一但シ最少十本	―	
復水器管塡筒	總數ノ三十分ノ一但シ最少三十箇	―	
抽氣「ポンプ」桿	一箇	―	扇車「ポンプ」ナルトキハ桿ノ代リニ扇車軸ヲ備フベシ
抽氣「ポンプ」弁	一組	同上	
循環水「ポンプ」桿	一箇	―	扇車「ポンプ」ナルトキハ桿ノ代リニ扇車軸ヲ備フベシ
循環水「ポンプ」弁	一組	同上	
給水「ポンプ」弁	一組	同上	
淦水「ポンプ」弁	一組	同上	
潤滑油「ポンプ」弁及發條	一組	同上	
逃出弁發條	各種一箇	―	
給水制限弁	一組	同上	
安全弁發條	各罐ニ付一箇	一箇	汽罐四箇以上ナルトキハ更ニ一組増備スベシ
火床棧	總數ノ五分ノ一	總數ノ十分ノ一但シ最少四箇	同形ニシテ相轉用シ得ルモノナルトキハ三箇ニ止ムルコトヲ得
燃油裝置用噴油器	各罐ニ付一箇	同上	汽罐四箇分ニ止ムルコトヲ得
微粉炭燃燒裝置用噴炭器	各罐ニ付一箇	同上	
微粉炭燃燒裝置用碎炭具	一組	―	
示面計硝子管	各罐ニ付四箇但シ最少六箇	六箇	

管擴器	一箇	同上	
管塞器	各罐ニ付二箇但シ最少四箇	四箇	中半數ハ汽罐前面ニ於テ直ニ使用シ得ルモノナルコトヲ要シ水管汽罐ニハ管塞栓ヲ上記ノ倍數備フベシ 汽罐四箇分ニ止ムルコトヲ得
滑車及綱	一組	―	
螺旋切道具	一組	―	
鑽孔器	一組	―	
鞴	一箇	―	
金敷	一箇	―	
据附萬力	一箇	―	
鋼板	各種若干	同上	
鋼棒	各種若干	同上	
螺釘及母螺	各種若干	同上	
機關室小道具	一揃	同上	
驗鹽器	二箇	一箇	
溫度計	二箇	一箇	

備考

汽機又ハ「ポンプ」ニシテ同形ノモノ二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ「ピストン」環乃至逃出弁發條ハ之ヲ汽機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

第五號表

發動機ヲ備フル漁船ノ機關備品表

名稱 ＼ 漁船ノ種別 ／ 船體ノ長サ	第二種漁船、「トロール」汽船又ハ漁船特殊規則第五條第四號ニ揭グル業務ニ從事スル漁船			其ノ他ノ漁船			摘要
	三〇米以上	三〇米未滿		三〇米以上	三〇米未滿		
氣筒蓋（弁其ノ他附屬品ノ完備セルモノ）	各形一組	一	上	一	一	上	長サ五〇メートル以上ノ船舶ニ備フル「デイーゼル」式發動機ニ限ル
「ピストン」完備セルモノ	一箇	一	上	一	一	上	同右
「ピストン」環	一組	同	上	同	同	上	一
噴油弁（弁座、弁匣、發條其ノ他附屬品ノ完備セルモノ）	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一組	同	上	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎ニ一組	同	上	中半數ハ弁、弁座及發條ノミニ止ムルコトヲ得複働式ナルトキハ上記ノ倍數トス
吸氣弁（弁座、弁匣、發條其ノ他附屬品ノ完備セルモノ）	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一組	同	上	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎ニ一組	同	上	同右
廢氣弁（弁座、弁匣、發條其ノ他附屬品ノ完備セルモノ）	氣筒一箇毎ニ一組	同	上	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一組	同	上	同右
噴油管及接合金具	一	揃	同	上			
「ピストン」冷却用伸縮挾合管又ハ搖動管	一	組	同	上			
主軸受螺釘及母螺	一氣筒分		同	上			無空氣噴油「デイーゼル」式發動機ニ限ル
連接桿上下ノ栓受金	二桿分		同	上			
連接桿上下ノ螺釘及母螺	一桿分		同	上			
接軸鍔螺釘及母螺	各種一組		同	上			
始動弁及發條	一	組	同	上			
正副空氣壓縮機ノ壓縮筒ノ「ピストン」環	各形一組		同	上			
正副空氣壓縮機ノ吸入弁及切出弁竝ニ發條	各形半組		同	上			
掃除空氣「ポンプ」弁及發條	一	組					
燒球式發動機ノ掃除空氣弁	二氣筒分		同	上			
噴油「ポンプ」ノ弁、弁座及發條	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一氣筒分		同	氣筒四箇又ハ其ノ端數毎ニ一氣筒分			
氣筒、氣筒蓋、「ピストン」等ノ冷却「ポンプ」ノ扇車軸	一	箇	同	上			
氣筒、氣筒蓋「ピストン」等ノ冷却「ポンプ」ノ弁及發條	一	組	同	上			
潤滑油「ポンプ」ノ弁及發條	一	組	同	上			
移油「ポンプ」ノ弁及發條	一	組		一			
溢水「ポンプ」弁	一	組	同	上			
燒球	氣筒一箇毎ニ一箇		同	氣筒二箇又ハ其ノ端數毎ニ一箇			
點火栓	氣筒一箇毎ニ一箇		同	上			
電池	常用ノ半數		同	上			
電線	若干		同	上			

始動用燈	常用ノ外 二箇	同上	同上	常用ノ外 一箇
滑車及綱	一組	同上	同上	—
螺旋切道具	一組	—	一組	—
鑽孔器	一組	—	一組	—
鞴	一箇	—	—	—
金敷	一箇	—	—	—
据附萬力	一箇	—	一箇	—
鋼板	若干	—	—	—
鋼棒	若干	—	—	—
螺釘及母螺	各種若干	同上	同上	同上
機關室小道具	一揃	同上	同上	同上
溫度計	二箇	一箇	二箇	一箇
回轉計	一箇	同上	同上	同上

備考

發動機又ハ「ポンプ」ニシテ同形ノモノ二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

船用品取締規則

（昭和九年二月五日遞信省令第十七號）

目次

第一章　總則
第二章　製造免許
第三章　型式承認
第四章　檢定
第五章　監査
第六章　手數料
第七章　罰則
附則

第一章　總則

第一條　法令ニ依リ船舶ニ備フベキ船用品ニシテ別表第一號ニ揭グルモノヲ製造スル者ハ當該船用品ノ型式每ニ第二章ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ製造免許ヲ受クルコトヲ要ス但シ船用品檢査試驗規則ニ依ル船用品合格證明書（以下單ニ合格證明書ト稱ス）ヲ受クル目的ヲ以テ製造スル場合ハ此ノ限ニアラズ

船用品ニ付製造免許ヲ受ケタル者（以下單ニ免許製造人ト稱ス）其ノ製造免許船用品ヲ製造シタルトキ又ハ當該船用品若ハ之ト同種類ノモノノ要部ヲ修繕シタルトキハ第四章ノ規定ニ依リ製造免許船用品檢定又ハ船用品修繕檢定ヲ受クルコトヲ要ス

第二條　前條ニ定ムル船用品ノ要部ノ修繕ハ當該船用品又ハ之ト同種類ノモノノ免許製造人ニ非ザル者ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得ズ但シ航海中其ノ他免許製造人ヲシテ修繕ヲ爲サシムルニ著シク困難ナル事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ修繕ヲ爲サシムル場合ニハ船燈ニ付テハ其ノ合格證明書又ハ船燈檢定證明書ヲ修繕人ニ提示スベシ

第一項但書ノ規定ニ依リ修繕ヲ爲シタルトキハ船舶所有者、船舶管理人、船舶借入人又ハ船長ニ於テ現品ニ付第四章ノ規定ニ依リ船用品修繕檢定ヲ受クルコトヲ要ス

第三條　別表第二號ニ揭グル船用品ニ付テハ其ノ型式每ニ第三章ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ型式承認ヲ受クルコトヲ得

別表第二號ニ揭ゲザル船用品ト雖モ遞信大臣ニ於テ必要アリト認ムルモノニ付前項ニ亦同ジ

型式承認船用品ヲ製造又ハ輸入シタル者ハ第四章ノ規定ニ依リ型式承認船用品檢定ヲ受クルコトヲ得

第四條　第一條ニ定ムル船用品ハ船用品檢査試驗規則ニ依ル甲號檢印又ハ本令ニ依ル檢印ヲ附シタルモノナルコトヲ要ス

第五條　本令ニ於テ船用品ノ試驗規程ト稱スルハ船燈ニ付テハ船燈試驗規程、信號器ニ付テハ信號器試驗規程、救命器具ニ付テハ救命器具試驗規程、防毒面ニ付テハ防毒面試驗規程、消火器ニ付テハ消火器試驗規程、火災警報裝置ニ付テハ火災警報裝置試驗規程、艙口覆布ニ付テハ艙口覆布試驗規程ヲ謂フ

第六條　本令ニ依リ遞信大臣ニ申請書若ハ屆書ヲ提出シ又ハ證書ヲ返還スル場合ニ於テハ主タル營業所所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由スベシ

第七條　本令中船長ニ關スル規定ハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ之ヲ適用ス

第二章　製造免許

第八條　船用品ニ付製造免許ヲ受ケントスルトキハ標本ニ付合格證明書ノ交付ヲ受ケ船用品製造免許申請書（第一號書式）ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ事業資金額、製造所ノ設備、使用人ノ員數、會社其ノ他ノ法人ニ在リテハ定款又ハ之ニ準ズベキモノ及代表者ノ氏名ヲ記載シタル書類竝ニ當該船用品ノ合格證明書ノ寫ヲ添附スベシ

榴彈、火箭、信號青焰、信號紅焰、救命胴衣、救命焰又ハ救命索發射器ニ關スル申請書ニハ第二十二條ノ規定ニ依ル說明書ヲモ添附スベシ尙榴彈、火箭、信號青焰、信號紅焰又ハ救命索發射器ニ關スル申請書ニハ銃砲火藥類取締法ニ依リ火藥類ノ製造ニ關スル許可ヲ受ケタルコトヲ證明スル書類ノ寫ヲモ添附スベシ

第九條　遞信大臣前條ノ申請ニ依リ船用品ノ製造ヲ免許シタルトキハ船用品製造免許證書（第二號書式）ヲ申請人ニ交付ス

船用品製造免許期間ハ五年以內トス

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遞信大臣ハ製造免許ヲ取消スコトアルベシ

一　本令ノ規定ニ違反シタルトキ

二　標本又ハ製造品ニ關シ不正ノ所爲アリタルトキ

三　製造所ノ設備ノ變更其ノ他ノ事由ニ依リ製造免許船用品ノ製造ヲ爲スニ適セズト認ムルニ至リタルトキ

四　銃砲火藥類取締法ニ依ル火藥類ノ製造ニ關スル許可ヲ取消サレタルトキ

五　第十二條ニ揭グル標本ノ要部ガ當該品ノ試驗規程ノ改正ニ依リ之ニ適合セザルニ至リタルトキ

六　其ノ他遞信大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキ

第十一條　遞信大臣船用品ノ製造ヲ免許シタルトキ又ハ製造免許ヲ取消シタルトキハ之ヲ告示ス

第十二條　免許製造人ハ製造免許船用品ノ型式每ニ合格證明

書ノ交付ヲ受ケタル標本ヲ各製造所ニ保管シ且第二十八條ノ規定ニ依リ製造免許船用品檢定ヲ受ケントスル遞信省管船局船舶試驗所（以下單ニ船舶試驗所ト稱ス）、船舶試驗所支所又ハ管海官廳ニ差出スベシ

前項ノ規定ニ依リ保管シ又ハ差出シタル標本ガ滅失又ハ損傷シタルトキハ免許製造人ハ更ニ標本ヲ當該製造所ニ保管シ又ハ當該船舶試驗所、船舶試驗所支所若ハ管海官廳ニ差出スベシ

第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ差出シタル標本ハ第二十條各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ之ヲ還付ス

第十三條　免許製造人ハ製造免許船用品ノ標本ノ合格證明書ニ附屬セル明細書寫（通數ハ其ノ都度指定ス）ヲ船舶試驗所ニ差出スベシ

第十四條　免許製造人ハ製造品每ニ當該官吏ノ適當ト認ムル方法ニ依リ船燈、信號器又ハ救命器具ニ在リテハ其ノ品名、型式、製造番號、製造人ノ氏名又ハ名稱及製造年月ヲ、船燈部分品ニ在リテハ製造番號及製造人ノ記號ヲ、救命索ニ在リテハ其ノ品名、型式、寸法、製造番號、製造人ノ氏名又ハ名稱及製造年月ヲ標示スベシ

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ免許製造人ハ船用品製造免許證書ノ書換ヲ遞信大臣ニ申請スベシ

一　氏名又ハ名稱ヲ變更シタルトキ

二　主タル營業所ヲ移轉シタルトキ

三　主タル營業所ニ付行政區劃ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキ

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ免許製造人ハ遞信大臣ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　事業資金額ヲ變更シタルトキ

二　會社其ノ他ノ法人ニ在リテハ定款若ハ之ニ準ズベキモノ又ハ代表者ヲ變更シタルトキ

三　營業所（主タル營業所ヲ除ク）若ハ製造所ヲ移轉若ハ增減シ又ハ製造所ノ設備ヲ變更シタルトキ

四　銃砲火藥類取締法ニ依ル火藥類ノ製造ニ關スル許可ヲ取消サレタルトキ

第十七條　免許製造人ガ死亡シタルトキハ其ノ相續人ニ限リ其ノ製造ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ製造ヲ繼續セントスルトキハ相續ヲ證明スル書類ヲ添ヘ船用品製造免許證書ノ書換ヲ遞信大臣ニ申請スベシ

第十八條　船用品製造免許證書ヲ滅失若ハ毀損シタルトキハ當該免許製造人ハ船用品製造免許證書ノ再交付ヲ遞信大臣ニ申請スベシ

第十九條　免許製造人第十五條、第十七條又ハ前條ノ規定ニ依リ船用品製造免許證書ノ交付ヲ受クルトキハ之ト引換ニ

舊證書ヲ遞信大臣ニ返還スベシ

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ免許製造人又ハ船用品製造免許證書ノ保管者ハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク船用品製造免許證書ヲ遞信大臣ニ返還スベシ

一 船用品製造免許期間滿了シタルトキ

二 免許製造人廢業シタルトキ

三 免許製造人死亡シ其ノ相續人製造ヲ繼續セザルトキ

四 製造免許ヲ受ケタル法人解散シタルトキ

五 製造免許ヲ取消サレタルトキ

第二十一條 免許製造人ハ其ノ製造品ニ付製造所每ニ每三月中ノ製造販賣高統計表（第三號書式）ヲ作成シ翌月十日迄ニ當該製造所所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第二十二條 第一條ニ定ムル船用品ヲ販賣スルニ當リテハ船燈ニ在リテハ一箇每ニ船燈檢定證明書一通ヲ、榴彈ニ在リテハ十二箇又ハ其ノ端數每ニ略圖ヲ附シタル使用法說明書一通及打上臺一箇ヲ、火箭、信號靑焰又ハ信號紅焰ニ在リテハ十二箇又ハ其ノ端數每ニ略圖ヲ附シタル使用法說明書一通ヲ、救命胴衣ニ在リテハ二十箇又ハ其ノ端數每ニ圖解ヲ附シタル著用法說明書一通ヲ、救命焰ニ在リテハ一箇每ニ又救命索發射器ニ在リテハ一組每ニ各略圖ヲ附シタル使用法說明書一通ヲ添附スベシ

第二十三條 第一條ニ定ムル船用品ニシテ合格證明書ヲ有スルモノヲ販賣スルニ當リテハ船燈ニ在リテハ一箇每ニ合格證明書ヲ添附スベシ其ノ他ノモノニ在リテハ前條ノ規定ヲ準用ス

第三章 型式承認

第二十四條 船用品ニ付型式承認ヲ受ケントスルトキハ船用品型式承認申請書（第四號書式）ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ當該船用品ノ合格證明書ノ寫又ハ船用品檢查試驗規則ニ依ル船用品檢查試驗成績書ノ寫ヲ添附スベシ

第二十五條 遞信大臣前條ノ申請ヲ適當ト認ムルトキハ當該船用品ノ型式ヲ承認ス

第二十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遞信大臣ハ型式承認ヲ取消スコトアルベシ

一 型式承認ヲ受ケタル船用品ノ要部ガ當該品ノ試驗規程ノ制定又ハ改正ニ依リ之ニ適合セザルニ至リタルトキ

二 其ノ他遞信大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキ

第二十七條 遞信大臣船用品ノ型式ヲ承認シタルトキ又ハ型式承認ヲ取消シタルトキハ之ヲ告示ス

第四章 檢定

第二十八條 製造免許船用品檢定又ハ型式承認船用品檢定ヲ受ケントスルトキハ申請書（第五號書式又ハ第六號書式）ヲ現品ト共ニ船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ製造所（當該船用品ガ輸入品ナルトキハ營業所）所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ提出スベシ但シ型式承認船用品檢定ノ場合現品ヲ差出シ難キトキハ當該官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ現品ノ所在地ニ於テ檢查ヲ受クルコトヲ得

前項ノ場合第一條ニ定ムル船燈ニ付テハ一箇每ニ標本ノ合格證明書ニ附屬セル明細書寫ニ製造番號及製造年月ヲ記載シタルモノヲ添附スベシ

第二十九條 前條第一項但書ニ依リ檢查ヲ受クル者ハ當該官廳ノ指定スル所ニ從ヒ該船用品檢查ノ爲當該官吏ノ出張ニ要スル成規ノ旅費ヲ納付スベシ

第三十條 船用品修繕檢定ヲ受ケントスルトキハ申請書（第七號書式）ヲ現品ト共ニ船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ最寄管海官廳ニ提出スベシ此ノ場合第一條ニ定ムル船燈ニ在リテハ其ノ合格證明書又ハ船燈檢定證明書ヲ添附スベシ

第三十一條 第二十八條及前條ノ申請アリタルトキハ船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ管海官廳ハ現品ヲ檢查シ當該船用品ノ試驗規程又ハ型式承認ニ適合スト認メタルトキハ左ノ各號ノ一ニ依リ之ヲ處理ス

一 製造免許船用品又ハ型式承認船用品ノ檢定ノ場合ニ於テハ現品ニ檢印（別記雛形）ヲ附シ之ヲ申請人ニ還付シ尙第一條ニ定ムル船燈ニ在リテハ一箇每ニ合格證明書ヲ附シ之ヲ申請人ニ還付シ尙第一條ニ定ムル船燈ニ在リテハ前條ノ規定ヲ準用ス

第一條ニ定ムル船燈ニ在リテハ一箇每ニ船燈檢定證明書（第八號書式）ヲ、型式承認船用品ニ在リテハ型式承認船用品檢定證明書（第九號書式）ヲ申請人ニ交付ス

二 船用品修繕檢定ノ場合ニ於テハ第三十五條第一項ノ規定ニ依リ檢印ノ效力ヲ停止セラレタル現品ハ更ニ之ニ檢印ヲ附シタル上、其ノ他ノモノハ其ノ儘之ヲ申請人ニ還付シ尙第一條ニ定ムル船燈ニ在リテハ其ノ合格證明書又ハ船燈檢定證明書ノ裏面ニ修繕檢定年月日及修繕箇所ヲ記載シ當該官吏捺印ノ上之ヲ申請人ニ還付ス

船用品修繕檢定ニ於テ現品ガ當該船用品ノ試驗規程ニ適合セズト認メタルトキハ複線ヲ以テ檢印ヲ抹消シ之ヲ申請人ニ還付シ尙第一條ニ定ムル船燈ニ在リテハ其ノ合格證明書又ハ船燈檢定證明書ニ消印ノ上之ヲ申請人ニ還付ス

第三十二條 船燈檢定證明書ヲ滅失又ハ毀損シタル場合ニ於テハ船燈檢定證明書再交付申請書（第十號書式）ヲ船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ最寄管海官廳ニ提出シ船燈檢定證明書ノ再交付ヲ受クルコトヲ得

前項ノ再交付ヲ受クルコト能ハザルトキハ船燈再檢定申請書（第十一號書式）ヲ船舶試驗所又ハ船舶試驗所支所ニ提出シ現品ノ再檢定ヲ受クルコトヲ得

第三十三條 前條第二項ノ申請アリタルトキハ船舶試驗所又ハ船舶試驗所支所ハ現品ヲ檢查シ船燈試驗規程ニ適合スト

認メタルトキハ更ニ檢印ヲ附シ且船燈檢定證明書ヲ交付シ現品ガ船燈試驗規程ニ適合セズト認メタルトキハ複線ヲ以テ檢印ヲ抹消シ之ヲ申請人ニ還付ス

第五章　監　査

第三十四條　船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ管海官廳ハ隨時當該官吏ヲシテ免許製造人又ハ型式承認船用品製造人ノ營業所若ハ製造所ニ就キ第十條又ハ第二十六條ノ適用ニ關シ必要ナル監査ヲ爲サシメ若ハ船舶ニ就キ第一條及第三條ニ定ムル船用品ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　當該官吏ハ前條ノ監査又ハ檢査ニ當リ船用品ガ其ノ試驗規程又ハ型式承認ニ適合セズト認ムルトキハ複線ヲ以テ檢印ヲ抹消スベシ但シ第一條ニ定ムル船用品ニシテ修繕ノ上當該品ノ試驗規程ニ適合スル見込アルモノニ付テハ檢印ニ單線ヲ附シ其ノ效力ヲ停止スベシ

第一條ニ定ムル船燈ニ在リテハ前項ノ規定ニ依リ其ノ檢印ヲ取消シタルトキハ其ノ合格證明書ニ消印ヲ捺シ檢印ノ效力ヲ停止シタルトキハ其ノ旨合格證明書又ハ船燈檢定證明書ノ裏面ニ記載シ當該官吏捺印スベシ

第三十六條　當該官吏ハ第三十四條ノ監査又ハ檢査ノ爲必要ト認ムルトキハ第一條又ハ第三條ニ定ムル船用品ヲ提出セシメ之ヲ試驗ニ供スルコトヲ得

第六章　手數料

第三十七條　船用品製造免許證書ノ交付、再交付又ハ書換ヲ受クルトキハ證書一通ニ付手數料二圓ヲ、船燈檢定證明書ノ再交付ヲ受クルトキハ證書一通ニ付手數料二十錢ヲ納付スベシ但シ第十五條第三號ニ該當シ船用品製造免許證書ノ書換ヲ爲ス場合ニハ手數料ヲ徵收セズ

第三十八條　船用品ノ檢定ヲ受クルトキハ檢定品一箇ニ付別表ニ定ムル手數料ヲ納付スベシ

第三條第二項ノ規定ニ依ル型式承認船用品ノ檢定手數料ハ其ノ都度之ヲ定ム

第三十九條　手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ手數料納付書（第十二號書式）ニ貼附シテ之ヲ納付スベシ

第四十條　本章ノ規定ニ依ル手數料ハ官廳又ハ公共團體ニ對シテハ之ヲ徵收セズ

第七章　罰　則

第四十一條　第一條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一條第二項、第二條第一項又ハ第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條、第二十條又ハ第二十二條ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第四十二條　前條ノ規定ニ依リ處罰セラルベキ者其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有セザル未成年者、禁治産者又ハ法人ナルトキハ其ノ者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ノ規定ニ依リ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス

附　則

第四十三條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四十四條　昭和四年六月遞信省令第十八號船燈信號器救命具取締規則（以下單ニ舊取締規則ト稱ス）ハ之ヲ廢止ス

第四十五條　本令施行前舊取締規則ノ罰則ニ觸ルル行爲ヲ爲シタル者ニ付テハ仍舊取締規則ニ依ル

第四十六條　舊取締規則ニ依リ受ケタル製造免許ハ其ノ免許期間內本令ニ依リ受ケタルモノト看做ス但シ乙種檣燈及乙種兩色燈ニ付テハ其ノ期間內ト雖モ製造免許ヲ取消スコトアルベシ

第四十七條　舊取締規則ニ依リ第一條ニ定ムル船用品ニ附シタル檢印ハ本令ニ依リ附シタルモノト看做ス

舊取締規則ニ依ル船燈檢定證明書ハ本令ニ依ル船燈檢定證明書ト看做ス

乙種檣燈及乙種兩色燈ニ附シタル檢印及當該船燈檢定證明書ノ有效期限ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラズ別ニ之ヲ告示ス

別表

第一號

品名		檢定手數料	
		製造免許	船燈再檢定
船	甲種檣燈	五圓〇五〇	五圓〇〇
	乙種檣燈	三〇三〇	三〇〇〇
	甲種舷燈	五〇五〇	五〇〇〇

備考　「船檢」ノ上ニハ船舶試驗所ノモノニ在リテハ「東」、船舶試驗所支所ノモノニ在リテハ其ノ所在地名ノ頭字ヲ冠スルモノトス

管海官廳檢印　（海檢）

備考　「海檢」ノ上ニハ管海官廳所在地名ノ頭字ヲ冠スルモノトス

船燈	無色透鏡	〇・〇五
	著色透鏡	〇・〇五
部分品	著色圓筒形硝子	〇・〇五
	著色挿入硝子	〇・〇五
信	霧中號角	〇・一〇
	榴彈	〇・一〇

燈	乙種舷燈	〇・三〇
	甲種兩色燈	〇・四〇
	乙種兩色燈	〇・一〇
	甲種白燈	〇・三〇
	乙種白燈	〇・二〇
	丙種白燈	〇・二〇
	丁種白燈	〇・一〇
	紅燈	〇・三〇
	水先燈	〇・四〇
	船尾燈	〇・三〇
	操舵目標燈	〇・一〇

燈	乙種舷燈	三・〇〇
	甲種兩色燈	四・〇〇
	乙種兩色燈	一・〇〇
	甲種白燈	三・〇〇
	乙種白燈	二・〇〇
	丙種白燈	二・〇〇
	丁種白燈	一・〇〇
	紅燈	三・〇〇
	水先燈	四・〇〇
	船尾燈	五・〇〇
	操舵目標燈	一・〇〇

救命器具	第一級乙型救命艇	二・〇〇
	第二級甲型救命艇	二・〇〇
	第二級乙型救命艇	二・〇〇
	發動機附救命艇	三・〇〇
	救命筏	一・五〇
	救命浮器	一・〇〇
防毒面部分品	吸收罐	〇・五〇
防毒	面	〇・三〇
消火器	持運式（携帶用）液体消火器	〇・五〇
	持運式（携帶用）泡消火器	〇 五〇
	移動式泡消火器	〇・五〇
消火器部分品	封緘裝塡物	〇・〇五
火災警報	火災警報裝置	五・〇〇
	電氣「サーモスタット」	〇・一〇
	空氣管	〇・一〇

第二號

救命器具部分品	救命索	〇 〇五
救命器具	救命浮環	〇・一〇
	救命胴衣	〇・一〇
	救命帶	〇・一〇
	救命索發射器	〇・一〇
號火器	箭	〇 〇五
	信號青焰	〇 〇五
	信號紅焰	〇・〇五

品名	型式承認船用品檢定手數料	円
船燈	信號燈	〇・三〇
	安全燈	〇・三〇
部分品	無色圓筒形硝子	〇・〇五
救	第一級甲型救命艇	二・〇〇

裝置部分品	警報器	〇・三〇
	檢出器	〇・二〇
	探知器	〇・二〇
船口覆布	甲種船口覆布	〇・二〇
	乙種船口覆布	〇・二〇
船口覆布部分品	布	〇・一〇
	地	

備考

一　電線式「サーモスタット」ニ在リテハ其ノ電線ノ長サ五メートル又ハ其ノ端數ヲ一箇ト看做ス

二　空氣管ニ在リテハ之ヲ連續セルモノトシ其ノ長サ五メートル又ハ其ノ端數ヲ一箇ト看做ス

三　布地ニ在リテハ其ノ長サ五〇メートル又ハ其ノ端數ヲ一箇ト看做ス

第一號書式

船用品製造免許申請書

一　船用品ノ品名及型式

二　營業所ノ位置及名稱

三　製造所ノ位置及名稱

四　船用品合格證明書ノ番號及交付年月日

右船用品取締規則第一條第一項ニ依リ船用品製造免許申請候也

年　月　日

主タル營業所
申請人　氏　名　印

遞信大臣宛

第二號書式

第　號

船用品製造免許證書

主タル營業所　氏　名

一　船用品ノ品名及型式
二　標本ノ船用品合格證明書ノ番號及交付年月日
三　免許期間

右船用品取締規則ニ依リ製造ヲ免許ス

年　月　日

遞信大臣　氏　名　印

第三號書式

自年月日
至年月日　三月中製造免許船用品製造販賣高統計表

一　船用品免許製造人ノ氏名又ハ名稱及主タル營業所
二　製造所ノ位置及名稱

第四號書式

船用品型式承認申請書

一　船用品ノ品名及型式
二　營業所ノ位置及名稱
三　製造所ノ位置及名稱
四　船用品合格證明書ノ番號及交付年月日

右船用品取締規則第三條第一項第二項ニ依リ船用品型式承認申請候也

年　月　日

主タル營業所
申請人　氏　名　印

遞信大臣宛

船用品製造免許證書番號	船用品ノ品名及型式	前期繰越箇數	製造箇數 合格	製造箇數 不合格	販賣箇數	本期末現存箇數	一箇ノ代價 卸賣	一箇ノ代價 小賣

第五號書式

製造免許船用品檢定申請書

一　船用品製造免許證書ノ番號
二　船用品ノ品名、型式及箇數
三　製造所ノ位置及名稱
四　製造年月
五　製造番號

右船用品取締規則第一條第二項ニ依リ製造免許船用品檢定申請候也

年　月　日

主タル營業所
申請人　氏　名　印

遞信省管船局船舶試驗所（又ハ同支所若ハ管海官廳）宛

第六號書式

型式承認船用品檢定申請書

一　船用品型式承認番號
二　船用品ノ品名、型式及箇數
三　製造所ノ位置及名稱
四　製造年月
五　製造番號
六　船用品取締規則第二十八條第一項但書ノ規定ニ依リ現品ノ所在地ニ於テ檢査ヲ受ケントスルトキハ其ノ場所

右船用品取締規則第三條第三項ニ依リ型式承認船用品檢定申請候也

年　月　日

主タル營業所
申請人　氏　名　印

遞信省管船局船舶試驗所（又ハ同支所若ハ管海官廳）宛

第七號書式

船用品修繕檢定申請書

一　船用品製造免許證書ノ番號
二　船用品ノ品名、型式及箇數
三　修繕ノ箇所
四　修繕ノ年月
五　備附船舶ノ番號、種類、名稱、總噸數及所有者ノ氏名又ハ名稱
六　船用品取締規則第二條第一項但書ニ依ルモノニ在リテハ其ノ事由

右船用品取締規則第一條第二項第二條第三項ニ依リ船用品修繕檢定申請候也

主タル營業所又ハ住所（當該官廳ヨリ通知ヲ受クベキ場所）
申請人　氏　名　印

遞信省管船局船舶試驗所（又ハ同支所若ハ管海官廳）宛

第八號書式

（何船檢又ハ何海檢）第　　號

船燈檢定證明書

一　船用品製造免許證書ノ番號
二　船燈ノ品名及型式
三　製造人ノ主タル營業所及氏名又ハ名稱
四　製造所ノ位置及名稱
五　製造年月
六　製造番號
七　檢定成績　別記明細書ノ通

右船用品取締規則ニ依リ檢定シタル結果船燈試驗規程ニ適合スルモノト認ム

年　月　日

遞信省管船局船舶試驗所（又ハ同支所若ハ管海官廳）名印

第九號書式

（何船檢又ハ何海檢）第　　號

型式承認船用品檢定證明書

一　船用品型式承認番號
二　船用品ノ品名、型式及箇數
三　檢定申請者ノ主タル營業所及氏名又ハ名稱
四　製造所ノ位置及名稱
五　製造年月
六　製造番號
七　檢定官廳
八　再交付申請ノ事由

右船用品取締規則第三十二條第一項ニ依リ船燈檢定證明書再交付申請候也

年　月　日

住　所（當該官廳ヨリ通知ヲ受クベキ場所）
申請人　氏　名　印

遞信省管船局船舶試驗所（又ハ同支所若ハ管海官廳）宛

第十號書式

船燈檢定證明書再交付申請書

一　船用品製造免許證書ノ番號
二　船燈ノ品名及型式
三　製造人ノ氏名又ハ名稱
四　製造年月
五　製造番號
六　檢定成績
七　再交付申請ノ事由

右船用品取締規則第三十二條第一項ニ依リ船燈檢定證明書再交付申請候也

年　月　日

住　所（當該官廳ヨリ通知ヲ受クベキ場所）
申請人　氏　名　印

遞信省管船局船舶試驗所（又ハ同支所若ハ管海官廳）宛

第十一號書式

船燈再檢定申請書

一　船燈ノ品名及型式

右船用品取締規則第三十二條第二項ニ依リ船燈再檢定申請候也

年　月　日

住　所（當該官廳ヨリ通知ヲ受クベキ場所）
申請人　氏　名　印

遞信省管船局船舶試驗所（又ハ同支所）宛

第十二號書式

手數料納付書

手數料ノ種別	手數料算定ノ基礎	手數料
船用品製造免許證書（交付、再交付、書換）手數料	通	圓　錢
船燈檢定證明書再交付手數料	通	圓　錢
製造免許船用品檢定手數料	箇	圓　錢
型式承認船用品檢定手數料	箇	圓　錢

右　年　月　日附申請ノ手數料トシテ納付候也

年　月　日

申請人　氏　名　印

遞信大臣（遞信省管船局船舶試驗所、同支所又ハ管海官廳）宛

船用品檢查試驗規則

（大正九年九月十一日遞信省令第七十五號改正大正十一年四月四日遞信省令第三十三號改正昭和二年七月一日遞信省令第二十三號改正昭和四年六月八日遞信省令第二十二號改正昭和九年二月五日遞信省令第十八號改正昭和九年二月七日遞信省令第二十九號改正昭和九年二月二十六日遞信省令第三十四號）

第一條　本令ニ依リ檢查又ハ試驗ヲ爲スヘキ物品ノ種類及檢查及ハ試驗ノ種別ハ別表ノ定ムル所ニ依ル但シ別表所定以外ノ船用品ノ檢查又ハ試驗ニ在リテモ事務ノ都合ニ依リ之カ依賴ニ應スルコトアルヘシ

第二條　本令ニ依ル檢查又ハ試驗ハ別表ノ定ムル所ニ依リ遞信省管船局船舶試驗所又ハ其ノ支所ニ於テ之ヲ行フ但シ遞信省管船局船舶試驗所又ハ其ノ支所ハ事務ノ都合ニ依リ別表ニ拘ハラス檢查又ハ試驗ノ依賴ニ應スルコトアルヘシ

第三條　船用品ノ檢查又ハ試驗ヲ依賴セムトスル者ハ檢查品又ハ試驗品ト共ニ依賴書（第一號書式）ヲ其ノ檢查又ハ試

驗ヲ受ケムトスル遞信省管船局船舶試驗所又ハ其ノ支所ニ提出シ檢査試驗手數料及合格證明書又ハ成績書交付手數料ヲ納付スヘシ但シ檢査品又ハ試驗品ヲ提出シ難キトキハ遞信省管船局船舶試驗所又ハ其ノ支所ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ該檢査品又ハ試驗品ノ所在地ニ於テ檢査又ハ試驗ヲ受クルコトヲ得

前項但書ニ依リ檢査又ハ試驗ヲ受クル者ハ遞信省管船局船舶試驗所又ハ其ノ支所ノ指定スル所ニ從ヒ當該官吏ノ出張ニ要スル成規ノ旅費ヲ納付スヘシ

第一項但書ノ規定ニ依リ檢査又ハ試驗ノ依頼アリタル場合遞信省管船局船舶試驗所又ハ其ノ支所ハ管海官廳ニ囑託シテ檢査又ハ試驗ヲ行フコトアルヘシ

第四條 檢査又ハ試驗ヲ依頼セムトスル者ニ於テ必要ト認メタルトキハ檢査品又ハ試驗品ニ說明書、仕樣書又ハ圖面ヲ添付スヘシ

遞信省管船局船舶試驗所又ハ其ノ支所ニ於テ必要ト認メルトキハ檢査品若ハ試驗品ヲ追加提出セシメ又ハ說明書、仕樣書若ハ圖面ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第五條 特ニ急速ニ試驗又ハ檢査ノ施行ヲ必要トシ依頼書ニ其ノ旨ヲ記載シテ提出スル者アルトキハ事務ノ都合ニ依リ之ニ應スルコトアルヘシ

第六條 遞信大臣ノ定ムル檢査又ハ試驗ニ關スル規程ニ依ル檢査又ハ試驗ヲ依頼シタル船用品ニシテ該規程ニ合格スルモノト認ムルトキハ合格證明書（第二號書式）ヲ交付シ該船用品ニ證明書番號及別記雛形ノ甲號檢印ヲ附ス

遞信大臣ノ定ムル檢査又ハ試驗ニ關スル規程ニ依ラサル檢査又ハ試驗ノ依頼アリタル船用品ニ付テハ其ノ結果ヲ表明スル成績書（第三號書式）ヲ交付ス

第一項ノ檢査又ハ試驗ヲ依頼シタル船用品ニシテ遞信大臣ノ定ムル檢査又ハ試驗ニ關スル規程ニ合格セサルトキハ成績書（第三號書式）ヲ交付ス

前二項ノ場合ニ在リテハ該船用品ニ成績書番號及別記雛形ノ乙號檢印ヲ附ス

第七條 檢査試驗手數料ハ別表ノ定ムル所ニ依ル

特種ノ品質構造ヲ有スルモノ又ハ檢査試驗手數料ノ規定ナキモノノ檢査試驗手數料ハ別表ニ準シ其ノ都度之ヲ定ム其ノ豫メ手數料ヲ定メ難キモノニ在リテハ檢査又ハ試驗結了後之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ檢査又ハ試驗結了後指定ノ手數料ヲ納付スヘキ旨ヲ依頼書ニ記入セシム

第五條ノ規定ニ依ル檢査又ハ試驗ニ付テハ其ノ檢査試驗手數料ハ前二項ノ規定ニ依ル手數料ノ倍額トス

第八條 船用品合格證明書又ハ船用品檢査試驗成績書ノ交付手數料ハ一通ニ付壹圓トス

檢査又ハ試驗ヲ依頼シタル者合格證明書又ハ成績書ノ複本若ハ抄本ヲ受ケムトスルトキハ申請書（第四號書式）ヲ其ノ合格證明書又ハ成績書ノ交付ヲ受ケタル遞信省管船局船舶試驗所又ハ其ノ支所ニ提出シ複本又ハ抄本ノ交付手數料ヲ納付スヘシ

船用品合格證明書又ハ船用品檢査試驗成績書ノ複本若ハ抄本ノ交付手數料ハ一通ニ付壹圓トス

手數料ハ凡テ之ニ相當スル收入印紙ヲ手數料納付書（第五號書式）ニ貼附シテ納付スヘシ

檢査又ハ試驗ノ依頼ヲ取下クル場合ト雖既ニ檢査又ハ試驗ニ著手シタルトキハ檢査試驗手數料ハ之ヲ徵收ス

第九條 檢査又ハ試驗依頼者ハ檢査品又ハ試驗品ノ運搬其ノ他檢査又ハ試驗ヲ行フ爲特種ノ費用ヲ要スルトキハ之ヲ負擔スヘシ

第十條 檢査品又ハ試驗品ノ檢査又ハ試驗中ノ滅失若ハ毀損ニ因ル損害ニ對シテハ賠償ノ責ニ任セス

第十一條 遞信省ノ檢査又ハ試驗ヲ詐稱シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ依頼ニ依ル檢査又ハ試驗ノ手數料ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

（別記雛形）

甲號檢印

乙號檢印

第一號書式

船用品檢査試驗依賴書

檢査試驗手數料金額　　圓　錢
再檢査試驗手數料金額　　圓　錢
合格證明書又ハ成績書交付手數料金額　　圓　錢
計　　圓　錢

一　檢査試驗品名及數量
二　製造者住所及氏名又ハ名稱
三　製造年月
四　檢査試驗ノ種別
五　添附書類　何々何通
六　船用品檢査試驗規則第三條第一項但書ノ規定ニ依リ檢査試驗品ノ所在地ニ於テ檢査又ハ試驗ヲ受ケムトスルトキハ其ノ場所

右大正九年九月遞信省令第七十五號船用品檢査試驗規則ニ依リ檢査試驗依賴候也

年　月　日

住所
依賴者名
印

遞信大臣宛

第二號書式

第　號

船用品合格證明書

一　檢査試驗品名及數量
一　製造者住所及氏名又ハ名稱
一　製造年月
一　檢査試驗ノ成績　別記明細書ノ通

右檢査試驗ノ結果　年　月遞信省令第　號ニ適合スルモノト認メ大正九年九月遞信省令第七十五號船用品檢査試驗規則第六條ニ依リ本證ヲ交付ス

年　月　日

遞信省印

第三號書式

第　　號

船用品檢査試驗成績書

一　檢査試驗品名及數量

一　製造者住所及氏名又ハ名稱

一　製造年月

一　檢査試驗ノ成績　別記明細書ノ通

右大正九年九月遞信省令第七十五號船用品檢査試驗規則第六條ニ依リ本書ヲ交付ス

年　　月　　日

住所
依頼者
名

遞信省
印

第四號書式

複本
抄本　下付申請書

手數料金額

一　原本ノ種類　番號及交付年月日

二　檢査試驗品名

三　複本又ハ抄本ノ數

右複本
抄本　下付相成度申請候也

年　　月　　日

住所
申請者
名印

遞信大臣宛

圓

第五號書式

手數料納付書

手數料ノ種別	手數料算定ノ基礎	手數料金額	
船用品檢査試驗手數料		圓	
船用品合格證明書 船用品檢査試驗成績書 交付手數料	證明書 成績書 通	圓	
船用品合格證明書複本 船用品檢査試驗成績書抄本 交付手數料	證明書 成績書 通	圓	
	合計	圓	錢

右手數料納付候也

年　月　日

住所

氏名　印

遞信大臣宛

（別表）

第一號　船用品檢査試驗細目表

檢査試驗品種別	檢査試驗種別	適用規格	手數料算定單位	手數料	備考	取扱試驗所名
金屬材料試驗材	抗張試驗	造船規程又ハ船舶機關規程	截面積〇・五平方吋以下	一箇	二・〇〇 円	船舶試驗所 同大阪支所
			〇・五平方吋ヲ超エ一平方吋以下	一箇	二・五〇	
			一平方吋ヲ超ユルトキ	一箇	三・〇〇	
	屈曲試驗	造船規程又ハ船舶機關規程	截面積〇・五平方吋以下	一箇	一・〇〇	試驗材ニ特種ノ處理ヲ要スルトキハ料金ハ五割ヲ增加ス
			〇・五平方吋ヲ超エ一平方吋以下	一箇	一・五〇	
			一平方吋ヲ超ユルトキ	一箇	二・〇〇	
	衝撃試驗			一箇	〇・五〇	
	繰返衝撃試驗			一箇	一・〇〇	
	繰返屈曲試驗			一箇	三・〇〇	

	硬度試驗			一箇	二・〇〇		
	定性分析試驗		成分ノ指定アルトキ	一成分	一・〇〇		
			成分ノ指定ナキトキ	一成分	二・〇〇		
	定量分析試驗		成分ノ指定アルトキ	一成分	二・〇〇		
			成分ノ指定ナキトキ	一成分	四・〇〇		
壓延鋼材	材料檢査	造船規程又ハ船舶機關規程	一〇噸以下ノ噸數	一噸又ハ其ノ未滿	一・〇〇	試驗材ノ試驗ヲナシタルトキハ金屬材料試驗材ノ手數料ヲ上記ノ手數料ニ加算ス	船舶試驗所 同大阪支所
			一〇噸ヲ超エ五〇噸以下ノ噸數	一噸又ハ其ノ未滿	〇・八〇		
			五〇噸ヲ超エ一〇〇噸以下ノ噸數	一噸又ハ其ノ未滿	〇・七〇		
			一〇〇噸ヲ超ユル噸數	一噸又ハ其ノ未滿	〇・六〇		
鍛鋼材	材料檢査	造船規程又ハ船舶機關規程	一箇ノ重量四分ノ一噸以下ノモノ	一箇	〇・五〇	試驗材ノ試驗ヲナシタルトキハ金屬材料試驗材ノ手數料ヲ上記ノ手數料ニ加算ス	船舶試驗所 同大阪支所
			一箇ノ重量四分ノ一噸ヲ超エ一噸以下ノモノ	一箇	一・〇〇		
			一箇ノ重量一噸ヲ超エ三噸以下ノモノ	一箇	三・〇〇		
			一箇ノ重量三噸ヲ超ユルモノ	一箇	五・〇〇		
鐵鋼製鋲釘	屈曲試驗	造船規程又ハ船舶機關規程		一箇	〇・五〇		船舶試驗所 同大阪支所
	鍛錬試驗	同		一箇	〇・五〇		
	材料檢査	同	一噸以下ノ噸數	一噸又ハ其ノ未滿	一・〇〇		
			一噸ヲ超エ五噸以下ノ噸數	一噸又ハ其ノ未滿	〇・八〇		
			五噸ヲ超エ一〇噸以下ノ噸數	一噸又ハ其ノ未滿	〇・七〇		
			一〇噸ヲ超ユル噸數	一噸又ハ其ノ未滿	〇・六〇		
鑄鋼製品又ハ可鍛鑄鐵製品（重量五〇封度以上ノモノ）	墜落試驗、鎚打試驗及之ニ類似ノ試驗竝ニ檢査	造船規程又ハ船舶機關規程	一箇ノ重量四分ノ一噸以下ノモノ	一箇	一・〇〇	試驗材ノ試驗ヲナシタルトキハ金屬材料試驗材ノ手數料ヲ上記ノ手數料ニ加算ス	船舶試驗所 同大阪支所
			一箇ノ重量四分ノ一噸ヲ超エ一噸以下ノモノ	一箇	三・〇〇		
			一箇ノ重量一噸ヲ超エ五噸以下ノモノ	一箇	五・〇〇		
			一箇ノ重量五噸ヲ超エ一〇噸以下ノモノ	一箇	七・〇〇		
			一箇ノ重量一〇噸ヲ超ユルモノ	一箇	一〇・〇〇		

鑄鋼製品又ハ可鍛鑄鐵製品（重量五〇封度未滿ノモノ）	屈曲試驗				一箇	一・〇〇	船舶試驗所同大阪支所
	材料檢査	二〇箇以下ノ箇數			一箇	〇・五〇	
		二〇箇ヲ超ユル箇數			一箇	〇・三〇	
管	壓潰試驗				一箇	一・〇〇	
	扁壓試驗				一箇	一・〇〇	
	材料檢査	一噸以下ノ噸數			一噸又ハ其ノ未滿	三・〇〇	船舶試驗所同大阪支所
		一噸ヲ超エ五噸以下ノ噸數			一噸又ハ其ノ未滿	二・五〇	
		五噸ヲ超ユル噸數			一噸又ハ其ノ未滿	二・〇〇	
	壓縮試驗	「コイル」ノ外徑一吋以下				〇・五〇	
		「コイル」ノ外徑一吋ヲ超エ三吋以下				一・〇〇	
		「コイル」ノ外徑三吋ヲ超エ五吋以下				一・五〇	
		「コイル」ノ外徑五吋ヲ超エ八吋以下				二・〇〇	

發條	引張試驗	「コイル」ノ外徑八吋ヲ超ユルモノ			三・〇〇		船舶試驗所同大阪支所
		「コイル」ノ外徑一吋以下			〇・五〇		
		「コイル」ノ外徑一吋ヲ超エ三吋以下			一・〇〇		
		「コイル」ノ外徑三吋ヲ超エ五吋以下			一・五〇		
		「コイル」ノ外徑五吋ヲ超エ八吋以下			二・〇〇		
		「コイル」ノ外徑八吋ヲ超ユルモノ			三・〇〇		
壓力計	壓力試驗				一箇	一・〇〇	船舶試驗所同大阪支所
眞空計	同				一箇	一・〇〇	船舶試驗所同大阪支所
金屬線	抗張試驗				一箇	〇・五〇	船舶試驗所同大阪支所
	繰返屈折試驗				一箇	〇・五〇	
	捻回試驗				一箇	〇・五〇	
	捲解試驗				一箇	〇・五〇	

木材試驗材	屈折試驗			一箇	一・〇〇	
	剪斷試驗			一箇	一・〇〇	船舶試驗所同大阪支所
	乾燥試驗			一箇	〇・五〇	
船	甲種檣燈	效力試驗	船燈試驗規程	一箇	七・〇〇	無色透鏡、著色透色圓筒形硝子、無色圓筒形硝子又ハ著色挿入硝子ガ船用品取締規則ニ依ル檢印ヲ附シタルモノナルトキハ當該品ニ對スル手數料ヲ加算ス
	乙種檣燈	同	同	一箇	五・〇〇	
	甲種舷燈	同	同	一箇	七・〇〇	
	乙種舷燈	同	同	一箇	五・〇〇	
	甲種兩色燈	同	同	一箇	六・〇〇	
	乙種兩色燈	同	同	一箇	三・〇〇	
	甲種白燈	同	同	一箇	五・〇〇	
	乙種白燈	同	同	一箇	四・〇〇	
	丙種白燈	同	同	一箇	四・〇〇	
燈	丁種白燈	同	同	一箇	三・〇〇	試驗品ノ箇數ヲ計上スルニハ試驗ノ爲毀損シタルモノハ之ヲ算入セス
	紅燈	同	同	一箇	五・〇〇	
	水先燈	同	同	一箇	六・〇〇	
	三色燈	同	同	一箇	七・〇〇	
	船尾燈	同	同	一箇	五・〇〇	
	操舵目標燈	同	同	一箇	三・〇〇	
	信號燈	同	同	一箇	五・〇〇	
	安全燈	同	同	一箇	五・〇〇	
船燈部分	無色透鏡	效力試驗	船燈試驗規程	一箇	一〇・〇〇	船舶試驗所
	著色透鏡	同	同	一箇	五・〇〇	
	無色圓筒形硝子	同	同	一箇	一・〇〇	
	著色圓筒形硝子	同	同	一箇	五・〇〇	

品							
著色挿入硝子	同	同	同	同	同	一箇	五●〇〇
其ノ他ノモノ	同	同	同	同	同	一箇	一●〇〇
信號器							
霧中號角	効力試驗	信號器試驗規程	同	同	同	一箇	五●〇〇
榴彈	同	同	同	同	同	一箇	二●〇〇
火箭	同	同	同	同	同	一箇	二●〇〇
信號青焰	同	同	同	同	同	一箇	一●〇〇
信號紅焰	同	同	同	同	同	一箇	一●〇〇
救命具							
救命艇	試驗及檢査	救命器具試驗規程	發動機ヲ有セサルモノ	同	船舶試驗所同大阪支所	一隻	二〇●〇〇
			發動機ヲ有スルモノ	同		一隻	三〇●〇〇
救命筏	同	同	同	同	同	一箇	一五●〇〇
救命浮器	同	同	同	同	同	一箇	一〇●〇〇
救命浮環	効力試驗	同	同	同	同	一箇	三●〇〇
							試驗品ノ箇數ヲ計上スルニハ試驗ノ爲消耗シタルモノハ之ヲ算入セス
							試驗品ノ箇數ヲ計

救命具							
救命胴衣	同	同	同	同	同	一箇	七、〇〇
救命焰	同	同	同	同	同	一箇	一●五〇
救命索發射器	同	同	同	同	船舶試驗所同大阪支所	一箇	五●〇〇
救命器具部分品							
救命索	効力試驗	救命器具試驗規程	同	同	同	一條	三●〇〇
其ノ他ノモノ	同	同	同	同	同	一箇	一●〇〇
防毒面	効力試驗	防毒面試驗規程	同	同	同	一箇	五●〇〇
							吸收罐カ船用品取締規則ニ依ル檢印ヲ附セサルモノナルトキハ當該品ニ對スル手數料ヲ加算ス
							試驗品ノ箇數ヲ計上スルニハ試驗ノ爲消耗又ハ毀損シタルモノハ之ヲ算入セス
							試驗品ノ箇數ヲ計上スルニハ試驗ノ爲毀損シタルモノハ之ヲ算入セス
							長六〇米ヲ超ユルモノハ其ノ超過ハ一〇〇メートル未滿每ニ一箇ト其ノ端數ヲ切上ケ加算ス
							試驗品ノ箇數ヲ計上スルニハ試驗ノ爲消耗又ハ毀損シタルモノハ之ヲ算入セス
							船用品取締規則ニ依ル檢印ヲ附セサルモノナルトキハ當該品ニ對スル手數料ヲ加算ス

防毒面	吸收罐	效力試驗	防毒面試驗規程	一箇	五・〇〇	試驗品ノ箇數ヲ計上スルニハ試驗ノ爲消耗又ハ毀損シタルモノハ之ヲ算入セス
部分品	其ノ他ノモノ	同	同	一箇	一・〇〇	船舶試驗所
消火器		效力試驗	消火器試驗規程	一箇	五・〇〇	同
			移動式ノモノ	一箇	一〇・〇〇	同 大阪支所
			持運式(携帶用)ノモノ	一箇	五・〇〇	試驗品ノ箇數ヲ計上スルニハ試驗ノ爲消耗又ハ毀損シタルモノハ之ヲ算入セス
消火器部分品	封絨裝塡物	效力試驗	消火器試驗規程	一箇	五・〇〇	同
	其ノ他ノモノ	同	同	一箇	一・〇〇	船舶試驗所 同 大阪支所
火災警報裝置		效力試驗	火災警報裝置試驗規程	一箇	二〇・〇〇	試驗品ノ箇數ヲ計上スルニハ試驗ノ爲消耗又ハ毀損シタルモノハ之ヲ算入セス 電氣「サーモスタツト」、空氣管、警報器、檢出器又ハ探知器カ船用品取締規則ニ依ル檢印ヲ附セサルモノナルトキハ當該部分品ニ對スル手數料ヲ加算ス
火	電氣「サーモスタツト」	效力試驗	火災警報裝置試驗規程	一箇	三・〇〇	船舶試驗所

災警報裝置部分品	空氣管	同	同	一箇	三・〇〇	試驗品ノ箇數ヲ計上スルニハ試驗ノ爲消耗又ハ毀損シタルモノハ之ヲ算入セス
	警報器	同	同	一箇	五・〇〇	船舶試驗所
	檢出器	同	同	一箇	三・〇〇	同 大阪支所
	探知器	同	同	一箇	五・〇〇	布地カ船用品取締規則ニ依ル檢印ヲ附セサルモノナルトキハ當該品ニ對スル手數料ヲ加算ス
	其ノ他ノモノ	同	同	一箇	一・〇〇	船舶試驗所 同 大阪支所
艙口覆布	艙口覆布	效力試驗	艙口覆布試驗規程	一箇	二・〇〇	
艙口覆布部分品	布地	效力試驗	艙口覆布試驗規程	一箇	一・〇〇	試驗材ノ試驗ヲナシタルトキハ金屬材料試驗ノ手數料ヲ上記ノ手數料ニ加算ス
	防水劑	同	同	一式	一・〇〇	船舶試驗所 同 大阪支所
	其ノ他ノモノ	同	同	一箇	一・〇〇	
錨	鍛造(有鉾錨ニアリテハ鉾ノ重量ヲ含ム)	試驗及檢査	錨鎖索試驗規程	新錨 一〇〇封度又ハ其ノ未滿	〇・三五	試驗材ノ試驗ヲナシタルトキハ金屬材料試驗ノ手數料ヲ上記ノ手數料ニ加算ス
				古錨 一〇〇封度又ハ其ノ未滿	〇・四〇	船舶試驗所 同 大阪支所

鑄鋼（有銲錨ニ在リテハ銲ノ重量ヲ含ム）	同	同	新錨	一〇〇封度又ハ其ノ未滿	〇・四〇	ニ加算ス 一箇ノ最低手數料ハ三圓トス
			古錨	一〇〇封度又ハ其ノ未滿	〇・四五	
舷窓	屈曲試驗	舷窓試驗規程		一箇	一・〇〇	試驗材ノ試驗ヲナシタルトキハ金屬材料試驗材ノ手數料ヲ上記ノ手數料ニ加算ス
	檢査	同	二〇組以下ノ組數一組		〇・五〇	
			二〇組ヲ超ユル組數一組		〇・三〇	
						船舶試驗所 同 大阪支所

壓延鋼材ニ關スル備考

一 壓延鋼材二〇〇噸以上ニ付材料檢査ヲ行フ場合ニ於テ抗張試驗材及屈曲試驗材ノ試驗ヲナストキハ其ノ手數料ハ一噸又ハ其ノ未滿毎ニ九十錢トシ別ニ金屬材料ノ手數料ヲ徵收セス

錨ニ關スル備考

一 錨ニ所定ノ試驗荷重ヨリ少キ荷重ヲ加ヘテ牽引試驗ヲ行フトキト雖本表ニ揭クル手數料ヲ徵收ス

二 錨ニ所定ノ試驗荷重ヲ超ユル荷重ヲ加ヘテ牽引試驗ヲ行フトキハ本表ニ揭クル手數料ニ超過荷重一噸又ハ其ノ未滿毎ニ壹圓ヲ加算シタルモノヲ徵收ス

三 錨ノ牽引試驗ニ付再試驗ヲ行フトキハ再試驗手數料トシテ試驗一回毎ニ規定ノ手數料ノ半額ヲ徵收ス

第二號

檢査試驗品種別	檢査試驗種別	適用規格	鎖環ノ徑	手數料 切斷試驗 新品	古品	牽引試驗（長一五尋又ハ其ノ未滿ニ付） 新品	古品	取扱試驗所名
			一吋 一六	一・一五円	一・七〇円	一・六〇円	二・四〇円	
			七/二	一・三五	一・八〇	一・六五	二・七〇	
			一一/一六	一・五五	一・九五	一・七〇	三・〇〇	
			九/八	一・七五	二・一〇	一・七五	三・三〇	
			一五/一六	一・八〇	二・三〇	一・八〇	三・六〇	
			二一/四	一・九〇	二・五〇	一・九〇	四・〇〇	
			三一/一六	二・〇〇	二・九〇	二・〇〇	四・四〇	
			二三/八	二・一五	三・三〇	二・一五	四・八〇	
			七/一六	二・三〇	三・八〇	二・三〇	五・二〇	
			一五/一六	二・四五	四・三〇	二・四五	五・六〇	
			一吋	二・六〇	四・八〇	二・六〇	六・〇〇	
			一吋 一六/一八	二・七五	五・三〇	二・七五	六・四〇	
			一吋 一一/一六	二・九〇	五・八〇	二・九〇	六・八〇	
			一吋 三/四	三・一〇	六・四〇	三・一〇	七・二〇	

「スタッド」ヲ有スル鎖	切斷及牽引試驗竝檢査	錨鎖索試驗規程
二吋 一七/一六	二吋	二吋 三/八
二吋 一一/一六	二吋 一/一六	二吋 五/一六
二吋 九/一六	二吋 一/八	二吋 一四/一六
二吋 五/八	二吋 一/一六	二吋 一三/一六
二吋 一/一六	二吋 一/一六	二吋 一一/一六
二吋 一三/一六	二吋 一/一六	二吋 一五/一六
二吋 一七/一六	二吋 一/一六	二吋 一九/一六
二吋 一三/一六	二吋 一/一六	二吋 二三/一六
二吋 一五/一六	二吋 一/一六	二吋 二七/一六
二吋 一七/一六	二吋 一/一六	二吋 三一/一六
二吋 一九/一六	二吋 一/一六	二吋 三五/一六
二吋 二一/一六	二吋 一/一六	二吋 三九/一六
二吋 二三/一六	二吋 一/一六	二吋 四三/一六
二吋 二五/一六	二吋 一/一六	二吋 四七/一六
二吋 二七/一六	二吋 一/一六	二吋 五一/一六
二吋 二九/一六	二吋 一/一六	二吋 五五/一六
二吋 三一/一六	二吋 一/一六	二吋 五九/一六
二吋 三三/一六	二吋 一/一六	二吋 六三/一六
二吋 三五/一六	二吋 一/一六	二吋 六七/一六
二吋 三七/一六	二吋 一/一六	二吋 七一/一六
二吋 三九/一六	二吋 一/一六	二吋 七五/一六
二吋 四一/一六	二吋 一/一六	二吋 七九/一六
二吋 四三/一六	二吋 一/一六	二吋 八三/一六
二吋 四五/一六	二吋 一/一六	二吋 八七/一六
二吋 四七/一六	二吋 一/一六	二吋 九一/一六
二吋 四九/一六	二吋 一/一六	二吋 九五/一六
二吋 五一/一六	二吋 一/一六	二吋 九九/一六
二吋 五三/一六	二吋 一/一六	二吋 一〇三/一六
二吋 五五/一六	二吋 一/一六	二吋 一〇七/一六
二吋 五七/一六	二吋 一/一六	二吋 一一一/一六
二吋 五九/一六	二吋 一/一六	二吋 一一五/一六
二吋 六一/一六	二吋 一/一六	二吋 一一九/一六
二吋 六三/一六	二吋 一/一六	二吋 一二三/一六
二吋 六五/一六	二吋 一/一六	二吋 一二七/一六
二吋 六七/一六	二吋 一/一六	二吋 一三一/一六
二吋 六九/一六	二吋 一/一六	二吋 一三五/一六
二吋 七一/一六	二吋 一/一六	二吋 一三九/一六
二吋 七三/一六	二吋 一/一六	二吋 一四三/一六
二吋 七五/一六	二吋 一/一六	二吋 一四七/一六
二吋 七七/一六	二吋 一/一六	二吋 一五一/一六
二吋 七九/一六	二吋 一/一六	二吋 一五五/一六
二吋 八一/一六	二吋 一/一六	二吋 一五九/一六
二吋 八三/一六	二吋 一/一六	二吋 一六三/一六
二吋 八五/一六	二吋 一/一六	二吋 一六七/一六
二吋 八七/一六	二吋 一/一六	二吋 一七一/一六
二吋 八九/一六	二吋 一/一六	二吋 一七五/一六
二吋 九一/一六	二吋 一/一六	二吋 一七九/一六
二吋 九三/一六	二吋 一/一六	二吋 一八三/一六
二吋 九五/一六	二吋 一/一六	二吋 一八七/一六
二吋 九七/一六	二吋 一/一六	二吋 一九一/一六
二吋 九九/一六	二吋 一/一六	二吋 一九五/一六
二吋 一〇一/一六	二吋 一/一六	二吋 一九九/一六
二吋 一〇三/一六	二吋 一/一六	二吋 二〇三/一六
二吋 一〇五/一六	二吋 一/一六	二吋 二〇七/一六
二吋 一〇七/一六	二吋 一/一六	二吋 二一一/一六
二吋 一〇九/一六	二吋 一/一六	二吋 二一五/一六
二吋 一一一/一六	二吋 一/一六	二吋 二一九/一六
二吋 一一三/一六	二吋 一/一六	二吋 二二三/一六
二吋 一一五/一六	二吋 一/一六	二吋 二二七/一六
二吋 一一七/一六	二吋 一/一六	二吋 二三一/一六
二吋 一一九/一六	二吋 一/一六	二吋 二三五/一六
二吋 一二一/一六	二吋 一/一六	二吋 二三九/一六
二吋 一二三/一六	二吋 一/一六	二吋 二四三/一六
二吋 一二五/一六	二吋 一/一六	二吋 二四七/一六
二吋 一二七/一六	二吋 一/一六	二吋 二五一/一六
二吋 一二九/一六	二吋 一/一六	二吋 二五五/一六
二吋 一三一/一六	二吋 一/一六	二吋 二五九/一六
二吋 一三三/一六	二吋 一/一六	二吋 二六三/一六
二吋 一三五/一六	二吋 一/一六	二吋 二六七/一六
二吋 一三七/一六	二吋 一/一六	二吋 二七一/一六
二吋 一三九/一六	二吋 一/一六	二吋 二七五/一六
二吋 一四一/一六	二吋 一/一六	二吋 二七九/一六
二吋 一四三/一六	二吋 一/一六	二吋 二八三/一六
二吋 一四五/一六	二吋 一/一六	二吋 二八七/一六
二吋 一四七/一六	二吋 一/一六	二吋 二九一/一六
二吋 一四九/一六	二吋 一/一六	二吋 二九五/一六
二吋 一五一/一六	二吋 一/一六	二吋 二九九/一六
二吋 一五三/一六	二吋 一/一六	二吋 三〇三/一六
二吋 一五五/一六	二吋 一/一六	二吋 三〇七/一六
二吋 一五七/一六	二吋 一/一六	二吋 三一一/一六
二吋 一五九/一六	二吋 一/一六	二吋 三一五/一六
二吋 一六一/一六	二吋 一/一六	二吋 三一九/一六
二吋 一六三/一六	二吋 一/一六	二吋 三二三/一六
二吋 一六五/一六	二吋 一/一六	二吋 三二七/一六
二吋 一六七/一六	二吋 一/一六	二吋 三三一/一六
二吋 一六九/一六	二吋 一/一六	二吋 三三五/一六
二吋 一七一/一六	二吋 一/一六	二吋 三三九/一六
二吋 一七三/一六	二吋 一/一六	二吋 三四三/一六
二吋 一七五/一六	二吋 一/一六	二吋 三四七/一六
二吋 一七七/一六	二吋 一/一六	二吋 三五一/一六
二吋 一七九/一六	二吋 一/一六	二吋 三五五/一六
二吋 一八一/一六	二吋 一/一六	二吋 三五九/一六
二吋 一八三/一六	二吋 一/一六	二吋 三六三/一六
二吋 一八五/一六	二吋 一/一六	二吋 三六七/一六
二吋 一八七/一六	二吋 一/一六	二吋 三七一/一六
二吋 一八九/一六	二吋 一/一六	二吋 三七五/一六
二吋 一九一/一六	二吋 一/一六	二吋 三七九/一六
二吋 一九三/一六	二吋 一/一六	二吋 三八三/一六
二吋 一九五/一六	二吋 一/一六	二吋 三八七/一六
二吋 一九七/一六	二吋 一/一六	二吋 三九一/一六
二吋 一九九/一六	二吋 一/一六	二吋 三九五/一六
二吋 二〇一/一六	二吋 一/一六	二吋 三九九/一六
二吋 二〇三/一六	二吋 一/一六	二吋 四〇三/一六
二吋 二〇五/一六	二吋 一/一六	二吋 四〇七/一六
二吋 二〇七/一六	二吋 一/一六	二吋 四一一/一六
二吋 二〇九/一六	二吋 一/一六	二吋 四一五/一六
二吋 二一一/一六	二吋 一/一六	二吋 四一九/一六
二吋 二一三/一六	二吋 一/一六	二吋 四二三/一六
二吋 二一五/一六	二吋 一/一六	二吋 四二七/一六
二吋 二一七/一六	二吋 一/一六	二吋 四三一/一六
二吋 二一九/一六	二吋 一/一六	二吋 四三五/一六
二吋 二二一/一六	二吋 一/一六	二吋 四三九/一六
二吋 二二三/一六	二吋 一/一六	二吋 四四三/一六
二吋 二二五/一六	二吋 一/一六	二吋 四四七/一六
二吋 二二七/一六	二吋 一/一六	二吋 四五一/一六
二吋 二二九/一六	二吋 一/一六	二吋 四五五/一六
二吋 二三一/一六	二吋 一/一六	二吋 四五九/一六
二吋 二三三/一六	二吋 一/一六	二吋 四六三/一六
二吋 二三五/一六	二吋 一/一六	二吋 四六七/一六
二吋 二三七/一六	二吋 一/一六	二吋 四七一/一六
二吋 二三九/一六	二吋 一/一六	二吋 四七五/一六
二吋 二四一/一六	二吋 一/一六	二吋 四七九/一六
二吋 二四三/一六	二吋 一/一六	二吋 四八三/一六
二吋 二四五/一六	二吋 一/一六	二吋 四八七/一六
二吋 二四七/一六	二吋 一/一六	二吋 四九一/一六
二吋 二四九/一六	二吋 一/一六	二吋 四九五/一六
二吋 二五一/一六	二吋 一/一六	二吋 四九九/一六
二吋 二五三/一六	二吋 一/一六	二吋 五〇三/一六
二吋 二五五/一六	二吋 一/一六	二吋 五〇七/一六
二吋 二五七/一六	二吋 一/一六	二吋 五一一/一六
二吋 二五九/一六	二吋 一/一六	二吋 五一五/一六
二吋 二六一/一六	二吋 一/一六	二吋 五一九/一六
二吋 二六三/一六	二吋 一/一六	二吋 五二三/一六
二吋 二六五/一六	二吋 一/一六	二吋 五二七/一六
二吋 二六七/一六	二吋 一/一六	二吋 五三一/一六
二吋 二六九/一六	二吋 一/一六	二吋 五三五/一六
二吋 二七一/一六	二吋 一/一六	二吋 五三九/一六
二吋 二七三/一六	二吋 一/一六	二吋 五四三/一六
二吋 二七五/一六	二吋 一/一六	二吋 五四七/一六
二吋 二七七/一六	二吋 一/一六	二吋 五五一/一六
二吋 二七九/一六	二吋 一/一六	二吋 五五五/一六
二吋 二八一/一六	二吋 一/一六	二吋 五五九/一六
二吋 二八三/一六	二吋 一/一六	二吋 五六三/一六
二吋 二八五/一六	二吋 一/一六	二吋 五六七/一六
二吋 二八七/一六	二吋 一/一六	二吋 五七一/一六
二吋 二八九/一六	二吋 一/一六	二吋 五七五/一六
二吋 二九一/一六	二吋 一/一六	二吋 五七九/一六
二吋 二九三/一六	二吋 一/一六	二吋 五八三/一六
二吋 二九五/一六	二吋 一/一六	二吋 五八七/一六
二吋 二九七/一六	二吋 一/一六	二吋 五九一/一六
二吋 二九九/一六	二吋 一/一六	二吋 五九五/一六
二吋 三〇一/一六	二吋 一/一六	二吋 五九九/一六
二吋 三〇三/一六	二吋 一/一六	二吋 六〇三/一六
二吋 三〇五/一六	二吋 一/一六	二吋 六〇七/一六
二吋 三〇七/一六	二吋 一/一六	二吋 六一一/一六
二吋 三〇九/一六	二吋 一/一六	二吋 六一五/一六
二吋 三一一/一六	二吋 一/一六	二吋 六一九/一六
二吋 三一三/一六	二吋 一/一六	二吋 六二三/一六
二吋 三一五/一六	二吋 一/一六	二吋 六二七/一六
二吋 三一七/一六	二吋 一/一六	二吋 六三一/一六
二吋 三一九/一六	二吋 一/一六	二吋 六三五/一六
二吋 三二一/一六	二吋 一/一六	二吋 六三九/一六
二吋 三二三/一六	二吋 一/一六	二吋 六四三/一六
二吋 三二五/一六	二吋 一/一六	二吋 六四七/一六
二吋 三二七/一六	二吋 一/一六	二吋 六五一/一六
二吋 三二九/一六	二吋 一/一六	二吋 六五五/一六
二吋 三三一/一六	二吋 一/一六	二吋 六五九/一六
二吋 三三三/一六	二吋 一/一六	二吋 六六三/一六
二吋 三三五/一六	二吋 一/一六	二吋 六六七/一六
二吋 三三七/一六	二吋 一/一六	二吋 六七一/一六
二吋 三三九/一六	二吋 一/一六	二吋 六七五/一六
二吋 三四一/一六	二吋 一/一六	二吋 六七九/一六
二吋 三四三/一六	二吋 一/一六	二吋 六八三/一六
二吋 三四五/一六	二吋 一/一六	二吋 六八七/一六
二吋 三四七/一六	二吋 一/一六	二吋 六九一/一六
二吋 三四九/一六	二吋 一/一六	二吋 六九五/一六
二吋 三五一/一六	二吋 一/一六	二吋 六九九/一六
二吋 三五三/一六	二吋 一/一六	二吋 七〇三/一六
二吋 三五五/一六	二吋 一/一六	二吋 七〇七/一六
二吋 三五七/一六	二吋 一/一六	二吋 七一一/一六
二吋 三五九/一六	二吋 一/一六	二吋 七一五/一六
二吋 三六一/一六	二吋 一/一六	二吋 七一九/一六
二吋 三六三/一六	二吋 一/一六	二吋 七二三/一六
二吋 三六五/一六	二吋 一/一六	二吋 七二七/一六
二吋 三六七/一六	二吋 一/一六	二吋 七三一/一六
二吋 三六九/一六	二吋 一/一六	二吋 七三五/一六
二吋 三七一/一六	二吋 一/一六	二吋 七三九/一六
二吋 三七三/一六	二吋 一/一六	二吋 七四三/一六
二吋 三七五/一六	二吋 一/一六	二吋 七四七/一六
二吋 三七七/一六	二吋 一/一六	二吋 七五一/一六
二吋 三七九/一六	二吋 一/一六	二吋 七五五/一六
二吋 三八一/一六	二吋 一/一六	二吋 七五九/一六
二吋 三八三/一六	二吋 一/一六	二吋 七六三/一六
二吋 三八五/一六	二吋 一/一六	二吋 七六七/一六
二吋 三八七/一六	二吋 一/一六	二吋 七七一/一六
二吋 三八九/一六	二吋 一/一六	二吋 七七五/一六
二吋 三九一/一六	二吋 一/一六	二吋 七七九/一六
二吋 三九三/一六	二吋 一/一六	二吋 七八三/一六
二吋 三九五/一六	二吋 一/一六	二吋 七八七/一六
二吋 三九七/一六	二吋 一/一六	二吋 七九一/一六
二吋 三九九/一六	二吋 一/一六	二吋 七九五/一六
二吋 四〇一/一六	二吋 一/一六	二吋 七九九/一六
二吋 四〇三/一六	二吋 一/一六	二吋 八〇三/一六
二吋 四〇五/一六	二吋 一/一六	二吋 八〇七/一六
二吋 四〇七/一六	二吋 一/一六	二吋 八一一/一六
二吋 四〇九/一六	二吋 一/一六	二吋 八一五/一六
二吋 四一一/一六	二吋 一/一六	二吋 八一九/一六
二吋 四一三/一六	二吋 一/一六	二吋 八二三/一六
二吋 四一五/一六	二吋 一/一六	二吋 八二七/一六
二吋 四一七/一六	二吋 一/一六	二吋 八三一/一六
二吋 四一九/一六	二吋 一/一六	二吋 八三五/一六
二吋 四二一/一六	二吋 一/一六	二吋 八三九/一六
二吋 四二三/一六	二吋 一/一六	二吋 八四三/一六
二吋 四二五/一六	二吋 一/一六	二吋 八四七/一六
二吋 四二七/一六	二吋 一/一六	二吋 八五一/一六
二吋 四二九/一六	二吋 一/一六	二吋 八五五/一六
二吋 四三一/一六	二吋 一/一六	二吋 八五九/一六
二吋 四三三/一六	二吋 一/一六	二吋 八六三/一六
二吋 四三五/一六	二吋 一/一六	二吋 八六七/一六
二吋 四三七/一六	二吋 一/一六	二吋 八七一/一六
二吋 四三九/一六	二吋 一/一六	二吋 八七五/一六
二吋 四四一/一六	二吋 一/一六	二吋 八七九/一六
二吋 四四三/一六	二吋 一/一六	二吋 八八三/一六
二吋 四四五/一六	二吋 一/一六	二吋 八八七/一六
二吋 四四七/一六	二吋 一/一六	二吋 八九一/一六
二吋 四四九/一六	二吋 一/一六	二吋 八九五/一六
二吋 四五一/一六	二吋 一/一六	二吋 八九九/一六
二吋 四五三/一六	二吋 一/一六	二吋 九〇三/一六
二吋 四五五/一六	二吋 一/一六	二吋 九〇七/一六
二吋 四五七/一六	二吋 一/一六	二吋 九一一/一六
二吋 四五九/一六	二吋 一/一六	二吋 九一五/一六
二吋 四六一/一六	二吋 一/一六	二吋 九一九/一六
二吋 四六三/一六	二吋 一/一六	二吋 九二三/一六
二吋 四六五/一六	二吋 一/一六	二吋 九二七/一六
二吋 四六七/一六	二吋 一/一六	二吋 九三一/一六
二吋 四六九/一六	二吋 一/一六	二吋 九三五/一六
二吋 四七一/一六	二吋 一/一六	二吋 九三九/一六
二吋 四七三/一六	二吋 一/一六	二吋 九四三/一六
二吋 四七五/一六	二吋 一/一六	二吋 九四七/一六
二吋 四七七/一六	二吋 一/一六	二吋 九五一/一六
二吋 四七九/一六	二吋 一/一六	二吋 九五五/一六
二吋 四八一/一六	二吋 一/一六	二吋 九五九/一六
二吋 四八三/一六	二吋 一/一六	二吋 九六三/一六
二吋 四八五/一六	二吋 一/一六	二吋 九六七/一六
二吋 四八七/一六	二吋 一/一六	二吋 九七一/一六
二吋 四八九/一六	二吋 一/一六	二吋 九七五/一六
二吋 四九一/一六	二吋 一/一六	二吋 九七九/一六
二吋 四九三/一六	二吋 一/一六	二吋 九八三/一六
二吋 四九五/一六	二吋 一/一六	二吋 九八七/一六
二吋 四九七/一六	二吋 一/一六	二吋 九九一/一六
二吋 四九九/一六	二吋 一/一六	二吋 九九五/一六
二吋 五〇一/一六	二吋 一/一六	二吋 九九九/一六
二吋 五〇三/一六	二吋 一/一六	二吋 一〇三/一六
二吋 五〇五/一六	二吋 一/一六	二吋 一〇七/一六
二吋 五〇七/一六	二吋 一/一六	二吋 一一一/一六
二吋 五〇九/一六	二吋 一/一六	二吋 一一五/一六
二吋 五一一/一六	二吋 一/一六	二吋 一一九/一六
二吋 五一三/一六	二吋 一/一六	二吋 一二三/一六
二吋 五一五/一六	二吋 一/一六	二吋 一二七/一六
二吋 五一七/一六	二吋 一/一六	二吋 一三一/一六
二吋 五一九/一六	二吋 一/一六	二吋 一三五/一六
二吋 五二一/一六	二吋 一/一六	二吋 一三九/一六
二吋 五二三/一六	二吋 一/一六	二吋 一四三/一六
二吋 五二五/一六	二吋 一/一六	二吋 一四七/一六
二吋 五二七/一六	二吋 一/一六	二吋 一五一/一六
二吋 五二九/一六	二吋 一/一六	二吋 一五五/一六
二吋 五三一/一六	二吋 一/一六	二吋 一五九/一六
二吋 五三三/一六	二吋 一/一六	二吋 一六三/一六
二吋 五三五/一六	二吋 一/一六	二吋 一六七/一六
二吋 五三七/一六	二吋 一/一六	二吋 一七一/一六
二吋 五三九/一六	二吋 一/一六	二吋 一七五/一六
二吋 五四一/一六	二吋 一/一六	二吋 一七九/一六
二吋 五四三/一六	二吋 一/一六	二吋 一八三/一六
二吋 五四五/一六	二吋 一/一六	二吋 一八七/一六
二吋 五四七/一六	二吋 一/一六	二吋 一九一/一六
二吋 五四九/一六	二吋 一/一六	二吋 一九五/一六
二吋 五五一/一六	二吋 一/一六	二吋 一九九/一六
二吋 五五三/一六	二吋 一/一六	二吋 二〇三/一六
二吋 五五五/一六	二吋 一/一六	二吋 二〇七/一六
二吋 五五七/一六	二吋 一/一六	二吋 二一一/一六
二吋 五五九/一六	二吋 一/一六	二吋 二一五/一六
二吋 五六一/一六	二吋 一/一六	二吋 二一九/一六
二吋 五六三/一六	二吋 一/一六	二吋 二二三/一六
二吋 五六五/一六	二吋 一/一六	二吋 二二七/一六
二吋 五六七/一六	二吋 一/一六	二吋 二三一/一六
二吋 五六九/一六	二吋 一/一六	二吋 二三五/一六
二吋 五七一/一六	二吋 一/一六	二吋 二三九/一六
二吋 五七三/一六	二吋 一/一六	二吋 二四三/一六
二吋 五七五/一六	二吋 一/一六	二吋 二四七/一六
二吋 五七七/一六	二吋 一/一六	二吋 二五一/一六
二吋 五七九/一六	二吋 一/一六	二吋 二五五/一六
二吋 五八一/一六	二吋 一/一六	二吋 二五九/一六
二吋 五八三/一六	二吋 一/一六	二吋 二六三/一六
二吋 五八五/一六	二吋 一/一六	二吋 二六七/一六
二吋 五八七/一六	二吋 一/一六	二吋 二七一/一六
二吋 五八九/一六	二吋 一/一六	二吋 二七五/一六
二吋 五九一/一六	二吋 一/一六	二吋 二七九/一六
二吋 五九三/一六	二吋 一/一六	二吋 二八三/一六
二吋 五九五/一六	二吋 一/一六	二吋 二八七/一六
二吋 五九七/一六	二吋 一/一六	二吋 二九一/一六
二吋 五九九/一六	二吋 一/一六	二吋 二九五/一六
二吋 六〇一/一六	二吋 一/一六	二吋 二九九/一六
二吋 六〇三/一六	二吋 一/一六	二吋 三〇三/一六
二吋 六〇五/一六	二吋 一/一六	二吋 三〇七/一六
二吋 六〇七/一六	二吋 一/一六	二吋 三一一/一六
二吋 六〇九/一六	二吋 一/一六	二吋 三一五/一六
二吋 六一一/一六	二吋 一/一六	二吋 三一九/一六
二吋 六一三/一六	二吋 一/一六	二吋 三二三/一六
二吋 六一五/一六	二吋 一/一六	二吋 三二七/一六
二吋 六一七/一六	二吋 一/一六	二吋 三三一/一六
二吋 六一九/一六	二吋 一/一六	二吋 三三五/一六
二吋 六二一/一六	二吋 一/一六	二吋 三三九/一六
二吋 六二三/一六	二吋 一/一六	二吋 三四三/一六
二吋 六二五/一六	二吋 一/一六	二吋 三四七/一六
二吋 六二七/一六	二吋 一/一六	二吋 三五一/一六
二吋 六二九/一六	二吋 一/一六	二吋 三五五/一六
二吋 六三一/一六	二吋 一/一六	二吋 三五九/一六
二吋 六三三/一六	二吋 一/一六	二吋 三六三/一六
二吋 六三五/一六	二吋 一/一六	二吋 三六七/一六
二吋 六三七/一六	二吋 一/一六	二吋 三七一/一六
二吋 六三九/一六	二吋 一/一六	二吋 三七五/一六
二吋 六四一/一六	二吋 一/一六	二吋 三七九/一六
二吋 六四三/一六	二吋 一/一六	二吋 三八三/一六
二吋 六四五/一六	二吋 一/一六	二吋 三八七/一六
二吋 六四七/一六	二吋 一/一六	二吋 三九一/一六
二吋 六四九/一六	二吋 一/一六	二吋 三九五/一六
二吋 六五一/一六	二吋 一/一六	二吋 三九九/一六
二吋 六五三/一六	二吋 一/一六	二吋 四〇三/一六
二吋 六五五/一六	二吋 一/一六	二吋 四〇七/一六
二吋 六五七/一六	二吋 一/一六	二吋 四一一/一六
二吋 六五九/一六	二吋 一/一六	二吋 四一五/一六
二吋 六六一/一六	二吋 一/一六	二吋 四一九/一六
二吋 六六三/一六	二吋 一/一六	二吋 四二三/一六
二吋 六六五/一六	二吋 一/一六	二吋 四二七/一六
二吋 六六七/一六	二吋 一/一六	二吋 四三一/一六
二吋 六六九/一六	二吋 一/一六	二吋 四三五/一六
二吋 六七一/一六	二吋 一/一六	二吋 四三九/一六
二吋 六七三/一六	二吋 一/一六	二吋 四四三/一六
二吋 六七五/一六	二吋 一/一六	二吋 四四七/一六
二吋 六七七/一六	二吋 一/一六	二吋 四五一/一六
二吋 六七九/一六	二吋 一/一六	二吋 四五五/一六
二吋 六八一/一六	二吋 一/一六	二吋 四五九/一六
二吋 六八三/一六	二吋 一/一六	二吋 四六三/一六
二吋 六八五/一六	二吋 一/一六	二吋 四六七/一六
二吋 六八七/一六	二吋 一/一六	二吋 四七一/一六
二吋 六八九/一六	二吋 一/一六	二吋 四七五/一六
二吋 六九一/一六	二吋 一/一六	二吋 四七九/一六
二吋 六九三/一六	二吋 一/一六	二吋 四八三/一六
二吋 六九五/一六	二吋 一/一六	二吋 四八七/一六
二吋 六九七/一六	二吋 一/一六	二吋 四九一/一六
二吋 六九九/一六	二吋 一/一六	二吋 四九五/一六
二吋 七〇一/一六	二吋 一/一六	二吋 四九九/一六
二吋 七〇三/一六	二吋 一/一六	二吋 五〇三/一六
二吋 七〇五/一六	二吋 一/一六	二吋 五〇七/一六
二吋 七〇七/一六	二吋 一/一六	二吋 五一一/一六
二吋 七〇九/一六	二吋 一/一六	二吋 五一五/一六
二吋 七一一/一六	二吋 一/一六	二吋 五一九/一六
二吋 七一三/一六	二吋 一/一六	二吋 五二三/一六
二吋 七一五/一六	二吋 一/一六	二吋 五二七/一六
二吋 七一七/一六	二吋 一/一六	二吋 五三一/一六
二吋 七一九/一六	二吋 一/一六	二吋 五三五/一六
二吋 七二一/一六	二吋 一/一六	二吋 五三九/一六
二吋 七二三/一六	二吋 一/一六	二吋 五四三/一六
二吋 七二五/一六	二吋 一/一六	二吋 五四七/一六
二吋 七二七/一六	二吋 一/一六	二吋 五五一/一六
二吋 七二九/一六	二吋 一/一六	二吋 五五五/一六
二吋 七三一/一六	二吋 一/一六	二吋 五五九/一六
二吋 七三三/一六	二吋 一/一六	二吋 五六三/一六
二吋 七三五/一六	二吋 一/一六	二吋 五六七/一六
二吋 七三七/一六	二吋 一/一六	二吋 五七一/一六
二吋 七三九/一六	二吋 一/一六	二吋 五七五/一六
二吋 七四一/一六	二吋 一/一六	二吋 五七九/一六
二吋 七四三/一六	二吋 一/一六	二吋 五八三/一六
二吋 七四五/一六	二吋 一/一六	二吋 五八七/一六
二吋 七四七/一六	二吋 一/一六	二吋 五九一/一六
二吋 七四九/一六	二吋 一/一六	二吋 五九五/一六
二吋 七五一/一六	二吋 一/一六	二吋 五九九/一六
二吋 七五三/一六	二吋 一/一六	二吋 六〇三/一六
二吋 七五五/一六	二吋 一/一六	二吋 六〇七/一六
二吋 七五七/一六	二吋 一/一六	二吋 六一一/一六
二吋 七五九/一六	二吋 一/一六	二吋 六一五/一六
二吋 七六一/一六	二吋 一/一六	二吋 六一九/一六
二吋 七六三/一六	二吋 一/一六	二吋 六二三/一六
二吋 七六五/一六	二吋 一/一六	二吋 六二七/一六
二吋 七六七/一六	二吋 一/一六	二吋 六三一/一六
二吋 七六九/一六	二吋 一/一六	二吋 六三五/一六
二吋 七七一/一六	二吋 一/一六	二吋 六三九/一六
二吋 七七三/一六	二吋 一/一六	二吋 六四三/一六
二吋 七七五/一六	二吋 一/一六	二吋 六四七/一六
二吋 七七七/一六	二吋 一/一六	二吋 六五一/一六
二吋 七七九/一六	二吋 一/一六	二吋 六五五/一六
二吋 七八一/一六	二吋 一/一六	二吋 六五九/一六
二吋 七八三/一六	二吋 一/一六	二吋 六六三/一六
二吋 七八五/一六	二吋 一/一六	二吋 六六七/一六
二吋 七八七/一六	二吋 一/一六	二吋 六七一/一六
二吋 七八九/一六	二吋 一/一六	二吋 六七五/一六
二吋 七九一/一六	二吋 一/一六	二吋 六七九/一六
二吋 七九三/一六	二吋 一/一六	二吋 六八三/一六
二吋 七九五/一六	二吋 一/一六	二吋 六八七/一六
二吋 七九七/一六	二吋 一/一六	二吋 六九一/一六
二吋 七九九/一六	二吋 一/一六	二吋 六九五/一六
二吋 八〇一/一六	二吋 一/一六	二吋 六九九/一六
二吋 八〇三/一六	二吋 一/一六	二吋 七〇三/一六
二吋 八〇五/一六	二吋 一/一六	二吋 七〇七/一六
二吋 八〇七/一六	二吋 一/一六	二吋 七一一/一六
二吋 八〇九/一六	二吋 一/一六	二吋 七一五/一六
二吋 八一一/一六	二吋 一/一六	二吋 七一九/一六
二吋 八一三/一六	二吋 一/一六	二吋 七二三/一六
二吋 八一五/一

一/四	〇・七〇	一・〇〇	一・三〇	一・九〇
五/一六	〇・八〇	一・一〇	一・四〇	二・〇〇
三/八	〇・九五	一・二五	一・五〇	二・二〇
七/一六	一・一五	一・四〇	一・六〇	二・四〇
一/二	一・三五	一・五五	一・七〇	二・七〇
九/一六	一・五五	一・七〇	一・八〇	三・〇〇
五/八	一・七五	一・八五	一・九〇	三・三〇
一一/一六	二・〇〇	二・〇〇	二・〇〇	三・六〇
三/四	二・一〇	二・二〇	二・一〇	四・〇〇
一三/一六	二・二五	二・六〇	二・二五	四・四〇

三吋 九/一六	三・四一〇	四・五八〇	三・四一〇	四・五八〇
三吋 五/八	三・五九〇	四・七一〇	三・五九〇	四・七一〇
三吋 一一/一六	三・七七〇	四・八四〇	三・七七〇	四・八四〇
三吋 三/四	三・九六〇	四・九七〇	三・九六〇	四・九七〇
三吋 一三/一六	四・一五〇	五・一〇〇	四・一五〇	五・一〇〇
三吋 七/八	四・三五〇	五・二三〇	四・三五〇	五・二三〇
三吋 一五/一六	四・五五〇	五・三七〇	四・五五〇	五・三七〇
四吋	四・七五〇	五・五〇〇	四・七五〇	五・五〇〇

錨鎖索試験規程

切断及索引試験並検査

「スタツド」ヲ有セサル鎖

七/八	二・四〇	三・〇〇	二・四〇	四・八〇
一五/一六	二・五五	三・五〇	二・五五	五・二〇
一吋	二・七〇	四・〇〇	二・七〇	五・六〇
一吋 一/一六	二・八五	四・五〇	二・八五	六・〇〇
一吋 一/八	三・〇〇	五・〇〇	三・〇〇	六・四〇
一吋 三/一六	三・一五	五・六〇	三・一五	六・八〇
一吋 一/四	三・三五	六・二〇	三・三五	七・二〇
一吋 五/一六	三・六〇	六・八〇	三・六〇	七・七〇
一吋 三/八	三・九〇	七・五〇	三・九〇	八・三〇
一吋 七/一六	四・二〇	八・二〇	四・二〇	八・九〇
一吋 一/二	四・五〇	八・九〇	四・五〇	九・五〇
一吋 九/一六	四・九〇	九・七〇	四・九〇	一〇・二〇
一吋 五/八	五・三〇	一〇・五〇	五・三〇	一〇・九〇
一吋 一一/一六	五・七〇	一一・三〇	五・七〇	一一・七〇
一吋 三/四	六・一〇	一二・二〇	六・一〇	一二・六〇
一吋 一三/一六	六・五〇	一三・一〇	六・五〇	一三・五〇
一吋 七/八	七・〇〇	一四・〇〇	七・〇〇	一四・四〇
一吋 一五/一六	七・六〇	一五・〇〇	七・六〇	一五・四〇
二吋	八・二〇	一六・〇〇	八・二〇	一六・五〇

船舶試験所
同大阪支所

備考

一　鎖ノ長五尋未滿ニ對スル牽引試驗手數料ハ本表ニ掲クルモノノ半額トス

二　鎖ニ所定ノ試驗荷重ヨリ少キ荷重ヲ加ヘテ切斷試驗又ハ牽引試驗ヲ行フトキト雖規定ノ手數料ヲ徵收ス

三　鎖ニ所定ノ試驗荷重ヲ超ユル荷重ヲ加ヘテ切斷試驗（抗張力ノ測定試驗ヲ含ム）又ハ牽引試驗ヲ行フトキハ規定ノ手數料ニ超過荷重一噸又ハ其ノ未滿毎ニ拾錢ヲ加算シタルモノヲ徵收ス

四　鎖ニ附屬スル「シャックル」、「スウイヴル」鈎等ニシテ鎖ニ連結シテ牽引試驗ヲ行フトキハ之ヲ其ノ鎖ノ一部ト看做シテ手數料ヲ徵收ス

五　「シャックル」、「スウイヴル」及連結用鎖環ノ切斷試驗手數料ハ試驗一回ニ付試驗荷重十噸又ハ其ノ未滿毎一壹圓トス但シ鎖ニ附屬スル「スウイヴル」ニシテ鎖ノ鎖環ニ連結シテ試驗ヲ行フトキハ之ニ對シテ別ニ手數料ヲ徵收セス

六　「シャックル」及「スウイヴル」ノ牽引試驗手數料ハ試驗一回ニ付試驗荷重十噸又ハ其ノ未滿毎ニ壹圓トス但シ鎖ニ附屬シタルモノニシテ之ニ連結シテ牽引試驗ヲ行フトキハ之ニ對シテ別ニ手數料ヲ徵收セス

七　鎖、「シャックル」、「スウイヴル」又ハ連結用鎖環ノ切斷試驗又ハ牽引試驗ニ付再試驗ヲ行フトキハ再試驗手數料トシテ試驗一回毎ニ規定ノ手數料ノ半額ヲ徵收ス

檢査試驗品種別	檢査試驗種別	適用規格		手數料算定單位一二〇尋又ハ其ノ未滿ニ付	備考	取扱試驗所名
鋼索	試驗及檢査	錨鎖索試驗規程	索周 三吋以下	四・〇〇圓	長一二〇尋ヲ超ユルモノハ其ノ超過一二〇尋又ハ其ノ未滿毎ニ上記ノ手數料ノ三割ヲ加算ス	船舶試驗所同大阪支所
			三吋ヲ超エ四吋以下	五・〇〇		
			四吋ヲ超エ五吋以下	六・〇〇		
			五吋ヲ超エ六吋以下	七・〇〇		
			六吋ヲ超ユルモノ	八・〇〇		
「マニラ」索又ハ麻索	試驗及檢査	錨鎖索試驗規程	三吋以下	二・〇〇	長一二〇尋ヲ超ユルモノハ其ノ超過一二〇尋又ハ其ノ未滿毎ニ上記ノ手數料ノ三割ヲ加算ス	船舶試驗所同大阪支所
			三吋ヲ超エ六吋以下	三・〇〇		
			六吋ヲ超エ九吋以下	四・〇〇		
			九吋ヲ超ユルモノ	五・〇〇		
綿索	切斷試驗及檢査		三吋以下	二・〇〇	長一二〇尋ヲ超ユルモノハ其ノ超過一二〇尋又ハ其ノ未滿毎ニ上記ノ手數料ノ三割ヲ加算ス	船舶試驗所同大阪支所
			三吋ヲ超エ六吋以下	三・〇〇		
			六吋ヲ超エ九吋以下	四・〇〇		
			九吋ヲ超ユルモノ	五・〇〇		

第四號

檢査試驗品種別	檢査試驗種別	適用規格	種類	牽引荷重一噸又ハ其ノ未滿毎ニ一箇ノ手數料	備考	取扱試驗所名
滑車	牽引試驗及檢査		單輪	〇・一五 円	最低手數料試驗一回ニ付參圓ト	船舶試驗所 同大阪支所
			二輪	〇・一八	同一荷重ヲ以テ試驗スヘキモノハ連結シテ同時ニ試驗スルコトヲ得	
			三輪	〇・二一		
			四輪	〇・二五		
			ギフエレンシアル	一・〇〇		
鈎	牽引試驗及檢査		單鈎	〇・一五	最低手數料試驗一回ニ付參圓トス	船舶試驗所 同大阪支所
			二鈎	〇・二五		
「アイ」	牽引試驗及檢査		單目	〇・一五	同	船舶試驗所 同大阪支所
			二目	〇・二五		

備考

鎖ニ附屬スル鈎ニシテ之ニ連結シテ牽引試驗ヲ行フトキハ鎖ニ關スル備考第四號ニ依リ手數料ヲ徵收ス

第五號

檢査試驗品種別	檢査試驗種別	適用規格	試驗機能力	手數料	備考	取扱試驗所名
船用品試驗機	試驗及檢査	船用品試驗機試驗規程	五噸以下	二〇・〇〇 円	第二回以後ノ試驗ノ手數料ハ上記ノ手數料ノ半額トス	船舶試驗所 同大阪支所
			五噸ヲ超エ一〇噸以下	四〇・〇〇		
			一〇噸ヲ超エ五〇噸以下	八〇・〇〇		
			五〇噸ヲ超エ一〇〇噸以下	一二〇・〇〇		
			一〇〇噸ヲ超エ二〇〇噸以下	一六〇・〇〇		
			二〇〇噸ヲ超エ三〇〇噸以下	二〇〇・〇〇		
			三〇〇噸ヲ超ユルモノ	二五〇・〇〇		

船燈試驗規程

（昭和九年二月五日遞信省令第十九號）

目次

第一章　總則
第二章　油船燈
　第一節　通則
　第二節　檣燈
　第三節　舷燈
　第四節　兩色燈
　第五節　白燈
　第六節　紅燈
　第七節　三色燈
　第八節　船尾燈
　第九節　操舵目標燈
　第十節　信號燈
　第十一節　安全燈
第三章　電氣船燈
　第一節　通則
　第二節　檣燈
　第三節　舷燈
　第四節　白燈
　第五節　紅燈
　第六節　三色燈
　第七節　船尾燈
　第八節　安全燈
附則

第一章　總則

第一條　船燈ノ金屬部ハ銅又ハ眞鍮ヲ以テ堅牢ニ製造シ其ノ接合部ハ密着セシメテ鑞附シ且要部ハ總テ鋲附ト爲スベシ但シ安全燈ニ在リテハ當該官吏ノ承認ヲ受ケ銅又ハ眞鍮以外ノ材料ヲ使用スルコトヲ得

檣燈、舷燈、甲種兩色燈、三色燈、船尾燈及信號燈ノ燈胴ト燈蓋及燈底トノ接合竝ニ甲種白燈及紅燈ノ燈胴ト燈蓋トノ接合ハ折曲抱合ト爲シ乙種兩色燈ノ燈胴ト燈蓋トノ接合ハ折曲ト爲シ甲種白燈及紅燈ノ燈胴ト燈底トノ接合ハ鋲附ト爲スベシ

燈胴及外部煙筒ヲ構造スル金屬板ノ周緣ニハ適當ナル眞鍮針金ヲ捲込ムベシ但シ乙種兩色燈、丁種白燈及操舵目標燈ノ燈胴及外部煙筒下部ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

船燈ニハ其ノ種類ニ應ジ適當ナル掛具、燈足又ハ通索環ヲ裝置スベシ

燈窓ニ竪ニ取附クル枠棒ノ徑又ハ幅ハ七ミリメートルヲ超ユルコトヲ得ズ

第二條　燈窓硝子及著色挿入硝子ハ有害ナル氣泡其ノ他ノ瑕疵ヲ有セズ且冷熱ニ堪フル品質ニシテ兩面ヲ滑ニ磨キタルモノナルコトヲ要ス但シ著色透鏡、無色棗形硝子及無色球形硝子ノ兩面ハ磨カザルモ妨ナシ

第三條　無色透鏡ハ二・九ノ密度（公差正負〇・〇七）ヲ有スル無色鉛硝子ヲ以テ成ルベク薄ク製造シ內面ハ圓筒形ト爲シ外面ニハ中央ニ一帶ノ凸形ヲ設ケ其ノ上下ニ各三帶ノ折射形ヲ設クベシ

無色透鏡ノ形狀ハ透鏡ノ中央橫截面ノ中心ニ於ケル燈火ヲ該面ノ上下各一〇度ノ範圍ニ集束シ其ノ照度ハ該燈火ノ照度ニ比シ白燈及紅燈用透鏡ニ在リテハ上下各二・五度以內ノ方向ニ於テ、其ノ他ノ透鏡ニ在リテハ上下各五度以內ノ方向ニ於テ二倍以上ニシテ且上下各一〇度ノ方向ニ於テ一倍以上トナラシメ其ノ他ノ方向ニ於テハ漸次ニ其ノ倍率ヲ變化スルモノナルコトヲ要ス

無色透鏡ノ竪截面ノ形狀ハ各截面ニ於テ差異ナキモノナルコトヲ要ス

無色透鏡ニハ密度測定用試驗片ヲ附シ置クベシ

無色透鏡ノ高サ及橫截內面半徑ノ公差ハ各正負〇・五ミリメートルトス

第四條　著色透鏡ハ著色硝子ヲ以テ成ルベク薄ク製造シ外面ハ球形ト爲シ內面ニハ中央ニ一箇ノ凸形ヲ設ケ其ノ周圍ニ九帶ノ折射形ヲ設クベシ

著色透鏡ノ形狀ハ透鏡ノ中央截面ノ中心ニ於ケル燈火ヲ該面ノ各側五度ノ範圍ニ集束スルモノナルコトヲ要ス

著色透鏡ノ中央截面ノ形狀ハ各截面ニ於テ差異ナキモノナルコトヲ要ス

著色透鏡ノ徑ノ公差ハ正負〇・五ミリメートルトス

第五條　圓筒形ノ燈窓硝子及著色挿入硝子ノ厚サ、高サ及橫截內面半徑ノ公差ハ各正負〇・五ミリメートルトシ無色棗形硝子及無色球形硝子ノ厚サノ公差ハ正負一ミリメートルトス

第六條　著色燈窓硝子、著色挿入硝子及著色透鏡ハ適當ナル色調ヲ有シ濃度ニ不同ナク且一〇%乃至一五%ノ全透率ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七條　船燈各部ノ構造及寸法ニシテ本令ニ規定ナキモノニ付テハ當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第八條　本令ノ規定ニ該當セザル船燈ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ効力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第二章　油船燈

第一節　通則

第九條　燈籠ハ口金及燈筒ヲ裝置シタル油壺ヲ挿入シ得ルモ

ノナルコトヲ要ス

煙筒ハ火口ノ直上ニ設クベシ

燈窓ニ竪ニ取附クル枠棒ハ火口ノ延長線上ニ置クコトヲ得ズ

第十條 船燈ハ無風高氣溫ノ場合ニ於テモ通氣十分ニシテ燈火ガ不同ナク十分ニ燃照スル構造ノモノナルコトヲ要ス

船燈ハ風又ハ船舶ノ動搖等ニ依リ油煙ヲ生ズルコトナク又消火セザル樣通氣孔ノ大サ及配置ヲ適當ニシ且飛沫ノ浸入ニ依リ光度ニ影響ヲ及ボスコトナキ構造ノモノナルコトヲ要ス

第十一條 油壺ハ燈火ガ信號燈及安全燈ニ在リテハ五時間以上、乙種兩色燈、丁種白燈及操舵目標燈ニ在リテハ八時間以上、其ノ他ノ船燈ニ在リテハ一六時間以上繼續シテ完全ニ燃照シ得ル油量ヲ貯ヘ得ルモノナルコトヲ要ス

油壺ノ形狀ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

油壺ニハ氣孔ヲ有スル注油栓ヲ裝置シ且油壺ノ內部ニハ燈油ノ動搖ヲ防グ裝置ヲ設クベシ

第十二條 火口ノ形狀ハ一字形ニシテ第一表ニ揭グル幅ノ平燈心ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

口金ニハ燈心調整裝置ヲ附シ引火防具及氣孔ヲ裝置スベシ但シ種油用ノモノニ在リテハ引火防具及氣孔ヲ裝置スルコトヲ要セズ

第十三條 油壺及口金ノ挿入裝置ハ口金ヲ裝置シタル油壺ヲ燈籠ニ挿入スルトキ火口ガ正規ノ位置外ニ止マル處ナキモノナルコトヲ要ス

第十四條 石油燈ニハ燈筒ヲ使用スベシ

燈筒ハ無色透明ナル良質ノ硝子ヲ以テ成ルベク薄ク且厚サニ不同ナク製造シ形狀及寸法ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムルモノナルコトヲ要ス

第十五條 反射鏡ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザル限リ大形ト爲シ其ノ表面ハ燈火ノ最輝點ヲ中心トスル球面ノ一部ニシテ十分磨キタル後銀色鍍ヲ施シタルモノナルコトヲ要シ但シ乙種兩色燈及操舵目標燈ノ反射鏡ノ表面ハ圓筒形ト爲スコトヲ得

第十六條 油船燈ニハ石油ヲ使用スベシ但シ丁種白燈及操舵目標燈ニハ種油ヲ使用スルコトヲ得

第十七條 油船燈各部ノ寸法ハ第一表ニ依ル

第十八條 水先燈ノ構造及寸法ハ本節ノ規定ニ依ルノ外當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第二節 檣燈

第十九條 燈窓ニハ甲種檣燈ニ在リテハ無色透鏡ヲ、乙種檣燈ニ在リテハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第二十條 燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第二十一條 火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第二十二條 口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種檣燈ニ在リテハ一〇燭光以上、乙種檣燈ニ在リテハ七燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二十三條 檣燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第二十四條 檣燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第三節 舷燈

第二十五條 甲種舷燈ノ燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

乙種舷燈ノ燈窓ニハ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第二十六條 燈窓硝子ノ後部留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ燈籠ノ側面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

燈窓硝子ノ前部留金ノ緣ヨリ燈籠ノ側面ニ至ル距離ハ該側面ヨリ火口、中心ニ至ル距離ヨリ一五ミリメートル以上小ナルコトヲ要ス

硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第二十一條 火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第二十二條 口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種檣燈ニ在リテハ一〇燭光以上、乙種檣燈ニ在リテハ七燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二十三條 檣燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第二十四條 檣燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第三節 舷燈

第二十五條 甲種舷燈ノ燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

乙種舷燈ノ燈窓ニハ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第二十六條 燈窓硝子ノ後部留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ燈籠ノ側面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

燈窓硝子ノ前部留金ノ緣ヨリ燈籠ノ側面ニ至ル距離ハ該側面ヨリ火口、中心ニ至ル距離ヨリ一五ミリメートル以上小ナルコトヲ要ス

第二十七條 著色挿入硝子ノ挿入裝置ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル處ナク且左舷舷燈用ノ硝子ヲ右舷舷燈ニ、右舷舷燈用ノ硝子ヲ左舷舷燈ニ挿入シ得ザル構造ト爲スベシ

著色挿入硝子ノ金屬枠及挿入裝置ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第二十八條 油壺ノ挿入裝置ハ左舷舷燈用ノ油壺ヲ右舷舷燈ニ、右舷舷燈用ノ油壺ヲ左舷舷燈ニ挿入シ得ザル構造ト爲スベシ

第二十九條 火口ハ燈籠ノ側面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス方向ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第三十條 口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種舷燈ニ在リテハ一〇燭光以上、乙種舷燈ニ在リテハ五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第三十一條 燈籠側部ノ掛具及隔板ニ取附クル突起金具ノ形狀及寸法ハ第一圖ニ依ル

隔板ノ形狀及寸法ハ第二圖乃至第四圖ニ依ル

第三十二條 舷燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第三十三條 甲種舷燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第四節 兩色燈

第三十四條　甲種兩色燈ノ燈窓ニハ左舷側ニ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷側ニ綠色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

乙種兩色燈ノ燈窓ニハ左舷側ニ紅色透鏡ヲ、右舷側ニ綠色透鏡ヲ裝置スベシ

第三十五條　甲種兩色燈ノ各側ノ燈窓硝子ノ後部留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第三十六條　燈窓硝子ノ前面中央ニハ竪ニ隔障ヲ設クベシ

隔障ハ燈籠ノ前面ニ鋲附ト爲スベシ

甲種兩色燈ノ燈窓硝子ノ前部留金ノ幅ハ隔障中心ヨリ測リ左右各四ミリメートルヲ超ユルコトヲ得ズ

第三十七條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ甲種兩色燈ニ在リテハ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ、乙種兩色燈ニ在リテハ著色透鏡ノ焦點ヲ過ギル垂直軸上ニ置クベシ

第三十八條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ甲種兩色燈ニ在リテハ一六時間繼續燃照後五燭光以上、乙種兩色燈ニ在リテハ八時間繼續燃照後三燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第三十九條　兩色燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第五節　白　燈

第四十條　燈窓ニハ甲種白燈ニ在リテハ無色透鏡又ハ無色圓筒形硝子ヲ、丁種白燈ニ在リテハ無色球形硝子ヲ裝置スベシ

第四十一條　火口ハ其ノ中心ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第四十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種白燈ニシテ無色透鏡ヲ裝置スルモノニ在リテハ四燭光以上、無色圓筒形硝子ヲ裝置スルモノニ在リテハ七燭光以上、乙種白燈ニ在リテハ四燭光以上、丙種白燈ニ在リテハ二燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第四十三條　甲種白燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト下部燈胴トノ間ニ、其ノ他ノ白燈ニハ上部燈胴ト下部燈胴トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第四十四條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル白燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第六節　紅　燈

第四十五條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第四十六條　紅色挿入硝子ノ挿入裝置ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル虞ナキ構造ト爲スベシ

紅色挿入硝子ニハ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

紅色挿入硝子ハ二箇以上ノ硝子ヲ幅七ミリメートル以下ノ金屬枠ヲ以テ堅ニ接合シタル構造ト爲スコトヲ得

前項ノ硝子竪接合ノ金屬枠ハ火口ノ延長線ノ位置外ニ止マルコトヲ要ス

紅色挿入硝子ノ上緣及下緣ニ於ケル金屬枠ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第四十七條　火口ハ其ノ中心ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第四十八條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後一〇燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第四十九條　紅燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト下部燈胴トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第五十條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル紅燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第七節　三　色　燈

第五十一條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷側ニ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷側ニ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第五十二條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第五十三條　燈窓ノ前面ニハ燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ミ船燈ノ對稱面ト左右各一一二・五度ノ角度ヲ爲ス平面內ニ中心面ヲ有スル隔障ヲ設クベシ

隔障ハ燈籠前面ニ鋲附ト爲スベシ

第五十四條　著色挿入硝子ノ挿入裝置ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル虞ナク且紅色硝子ト綠色硝子トヲ挿違スル虞ナキ構造ト爲スベシ

著色挿入硝子ニハ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

著色挿入硝子ノ前緣ニ於ケル金屬枠ノ幅ハ七ミリメートルヲ超ユルコトヲ得ズ

著色挿入硝子ノ上緣、下緣及後緣ニ於ケル金屬枠及挿入裝置ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第五十五條　著色挿入硝子ノ前緣ニ於ケル金屬枠ノ幅ノ中心線ハ該線及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第五十六條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第五十七條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後一〇燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第五十八條　三色燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第五十九條　三色燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第八節　船　尾　燈

第六十條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第六十一條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト六七・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第六十二條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第六十三條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後四燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第六十四條　船尾燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第九節　操舵目標燈

第六十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第六十六條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト九〇度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第六十七條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後緣ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第六十八條　操舵目標燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第十節　信號燈

第六十九條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置スベシ

第七十條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト二二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第七十一條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ中心ヲ

燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第七十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ五時間繼續燃照後五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第七十三條　信號燈ニ反射鏡ヲ備フベシ

第七十四條　遮光板ハ敏速ニ開閉シ得ルモノニシテ滑動遮光板ニ在リテハ中央ヨリ兩側ニ開クモノナルコトヲ要ス　鍵盤ハ之ヲ押ヘ附クルニ必要ナル重量ガ四五〇グラム以上九〇〇グラム以下ニシテ其ノ作動距離ハ一〇ミリメートルヲ標準トス

第十一節　安全燈

第七十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第七十六條　安全燈內部ニハ燈火ガ直接外氣ニ通ズル部分ニ二重ノ金網ヲ設クベシ　前項ノ金網ハ徑〇・三二ミリメートル乃至〇・四〇ミリメートルノ針金ヲ使用シ一平方センチメートルニ付一四四以上ノ網目ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七十七條　安全燈ハ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依ラザレバ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部ノ自然的弛緩ヲ防止シ得ル適當ナル裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第七十八條　安全燈ニハ之ヲ開放セズシテ點火シ得ル裝置ヲ設クベシ

第七十九條　安全燈ハ之ヲ高サ一・五メートルノ箇所ヨリ木

床上ニ連續三回墜落セシメ異狀ヲ呈セザルモノナルコトヲ要ス

第八十條　安全燈ハ可燃性混氣中ニテ漏火セザルモノナルコトヲ要ス

第八十一條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ五時間繼續燃照後一・五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第八十二條　安全燈ニハ燈窓外面ノ於テ上部燈胴ト下部燈胴トノ間ニ金屬製枠棒ヲ取附クベシ　前項ノ枠棒ハ相隣レル枠棒ノ外側ヲ連ネタル直線ガ燈窓硝子ニ接觸セザル構造ト爲スコトヲ要ス

第三章　電氣船燈

第一節　通則

第八十三條　燈籠ハ燈蓋部ニ於テ開閉シ得ル構造ト爲スベシ　燈籠ハ電線ヲ挿入セル部分ヨリ飛沫ガ浸入セザル構造ト爲スベシ

第八十四條　電線ハ電氣工作物規程ニ依ル第四種絕緣電線ニシテ導體ノ直徑一ミリメートル以上ノ單線又ハ公稱切斷面積〇・九平方ミリメートル以上ノ撚線ナルコトヲ要ス　電線相互間及電線ト燈籠トノ間ノ絕緣抵抗ハ船燈每ニ二メグオーム以上ナルコトヲ要ス

第八十五條　電球承口ハ內徑二三ミリメートルノ挿込承口ト爲シ上向ニ取附ケ且電球ガ一定ノ位置ヨリ移動セザル構造ト爲スベシ　電球承口ノ垂直軸ハ白燈、紅燈及安全燈ニ在リテハ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ、其ノ他ノ船燈ニ在リテハ燈窓硝子ノ垂直軸ノ後方九ミリメートルノ位置ニ在ルコトヲ要ス　電球承口取附臺ハ亞麻仁油ヲ以テ絕緣處理ヲ爲シタル櫟材又ハ櫻材ナルコトヲ要ス

第八十六條　電球ハ籠形金屬纖條ヲ使用セル眞空式白熱電球ナルコトヲ要ス

第八十七條　電氣船燈各部ノ寸法ハ第二表ニ依ル

第八十八條　兩色燈、丙種白燈、丁種白燈、水先燈及操舵目標燈ノ構造及寸法ハ本節ノ規定ニ依ルノ外當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第二節　檣燈

第八十九條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第九十條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第九十一條　電球ハ甲種檣燈ニ在リテハ四〇ワット、乙種檣燈ニ在リテハ二〇ワットノモノナルコトヲ要ス

第九十二條　檣燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈胴上部ト燈胴下部ト

ノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第三節　舷　燈

第九十三條　甲種舷燈ノ燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

乙種舷燈ノ燈窓ニハ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第九十四條　燈窓硝子ノ後部留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ燈籠ノ側面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

燈窓硝子ノ前部留金ノ緣ヨリ燈籠ノ側面ニ至ル距離ハ該側面ヨリ電球承口ノ中心ニ至ル距離ヨリ一五ミリメートル以上小ナルコトヲ要ス

第九十五條　著色挿入硝子ノ挿入裝置ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル虞ナク且左舷舷燈用ノ硝子ヲ右舷舷燈ニ、右舷舷燈用ノ硝子ヲ左舷舷燈ニ挿入シ得ザル構造ト爲スベシ

著色挿入硝子ニハ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

著色挿入硝子ノ金屬枠及挿入裝置ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第九十六條　電球ハ甲種舷燈ニ在リテハ四〇ワット、乙種舷燈ニ在リテハ二〇ワットノモノナルコトヲ要ス

第九十七條　燈籠側部ノ掛具及隔板ニ取附クル突起金具ノ形狀及寸法ハ第一圖ニ依ル

隔板ノ形狀及寸法ハ第五圖乃至第七圖ニ依ル

第九十八條　甲種舷燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈胴上部ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第四節　白　燈

第九十九條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第百條　電球ハ甲種白燈ニ在リテハ四〇ワット、乙種白燈ニ在リテハ二〇ワットノモノナルコトヲ要ス

第百一條　白燈ニハ燈窓外面ニ於テ上部燈胴ト下部燈胴ノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第五節　紅　燈

第百二條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第百三條　紅色挿入硝子ノ挿入裝置ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル虞ナキ構造ト爲スベシ

紅色挿入硝子ニハ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

紅色挿入硝子ハ二箇以上ノ硝子ヲ幅七ミリメートル以下ノ金屬枠ヲ以テ堅ニ接合シタル構造ト爲スコトヲ得

紅色挿入硝子ノ上緣及下緣ニ於ケル金屬枠ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第百四條　電球ハ四〇ワットノモノナルコトヲ要ス

第百五條　紅燈ニハ燈窓外面ニ於テ上部燈胴ト下部燈胴トノ

間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第六節　三色燈

第百六條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷側ニ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷側ニ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第百七條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第百八條　燈窓ノ前面ニハ燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ミ船燈ノ對稱面ト左右各二二・五度ノ角度ヲ爲ス平面內ニ中心面ヲ有スル隔障ヲ設クベシ

隔障ハ燈籠前面ニ鋲附ト爲スベシ

第百九條　著色挿入硝子ノ挿入裝置ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル虞ナク且紅色硝子ト綠色硝子トヲ挿違スル虞ナキ構造ト爲スベシ

著色挿入硝子ニハ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

著色挿入硝子ノ前緣ニ於ケル金屬枠ノ幅ハ七ミリメートルヲ超ユルコトヲ得ズ

著色挿入硝子ノ上緣、下緣及後緣ニ於ケル金屬枠挿入裝置ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第百十條　著色挿入硝子ノ前緣ニ於ケル金屬枠ノ幅ノ中心線ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト二二・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第百十一條　電球ハ四〇ワットノモノナルコトヲ要ス

第百十二條　三色燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈胴上部ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第七節　船尾燈

第百十三條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第百十四條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ緣ハ該緣及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト六七・五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第百十五條　電球ハ二〇ワットノモノナルコトヲ要ス

第八節　安全燈

第百十六條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第百十七條　蓄電池ヲ使用スル安全燈ニ在リテハ顚倒シタル場合電液ノ流出セザルモノナルコトヲ要ス

第百十八條　電池ノ容量ハ五時間以上有效ニ點燈シ得ルモノナルコトヲ要ス

第百十九條　開閉器其ノ他電氣的接續部ハ防焰密閉室內ニ在ルコトヲ要シ開閉器ハ外部ヨリ操作シ得ルモノナルコトヲ要ス

第百二十條　安全燈ハ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依ラザレバ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部ノ自然的弛緩ヲ防止シ得ル適當

ナル裝置ヲ備ツルコトヲ要ス

第百二十一條　安全燈ニハ損傷又ハ故障ニ依リ漏火セザル樣適當ナル「フユーズ」其ノ他ノ安全裝置ヲ設クベシ

第百二十二條　安全燈ハ之ヲ高サ一・五メートルノ箇所ヨリ木床上ニ連續三回墜落セシメ異狀ヲ呈セザルモノナルコトヲ要ス

墜落試驗ノ際ニハ電池ヲ等型等重ノ他ノモノト交換スルモ妨ナシ

第百二十三條　安全燈ハ可燃性混氣中ニテ點滅ノ際漏火セザルモノナルコトヲ要ス

第百二十四條　電球ハ五ワツト以上ノモノナルコトヲ要ス

第百二十五條　安全燈ニハ燈窓外面ニ於テ上部燈胴ト下部燈胴トノ間ニ金屬製枠棒ヲ取附クベシ

前項ノ枠棒ハ相隣レル枠棒ノ外側ヲ連ネタル直線ガ燈窓硝子ニ接觸セザル構造ト爲スコトヲ要ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年六月遞信省令第十九號船燈試驗規程ハ之ヲ廢止ス

ナル裝置ヲ備ツルコトヲ要ス

第百二十一條 安全燈ニハ損傷又ハ故障ニ依リ漏火セザル樣適當ナル「フユーズ」其ノ他ノ安全裝置ヲ設クベシ

第百二十二條 安全燈ハ之ヲ高サ一・五メートルノ箇所ヨリ木床上ニ連續三回墜落セシメ異狀ヲ呈セザルモノナルコトヲ要ス

墜落試驗ノ際ニハ電池ヲ等型等重ノ他ノモノト交換スルモ妨ナシ

第百二十三條 安全燈ハ可燃性混氣中ニテ點滅ノ際漏火セザルモノナルコトヲ要ス

第百二十四條 電球ハ五ワット以上ノモノナルコトヲ要ス

第百二十五條 安全燈ニハ燈窓外面ニ於テ上部燈胴ト下部燈胴トノ間ニ金屬製枠棒ヲ取附クベシ

前項ノ枠棒ハ相隣レル枠棒ノ外側ヲ連ネタル直線ガ燈窓硝子ニ接觸セザル構造ト爲スコトヲ要ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和四年六月遞信省令第十九號船燈試驗規程ハ之ヲ廢止ス

第二表

電氣船燈寸法表

船燈種類	光達距離	射光角度	型種	燈窓 種類	燈窓 横截面角度	硝子 内径半面 (粍)	硝子 高サ (留金部ヲ含ム) (粍)	硝子 厚サ (粍)	著色挿入硝子ノ厚サ (粍)	燈胴寸法 端面ノ幅 (粍)	燈胴寸法 側面ノ幅 (粍)	燈胴寸法 上部燈胴ノ徑 (粍)	燈胴寸法 下部燈胴ノ徑 (粍)	寸法 高サ (粍)	寸法 板ノ厚サ (粍)	寸法 捲込針金ノ徑 (粍)
甲種檣燈	5 海里以上	225°	第一種	無色圓筒形硝子	230°	115	180	6	—	300	300	—	—	315	0.60	3.20
			第二種	無色圓筒形硝子	230°	95	165	6		230	230			310	0.60	3.20
乙種檣燈	3 海里以上	225°	—	無色圓筒形硝子	230°	95	130	6	—	230	230	—	—	270	0.45	2.60
甲種舷燈	2 海里以上	112.5°	第一種	無色圓筒形硝子	125°	125	180	6	3	260	260	—	—	315	0.60	3.20
			第二種	無色圓筒形硝子	125°	105	165	6	3	210	210			310	0.60	3.20
乙種舷燈	1 海里以上	112.5°	—	著色圓筒形硝子	125°	100	130	5	—	200	200	—	—	270	0.45	2.60
甲種白燈	3 海里以上	360°	—	無色圓筒形硝子	360°	95	165	6	—	—	—	260	260	310	0.60	3.20
乙種白燈	2 海里以上	360°	—	無色圓筒形硝子	360°	95	165	6	—	—	—	260	260	310	0.60	3.20
紅燈	2 海里以上	360°	—	無色圓筒形硝子	360°	95	165	6	3	—	—	260	260	310	0.60	3.20
三色燈	2 海里以上	左右舷 90° 中央 45°	第一種	無色圓筒形硝子	230°	115	180	6	3	300	300	—	—	315	0.60	3.20
			第二種	無色圓筒形硝子	230°	95	165	6	3	230	230			310	0.60	3.20
船尾燈	2 海里以上	135°	—	無色圓筒形硝子	140°	85	130	5	—	220	220	—	—	270	0.45	2.60
安全燈	—	360°	—	無色圓筒形硝子	360°	—	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—

第 二 表

信 号 盤 燈 々 点 表

動標種類	光達距離	種 類	燈 室 燈 々					遮色板	燈 柱				
			種類燈内面角度	種類燈内面半径	高 サ (軌条面ヨリ)	厚 サ			種 類	燈 室 ノ 大 サ	黒 面 ノ 幅	側 面 ノ 幅	上端径	側ノ径	高 サ	根 ノ 高 サ	根元ノ径
			(度)	(粍)	(粍)	(粍)				(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)	(粍)
甲種標燈	5 哩里以上	緑色圓筒形硝子	230°	115	180	6		——	第一種	——	300	300	——	——	315	0.60	3.20
	2250	緑色圓筒形硝子	230°	95	165	6		——	第二種	——	230	230	——	——	310	0.60	3.20
乙種標燈	3 哩里以上	——	緑色圓筒形硝子	230°	95	130	6	——	——	——	230	230	——	——	270	0.45	2.60
甲種標燈	3 哩里以上	第一種	緑色圓筒形硝子	125°	125	130	6	3	——	——	200	200	——	——	315	0.60	3.20
	1125°	第二種	緑色圓筒形硝子	125°	105	165	6	3	——	——	210	210	——	——	310	0.60	3.20
乙種標燈	1 哩里以上	——	緑色圓筒形硝子	125°	100	130	5	——	——	——	200	200	——	——	270	0.45	2.60
甲種白燈	3 哩里以上	——	緑色圓筒形硝子	350°	95	165	6	——	——	——	——	——	200	200	310	0.60	3.20
乙種白燈	2 哩里以上	——	緑色圓筒形硝子	350°	95	165	6	——	——	——	——	——	200	200	310	0.60	3.20
紅 燈	2 哩里以上	——	緑色圓筒形硝子	350°	95	165	6	3	——	——	——	——	200	200	310	0.60	3.20
三 色 燈	2 哩里以上	第一種	緑色圓筒形硝子	230°	115	180	6	3	300	300	——	——	——	——	315	0.60	3.20
	中光 49°	第二種	緑色圓筒形硝子	230°	95	165	6	3	230	230	——	——	——	——	310	0.60	3.20
緑 尾 燈	2 哩里以上	——	緑色圓筒形硝子	140°	85	130	5	——	220	220	——	——	——	——	270	0.45	2.60
安 全 燈	——	——	緑色圓筒形硝子	350°	——	——	5	——	——	——	——	——	——	——	——	——	——

二 表 表

| | | |